

第 25 回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「みんなが活躍できる参画と協働の地域づくり」

令和元年度

兵 庫 県

目次

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5

II 調査の結果

1 地域とのつながりや地域づくり活動への取り組み状況について

問1	地域に愛着や誇りを感じるどころ	6
問2	近所づきあいの程度	9
問3	居住する地域の様子	12
問4	居住を継続するにあたって重視する点	31
問5	過去1年間の地域活動への参加状況	34
問6	地域活動に参加したきっかけ	51
問7	今までに参加した地域活動の形態	54
問8	地域活動に参加しない、しにくい理由	57

2 今後の地域活動の充実について

問9	参加したい地域活動の活動形態	60
問10	地域団体の活動資金の確保への協力や関心	63

3 県行政への参画と協働について

問11	地域の課題解決のための行政との関わり方	74
問12	県民意見の県政への反映状況	77
問13	県民に身近な県政にするための方策	80

4 毎年調査項目

問14	今の生活全般での満足度	83
問15	今の生活の項目別での満足度	87
問16	去年と比べた生活の向上感	114
問17	大地震発生の可能性	118
問18	地域活動への参加	122
問19	県政への関心	125
問20	県政への評価	129
問21	県民局・県民センターの認知度	162

Ⅲ 調査票

第 25 回県民意識調査「みんなが活躍できる参画と協働の地域づくり」調査票・・・165

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「みんなが活躍できる参画と協働の地域づくり」とし、人口減少社会の下、地域において誰もが経験や知識を活かして生涯現役で活躍する「全員活躍社会」を実現するため、県民が行う地域づくり活動の取り組み状況等を調査し、参画と協働を推進するために活用する。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 令和元年9月2日(月)～9月24日(火)
- (6) 県民意識調査有識者会議

設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

岩木 啓子 (ライフデザイン研究所FLAP代表)
立木 茂雄 (同志社大学教授)
鳥越 皓之 (大手前大学学長)
吉田 三千代 (一般財団法人大阪デザインセンター 企画営業部長) [五十音順]

3 回収結果

回収数 2,759件(回収率55.2%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	261	52.2%	2	259
阪神南	500	238	47.6%	1	237
阪神北	500	288	57.6%	0	288
東播磨	500	283	56.6%	1	282
北播磨	500	271	54.2%	0	271
中播磨	500	258	51.6%	2	256
西播磨	500	301	60.2%	0	301
但馬	500	286	57.2%	1	285
丹波	500	315	63.0%	6	309
淡路	500	258	51.6%	1	257
不明					0
全県	5,000	2,759	55.2%	14	2,745

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H31. 3. 31）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元



地域区分

県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	丹波篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路 市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	41.1	57.9	0.9
神戸	40.9	58.3	0.8
阪神南	40.9	57.8	1.3
阪神北	39.6	59.4	1.0
東播磨	42.6	57.1	0.4
北播磨	42.1	55.4	2.6
中播磨	39.1	60.5	0.4
西播磨	43.5	55.5	1.0
但馬	42.5	56.1	1.4
丹波	48.9	50.2	1.0
淡路	39.7	59.1	1.2

○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	6.8	10.1	15.2	14.8	21.3	20.0	11.3	0.5
神戸	8.9	10.8	15.1	13.9	21.6	18.1	11.2	0.4
阪神南	5.9	8.9	15.2	12.2	23.2	22.8	11.4	0.4
阪神北	4.2	12.2	17.0	16.3	17.4	20.1	12.5	0.3
東播磨	8.5	10.6	15.2	17.4	20.9	18.1	8.9	0.4
北播磨	5.5	9.2	11.8	16.2	22.5	19.6	13.7	1.5
中播磨	5.9	10.5	17.2	14.5	22.7	20.7	8.2	0.4
西播磨	4.7	7.6	15.0	15.3	20.6	22.6	14.0	0.3
但馬	4.9	7.7	11.6	18.2	21.1	20.4	14.7	1.4
丹波	7.4	6.5	12.3	15.5	21.7	20.1	14.9	1.6
淡路	8.2	7.0	12.5	14.4	20.6	23.0	12.8	1.6

○ 職業 (%)

	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	不明
全県	9.1	24.5	2.9	5.0	15.1	17.6	1.3	23.2	1.3
神戸	12.4	23.6	2.3	4.2	15.8	18.5	2.3	19.3	1.5
阪神南	4.2	23.2	4.2	4.6	16.0	18.1	0.8	27.4	1.3
阪神北	9.4	25.3	2.8	4.5	14.6	19.8	1.7	21.2	0.7
東播磨	3.9	32.3	1.4	6.0	14.9	15.2	1.1	24.1	1.1
北播磨	10.0	23.2	4.1	6.6	15.1	15.9	0.4	22.5	2.2
中播磨	8.2	21.5	3.9	6.3	15.2	19.1	0.4	24.6	0.8
西播磨	11.6	23.6	1.7	3.7	11.6	16.6	0.0	30.2	1.0
但馬	14.7	23.9	3.5	7.7	13.7	12.3	0.7	21.4	2.1
丹波	15.5	25.6	2.9	4.5	11.7	11.7	1.6	23.6	2.9
淡路	22.2	16.7	3.5	5.4	13.6	12.1	1.2	23.3	1.9

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	9.1	30.0	50.5	7.4	2.1	0.9
神戸	6.9	35.5	50.2	4.2	2.7	0.4
阪神南	14.3	27.8	50.6	4.2	1.7	1.3
阪神北	9.7	32.6	51.0	5.2	0.3	1.0
東播磨	8.9	26.6	54.3	7.1	2.8	0.4
北播磨	6.6	22.9	49.4	15.1	3.7	2.2
中播磨	6.3	27.0	53.9	10.5	1.6	0.8
西播磨	8.0	25.6	47.2	16.3	1.7	1.3
但馬	8.1	26.0	44.6	17.2	3.2	1.1
丹波	10.7	24.6	39.8	20.7	2.9	1.3
淡路	10.9	31.1	39.7	13.6	2.7	1.9

○ 在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	1.8	5.6	4.8	9.4	10.7	9.2	57.8	0.7
神戸	1.9	5.8	4.2	10.0	11.2	11.6	54.8	0.4
阪神南	2.5	9.3	5.9	12.7	16.0	8.4	43.9	1.3
阪神北	1.4	5.6	7.3	9.0	12.2	9.4	54.5	0.7
東播磨	1.8	5.3	3.9	8.9	8.2	9.9	61.7	0.4
北播磨	1.5	2.6	3.0	4.4	8.1	5.5	72.7	2.2
中播磨	1.2	3.5	4.3	11.3	8.2	7.8	63.3	0.4
西播磨	1.3	3.0	4.3	3.3	6.0	7.6	73.8	0.7
但馬	2.8	1.8	4.2	4.9	3.2	6.0	76.1	1.1
丹波	1.0	2.6	1.3	4.9	6.8	6.5	76.4	0.6
淡路	0.8	2.7	3.5	5.8	5.4	7.4	73.2	1.2

○ インターネット利用環境 (%)

	パソコン	スマートフォン	持っていない	不明
全県	24.2	49.2	25.5	1.1
神戸	25.1	47.3	26.2	1.4
阪神南	23.9	54.1	21.2	0.8
阪神北	26.2	52.7	20.8	0.4
東播磨	22.9	50.5	25.9	0.7
北播磨	23.6	44.8	30.3	1.3
中播磨	20.9	50.2	28.2	0.7
西播磨	26.5	43.4	26.8	3.3
但馬	28.2	36.8	33.4	1.5
丹波	21.3	40.9	36.5	1.3
淡路	19.2	47.4	32.1	1.4

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率(%)

〈例：サンプル数 2,745の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差 (%)	±1.14	±1.53	±1.75	±1.87	±1.91

II 調査の結果

1 地域とのつながりや地域づくり活動への取り組み状況について

問1 地域に愛着や誇りを感じるどころ

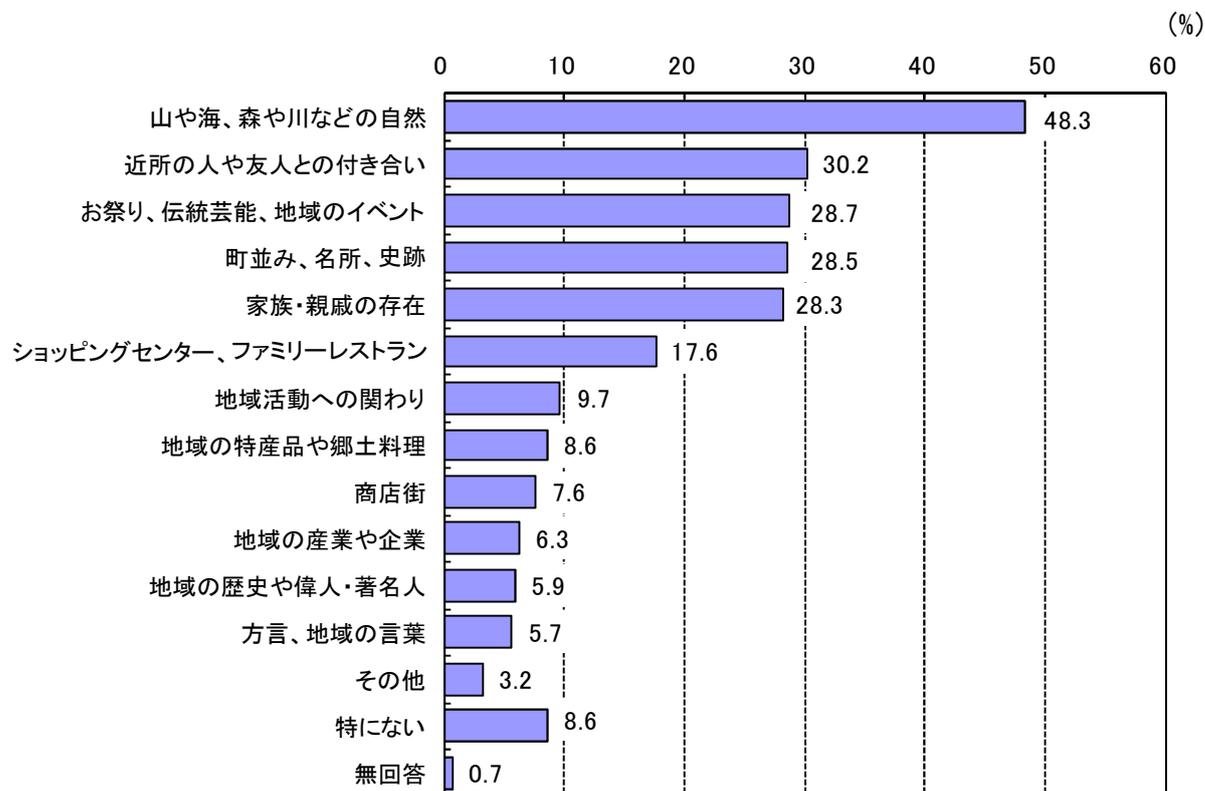
問1

お住まいの地域のどのようなところに愛着や誇りを感じますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 お祭り、伝統芸能、地域のイベント
- 2 山や海、森や川などの自然
- 3 町並み、名所、史跡
- 4 商店街
- 5 ショッピングセンター、ファミリーレストラン
- 6 地域活動への関わり
- 7 地域の特産品や郷土料理
- 8 地域の産業や企業
- 9 地域の歴史や偉人・著名人
- 10 方言、地域の言葉
- 11 家族・親戚の存在
- 12 近所の人や友人との付き合い
- 13 その他 ()
- 14 特にない

【全 県】

「山や海、森や川などの自然」が最も高く、次いで「近所の人や友人との付き合い」、「お祭り、伝統芸能、地域のイベント」が続いている。



【地域別】

全県で最も高い「山や海、森や川などの自然」を地域別でみると、但馬、淡路、神戸が6割を越えている。

「ショッピングセンター、ファミリーレストラン」が最も地域差が大きく、阪神南が最も高く、淡路が最も低い。

区分	山や海、森や川などの自然	近所の人や友人との付き合い	お祭り、伝統芸能、地域のイベント	町並み、名所、史跡	家族・親戚の存在	ショッピングセンター、ファミリーレストラン	地域活動への関わり	地域の特産品や郷土料理	商店街	地域の産業や企業	最大値		最小値		無回答	
											方言、地域の言葉	地域の歴史や偉人・著名人	その他	特にな		
全 県	48.3	30.2	28.7	28.5	28.3	17.6	9.7	8.6	7.6	6.3	5.9	5.7	3.2	8.6	0.7	
地域別	神 戸	60.6	27.0	24.3	33.6	25.9	15.8	9.3	5.8	11.2	7.3	5.0	6.9	2.3	6.9	0.4
	阪神南	36.7	30.8	20.7	30.4	23.6	34.6	10.5	1.3	15.2	5.5	5.5	2.5	5.1	11.0	1.3
	阪神北	45.8	26.7	21.9	31.9	27.8	20.5	10.1	6.6	1.4	4.5	11.1	1.7	5.2	10.4	1.0
	東播磨	42.6	29.1	31.2	25.5	30.1	14.2	6.0	13.1	6.7	7.8	2.5	7.8	2.8	11.0	0.0
	北播磨	45.4	41.7	36.9	11.8	37.6	5.5	11.1	11.1	0.7	4.4	3.3	8.5	1.1	9.2	0.7
	中播磨	36.7	30.5	49.2	33.2	30.9	13.3	9.0	9.0	4.7	6.6	6.6	6.6	2.7	6.6	0.4
	西播磨	55.1	36.2	32.9	21.3	33.6	6.3	11.6	16.9	0.7	7.6	9.6	5.3	1.7	5.6	1.7
	但 馬	64.9	40.0	31.9	11.2	33.0	3.2	16.5	21.1	1.1	5.3	5.3	10.2	2.1	5.6	0.4
	丹 波	45.6	36.6	43.4	21.0	31.7	5.2	13.9	28.8	0.3	2.3	5.2	9.4	1.6	7.1	1.0
	淡 路	64.6	33.5	35.4	10.9	35.0	3.1	10.1	28.8	1.2	5.4	5.8	7.4	1.6	3.9	1.2
地域間の差	28.2	15.0	28.5	22.7	14.0	31.5	10.5	27.5	14.9	5.5	8.6	8.5	4.1	7.1	1.7	

【性別】

性別	山や海、森や川などの自然	近所の人や友人との付き合い	お祭り、伝統芸能、地域のイベント	町並み、名所、史跡	家族・親戚の存在	ショッピングセンター、ファミリーレストラン	地域活動への関わり	地域の特産品や郷土料理	商店街	地域の産業や企業	地域の歴史や偉人・著名人	方言、地域の言葉	その他	特にな	無回答
性別	男 性	49.1	25.0	26.5	31.8	28.7	15.4	8.9	7.9	8.2	6.6	7.1	3.1	9.4	0.8
	女 性	47.9	33.8	30.4	26.6	28.1	19.3	10.3	9.0	7.2	5.5	4.7	3.3	7.8	0.4
性別間の差	1.2	8.8	3.9	5.2	0.6	3.9	1.4	1.1	1.0	3.2	1.1	2.4	0.2	1.6	0.4

【年代別】

「近所の人や友人との付き合い」は、年代が高くなるにつれて増加している。

区分	然山や海、森や川などの自然	山や海、森や川などの自然	近所の人や友人との付き合い	お祭り、伝統芸能、地域のイベント	町並み、名所、史跡	家族・親戚の存在	ショッピングセンター、ファミリーレストラン	地域活動への関わり	地域の特産品や郷土料理	商店街	地域の産業や企業	最大値	最小値	特にな	無回答	(%)
												人	その他			
全 県	48.3	30.2	28.7	28.5	28.3	17.6	9.7	8.6	7.6	6.3	5.9	5.7	3.2	8.6	0.7	
年代別	20代	44.9	14.9	20.2	41.2	34.7	22.3	5.0	11.0	8.5	5.3	9.1	14.7	0.7	7.1	0.0
	30代	43.0	21.8	31.5	37.0	33.3	23.4	4.2	11.9	11.2	6.0	4.9	9.4	4.0	6.5	0.0
	40代	42.8	22.7	29.5	35.4	29.5	19.8	5.0	8.3	3.4	7.2	4.2	6.5	2.2	13.2	2.0
	50代	50.5	21.2	30.8	26.5	25.7	10.8	4.0	9.3	8.7	8.5	6.7	6.9	4.9	8.6	3.6
	60代	53.3	29.7	29.6	30.6	26.2	14.6	11.7	8.0	8.2	4.9	4.9	4.5	3.7	7.4	2.2
	70代	49.3	42.2	28.4	20.7	26.3	19.9	17.2	7.1	6.3	6.9	5.5	2.8	3.0	7.6	15.7
	80歳以上	48.5	48.6	26.1	17.7	29.0	17.7	14.4	7.3	9.4	4.6	8.9	1.6	2.7	8.4	22.7
年代間の差	10.5	33.7	11.3	23.5	9.0	12.6	13.2	4.8	7.8	3.9	4.9	13.1	4.2	6.7	22.7	

【在住年数別】

区分	然山や海、森や川などの自然	山や海、森や川などの自然	近所の人や友人との付き合い	お祭り、伝統芸能、地域のイベント	町並み、名所、史跡	家族・親戚の存在	ショッピングセンター、ファミリーレストラン	地域活動への関わり	地域の特産品や郷土料理	商店街	地域の産業や企業	最大値	最小値	特にな	無回答	(%)
												人	その他			
全 県	48.3	30.2	28.7	28.5	28.3	17.6	9.7	8.6	7.6	6.3	5.9	5.7	3.2	8.6	0.7	
在住年数	1年未満	35.1	6.0	28.0	48.0	34.8	21.7	0.0	10.7	7.3	2.5	9.6	17.4	3.1	6.6	0.0
	1～3年未満	37.1	12.2	22.6	38.6	28.7	23.4	8.0	10.0	8.9	10.5	4.5	5.7	5.3	15.3	0.0
	3～5年未満	50.4	17.5	33.2	32.0	23.4	25.6	3.8	7.2	12.2	9.8	2.2	11.5	1.3	9.4	0.0
	5～10年未満	46.2	23.7	24.7	32.6	28.4	14.4	4.2	6.1	10.9	6.9	8.6	9.4	4.7	12.4	18.6
	10～15年未満	44.0	27.0	37.1	31.3	24.5	20.7	9.2	6.4	9.1	7.0	7.6	4.3	3.8	6.2	9.3
	15～20年未満	50.5	25.4	30.8	29.2	27.3	22.2	6.0	8.9	4.1	7.6	7.9	3.2	2.6	8.6	0.0
	20年以上	50.5	36.1	27.6	25.5	29.4	15.5	12.2	9.2	6.9	5.3	5.3	4.9	2.9	7.6	6.1
在住年数間の差	15.4	30.1	14.5	22.5	11.4	11.2	12.2	4.6	8.1	8.0	7.4	14.2	4.0	9.1	18.6	

問2 近所づきあいの程度

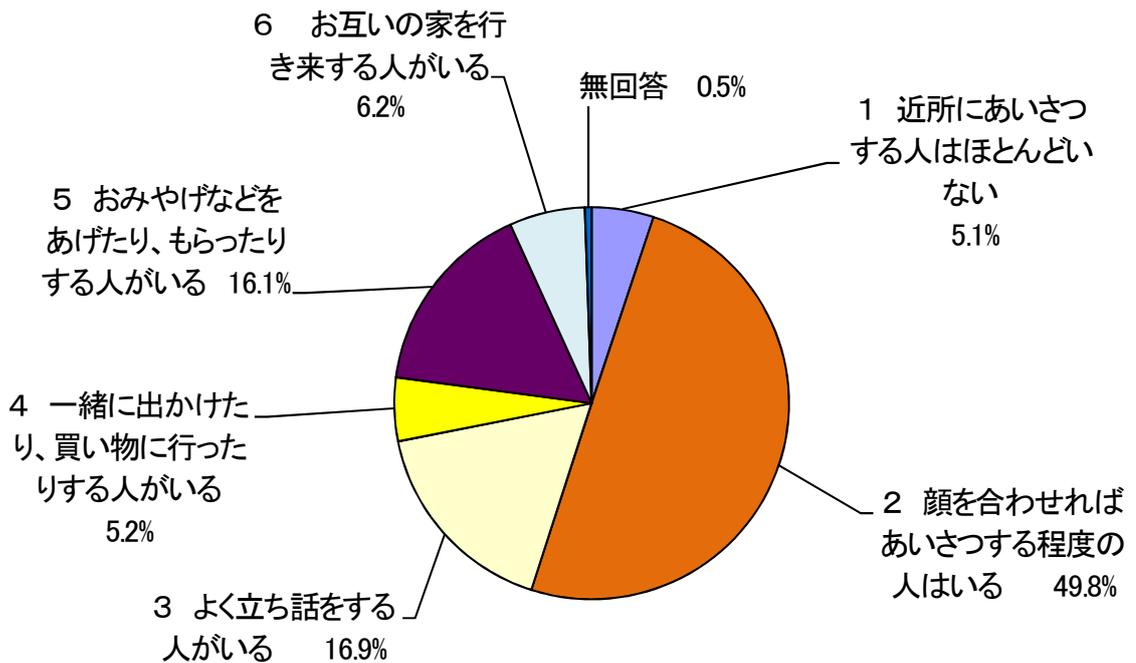
問2

お住まいの地域で、あなたの近所づきあいに一番近いのはどれですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 近所にあいさつする人はほとんどいない
- 2 顔を合わせればあいさつする程度の人はいる
- 3 よく立ち話をする人がある
- 4 一緒に出かけたり、買い物に行ったりする人がある
- 5 おみやげなどをあげたり、もらったりする人がある
- 6 お互いの家を行き来する人がある

【全県】

「顔を合わせればあいさつする程度の人はいる」が最も高く、次いで「よく立ち話をする人がある」、「おみやげなどをあげたり、もらったりする人がある」が続いている。



近所づきあいが比較的濃い
(3～6の計)
44.4%

【地域別】

近所づきあいの程度が比較的濃いと考えられる項目（選択肢3～6）の合計の地域差は30.9ポイントと大きい。選択肢3～6の合計は、地域別では但馬が最も高く、次いで丹波、北播磨が続いており、阪神南が最も低い。

区分		最大値					最小値		3～6の合計
		1 近所にあいさつする人はほとんどない	2 顔を合わせればあいさつする程度の人はいらる	3 よく立ち話をする人がいる	4 一緒に出かけたり、買い物に行ったりする人がいる	5 おみやげなどをあげたり、もらったりする人がいる	6 お互いの家を行き来する人がいる	無回答	
全 県		5.1	49.8	16.9	5.2	16.1	6.2	0.5	44.4
地域別	神 戸	6.9	52.5	15.4	5.0	13.1	6.6	0.4	40.1
	阪神南	6.3	57.8	14.8	4.6	12.2	3.8	0.4	35.4
	阪神北	4.9	50.7	16.3	3.8	17.4	5.9	1.0	43.4
	東播磨	5.3	45.0	18.8	6.4	18.8	5.7	0.0	49.7
	北播磨	1.8	39.9	22.5	5.2	19.9	10.3	0.4	57.9
	中播磨	3.1	49.6	14.8	7.4	20.3	4.3	0.4	46.8
	西播磨	1.7	45.5	19.6	5.0	16.9	9.6	1.7	51.1
	但 馬	1.4	31.2	23.9	5.6	23.5	13.3	1.1	66.3
	丹 波	2.9	37.5	23.0	4.2	19.7	11.3	1.3	58.2
	淡 路	2.3	42.0	23.3	5.4	19.8	5.8	1.2	54.3
地域間の差		5.5	26.6	9.1	3.6	11.3	9.5	1.7	30.9

【性別】

男性より女性の方が近所づきあいが濃い傾向にある。

区分		最大値					最小値		3～6の合計
		1 近所にあいさつする人はほとんどない	2 顔を合わせればあいさつする程度の人はいらる	3 よく立ち話をする人がいる	4 一緒に出かけたり、買い物に行ったりする人がいる	5 おみやげなどをあげたり、もらったりする人がいる	6 お互いの家を行き来する人がいる	無回答	
全 県		5.1	49.8	16.9	5.2	16.1	6.2	0.5	44.5
性別	男 性	5.9	57.7	14.3	2.5	14.0	5.2	0.5	35.9
	女 性	4.4	44.4	18.8	7.1	17.8	7.0	0.5	50.7
性別間の差		1.5	13.3	4.5	4.6	3.8	1.8	0.0	14.7

【年代別】

年代が高くなるにつれて、近所づきあいが濃くなる傾向にある。

区分	近所にあいさつする人はほとんどいない	顔を合わせればあいさつする程度の人はいる	よく立ち話をする人がいる	最大値		最小値		無回答	3～6の合計
全 県	5.1	49.8	16.9	5.2	16.1	6.2	0.5	44.5	
年代別	20代	14.7	75.3	3.4	2.1	3.4	1.1	0.0	10.0
	30代	11.1	51.2	13.2	6.2	8.9	9.3	0.0	37.6
	40代	5.1	61.4	11.5	5.4	9.3	7.3	0.0	33.6
	50代	6.0	56.9	12.0	4.1	14.8	5.3	0.9	36.2
	60代	2.8	46.5	18.1	4.8	24.6	3.0	0.2	50.5
	70代	1.1	41.5	25.0	5.7	19.3	6.7	0.7	56.7
	80歳以上	4.5	29.6	26.2	7.3	19.5	11.4	1.5	64.4
年代間の差	13.6	45.7	22.8	5.2	21.2	10.3	1.5	59.5	

【在住年数別】

区分	1 近所にあいさつする人はほとんどいない	2 顔を合わせればあいさつする程度の人はいる	3 よく立ち話をする人がいる	最大値		最小値		無回答	3～6の合計
全 県	5.1	49.8	16.9	5.2	16.1	6.2	0.5	44.5	
在住年数	1年未満	14.5	77.3	0.6	3.1	1.0	2.6	0.0	7.3
	1～3年未満	17.3	56.8	5.4	6.7	5.2	7.7	0.8	25.0
	3～5年未満	12.1	51.3	10.6	2.1	13.2	10.6	0.0	36.6
	5～10年未満	6.3	62.2	12.1	1.9	10.9	6.6	0.0	31.5
	10～15年未満	5.7	55.2	16.4	3.9	11.9	6.3	0.6	38.5
	15～20年未満	3.7	59.5	15.7	4.0	11.1	5.7	0.0	36.6
	20年以上	2.9	43.5	20.3	6.4	20.3	5.8	0.6	52.9
在住年数間の差	14.4	33.8	19.7	4.8	19.3	8.0	0.8	51.8	

問3 居住する地域の様子

問3

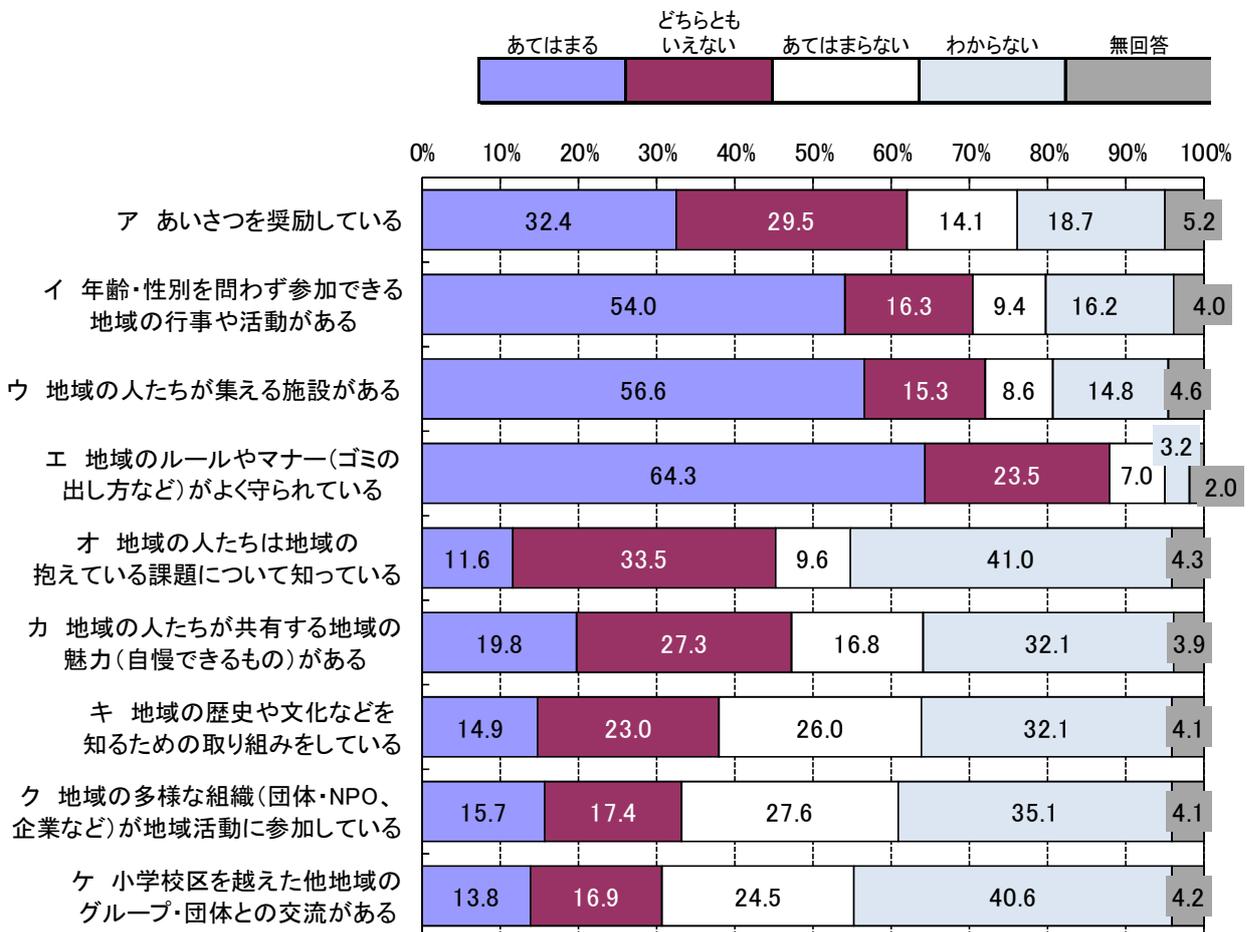
お住まいの地域の様子はどうか。それぞれの項目ごとに、一番近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア あいさつを奨励している
- イ 年齢・性別を問わず参加できる地域の行事や活動がある
- ウ 地域の人たちが集える施設がある
- エ 地域のルールやマナー（ゴミの出し方など）がよく守られている
- オ 地域の人たちは地域の抱えている課題について知っている
- カ 地域の人たちが共有する地域の魅力（自慢できるもの）がある
- キ 地域の歴史や文化などを知るための取り組みをしている
- ク 地域の多様な組織（団体・NPO、企業など）が地域活動に参加している
- ケ 小学校区を越えた他地域のグループ・団体との交流がある

1 あてはまる 2 どちらともいえない 3 どちらともいえない 4 わからない

【全 県】

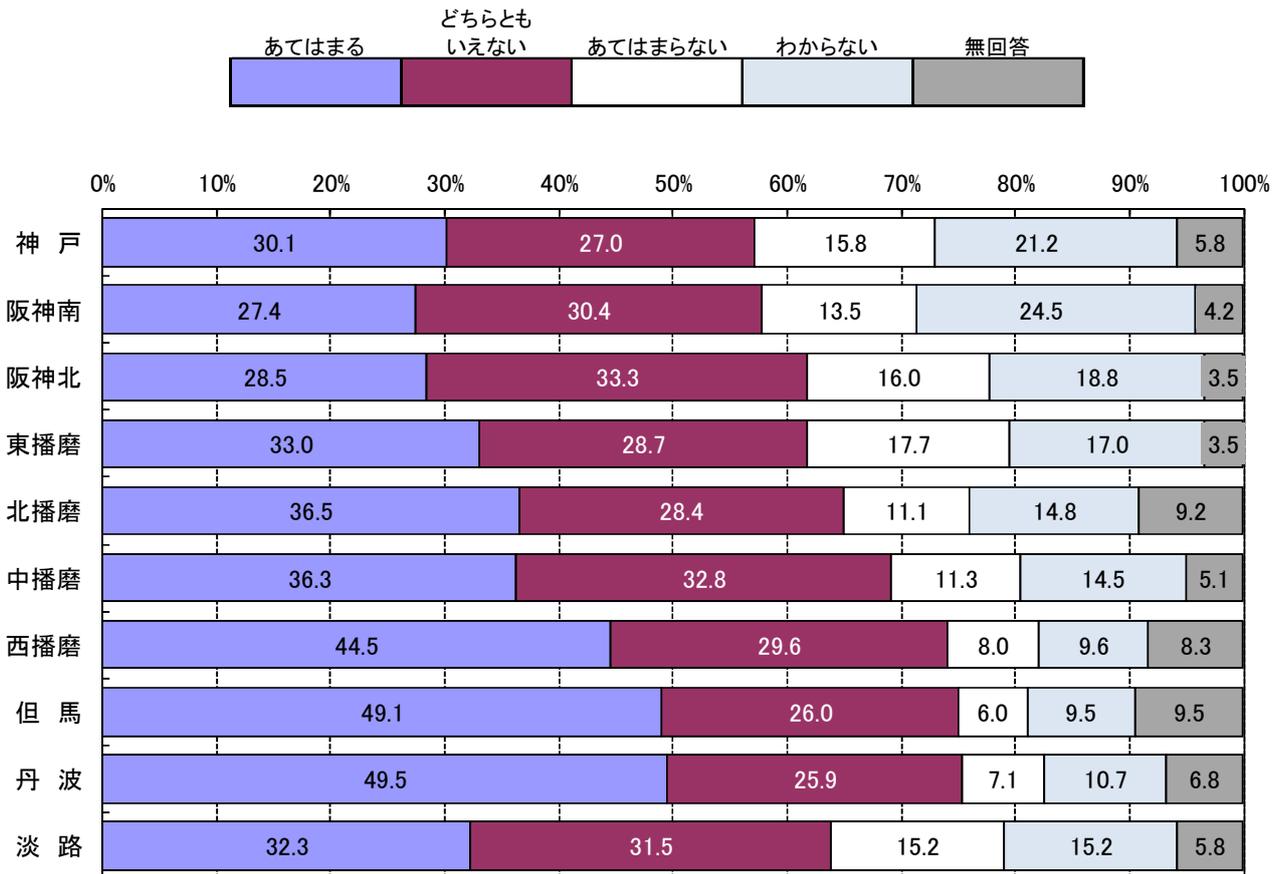
地域の様子で「あてはまる」が最も多いのは、「エ 地域のルールやマナー（ゴミの出し方など）がよく守られている」で、次いで「ウ 地域の人たちが集える施設がある」、「イ 年齢・性別を問わず参加できる地域の行事や活動がある」が続いている。



〔ア あいさつを奨励している〕

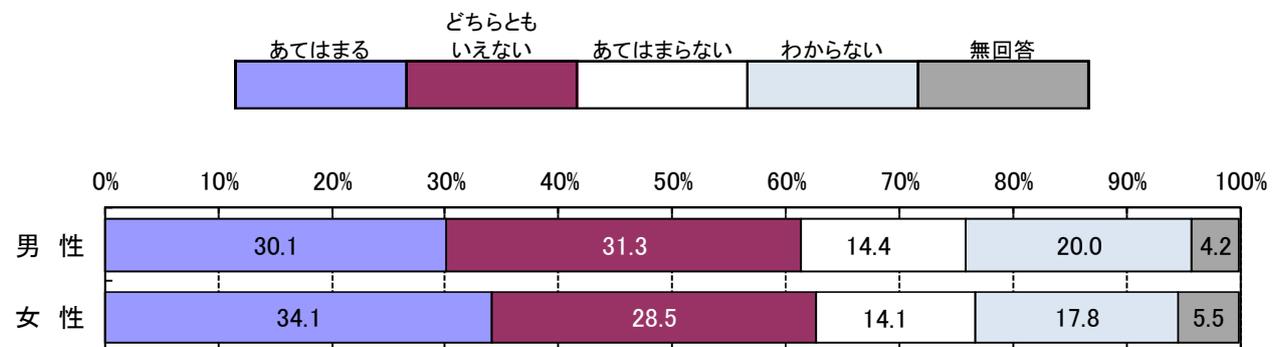
【地域別】

「あてはまる」は丹波が最も高く、但馬、西播磨、北播磨、中播磨、東播磨の順で全県（32.4%）を上回った。



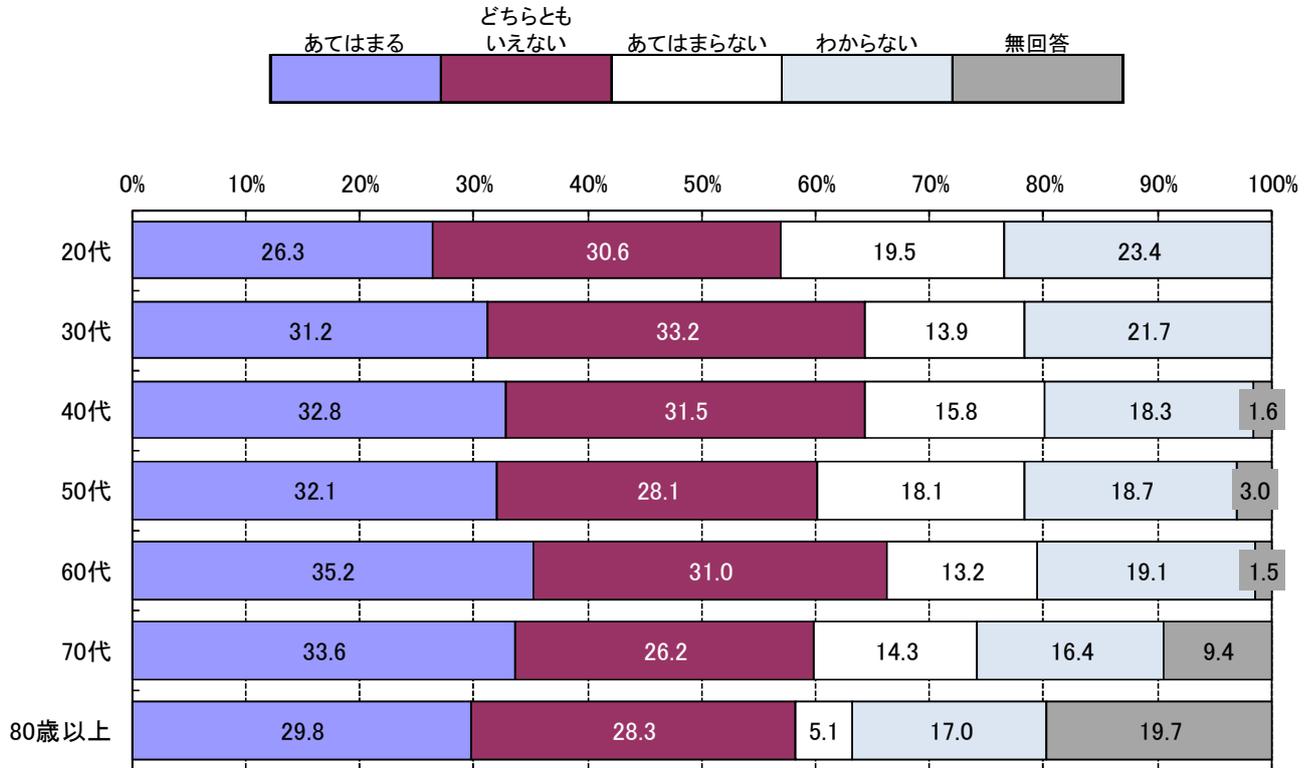
【性別】

「あてはまる」は、女性が男性より4.0ポイント高い。

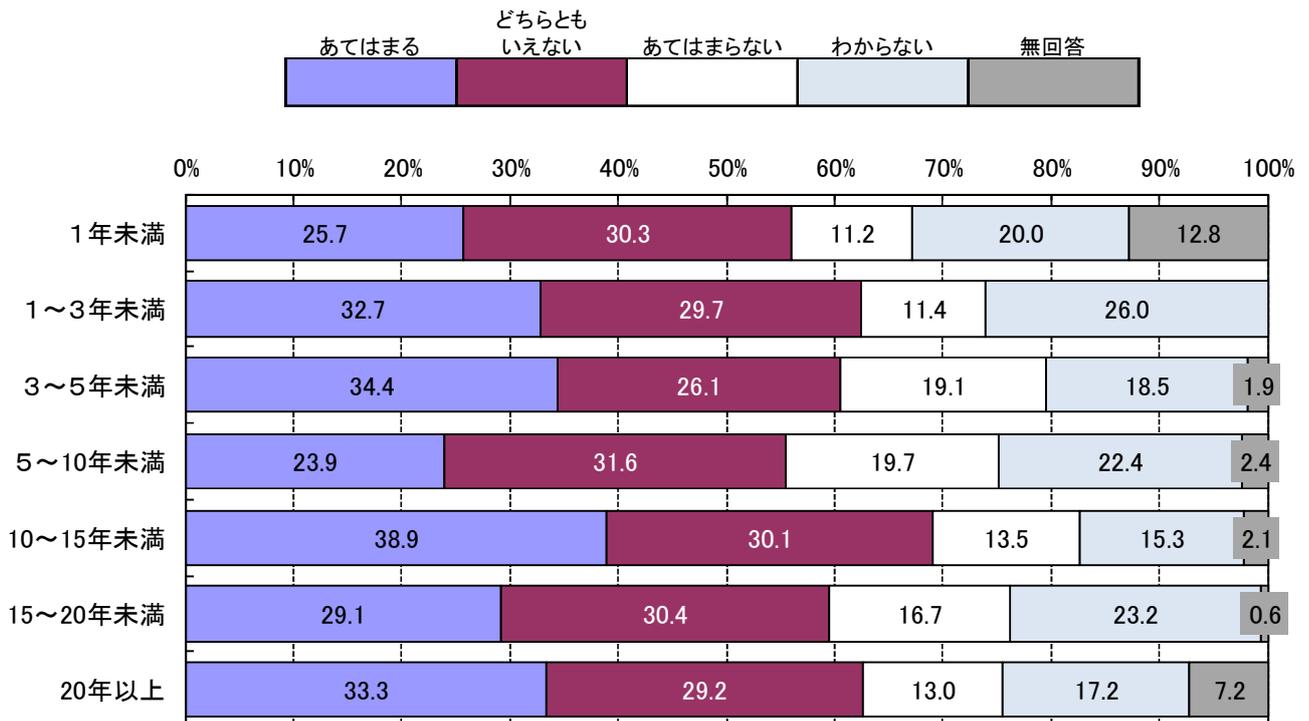


【年代別】

「あてはまる」は60代が最も高い。



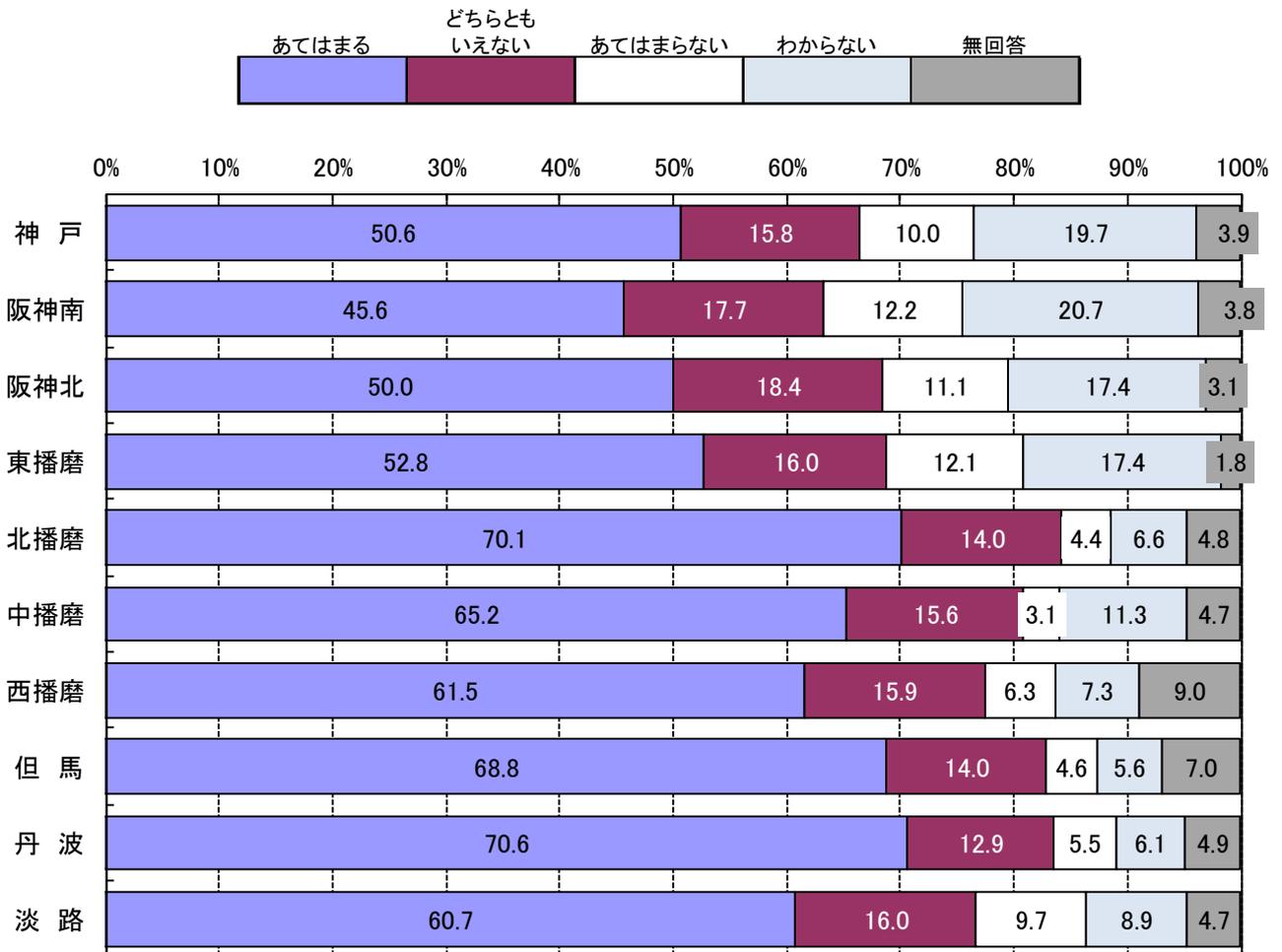
【在住年数別】



〔イ 年齢・性別を問わず参加できる地域の行事や活動がある〕

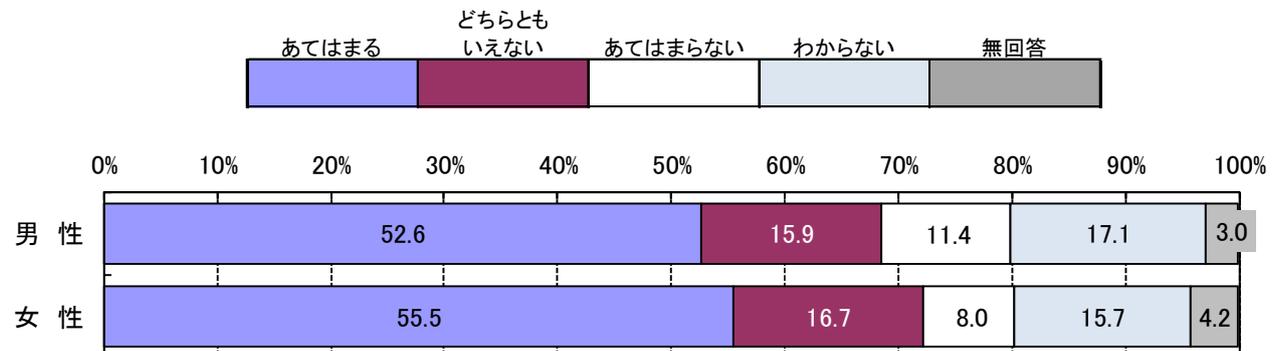
【地域別】

「あてはまる」は丹波が最も高く、北播磨、但馬、中播磨、西播磨、淡路の順で全県（54.0%）を上回った。

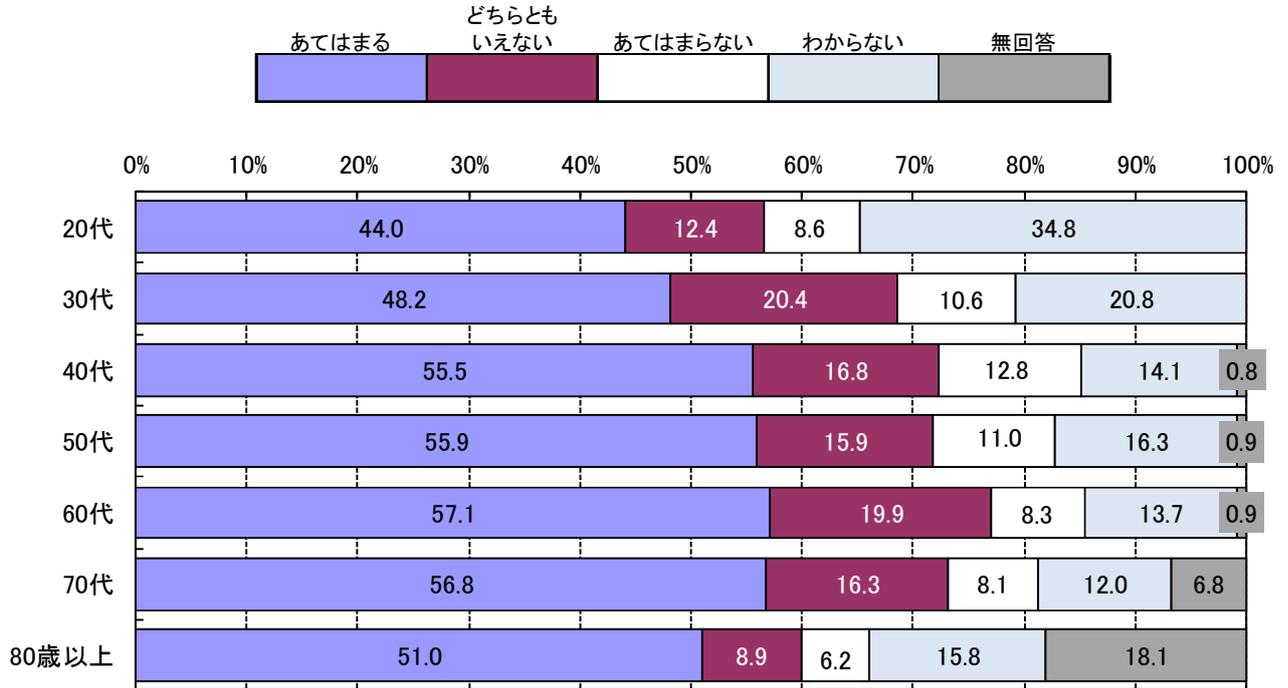


【性別】

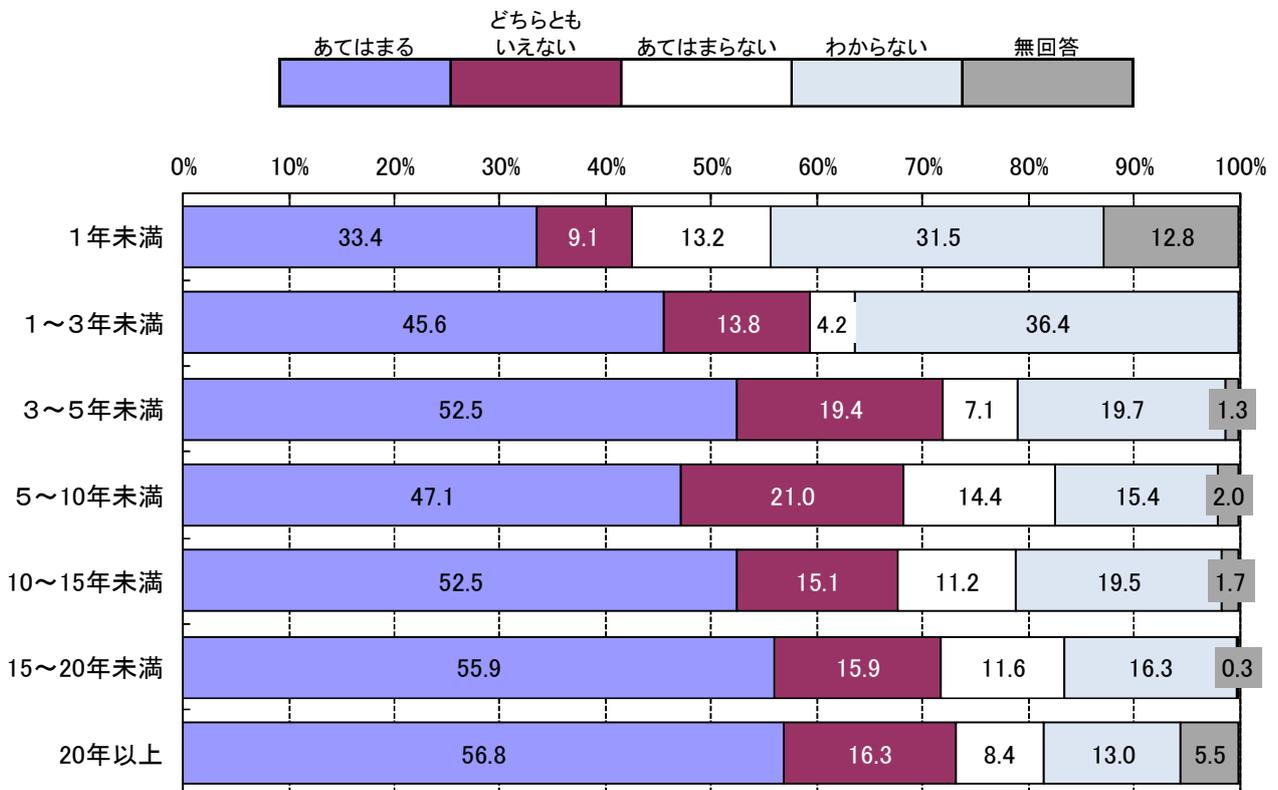
「あてはまる」は、女性が男性より2.9ポイント高い。



【年代別】



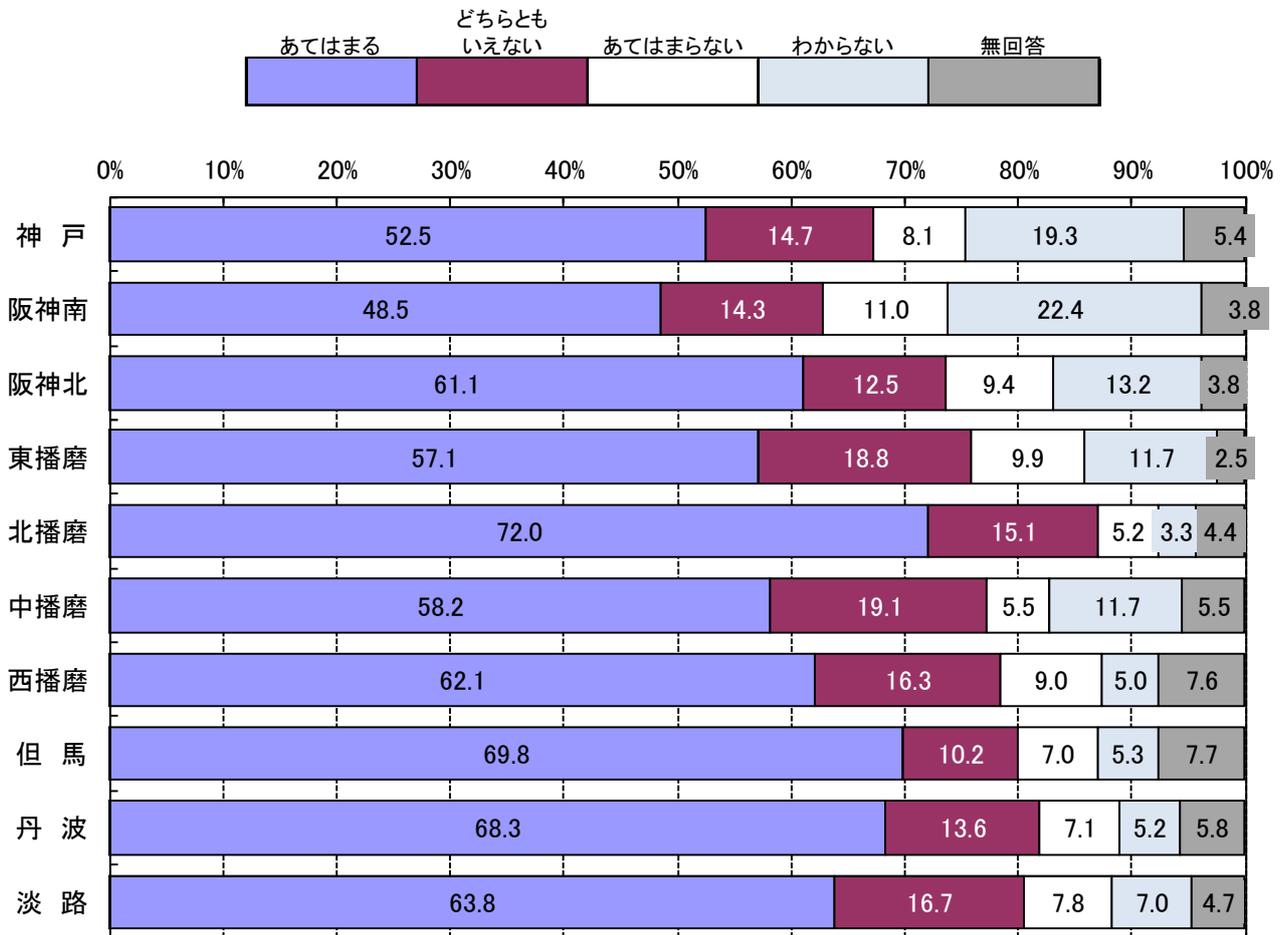
【在住年数別】



〔ウ 地域の人たちが集える施設がある〕

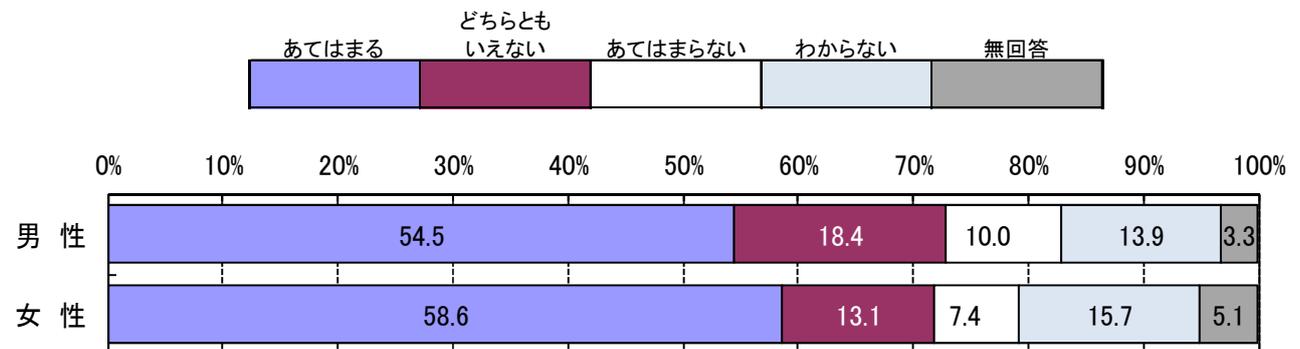
【地域別】

「あてはまる」は北播磨が最も高く、但馬、丹波、淡路、西播磨、阪神北、中播磨、東播磨の順で全県（56.6%）を上回った。



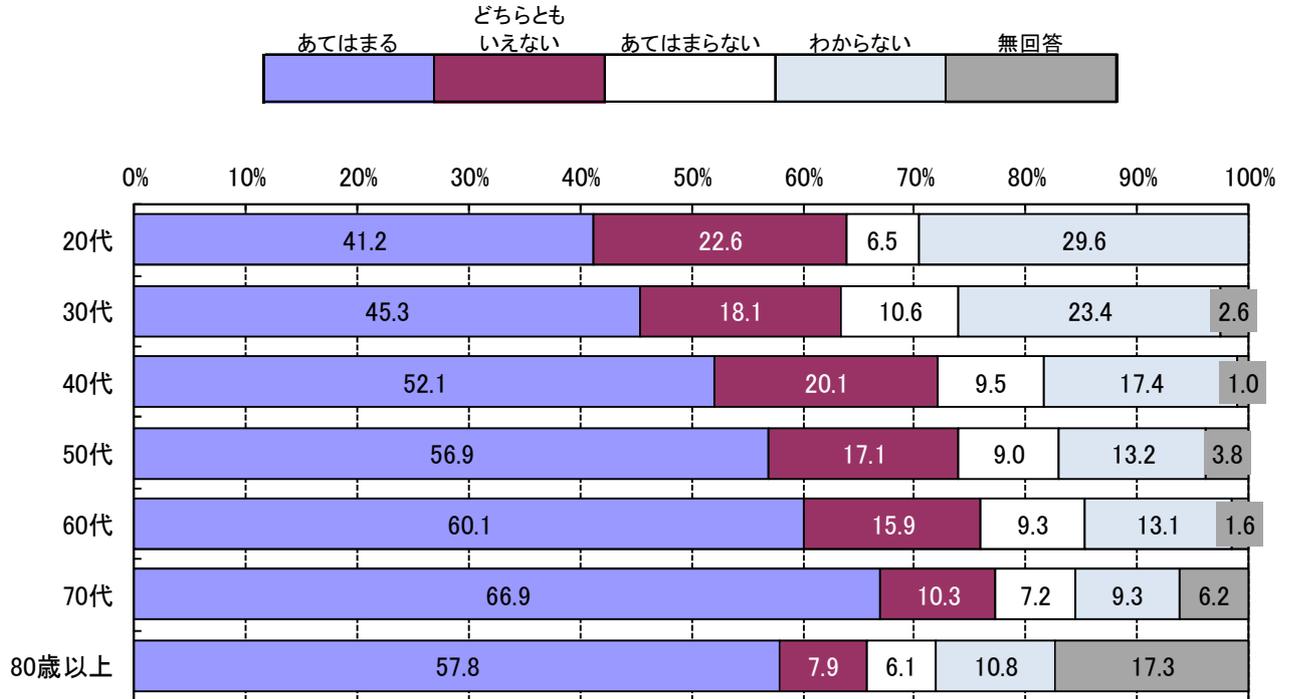
【性別】

「あてはまる」は女性が男性より4.1ポイント高い。

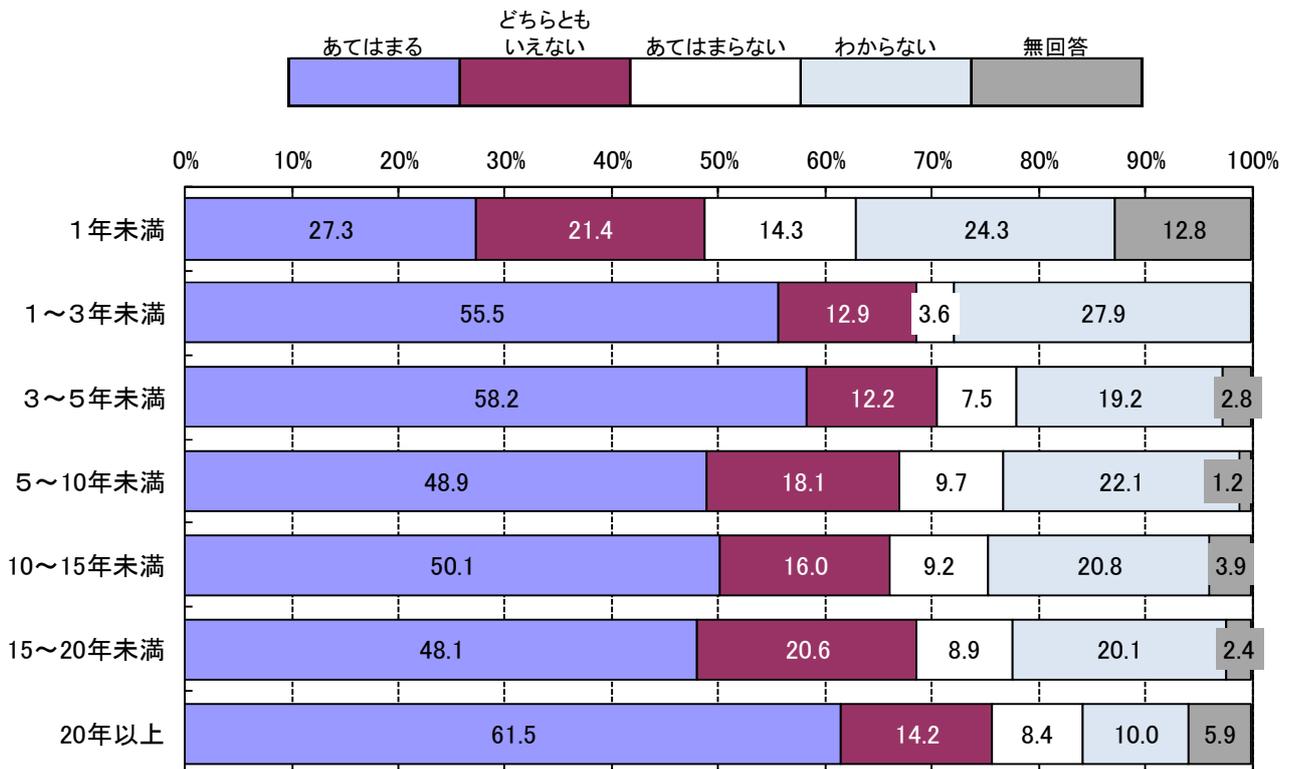


【年代別】

年代の高い方が「あてはまる」の割合が高く、70代が最も高い。



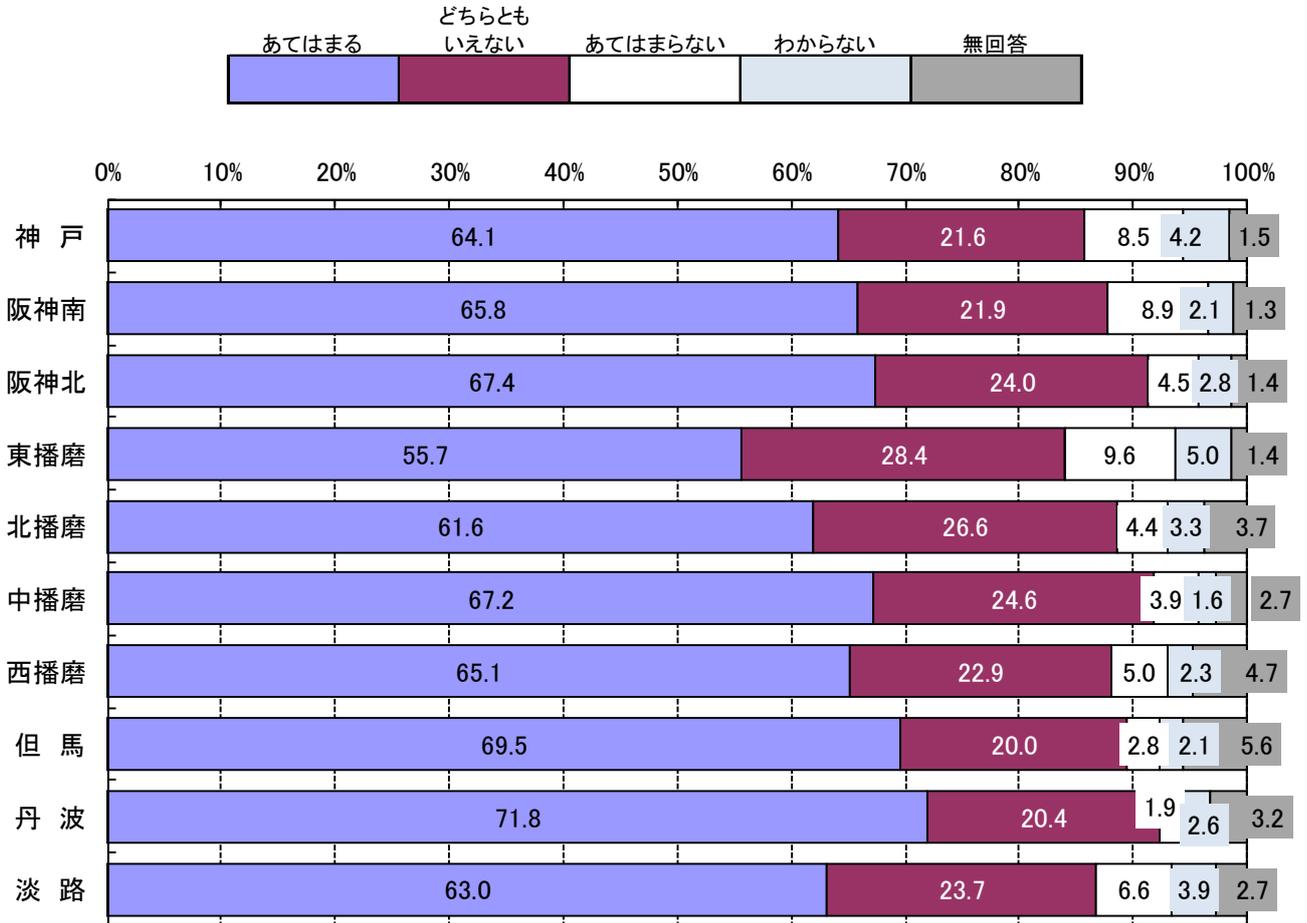
【在住年数別】



〔エ 地域のルールやマナー（ゴミの出し方など）がよく守られている〕

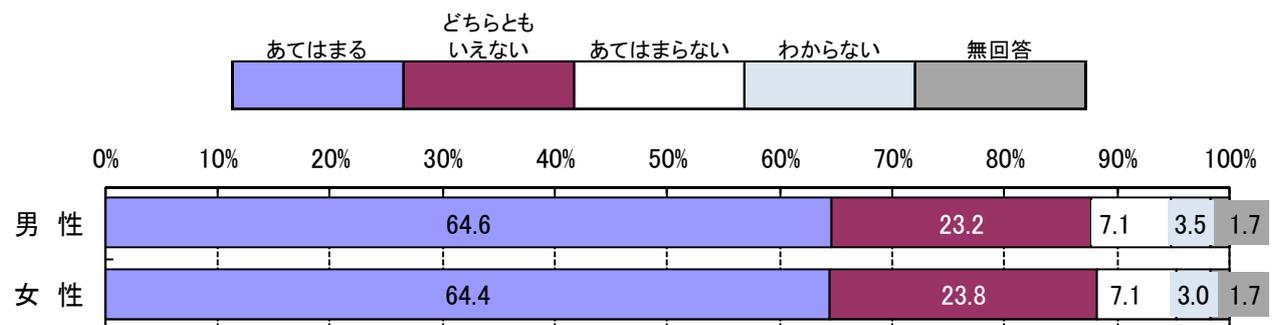
【地域別】

「あてはまる」は丹波が最も高く、但馬、阪神北、中播磨、阪神南、西播磨、北播磨の順で全県（64.3%）を上回った。



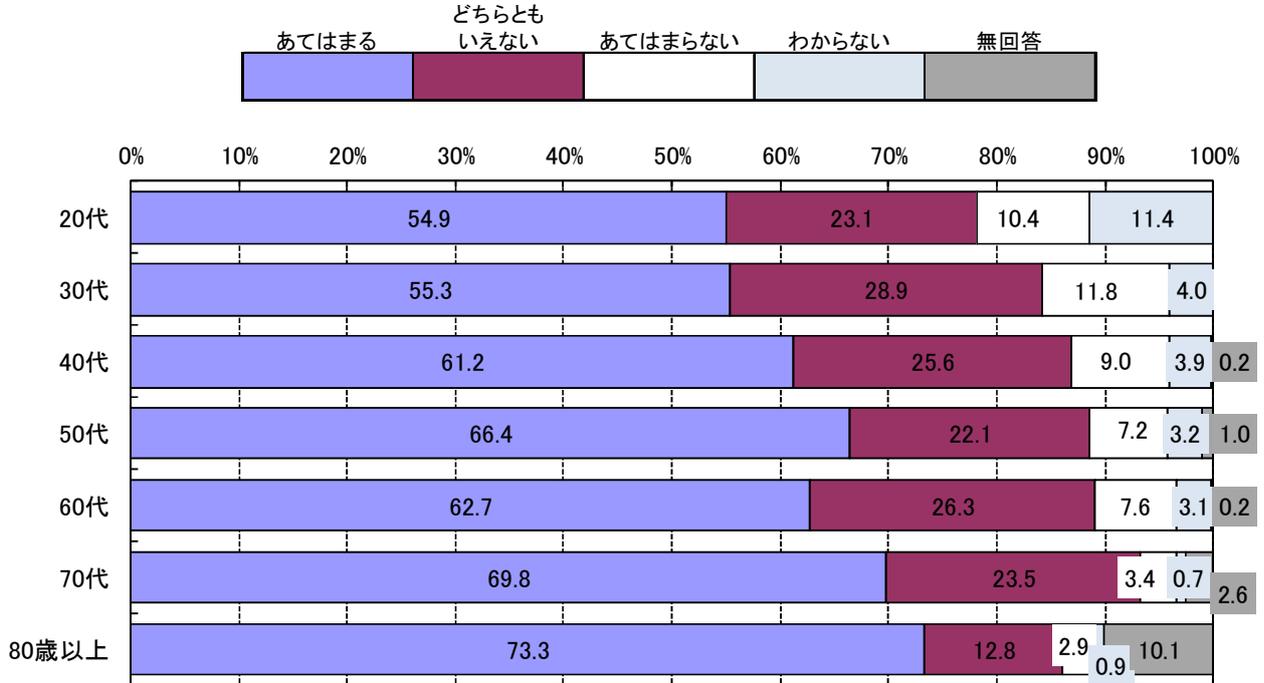
【性別】

男女間で大きな差はない。

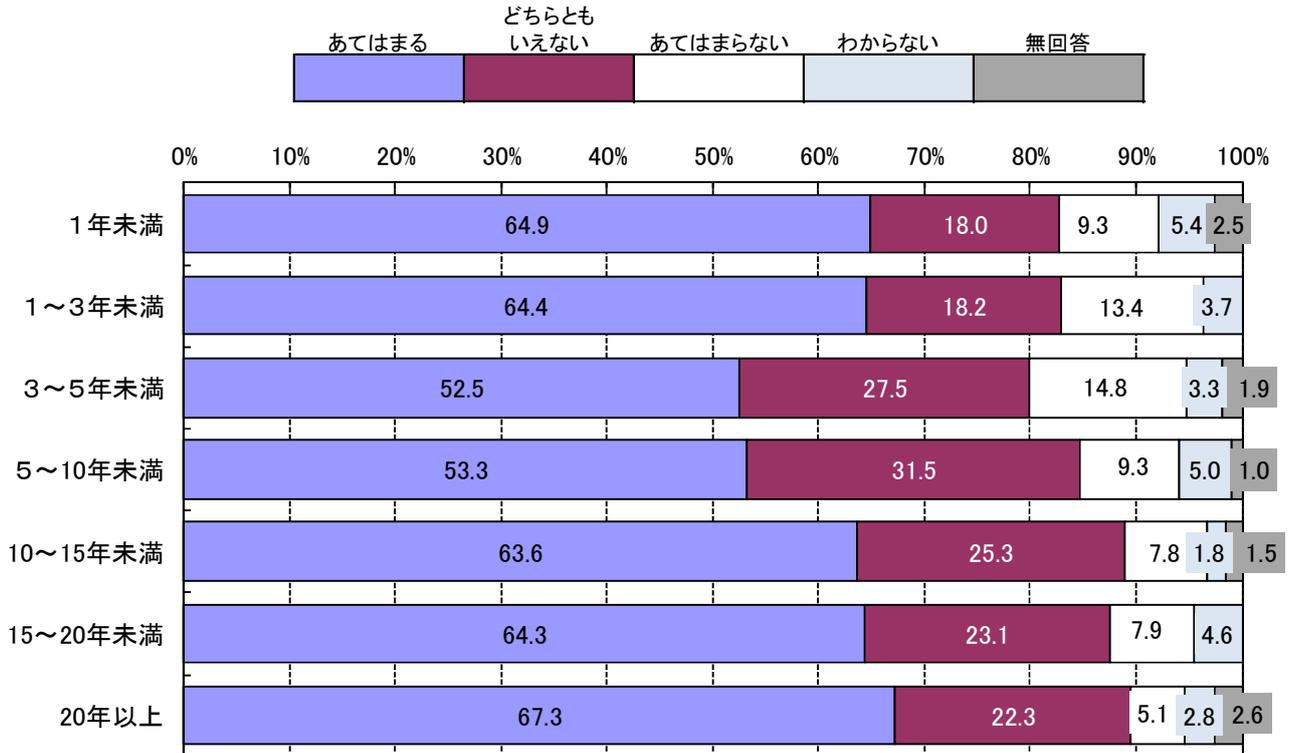


【年代別】

「あてはまる」は80歳以上が7割を超え最も高く、40～70代も6割を超えている。



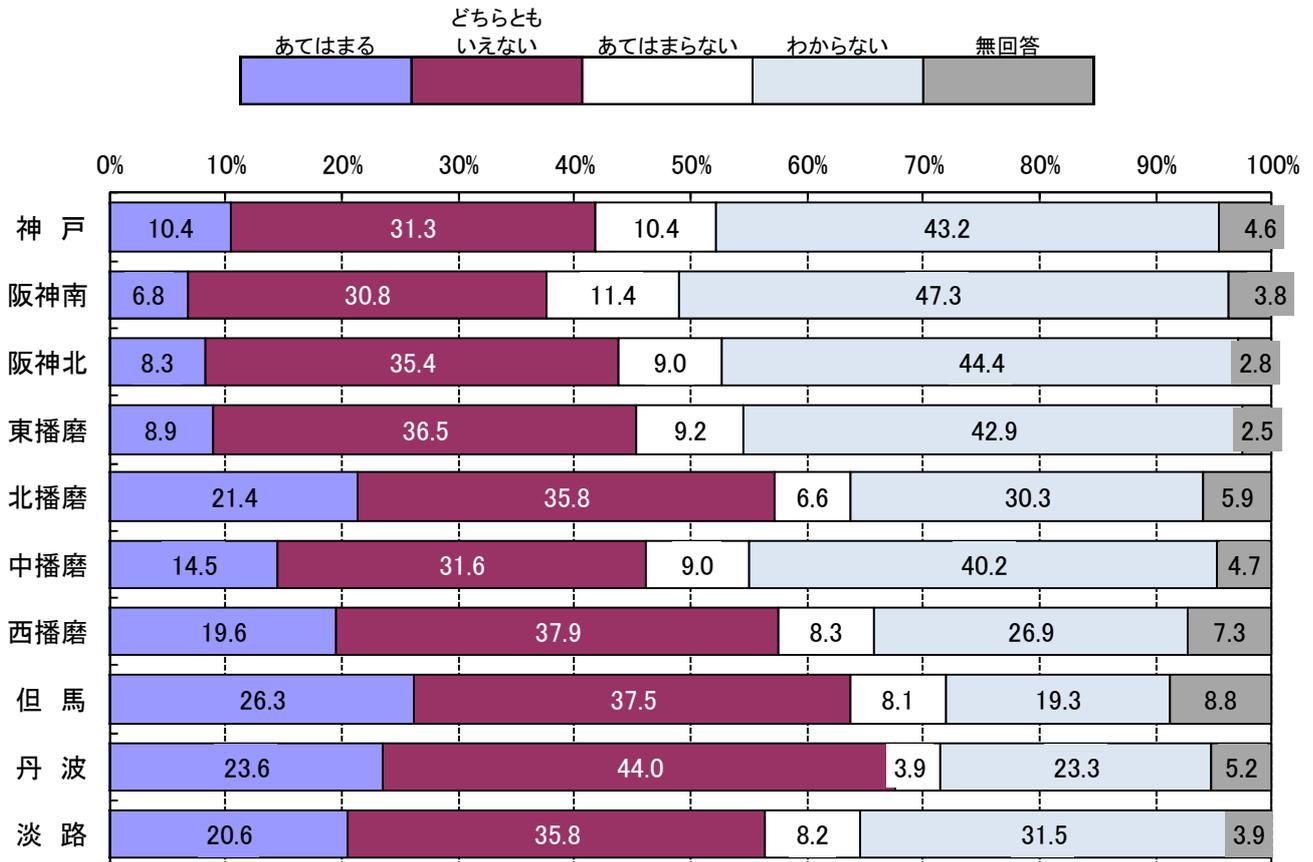
【在住年数別】



【オ 地域の人たちは地域のかかえている課題について知っている】

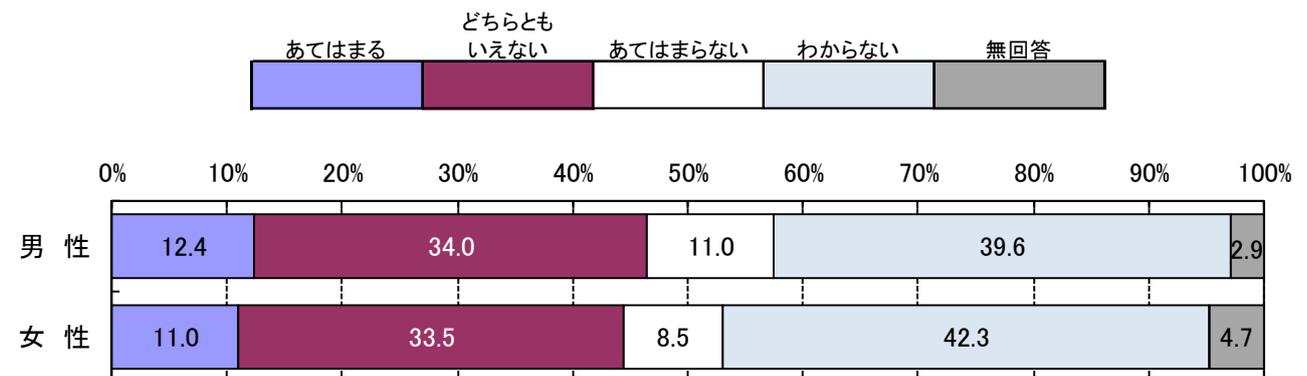
【地域別】

「あてはまる」は但馬が最も高く、丹波、北播磨、淡路、西播磨、中播磨の順で全県（11.6%）を上回っている。



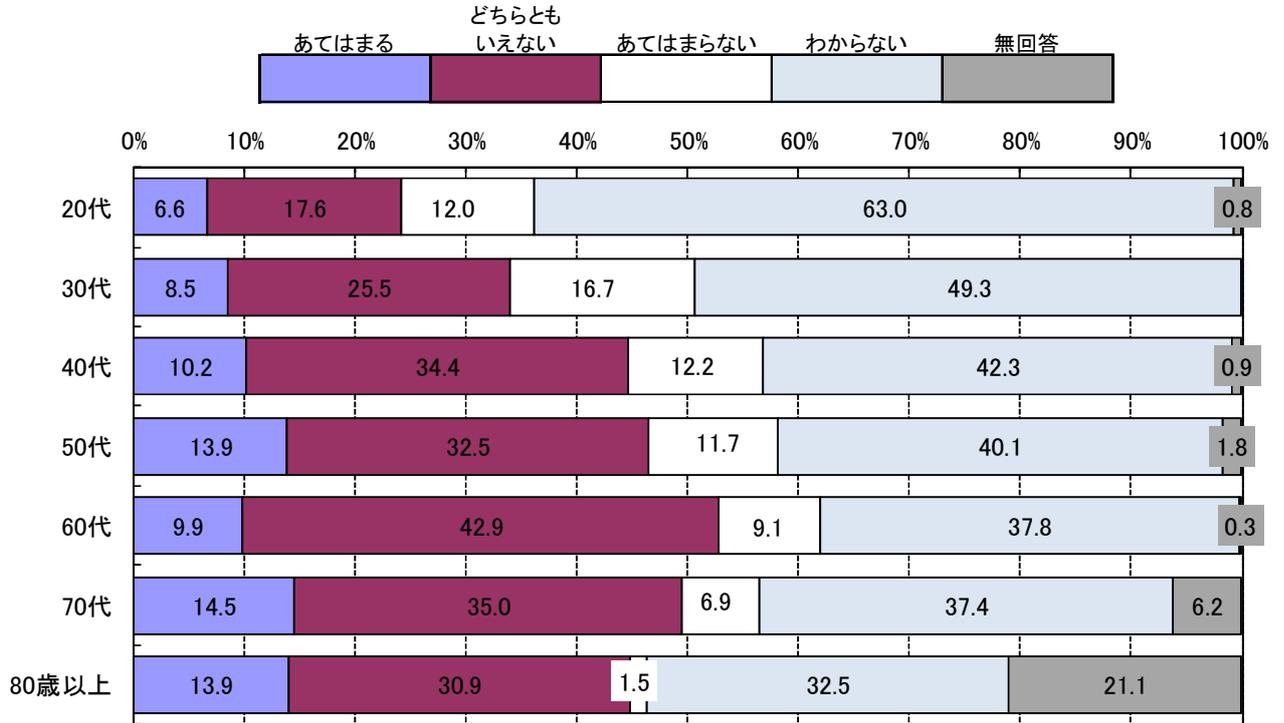
【性別】

「あてはまる」は男性が女性より1.4ポイント高い。

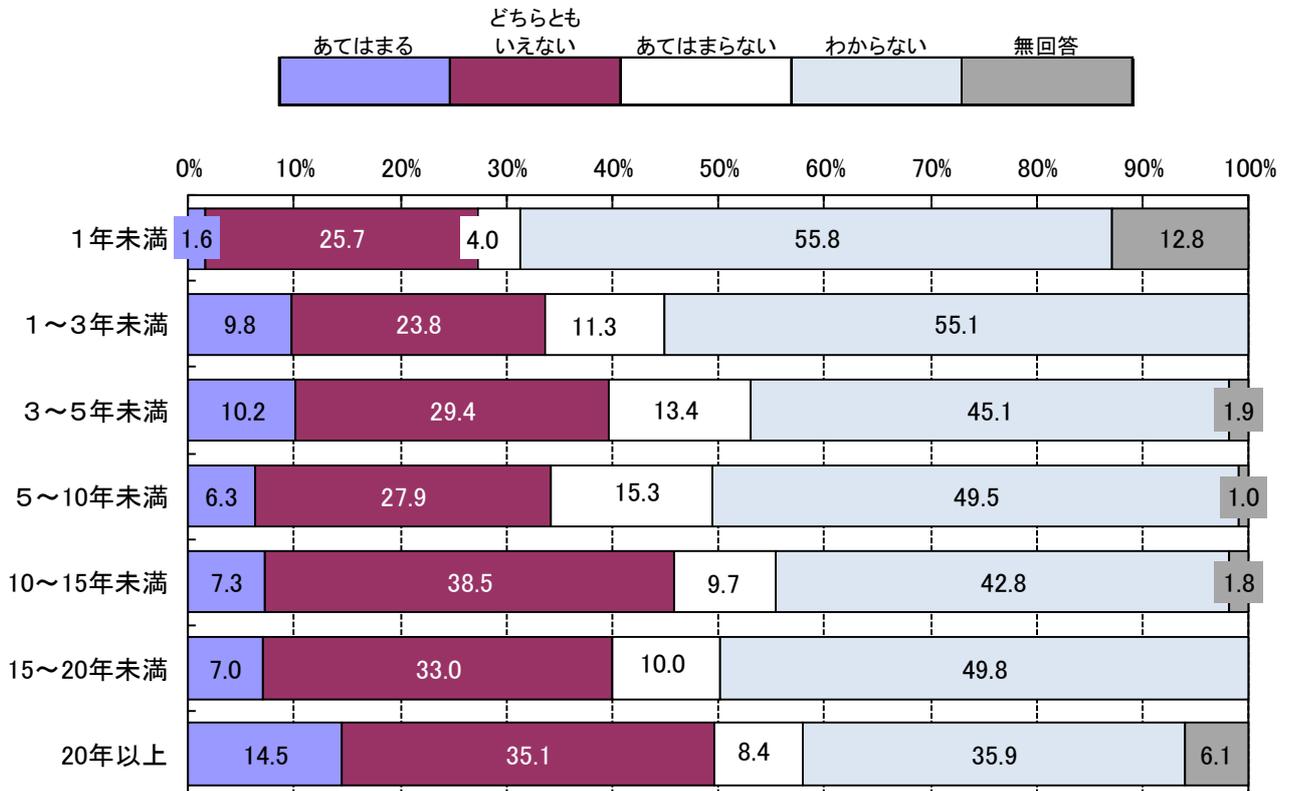


【年代別】

「あてはまる」は70代が最も高く、50代、80歳以上が続いている。



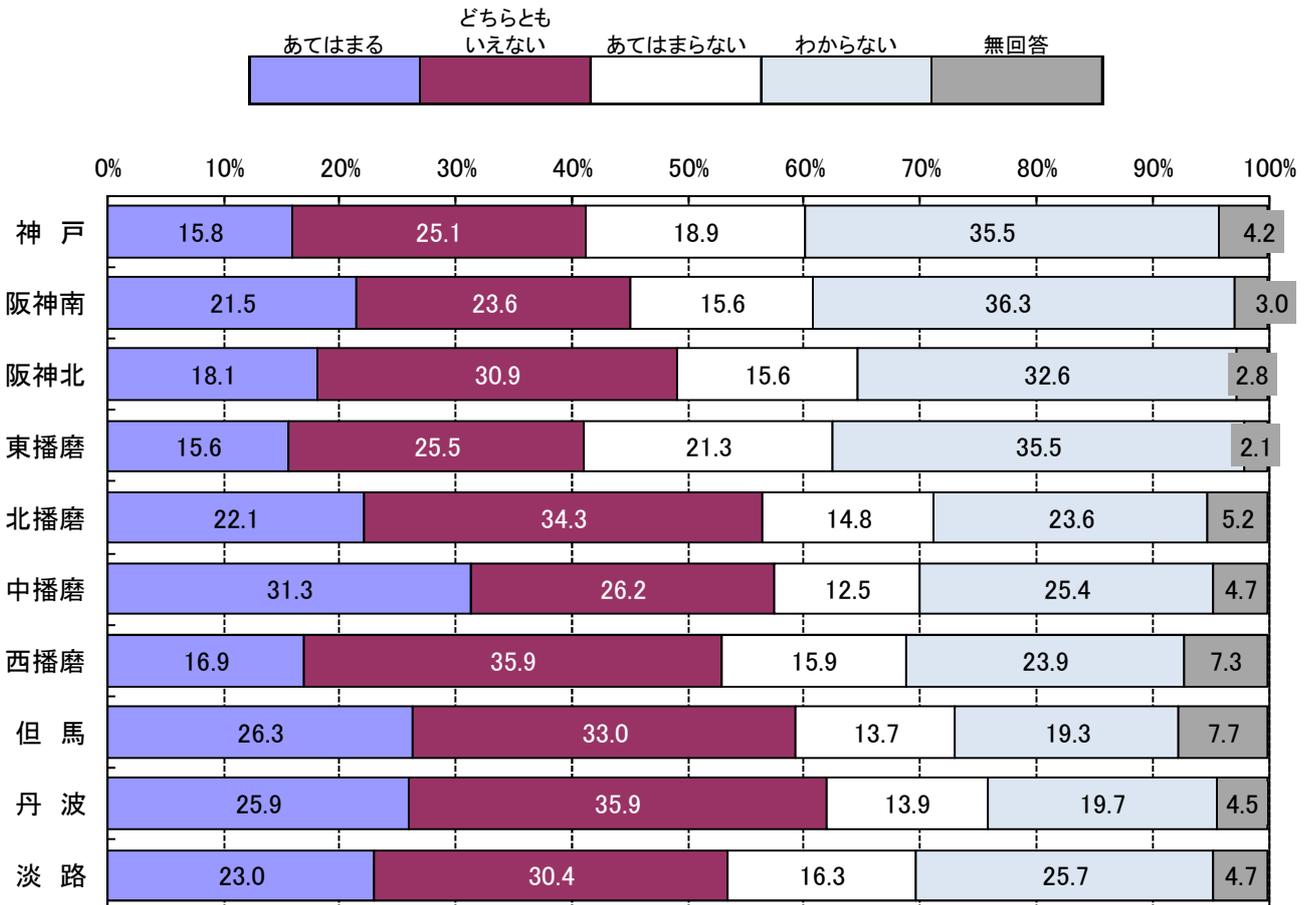
【在住年数別】



〔力 地域の人たちが共有する地域の魅力（自慢できるもの）がある〕

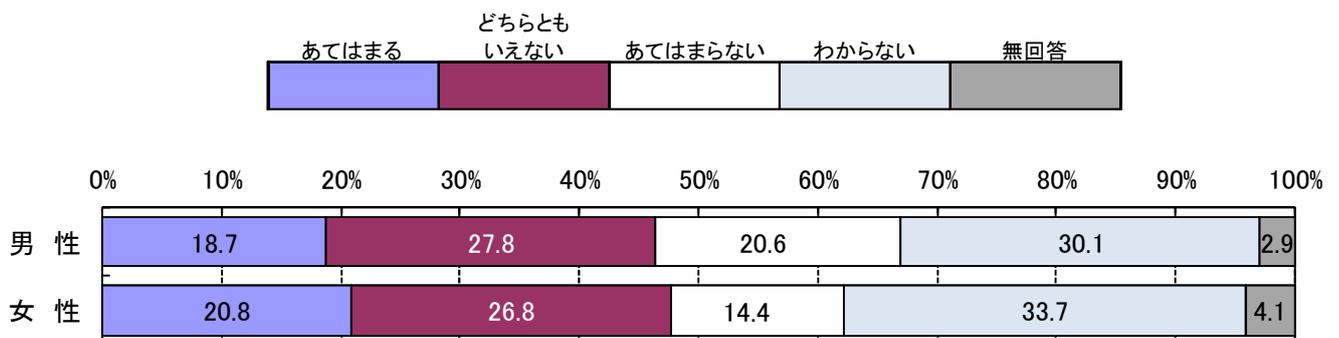
【地域別】

「あてはまる」は中播磨が最も高く、但馬、丹波、淡路、北播磨、阪神南の順で全県（19.8%）を上回っている。



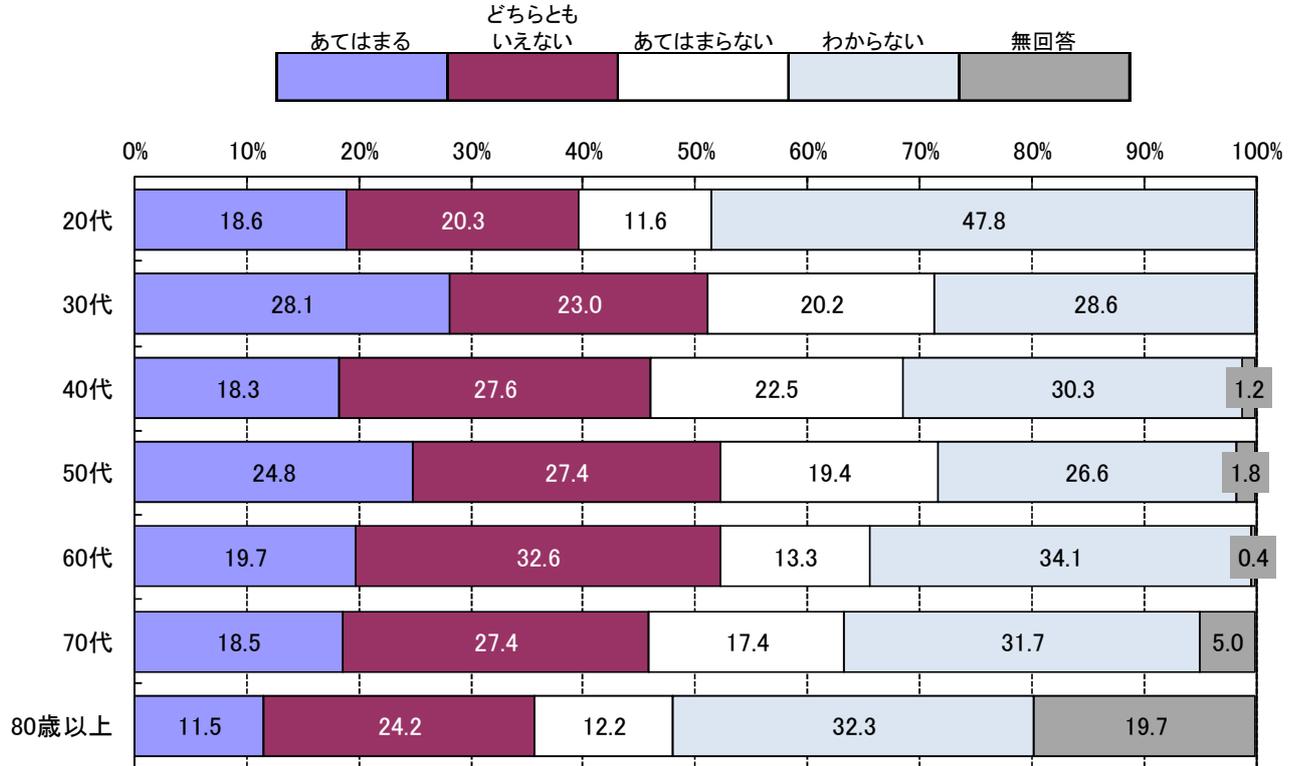
【性別】

「あてはまる」は女性が男性より2.1ポイント高い。

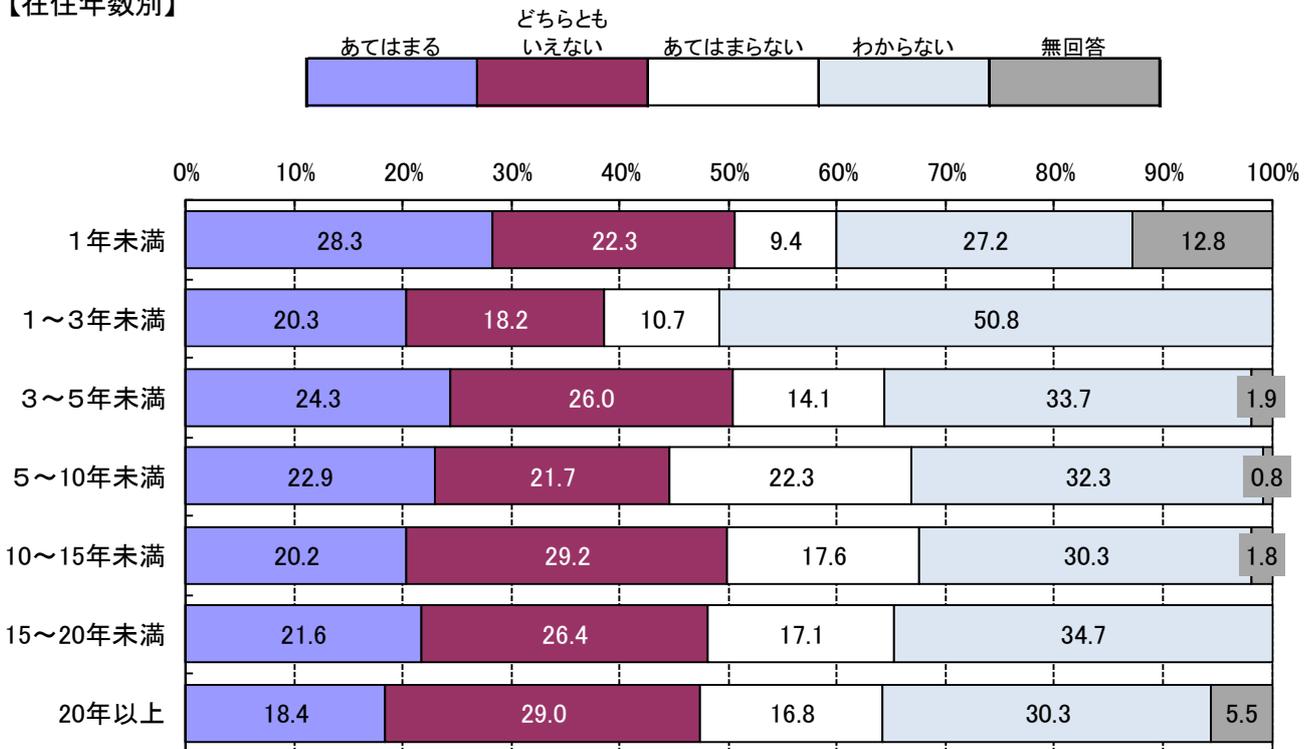


【年代別】

「あてはまる」は30代が最も高く、50代、60代が続いている。



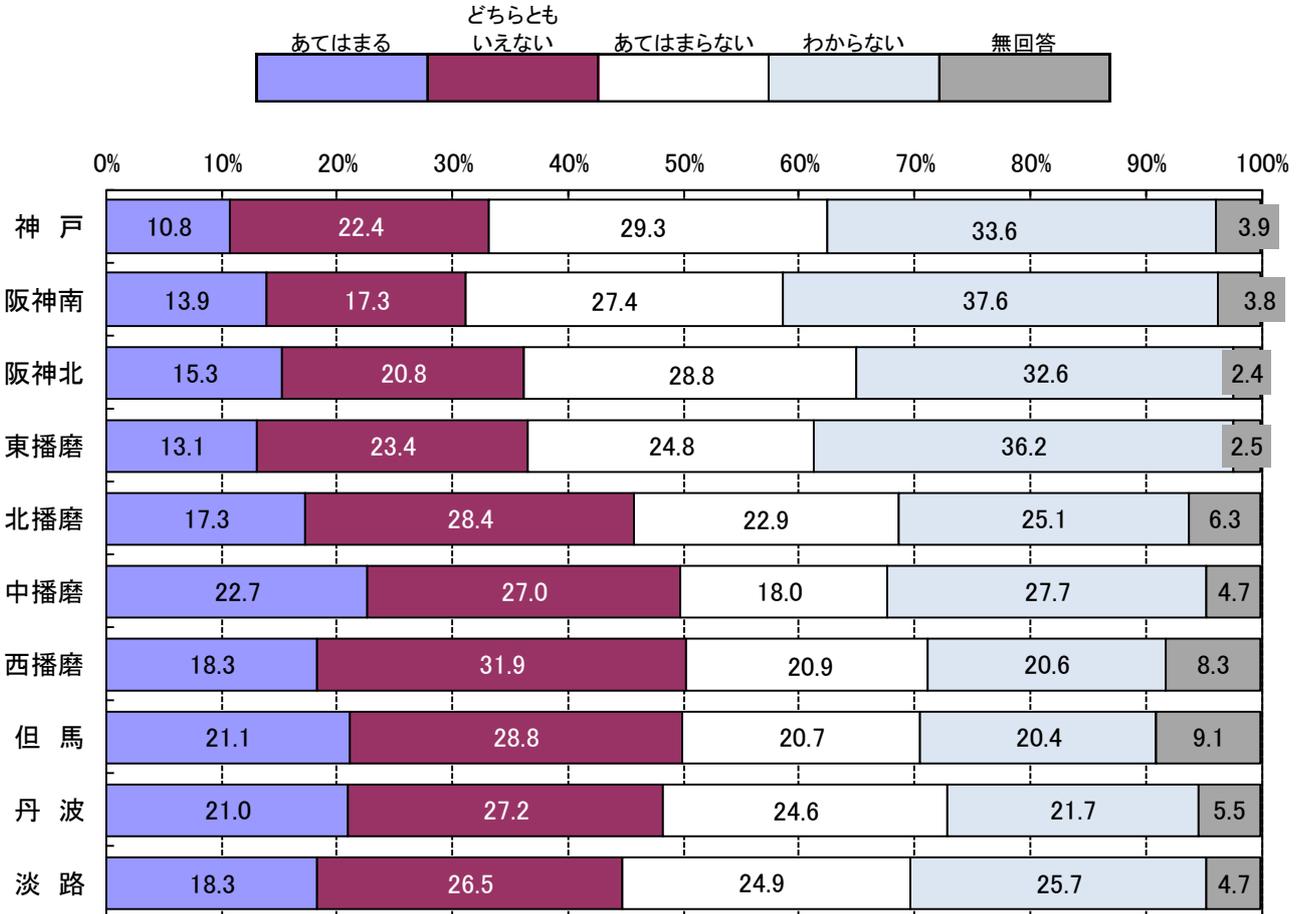
【在住年数別】



〔キ 地域の歴史や文化などを知るための取組をしている〕

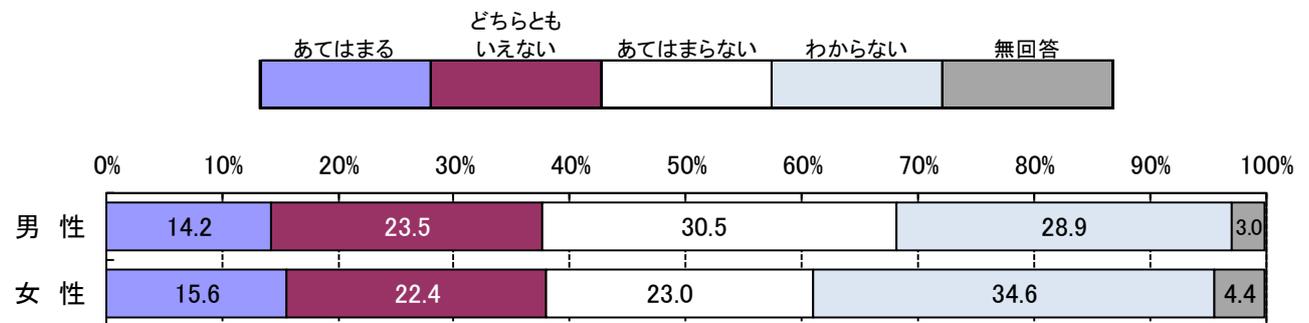
【地域別】

「あてはまる」は中播磨が最も高く、神戸、阪神南、東播磨以外は全県（14.9%）を上回っている。

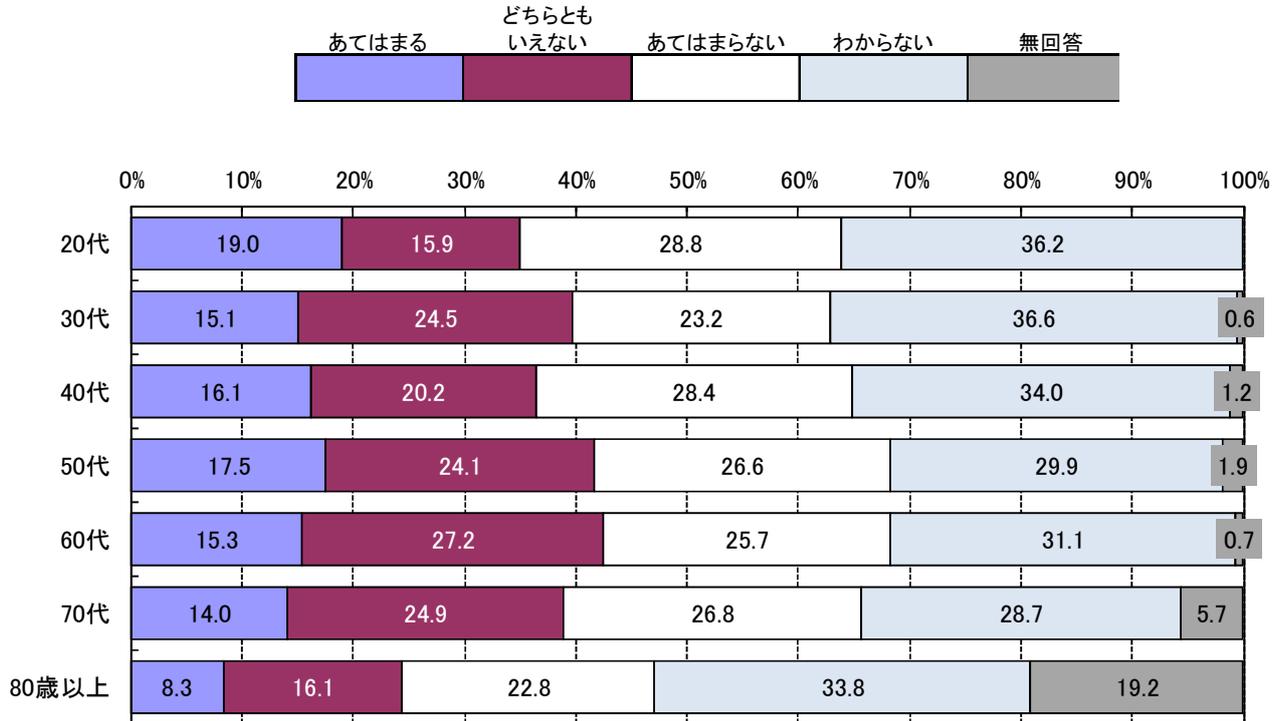


【性別】

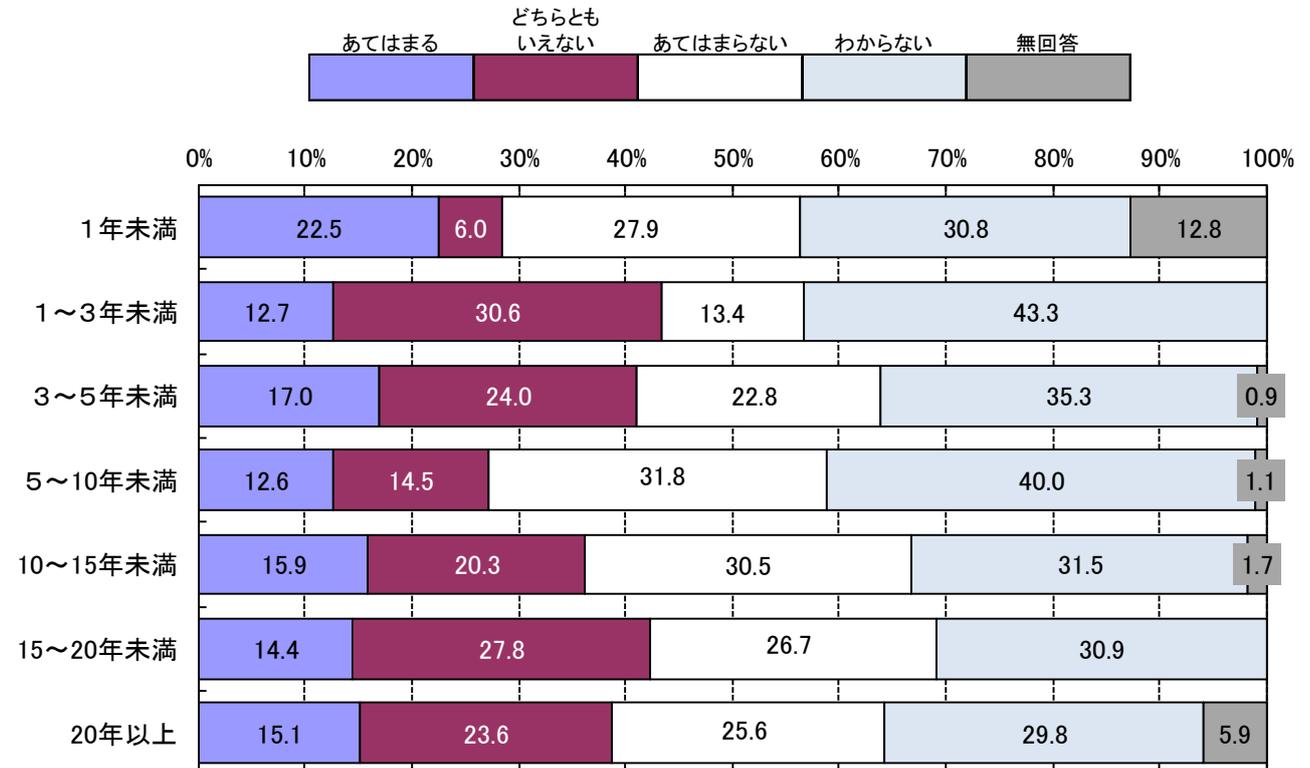
「あてはまる」は女性が男性より1.4ポイント高い。



【年代別】



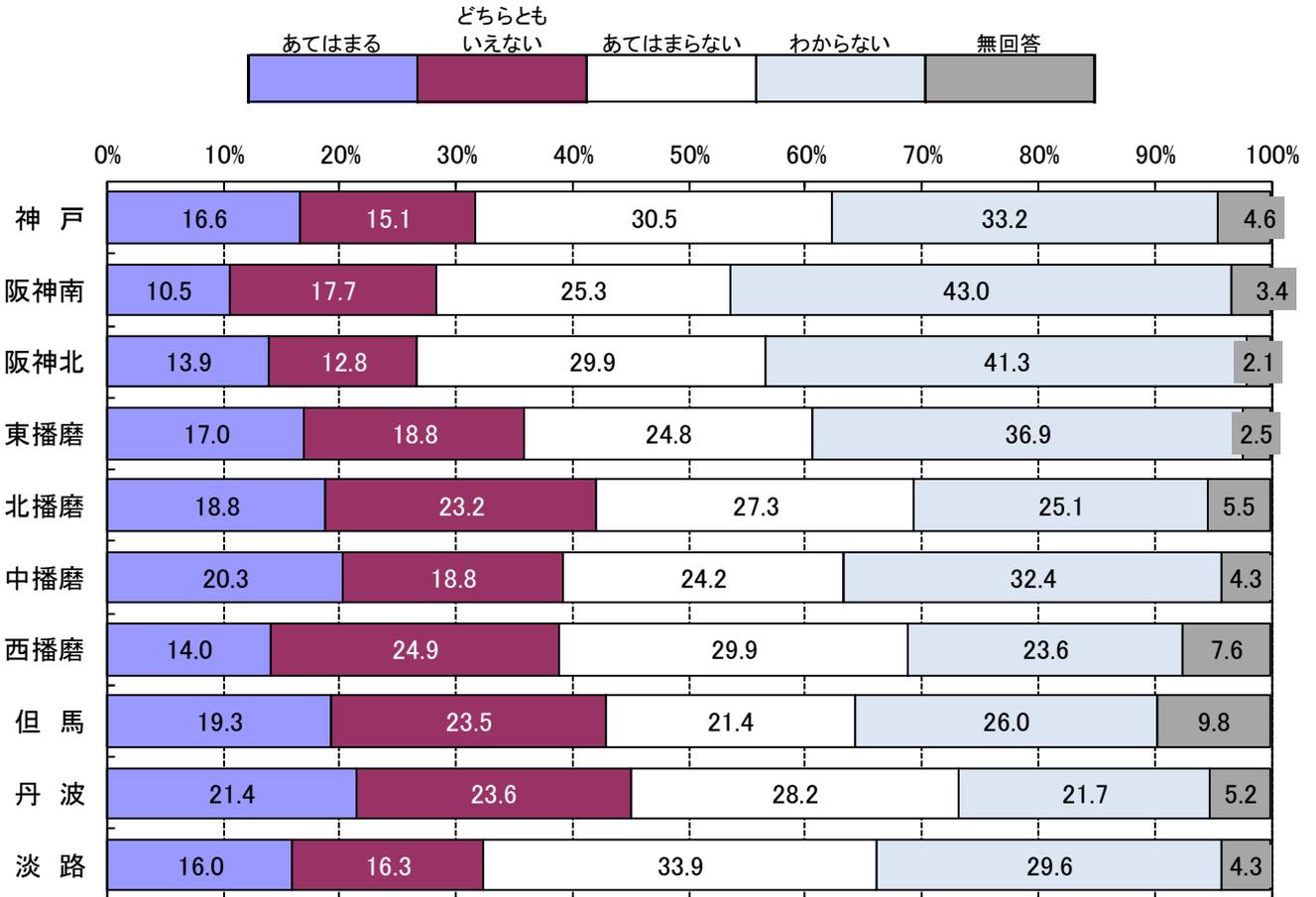
【在住年数別】



【ク 地域の多様な組織（団体・NPO・企業など）が地域活動に参加している】

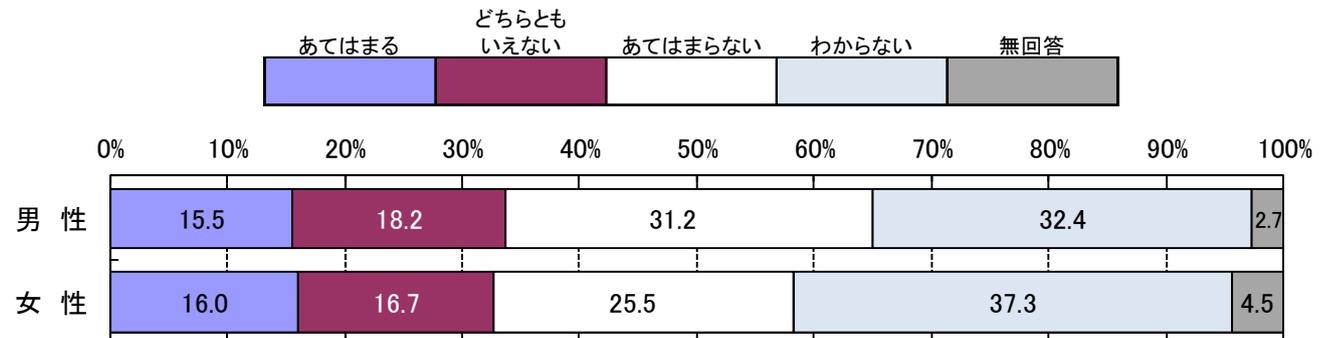
【地域別】

「あてはまる」は丹波が最も高く、中播磨、但馬、北播磨、東播磨、神戸、淡路の順で全県（15.7%）を上回った。

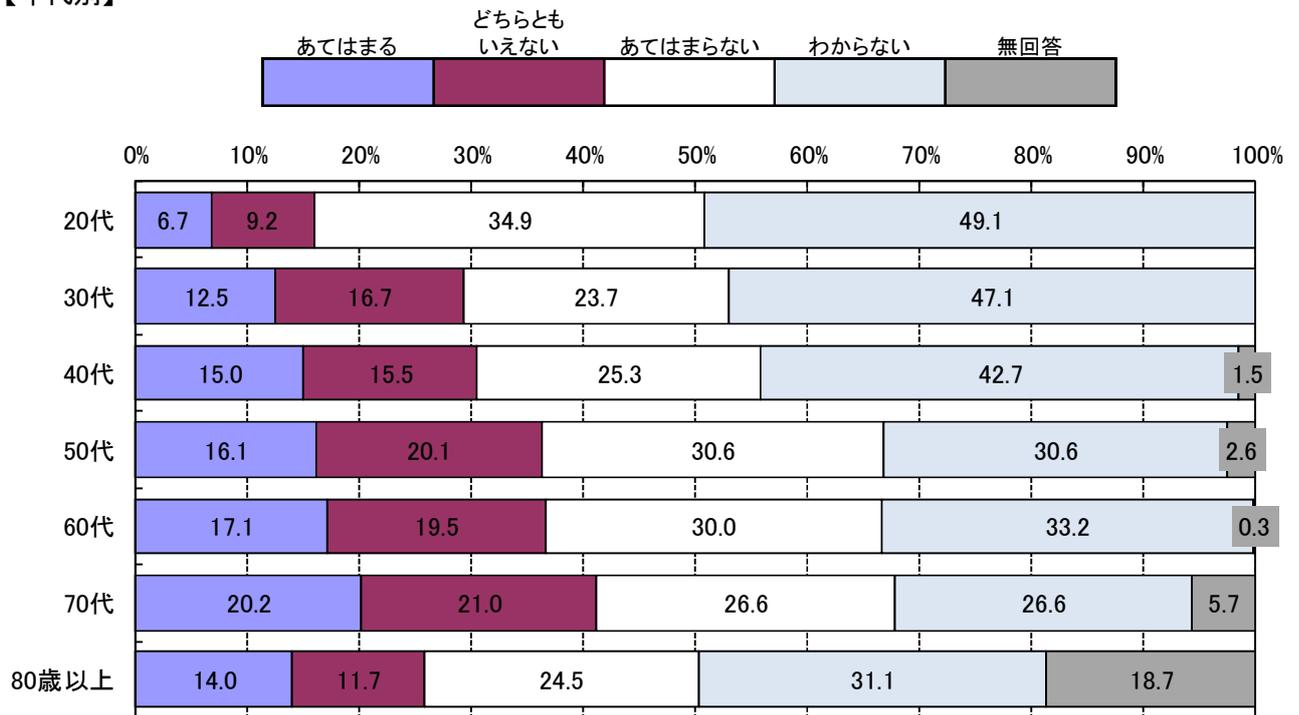


【性別】

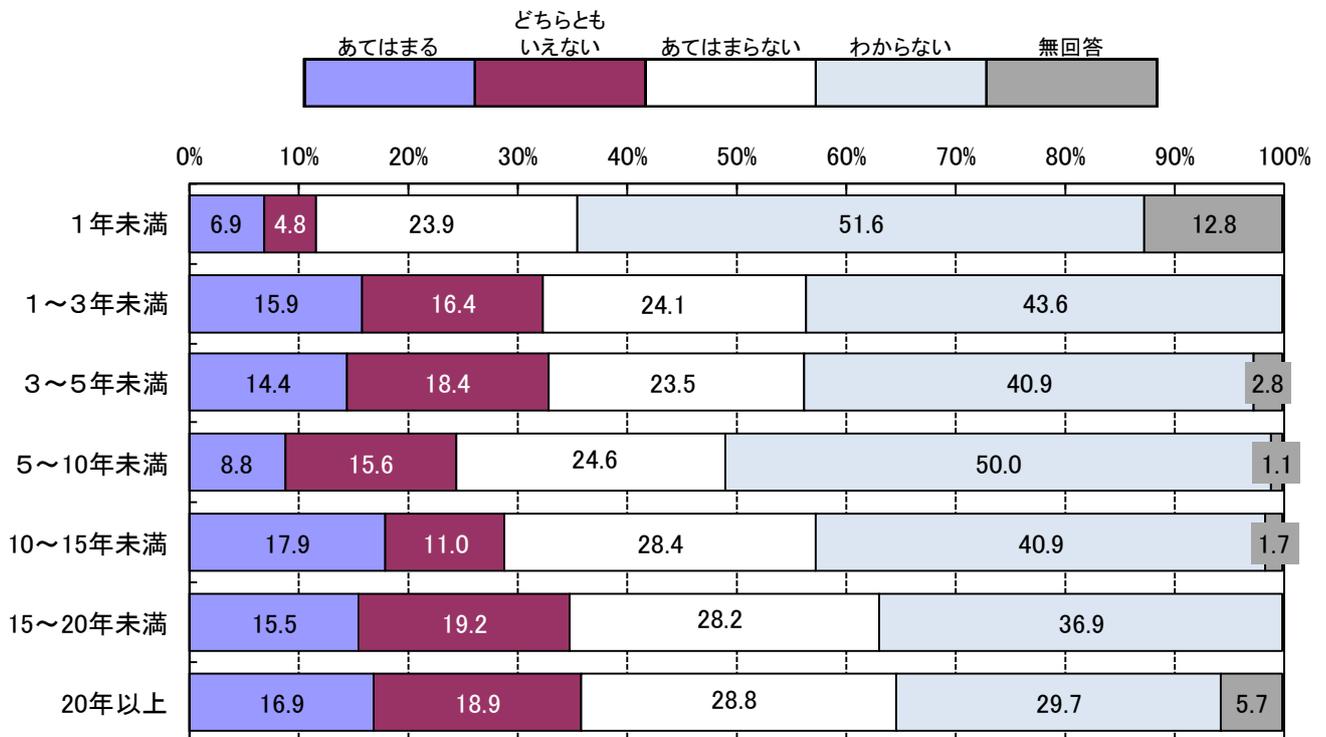
「あてはまらない」は男性が女性より5.7ポイント高い。



【年代別】



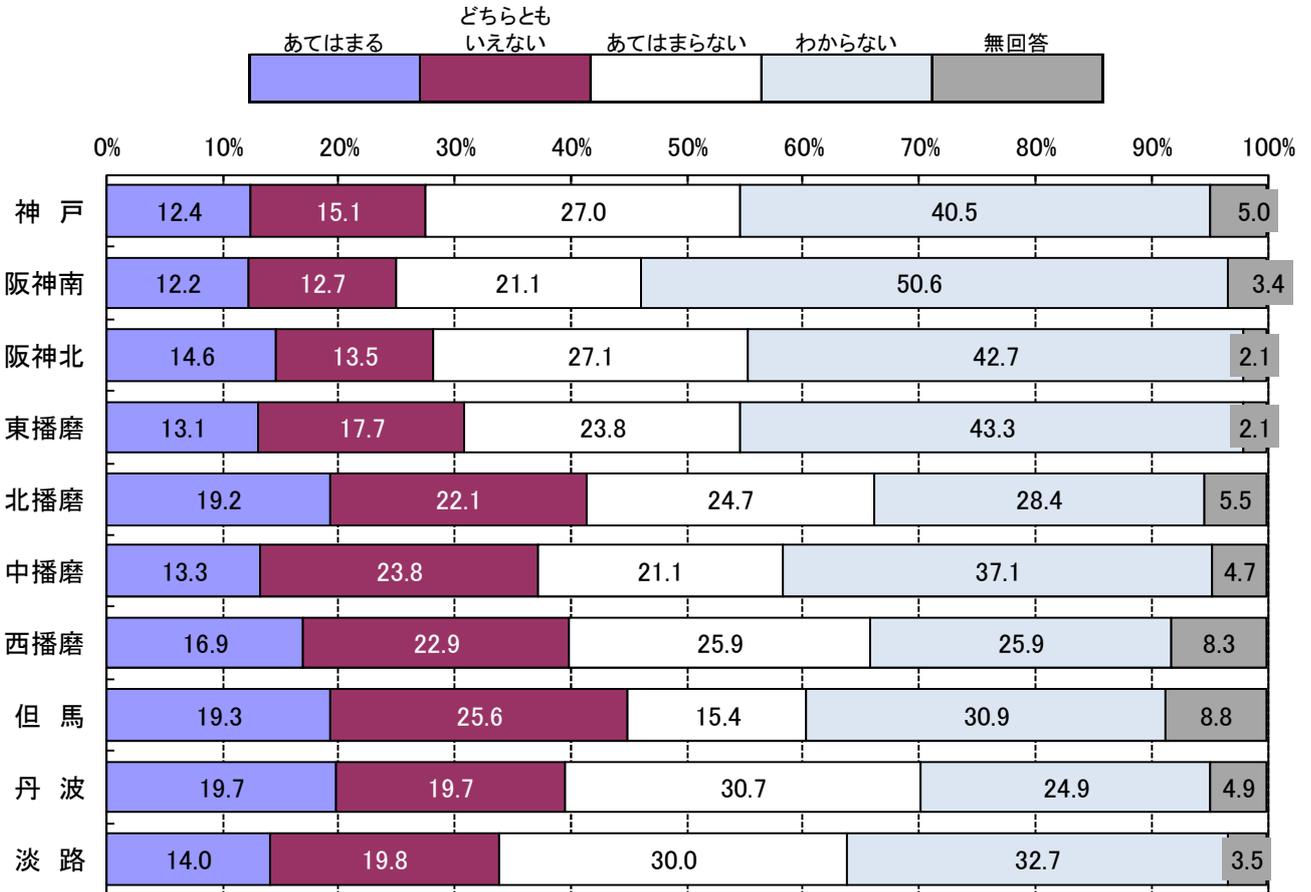
【在住年数別】



〔ケ 小学校区を超えた他地域のグループ・団体との交流がある〕

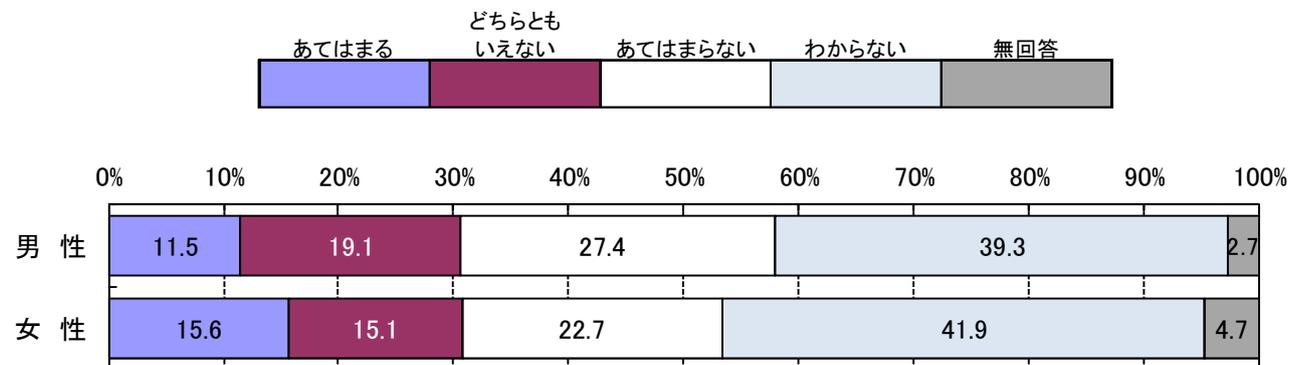
【地域別】

「あてはまる」は丹波が最も高く、但馬、北播磨、西播磨、阪神北、淡路の順で全県（13.8%）を上回っている。



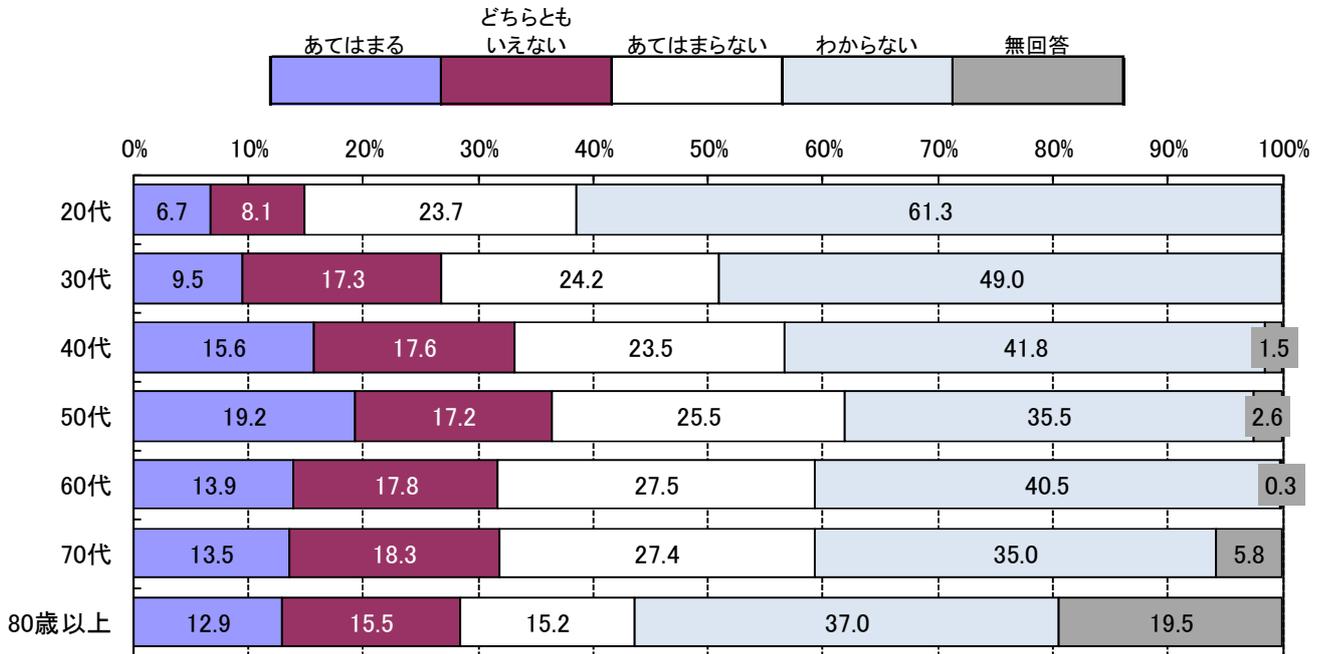
【性別】

「あてはまる」は女性が男性より4.1ポイント高い。

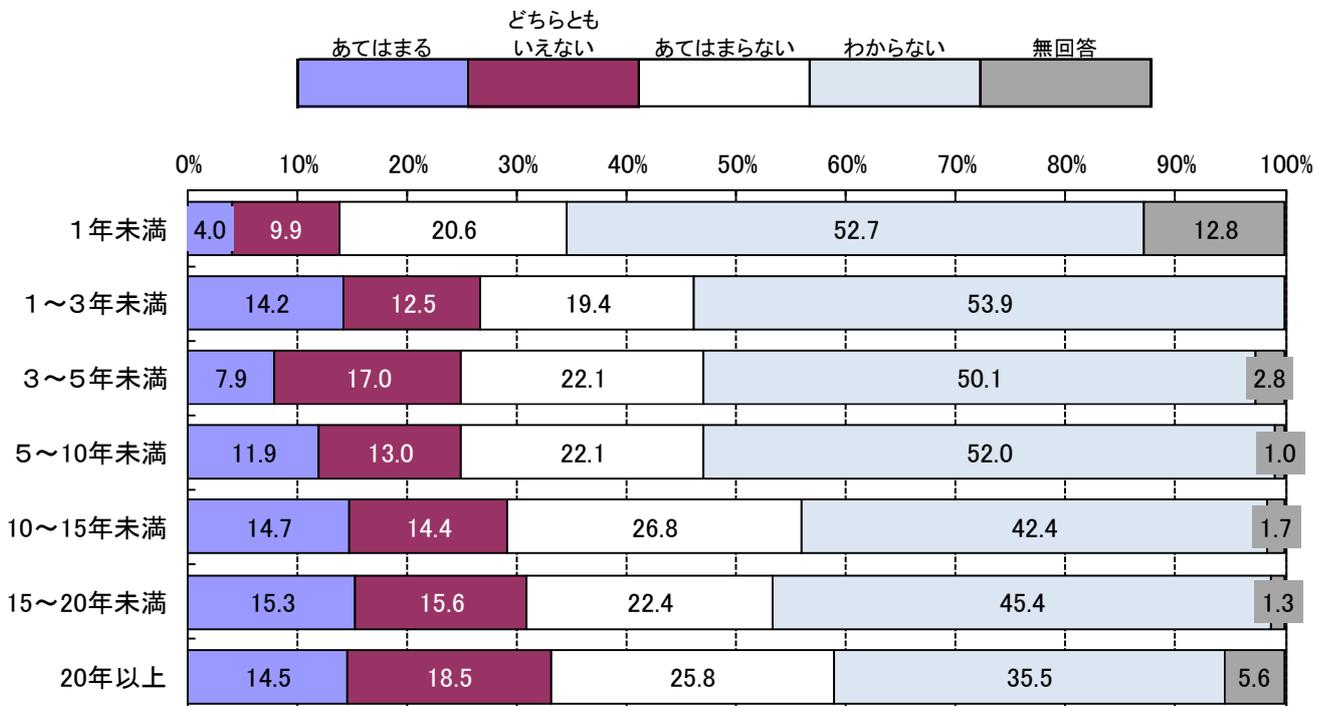


【年代別】

「あてはまる」は50代が最も高く、40代、60代が続いている。



【在住年数別】



問4 居住を継続するにあたって重視する点

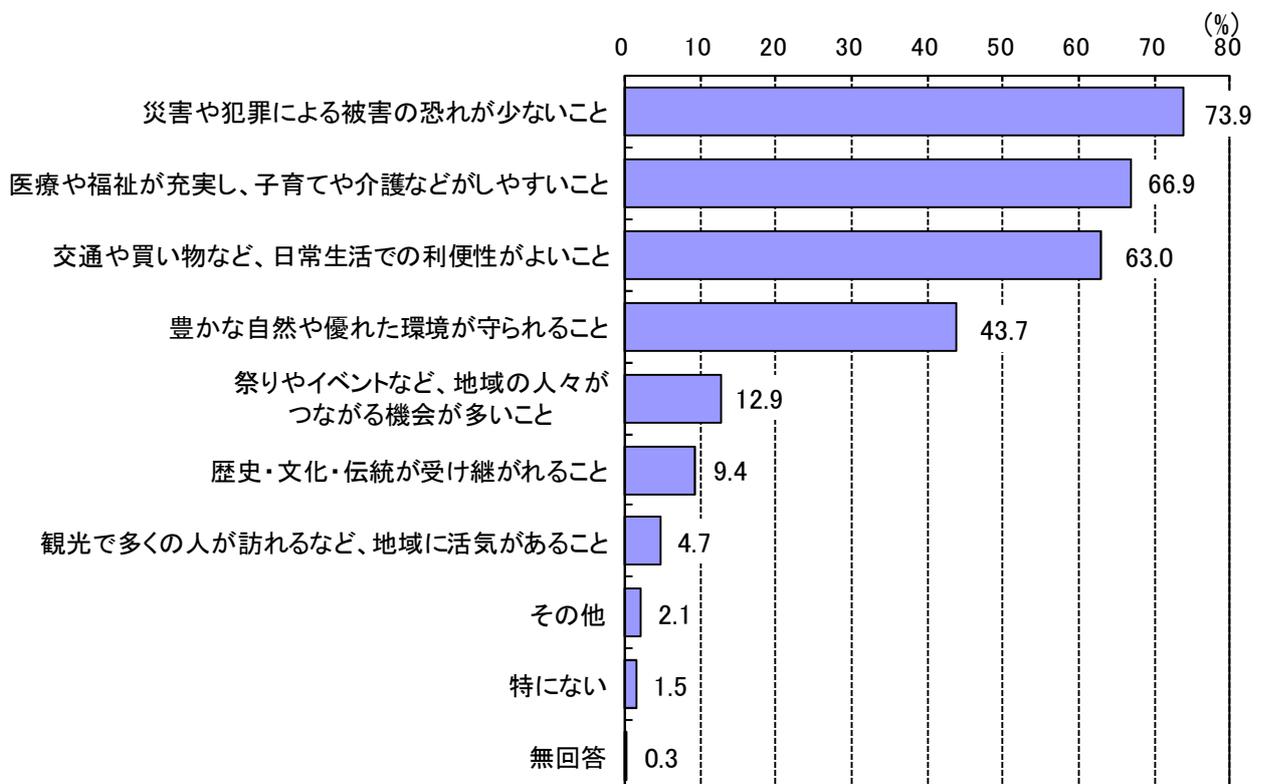
問4

お住まいの地域にこれからも住み続けていくうえで、どのようなことが大切だと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 豊かな自然や優れた環境が守られること
- 2 歴史・文化・伝統が受け継がれること
- 3 災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと
- 4 医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと
- 5 交通や買い物など、日常生活での利便性がよいこと
- 6 観光で多くの人を訪れるなど、地域に活気があること
- 7 祭りやイベントなど、地域の人々がつながる機会が多いこと
- 8 その他
- 9 特にない

【全 県】

「災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと」が最も高く、次いで「医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと」、「交通や買い物など、日常生活での利便性がよいこと」が続いている。



【地域別】

「災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと」は、神戸で最も高く、阪神南、中播磨など6地域で1位となっている。また、「医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと」は東播磨で最も高く、但馬、丹波、淡路の4地域で1位となっている。

区分		最大の	最小値	(%)							
		災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと	医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと	交通や買い物など、日常生活での利便性がよいこと	豊かな自然や優れた環境が守られること	祭りやイベントなど、地域の人々がつながる機会が多いこと	歴史・文化・伝統が受け継がれること	観光で多くの人が訪れるなど、地域に活気があること	その他	特になし	無回答
全 県		73.9	66.9	63.0	43.7	12.9	9.4	4.7	2.1	1.5	0.3
地域別	神 戸	79.2	64.9	65.6	47.5	8.9	7.3	2.7	2.3	1.2	0.4
	阪神南	76.4	65.8	65.4	43.5	11.4	5.9	3.8	1.7	1.7	0.0
	阪神北	70.8	70.8	67.0	47.9	10.8	8.7	3.8	1.7	1.0	0.3
	東播磨	74.1	75.5	66.0	32.3	16.7	9.9	2.1	0.7	2.1	0.0
	北播磨	67.5	67.2	60.5	43.9	17.7	11.8	5.5	1.5	2.2	0.7
	中播磨	74.2	59.0	54.3	36.3	20.3	17.6	8.2	3.5	2.0	0.0
	西播磨	65.4	64.5	54.2	44.5	14.0	14.3	9.0	4.3	1.3	1.3
	但 馬	63.5	68.4	55.8	50.5	16.5	9.8	10.9	3.2	0.7	0.4
	丹 波	58.9	68.0	52.8	50.2	15.2	14.6	12.0	2.6	1.3	1.6
	淡 路	63.0	67.3	53.3	54.1	11.3	8.2	12.8	2.7	1.2	1.2
地域間の差		20.3	16.5	14.2	21.8	11.4	11.7	10.7	3.6	1.5	1.6

【性別】

		最大の	最小値	(%)							
		災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと	医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと	交通や買い物など、日常生活での利便性がよいこと	豊かな自然や優れた環境が守られること	祭りやイベントなど、地域の人々がつながる機会が多いこと	歴史・文化・伝統が受け継がれること	観光で多くの人が訪れるなど、地域に活気があること	その他	特になし	無回答
全 県		73.9	66.9	63.0	43.7	12.9	9.4	4.7	2.1	1.5	0.3
性別	男性	70.8	63.8	59.7	46.5	13.5	11.3	5.4	2.2	2.5	0.1
	女性	76.2	69.8	65.4	41.2	12.4	8.2	4.2	2.1	0.8	0.4
性別間の差		5.4	6.0	5.7	5.3	1.1	3.1	1.2	0.1	1.7	0.3

【年代別】

20代を除くすべての年代で「災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと」が1位となっている。

		最大値						最小値		（%）	
		災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと	医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと	交通や買い物など、日常生活での利便性がよいこと	豊かな自然や優れた環境が守られること	祭りやイベントなど、地域の人々がつながる機会が多いこと	歴史・文化・伝統が受け継がれること	観光で多くの人が訪れるなど、地域に活気があること	その他	特になし	無回答
全 県		73.9	66.9	63.0	43.7	12.9	9.4	4.7	2.1	1.5	0.3
年代別	20代	66.4	69.8	66.6	43.9	9.3	12.1	7.9	2.5	0.9	0.0
	30代	72.2	70.7	67.0	41.3	13.9	11.1	8.3	1.2	0.5	0.0
	40代	74.6	71.5	64.9	36.4	12.5	7.8	6.2	2.9	1.5	0.0
	50代	74.0	67.3	62.2	43.9	10.8	8.8	6.0	1.8	1.2	0.0
	60代	76.1	66.3	63.8	41.5	12.8	11.0	3.5	2.3	1.2	0.7
	70代	74.6	68.3	61.9	50.1	13.9	7.6	1.5	1.3	1.8	0.3
	80歳以上	75.2	55.3	56.6	47.0	15.5	9.9	3.4	3.2	3.2	0.4
年代間の差		9.7	16.2	10.4	13.7	6.2	4.5	6.8	2.0	2.7	0.7

【在住年数別】

		最大値						最小値		（%）	
		災害や犯罪による被害の恐れが少ないこと	医療や福祉が充実し、子育てや介護などがしやすいこと	交通や買い物など、日常生活での利便性がよいこと	豊かな自然や優れた環境が守られること	祭りやイベントなど、地域の人々がつながる機会が多いこと	歴史・文化・伝統が受け継がれること	観光で多くの人が訪れるなど、地域に活気があること	その他	特になし	無回答
全 県		73.9	66.9	63.0	43.7	12.9	9.4	4.7	2.1	1.5	0.3
在住年数別	1年未満	66.8	45.6	69.4	35.3	10.0	15.1	9.3	3.1	0.0	1.2
	1～3年未満	69.6	65.5	66.2	36.9	14.5	9.7	6.2	1.4	0.0	0.0
	3～5年未満	67.5	71.8	59.8	45.4	10.1	13.4	8.2	2.2	2.2	0.0
	5～10年未満	79.4	72.1	61.7	38.4	12.9	8.9	7.2	1.9	1.8	0.0
	10～15年未満	73.3	69.3	63.0	47.3	14.0	10.2	4.5	1.3	2.2	0.0
	15～20年未満	77.6	68.7	58.9	42.1	11.8	5.4	5.1	3.0	1.0	0.0
	20年以上	74.1	66.0	63.8	44.8	13.0	9.4	3.5	2.2	1.5	0.4
在住年数間の差		12.6	26.5	10.5	12.0	4.5	9.7	5.8	1.8	2.2	1.2

問5 過去1年間の地域活動への参加状況

問5

お住まいの地域の団体やグループでの地域活動についてお聞きします。過去おおむね1年間に、次のア〜クの活動に参加したことがありますか。どのような立場で参加したか等を含め、あなたの状況に一番近いものをそれぞれの活動ごとに一つ選んで、番号に○をつけてください。

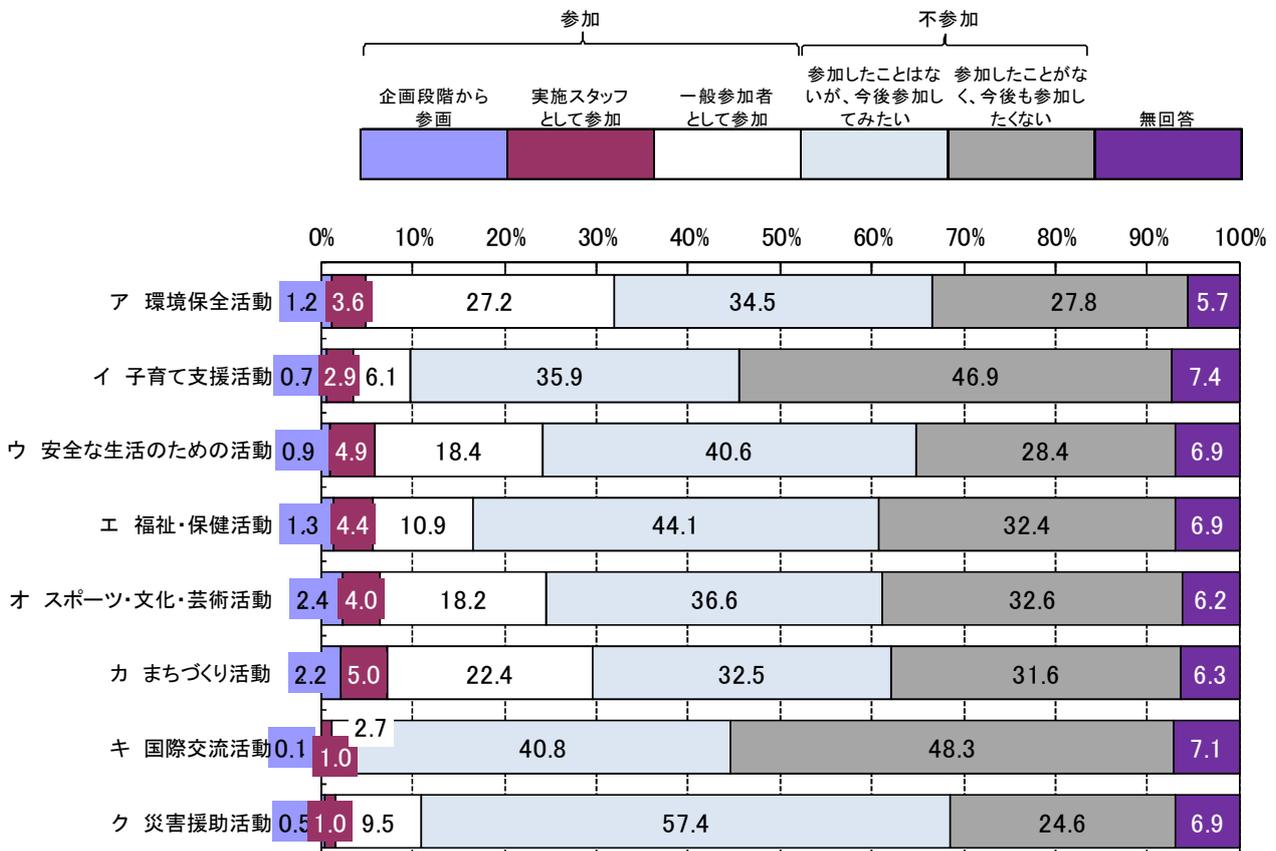
- ア 環境保全活動（自然保護・環境美化・リサイクルなど）
- イ 子育て支援活動（子育て支援、託児ボランティアなど）
- ウ 安全な生活のための活動（防犯、防災、消費生活、交通安全運動など）
- エ 福祉・保健活動（高齢者・障害者の生活支援、健康づくりなど）
- オ スポーツ・文化・芸術活動（同好会・サークル活動、伝統文化の継承など）
- カ まちづくり活動（地域のイベント、まちおこしなど）
- キ 国際交流活動（日本にいる外国人の支援など）
- ク 災害援助活動（支援物資の送付、災害発生時の救援など）

- 1 企画段階から参画 2 実施スタッフとして参加 3 一般参加者として参加
 4 参加したことがないが、今後参加してみたい 5 参加したことがなく、今後も参加したくない

【全 県】

・「企画段階から参画」「実施スタッフとして参加」「一般参加者として参加」を合わせた『参加』は、「環境保全活動」(32.0%)が最も多く、次いで「まちづくり活動」(29.6%)、「スポーツ・文化・芸術活動」(24.6%)が続いている。

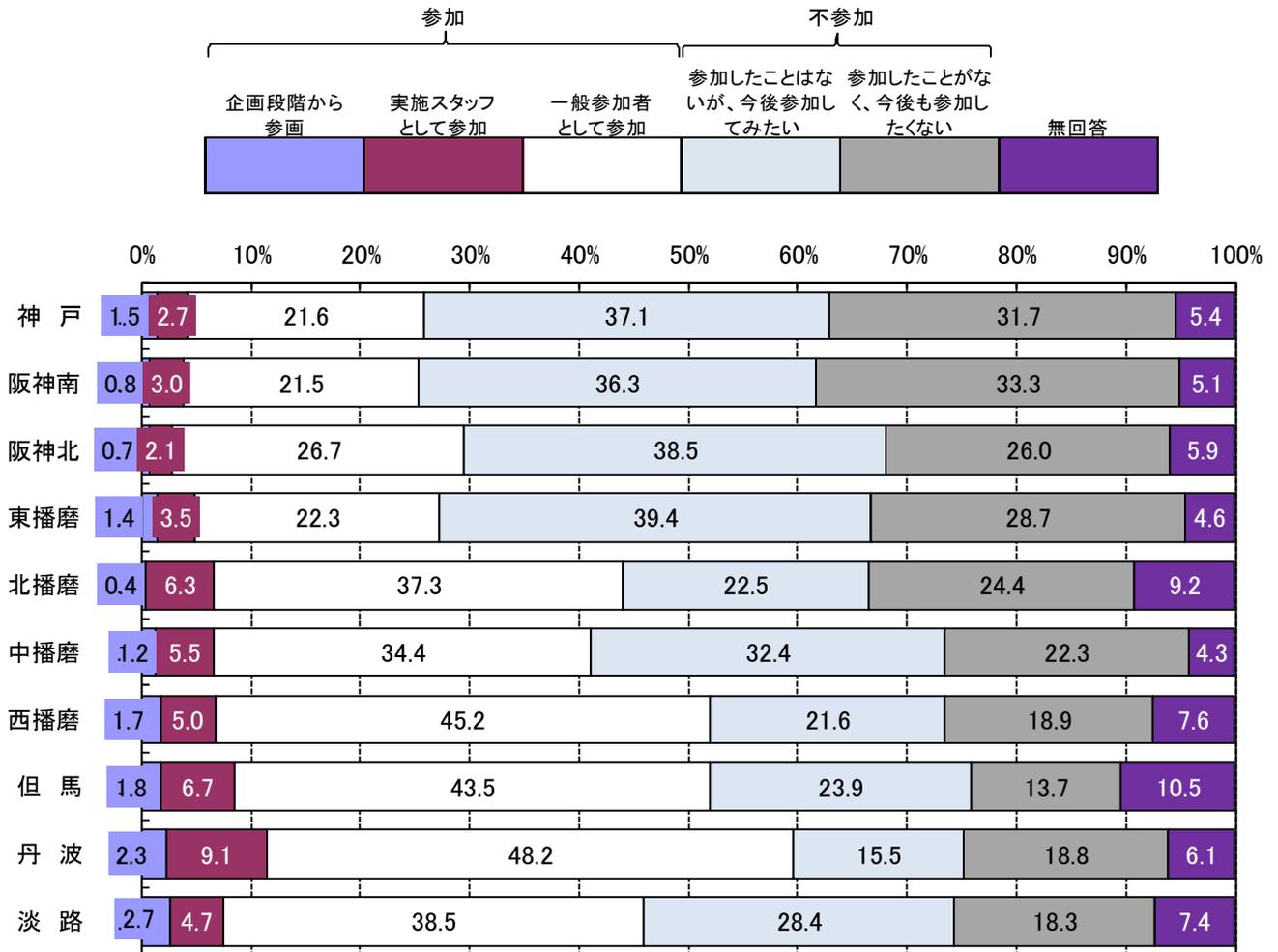
・「参加したことはないが、今後参加してみたい」は、「災害救助活動」(57.4%)が最も多く、次いで「福祉・保健活動」(44.1%)、「国際交流活動」(40.8%)が続いている。



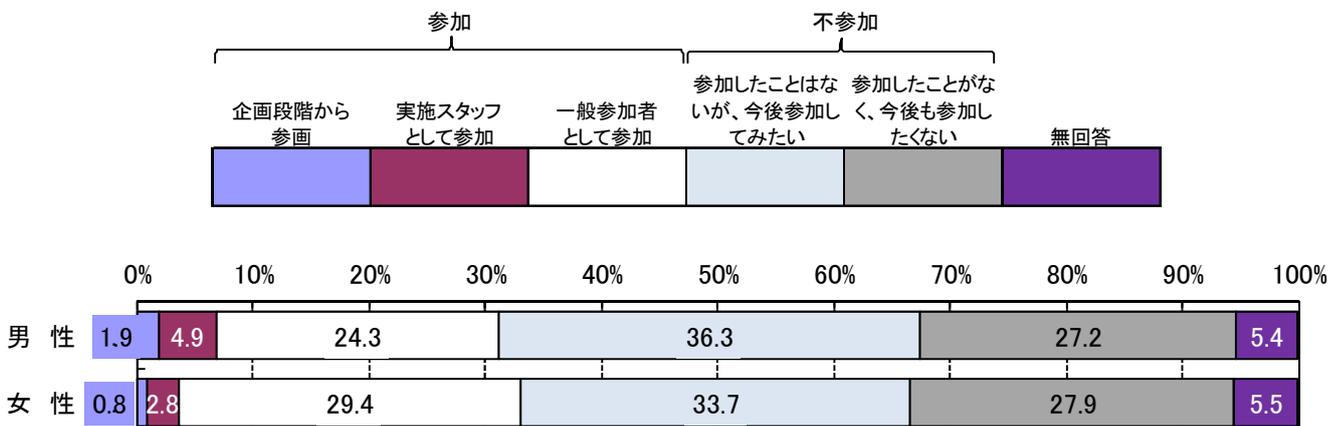
〔ア 環境保全活動〕

【地域別】

『参加』は丹波（59.6%）の割合が最も高く、但馬（52.0%）、西播磨（51.9%）、淡路（45.9%）、北播磨（44.0%）、中播磨（41.1%）の順で全県（32.0%）を上回っている。

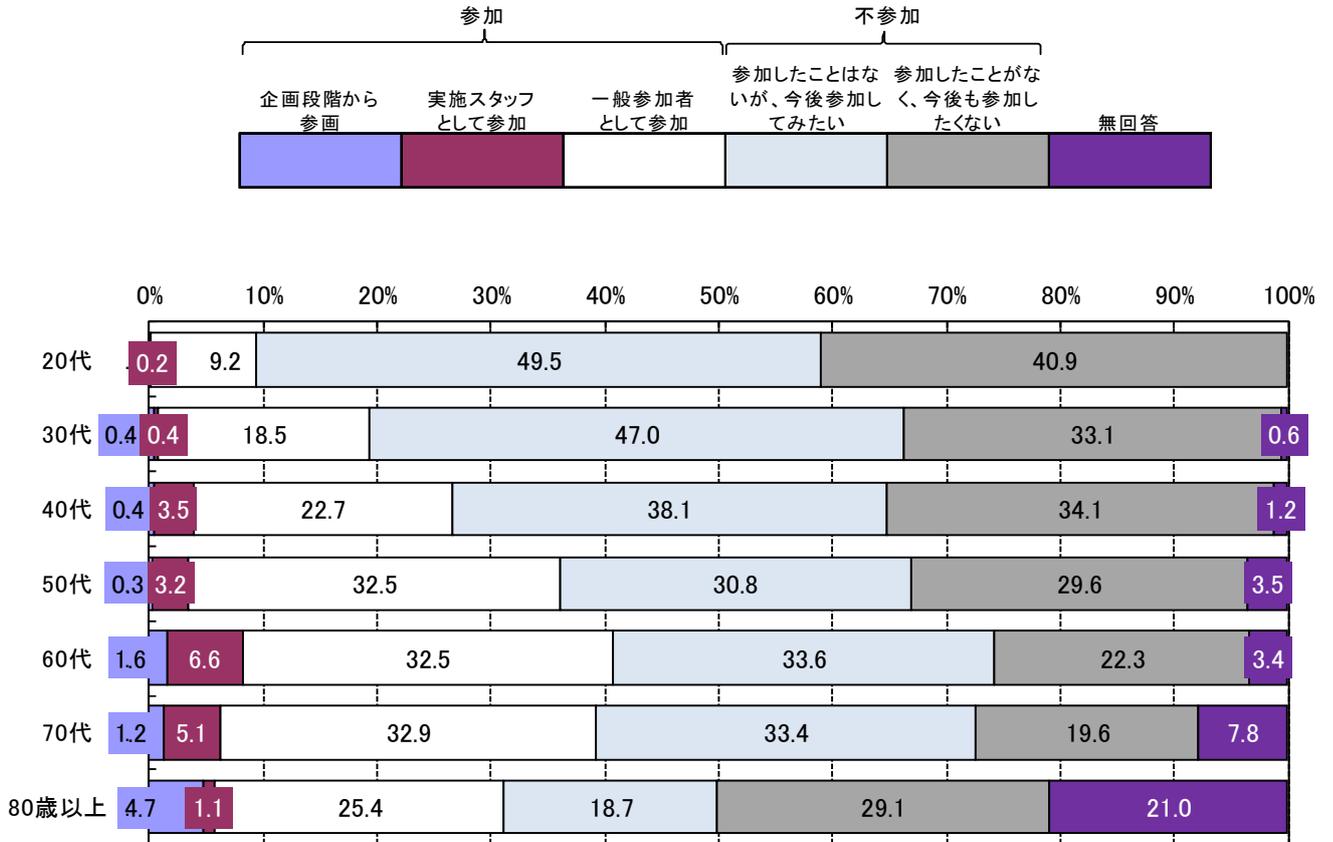


【性別】

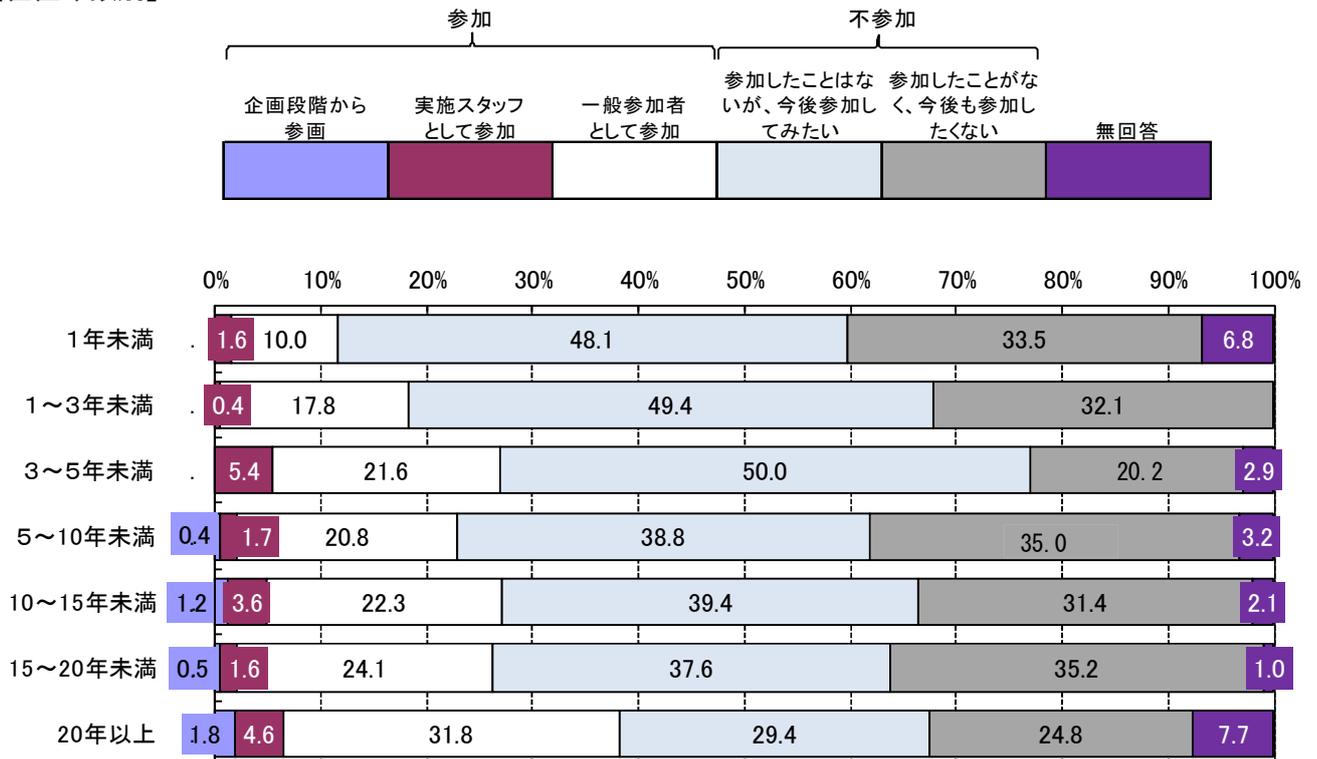


【年代別】

『参加』は60代が最も高く、次いで70代、50代となっている。



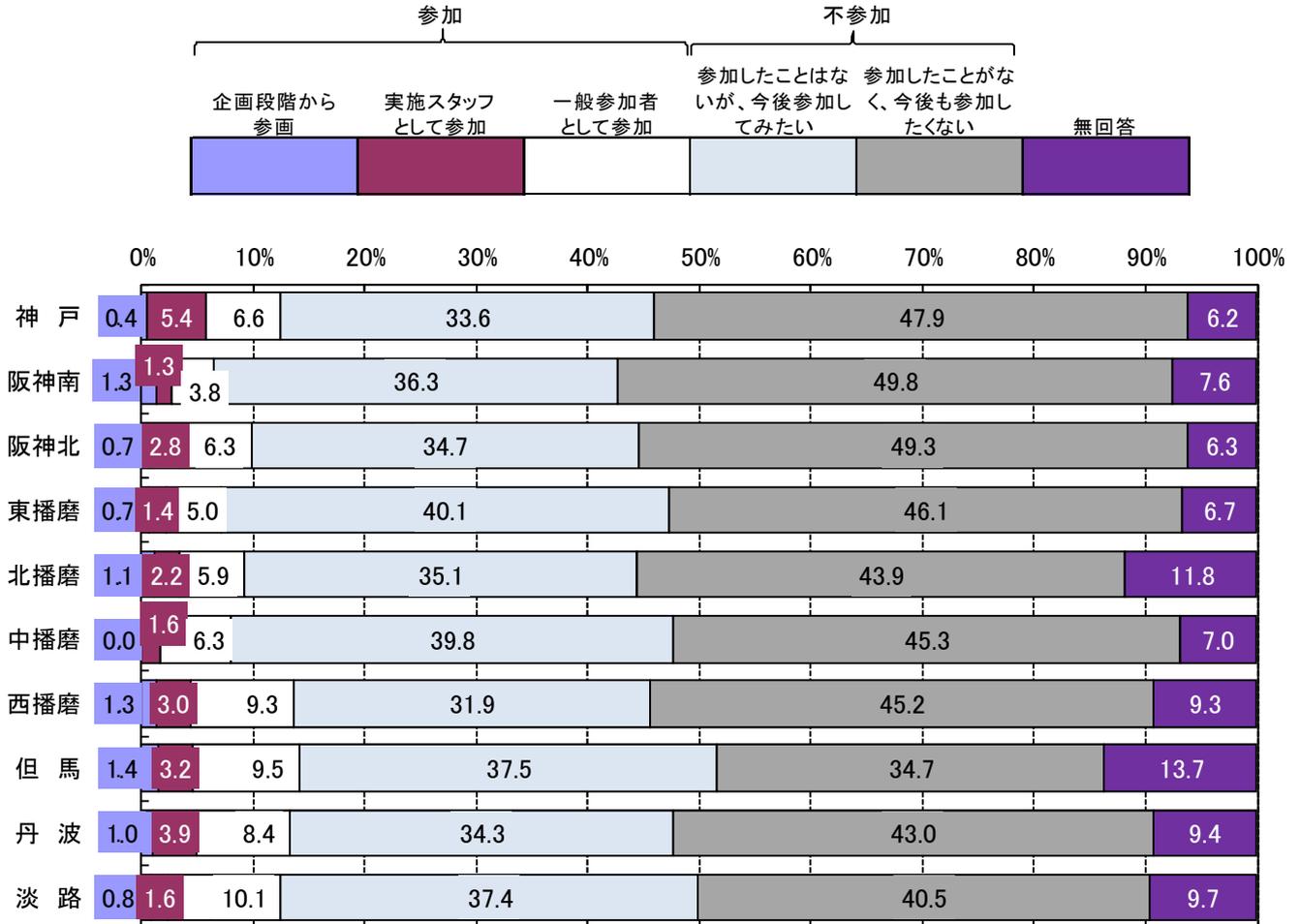
【在住年数別】



〔イ 子育て支援活動〕

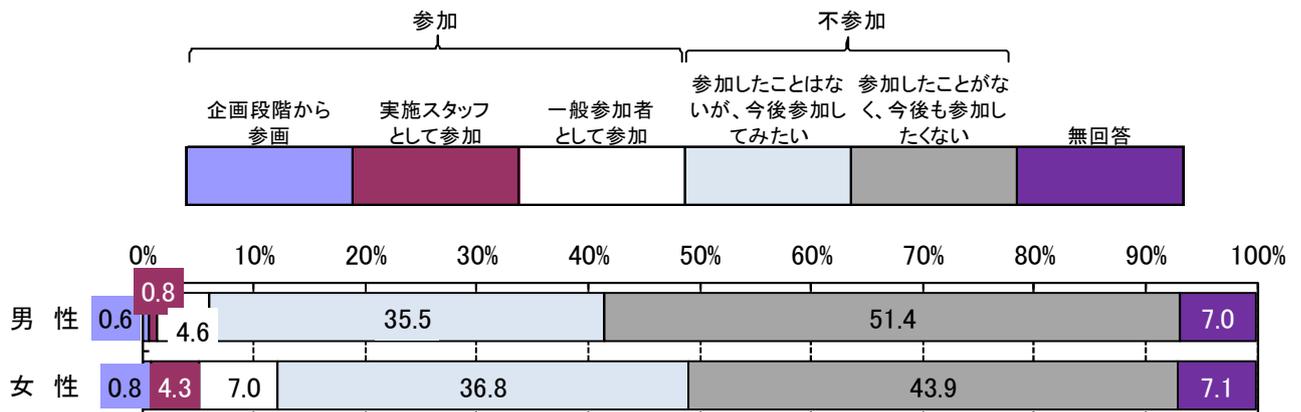
【地域別】

地域別でみると、但馬(14.1%)が『参加』の割合が最も高く、西播磨(13.6%)、丹波(13.3%)、淡路(12.5%)、神戸(12.4%)、阪神北(9.8%)の順で全県(9.7%)を上回っている。

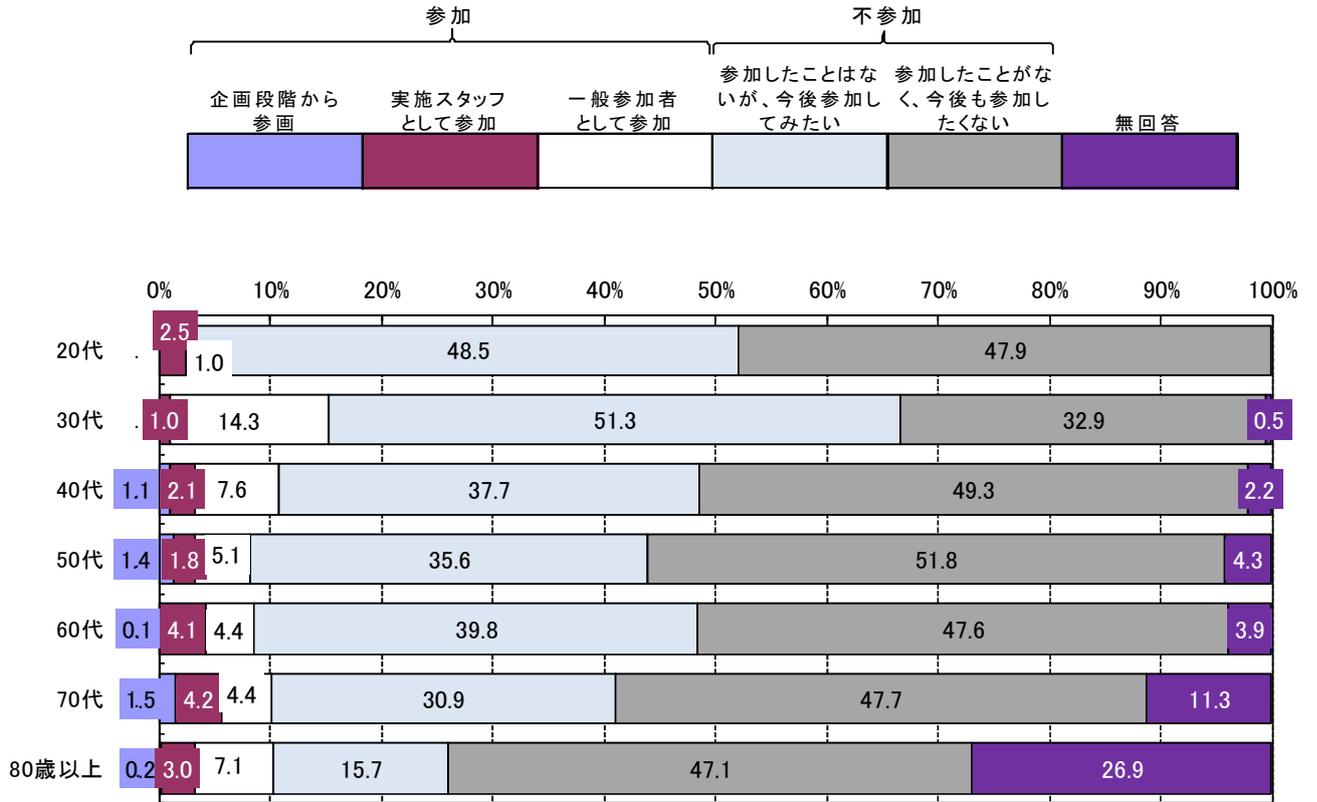


【性別】

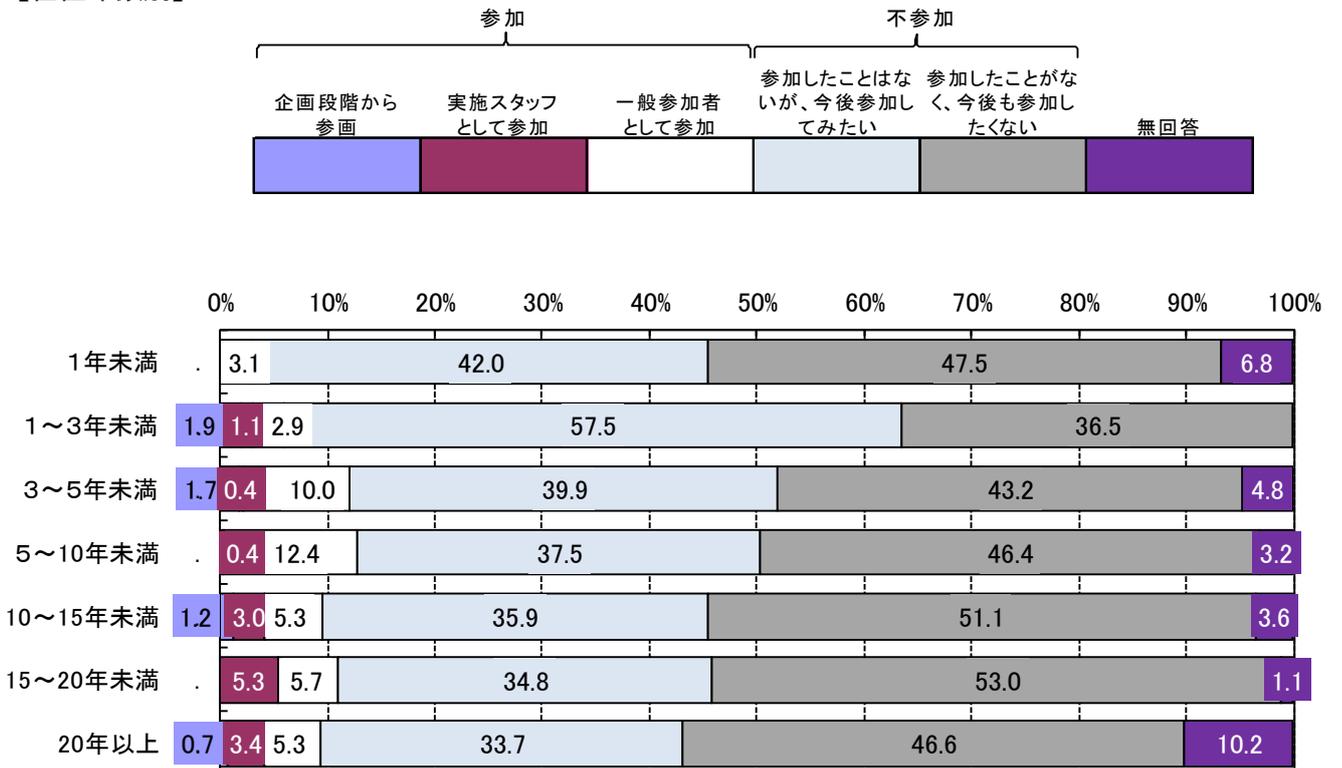
女性(12.1%)の方が『参加』の割合が高い。



【年代別】



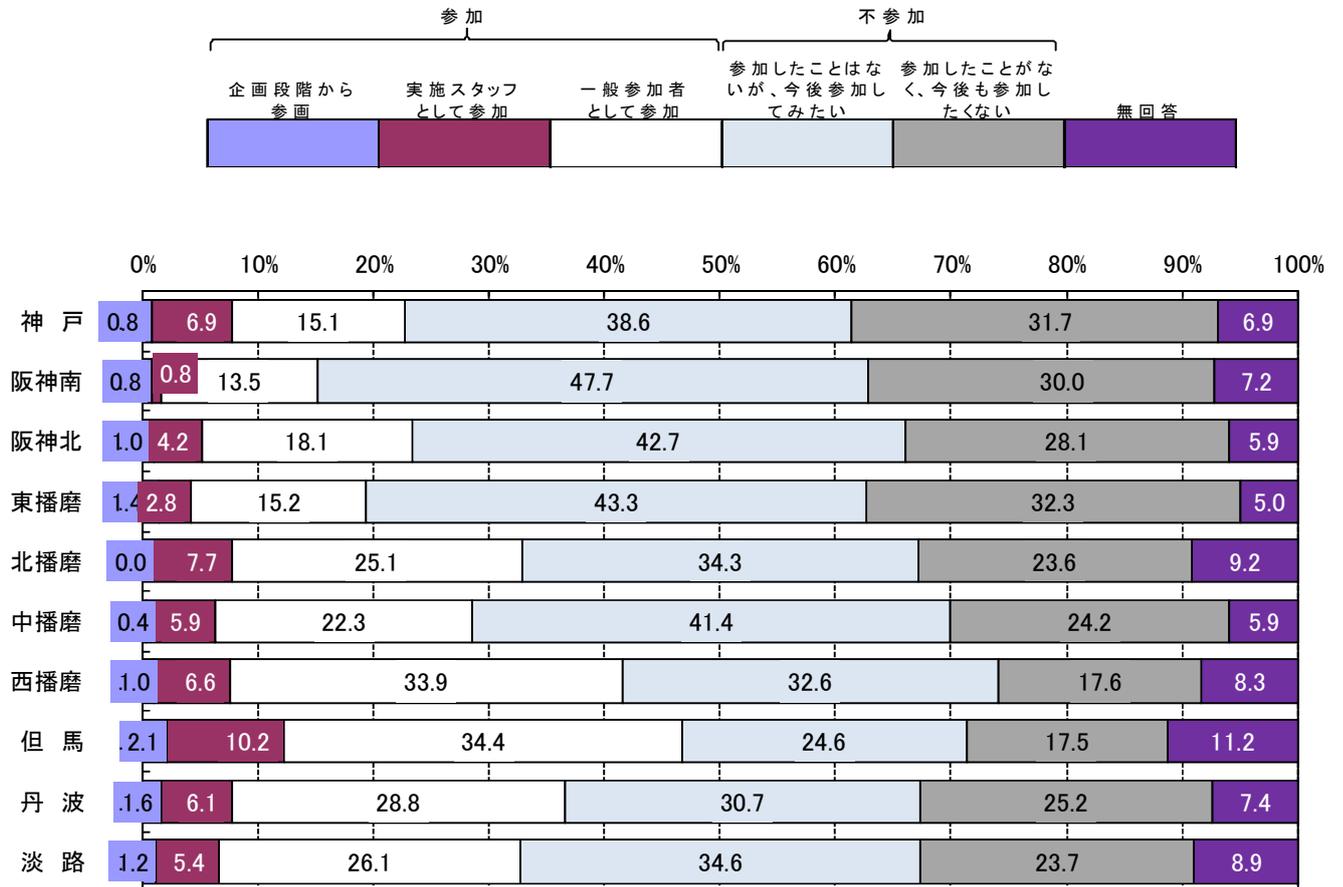
【在住年数別】



〔ウ 安全な生活のための活動〕

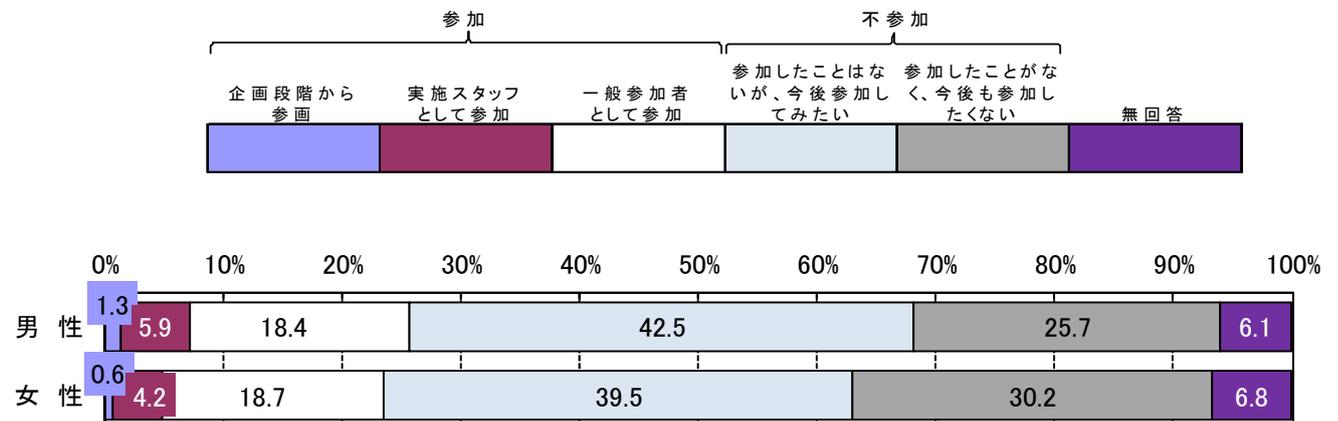
【地域別】

『参加』は但馬(37.0%)が最も高く、神戸、阪神南、阪神北、東播磨以外は全県(24.2%)を上回っている。



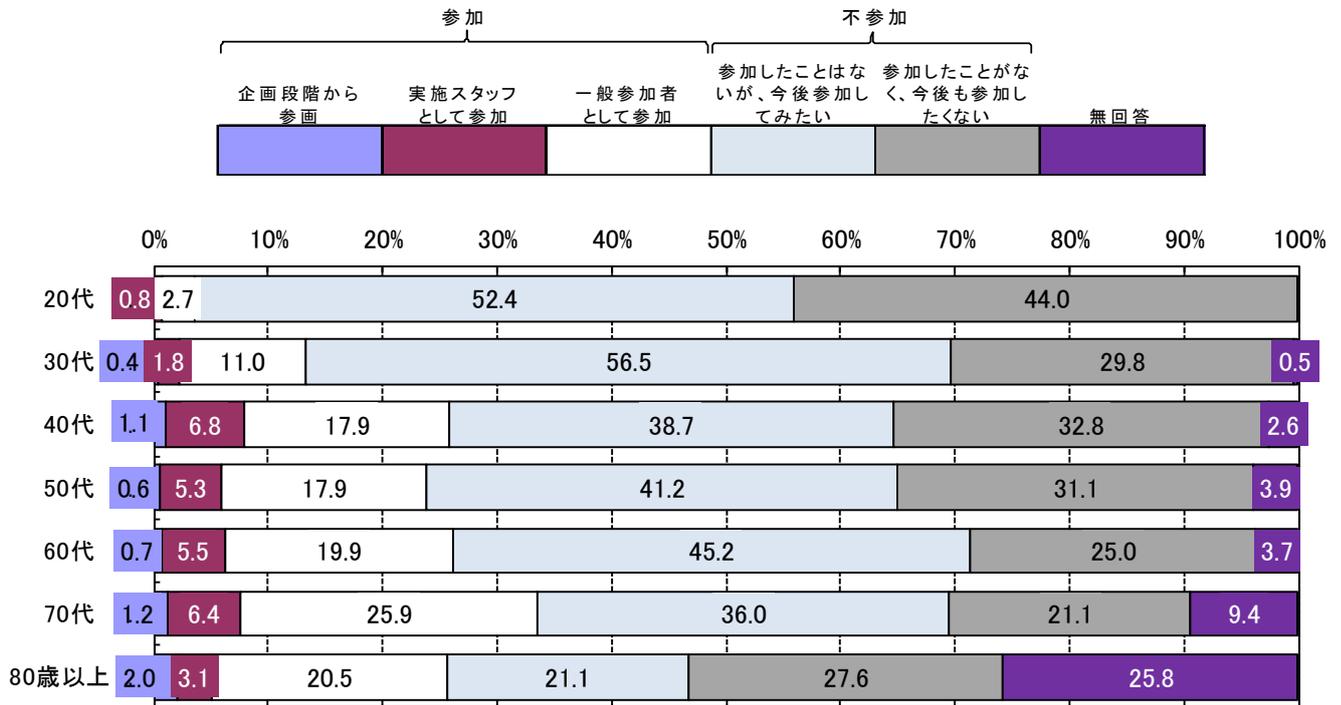
【性別】

男性(25.6%)の方が『参加』の割合が高い。

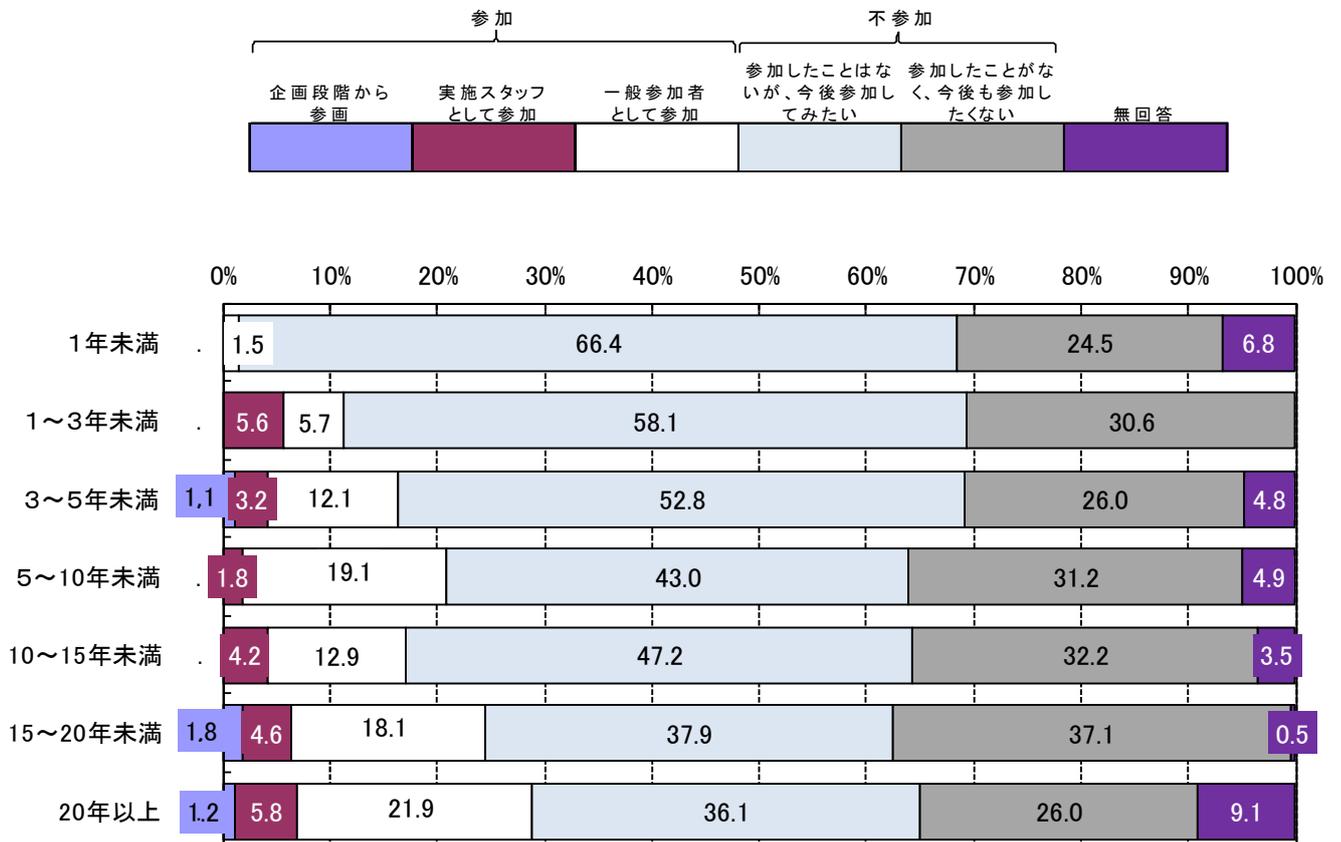


【年代別】

『参加』は70代(33.5%)が最も高い。



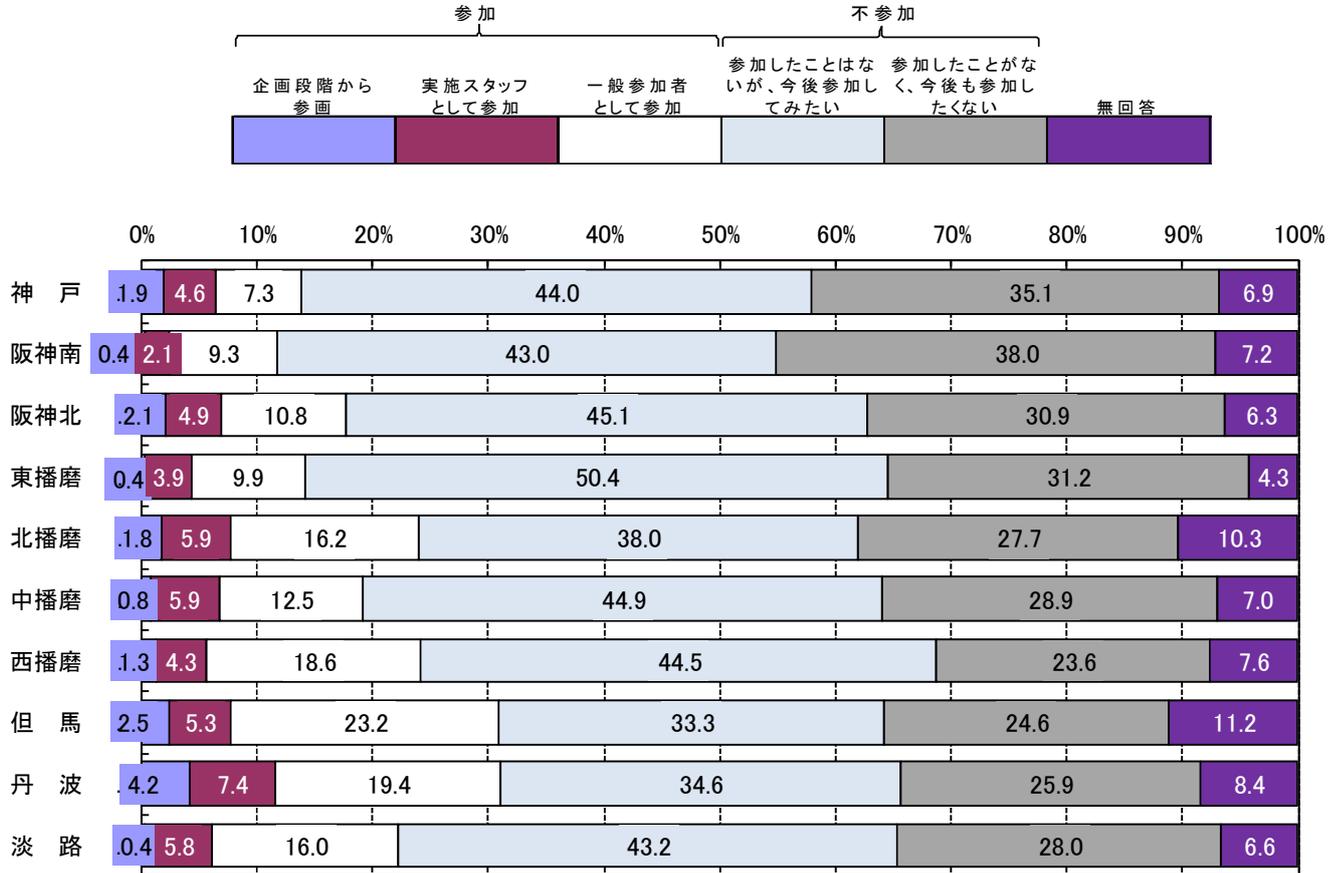
【在住年数別】



〔工 福祉・保健活動〕

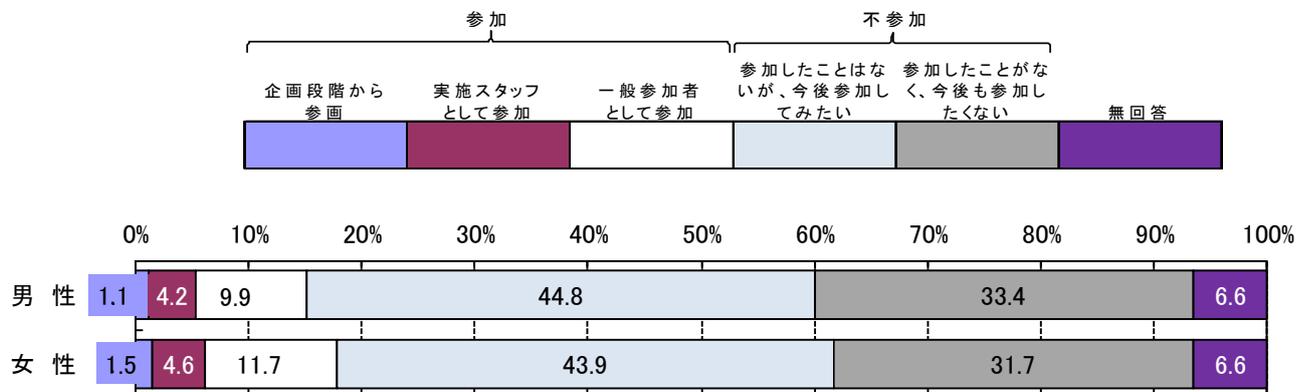
【地域別】

『参加』は但馬(31.0%)が最も高く、神戸、阪神南、東播磨以外は全県(16.6%)を上回っている。



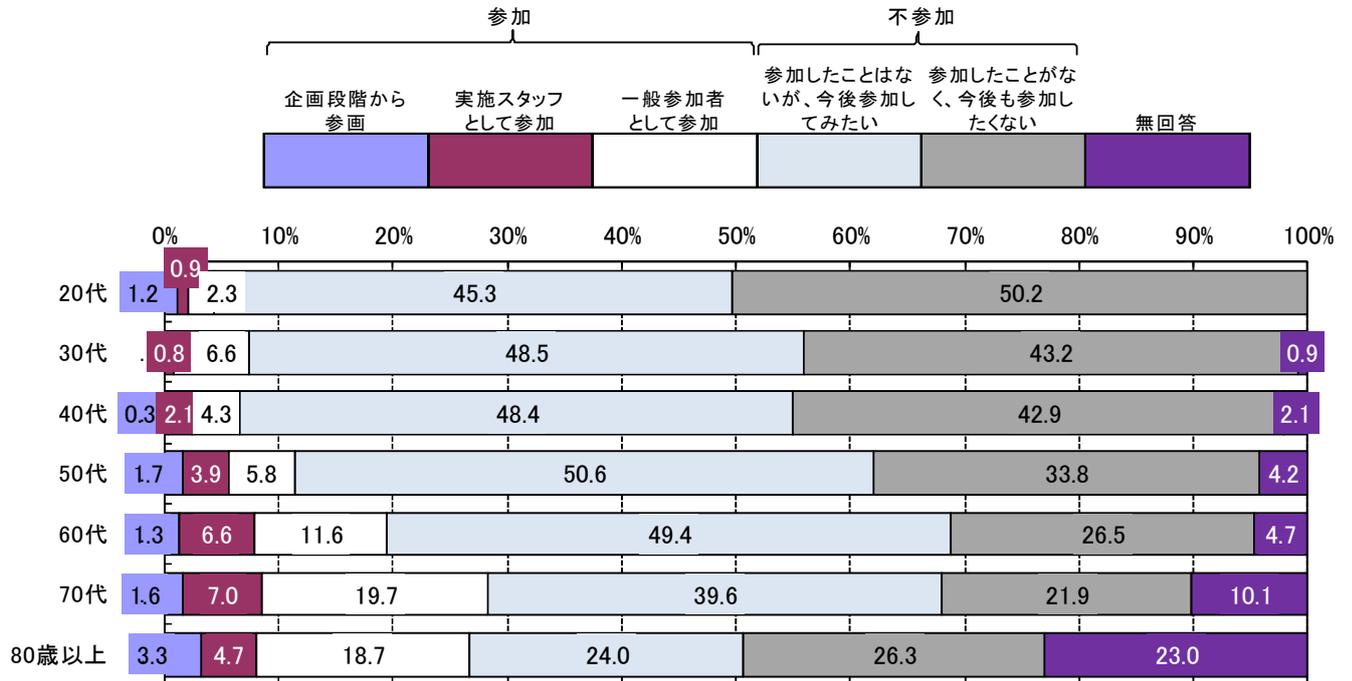
【性別】

女性(17.8%)の方が『参加』の割合が高い。

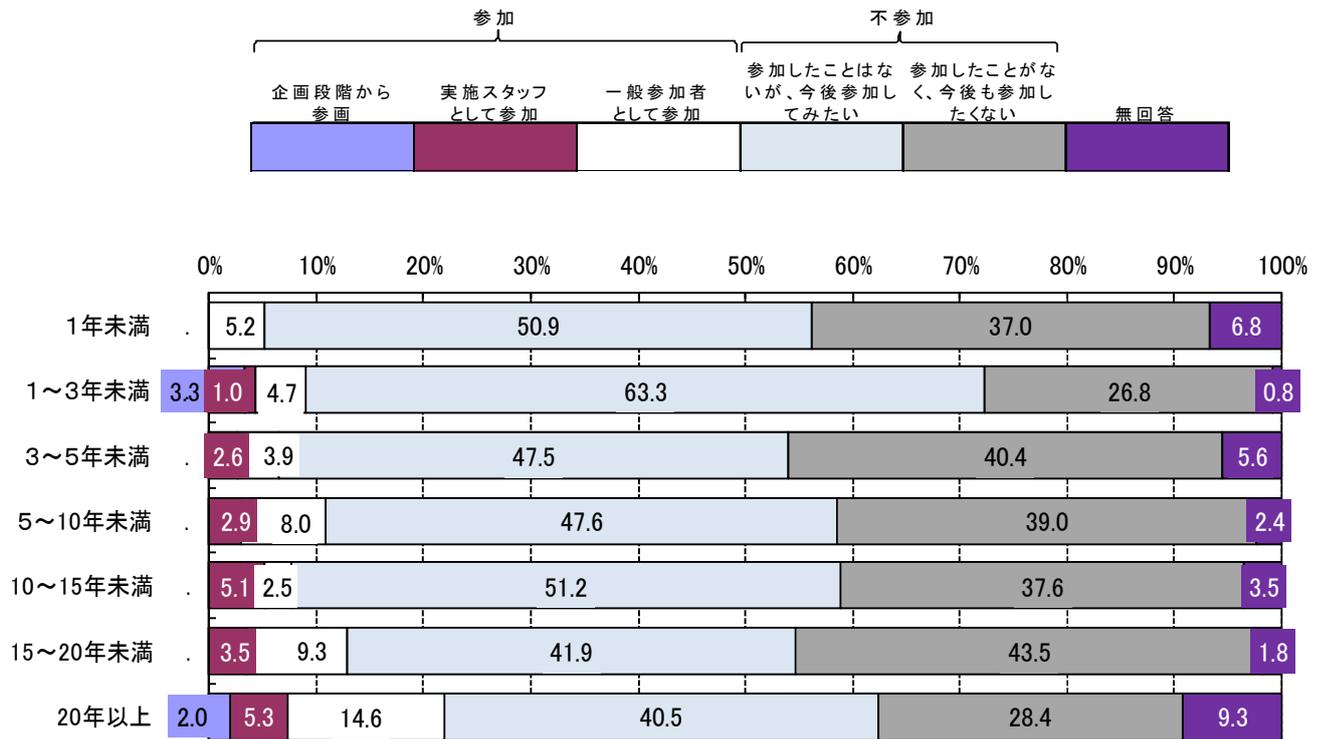


【年代別】

『参加』は70代(28.3%)が最も高く、80歳以上(26.7%)が続いている。



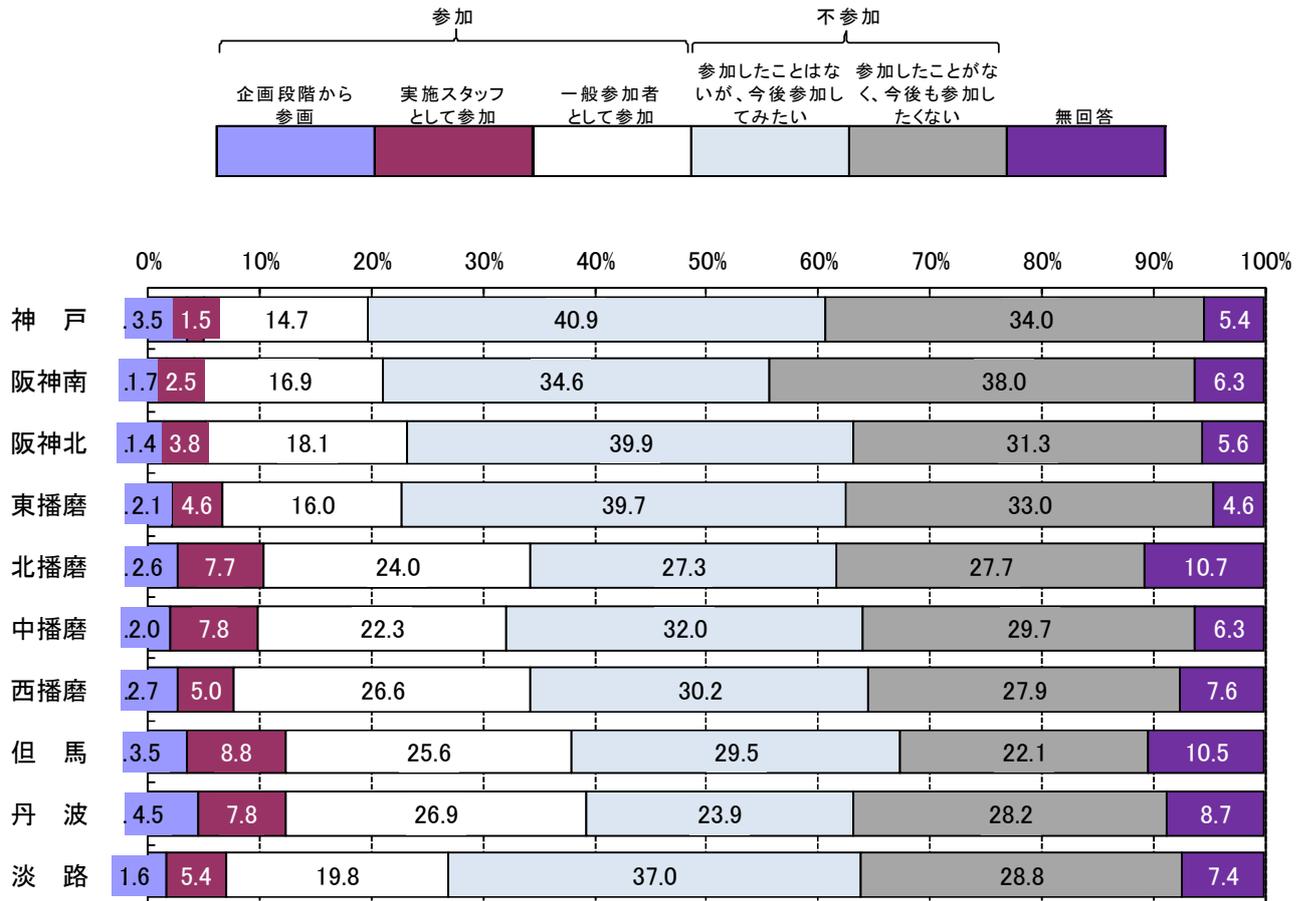
【在住年数別】



〔オ スポーツ・文化・芸術活動〕

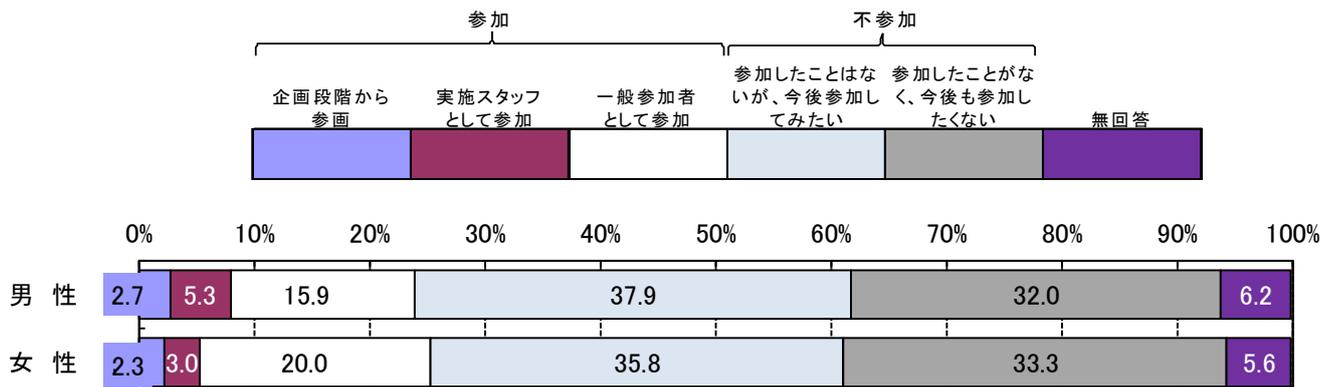
【地域別】

『参加』は丹波(39.2%)が最も高く、但馬、西播磨、北播磨、中播磨、淡路の順で全県(24.6%)を上回っている。



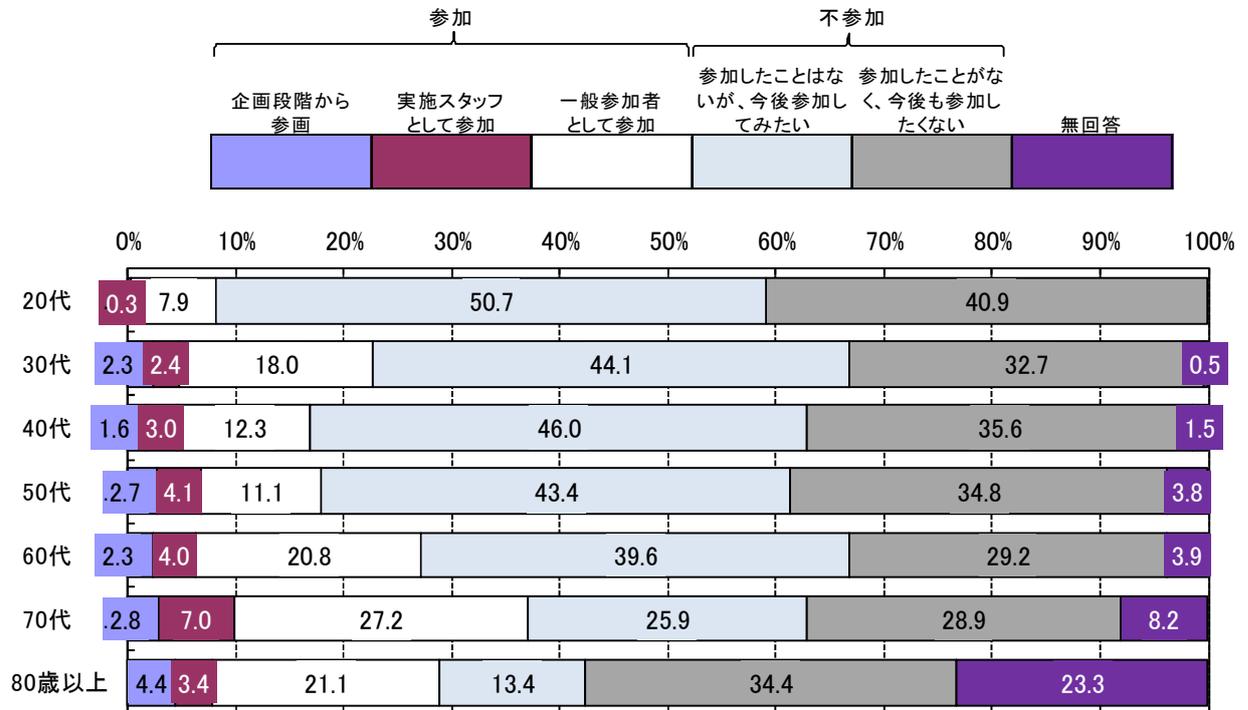
【性別】

女性(25.3%)の方が『参加』の割合が高い。

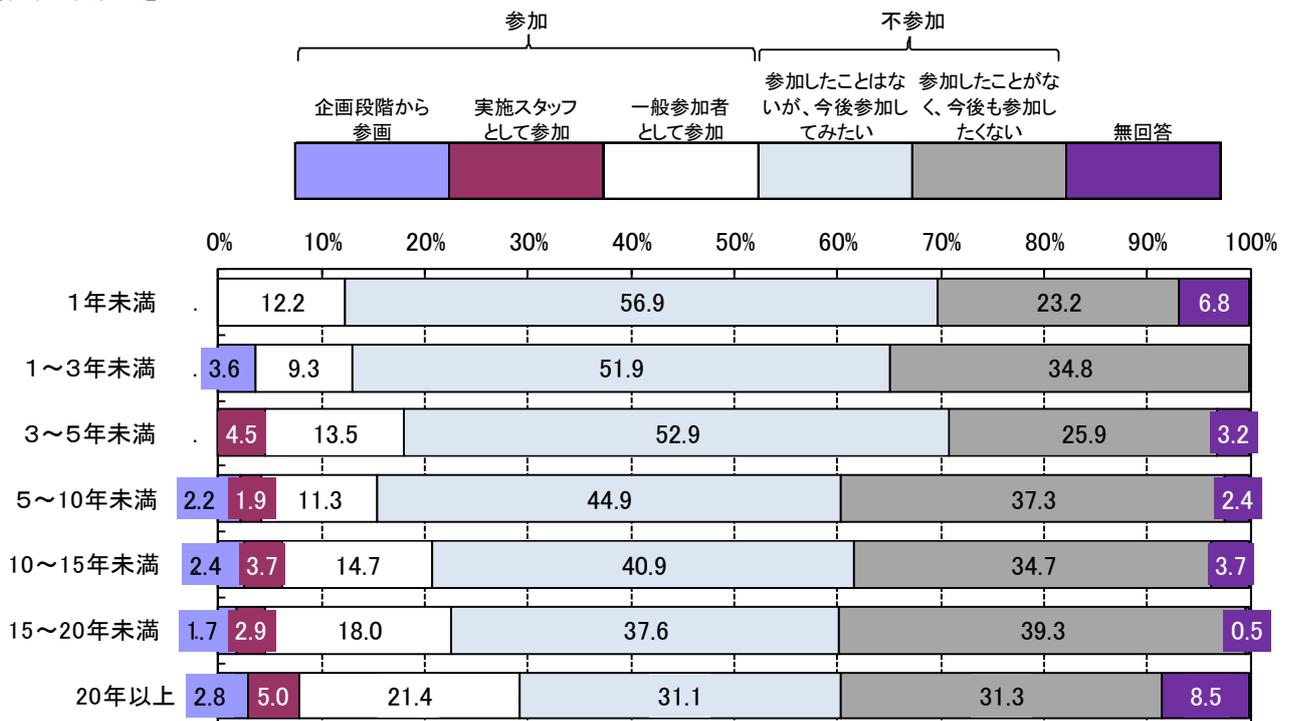


【年代別】

『参加』は70代(37.0%)が最も高く、80歳以上(28.9%)が続いている。



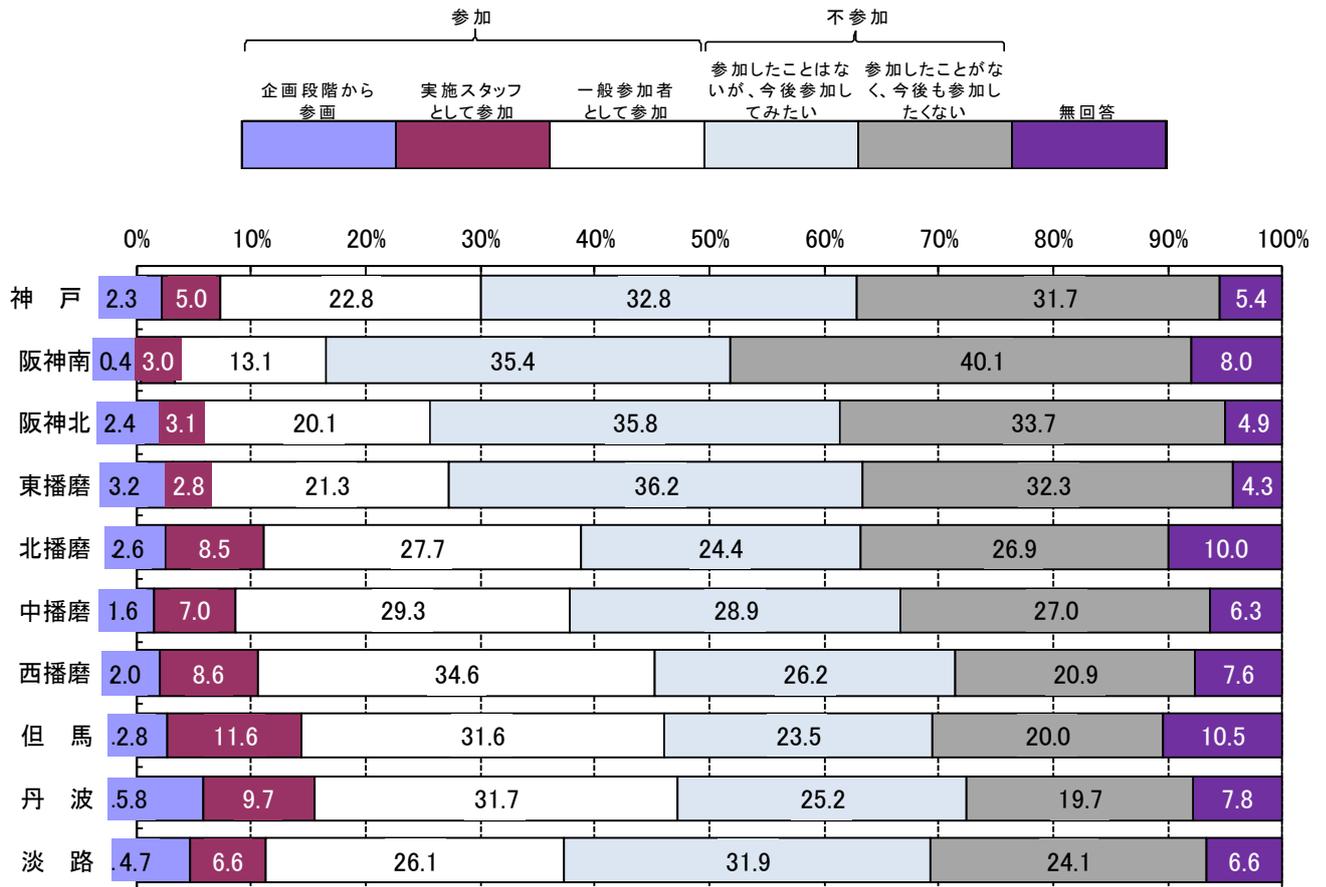
【在住年数別】



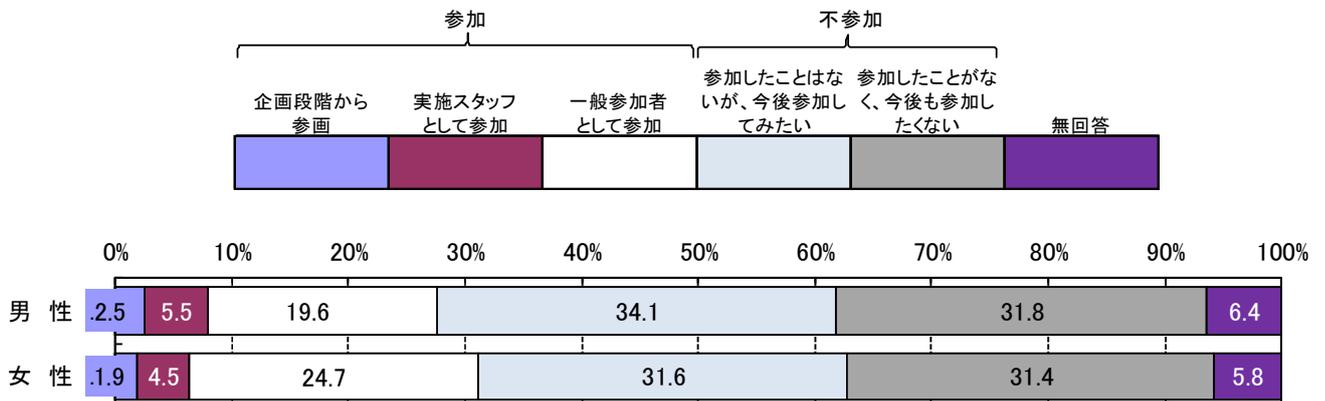
【カ まちづくり活動】

【地域別】

『参加』は丹波(47.2%)が最も高く、東播磨、阪神南、阪神北以外は全県(29.5%)を上回っている。

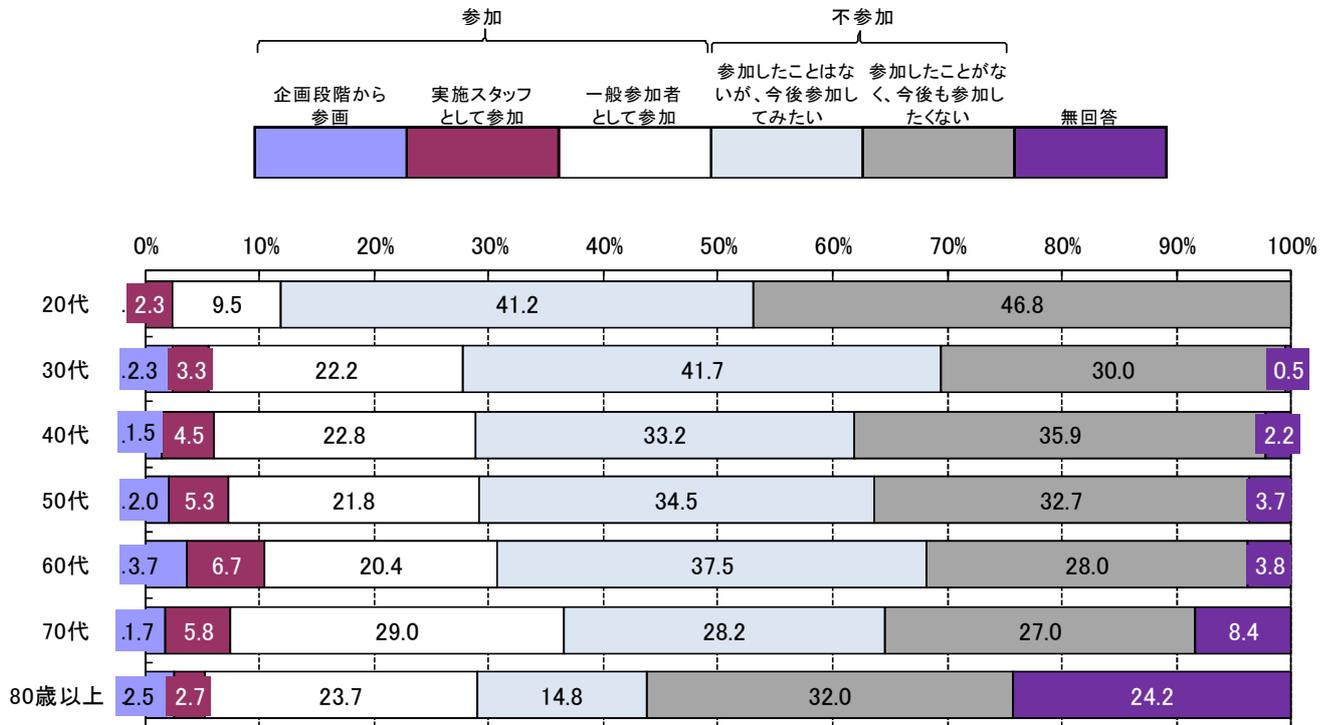


【性別】

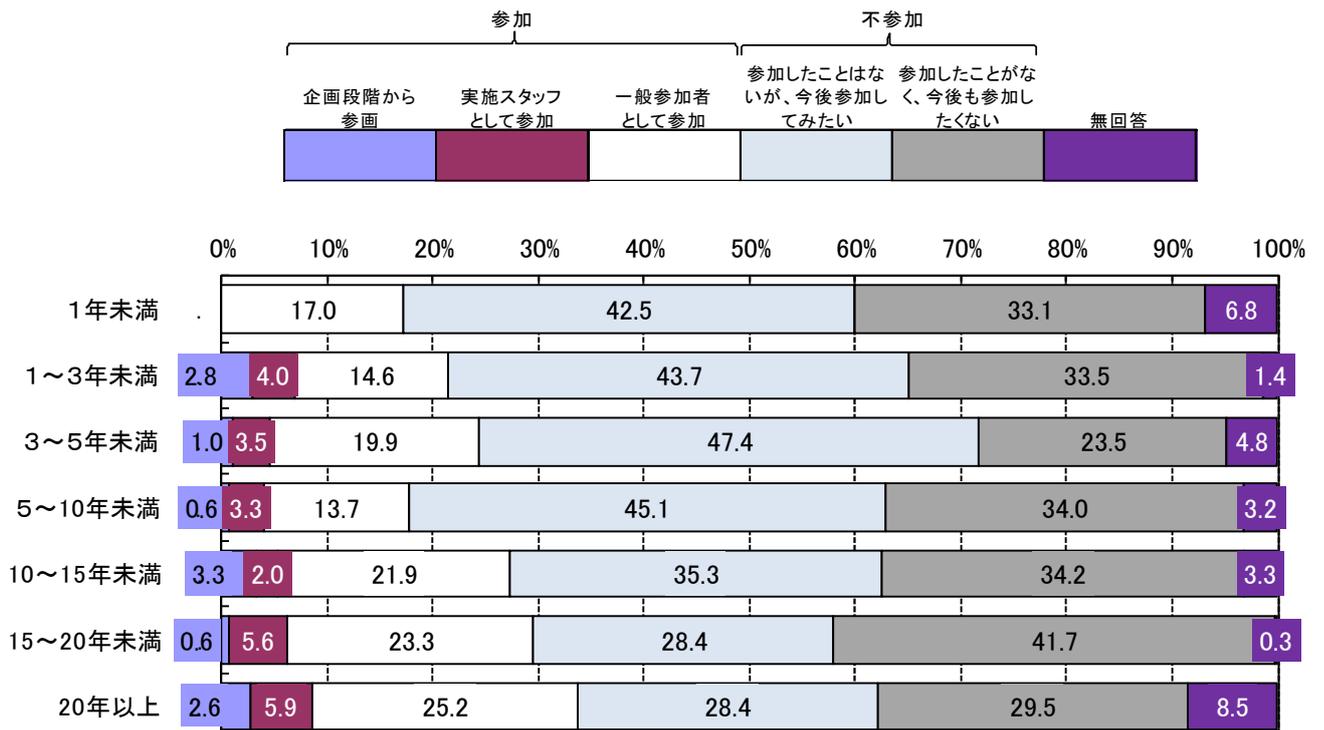


【年代別】

『参加』は70代(36.5%)が最も高い。



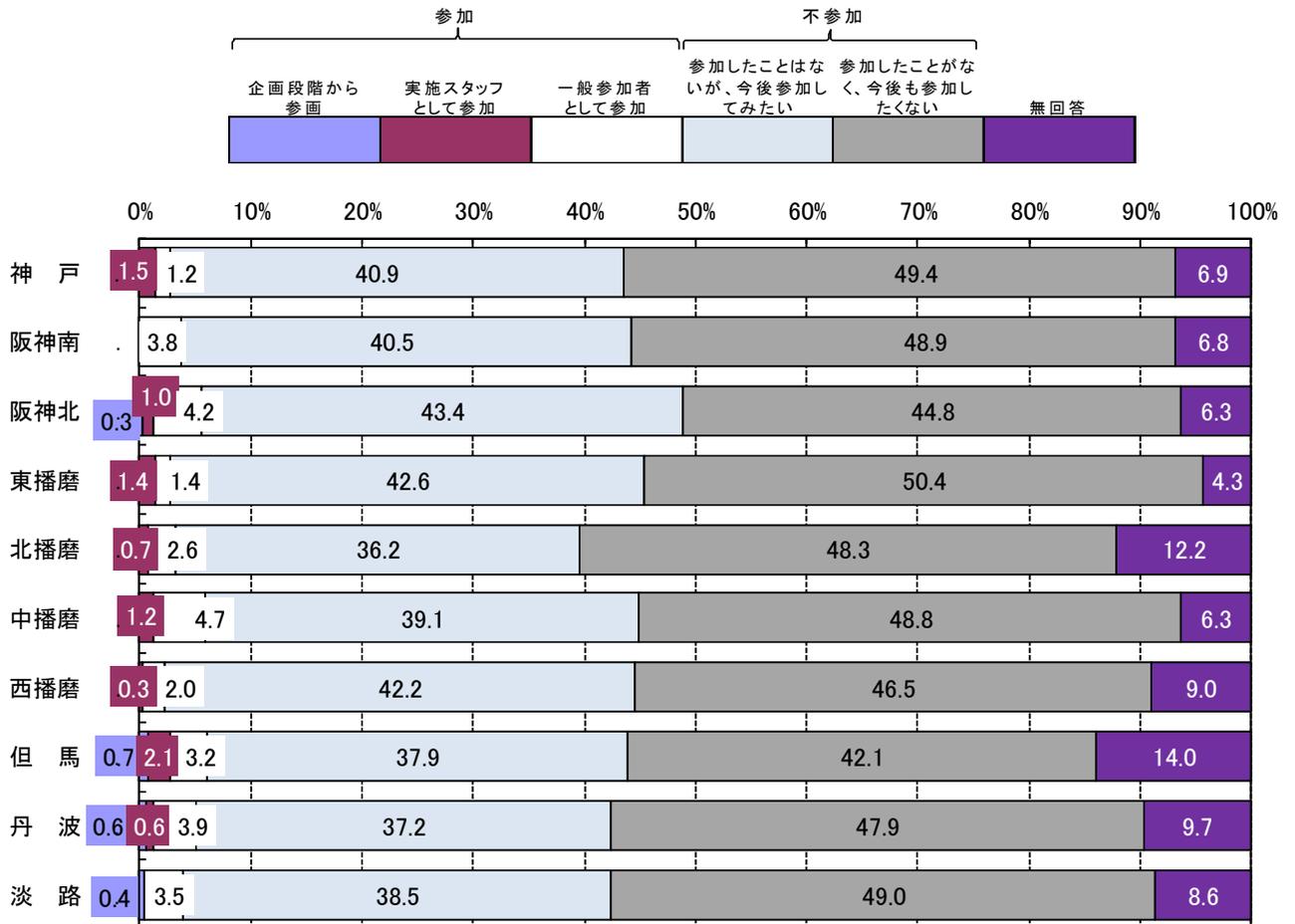
【在住年数別】



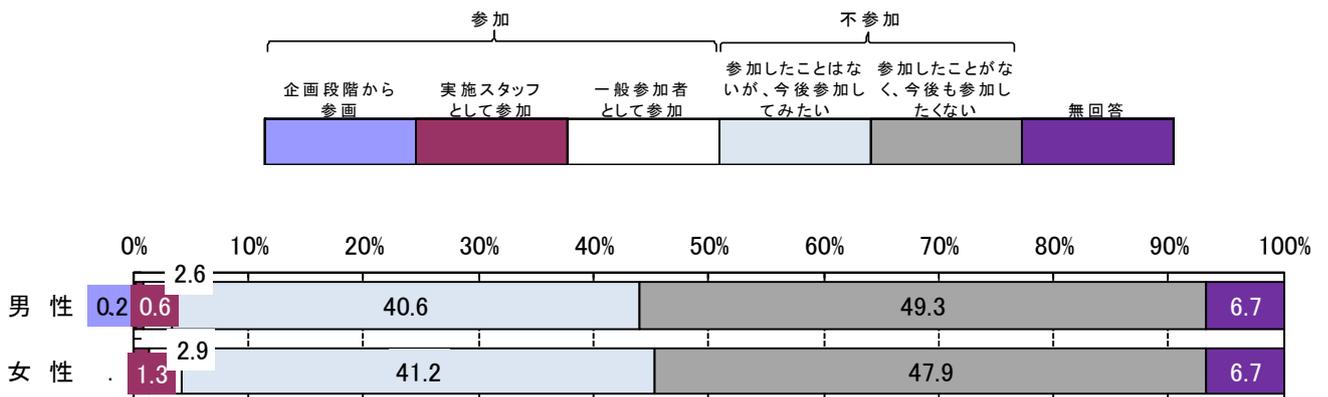
〔キ 国際交流活動〕

【地域別】

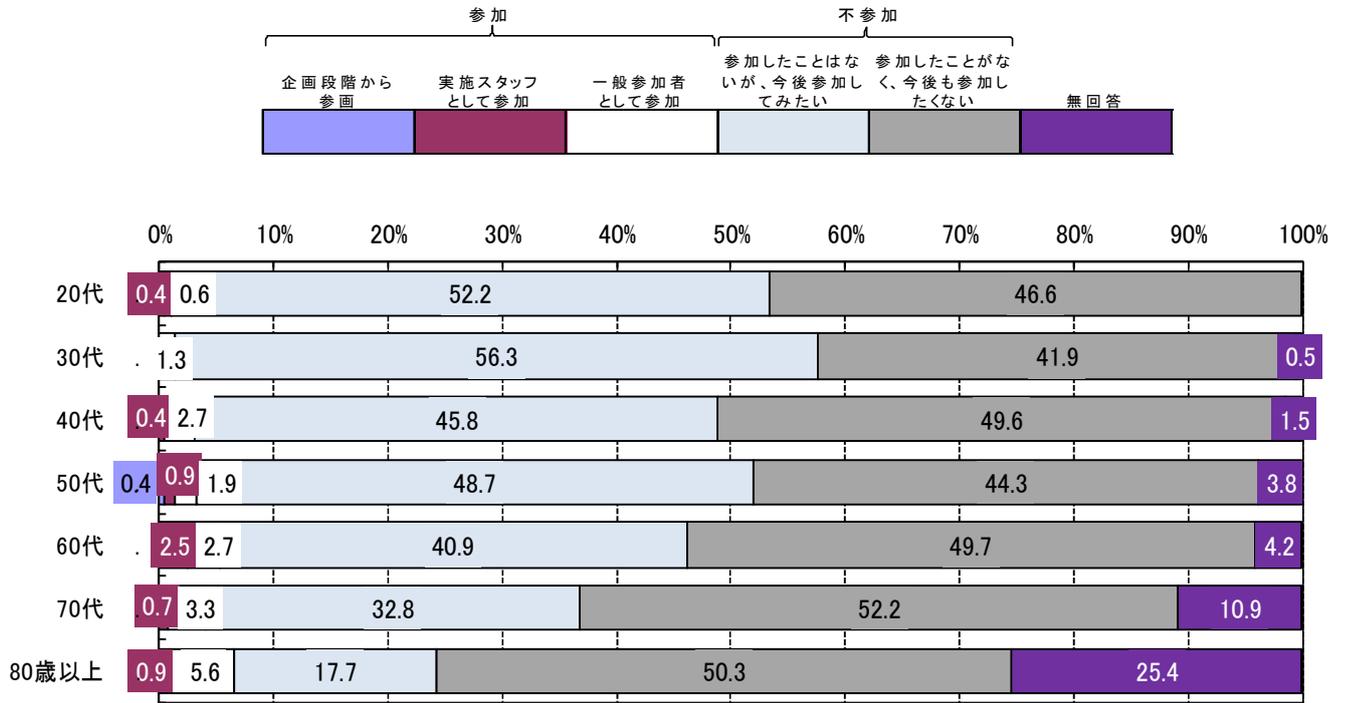
『参加』は但馬(6.0%)が最も高く、北播磨、東播磨、神戸、西播磨以外は全県(3.8%)を上回っている。



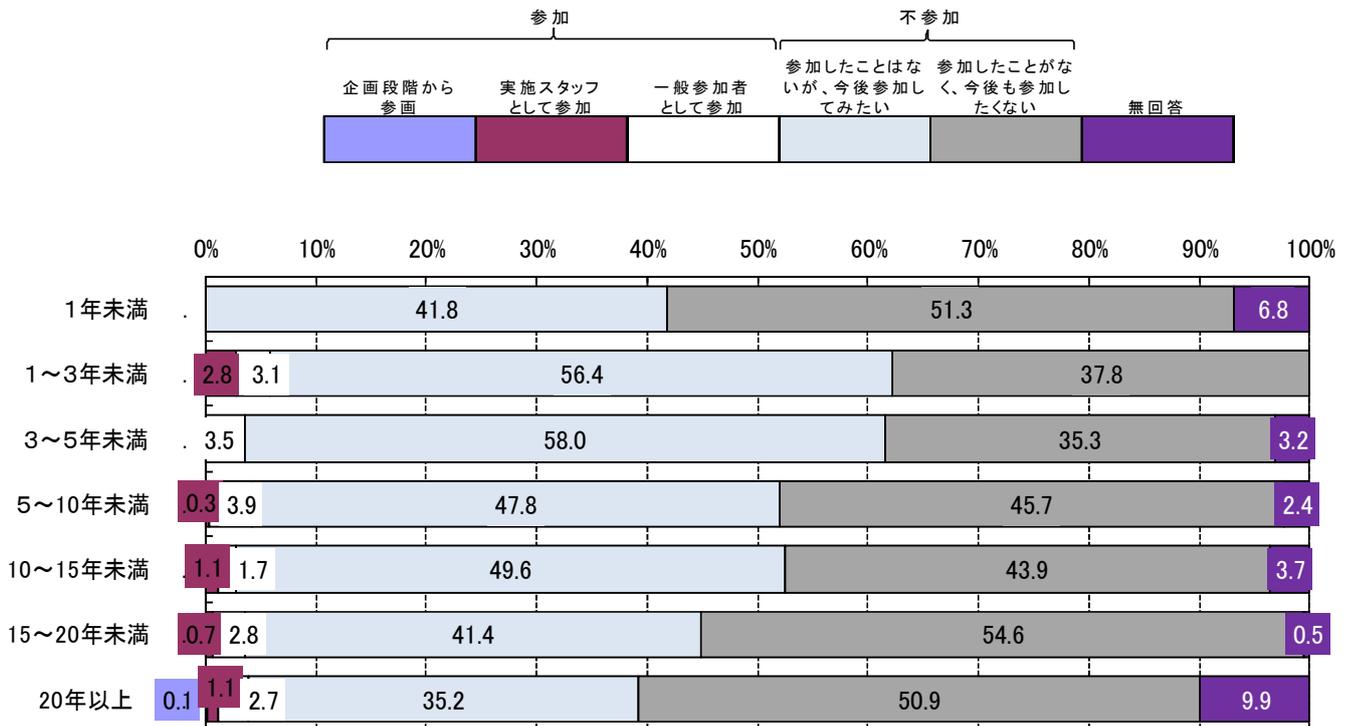
【性別】



【年代別】



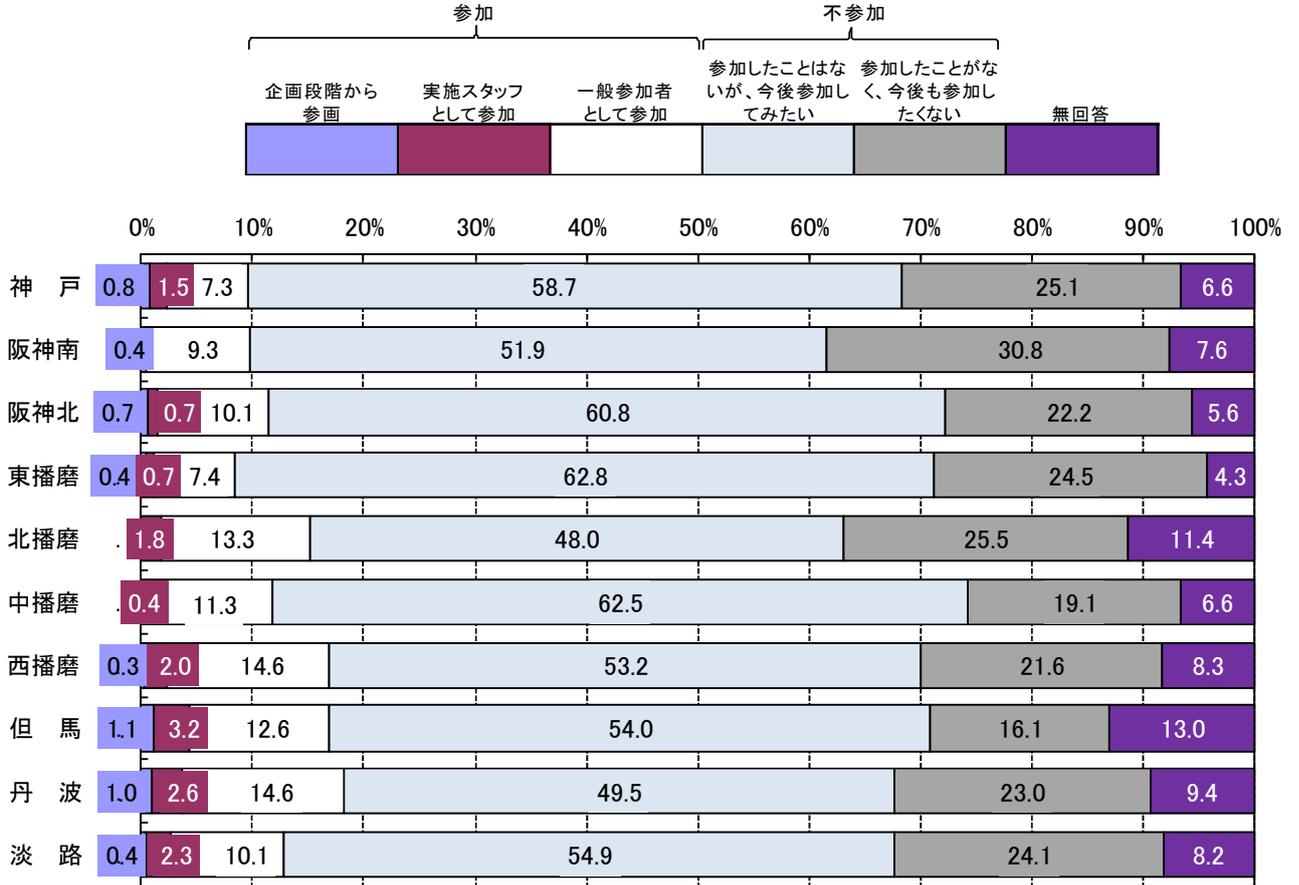
【在住年数別】



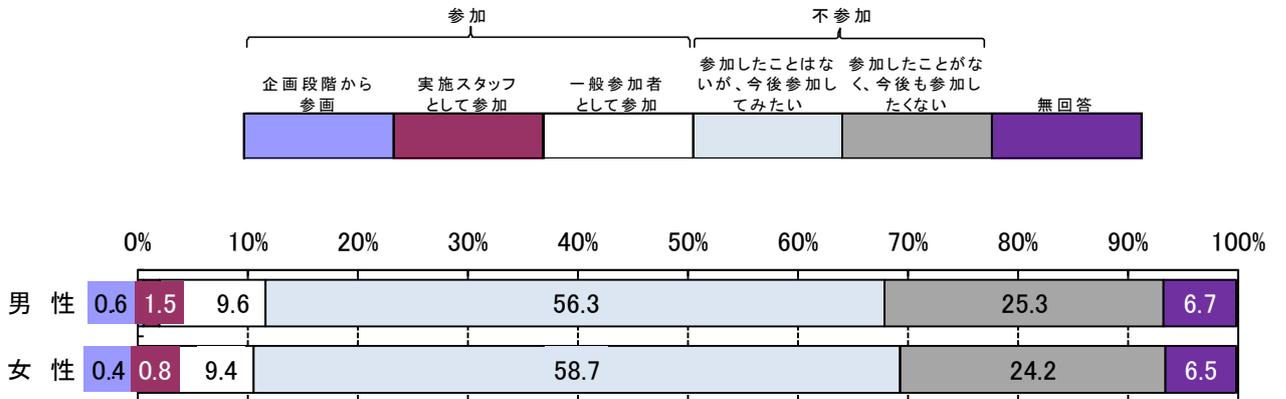
〔ク 災害援助活動〕

【地域別】

『参加』は丹波(18.2%)が最も高く、阪神南、神戸、東播磨以外は全県(11.0%)を上回っている。

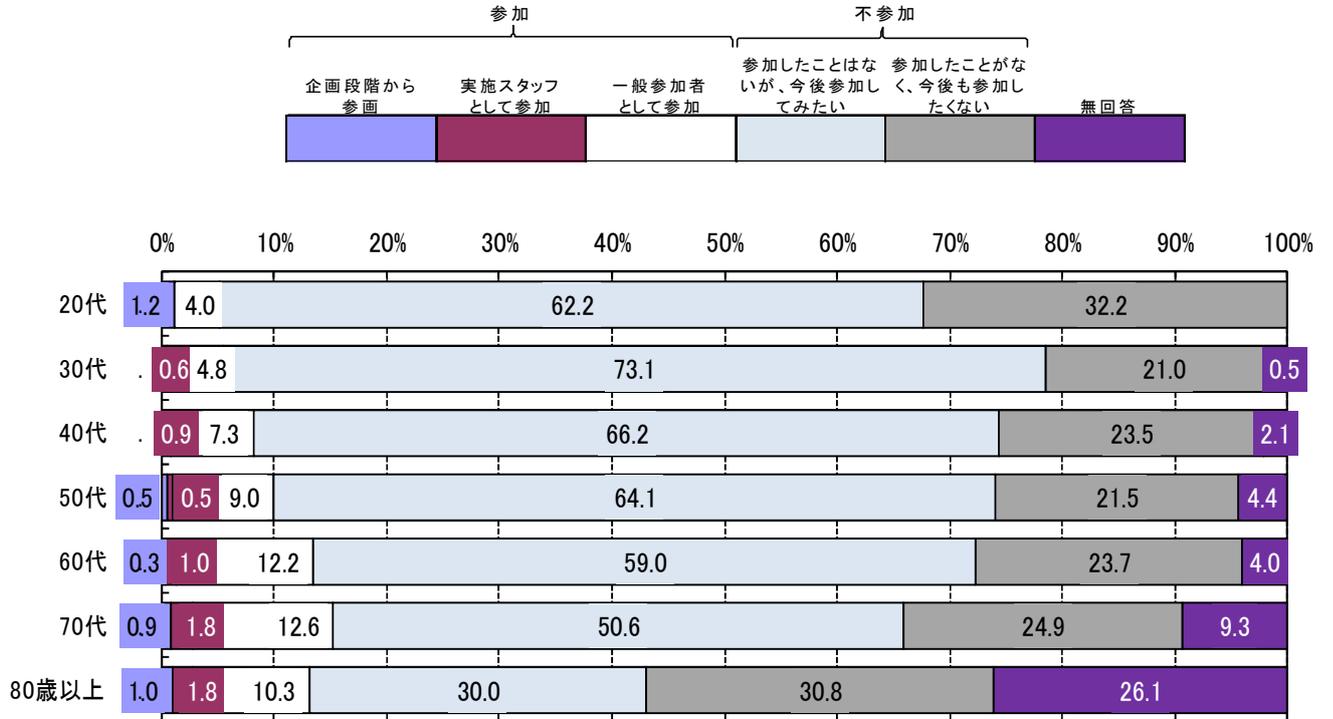


【性別】

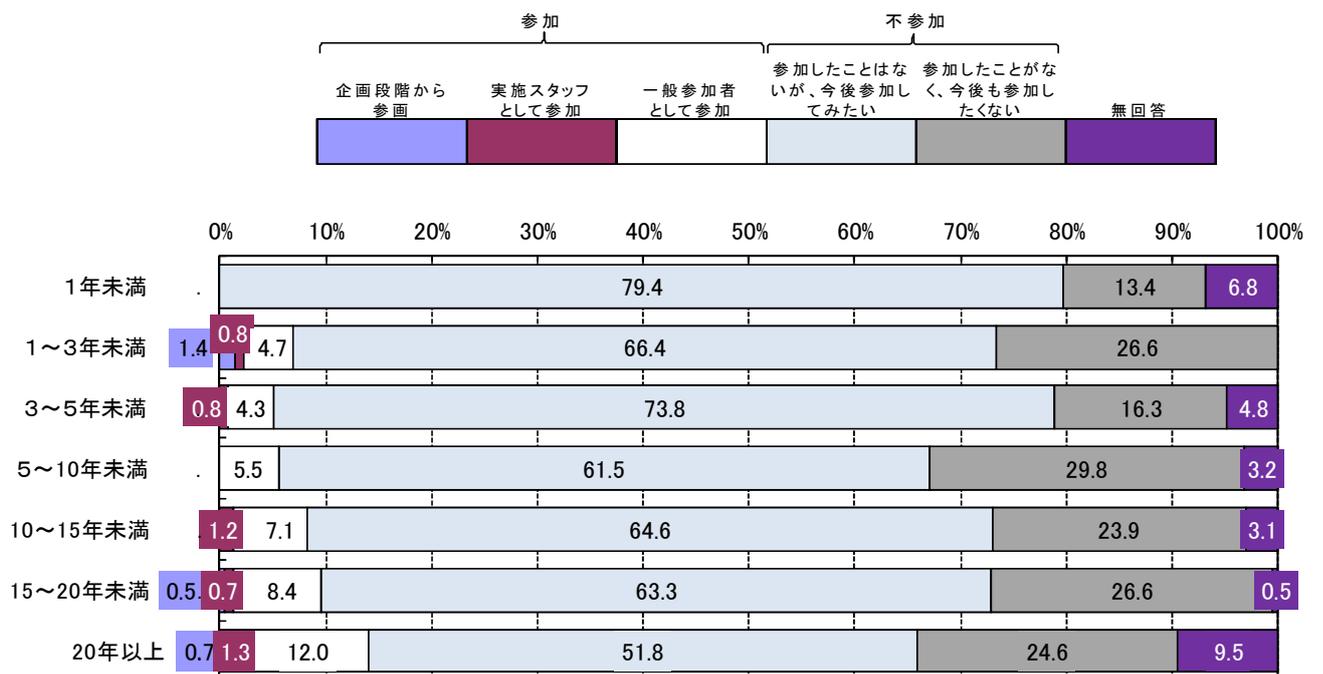


【年代別】

『参加』は70代(15.3%)が最も高く、60代(13.5%)、80歳以上(13.1%)が続いている。



【在住年数別】



問6 地域活動に参加したきっかけ

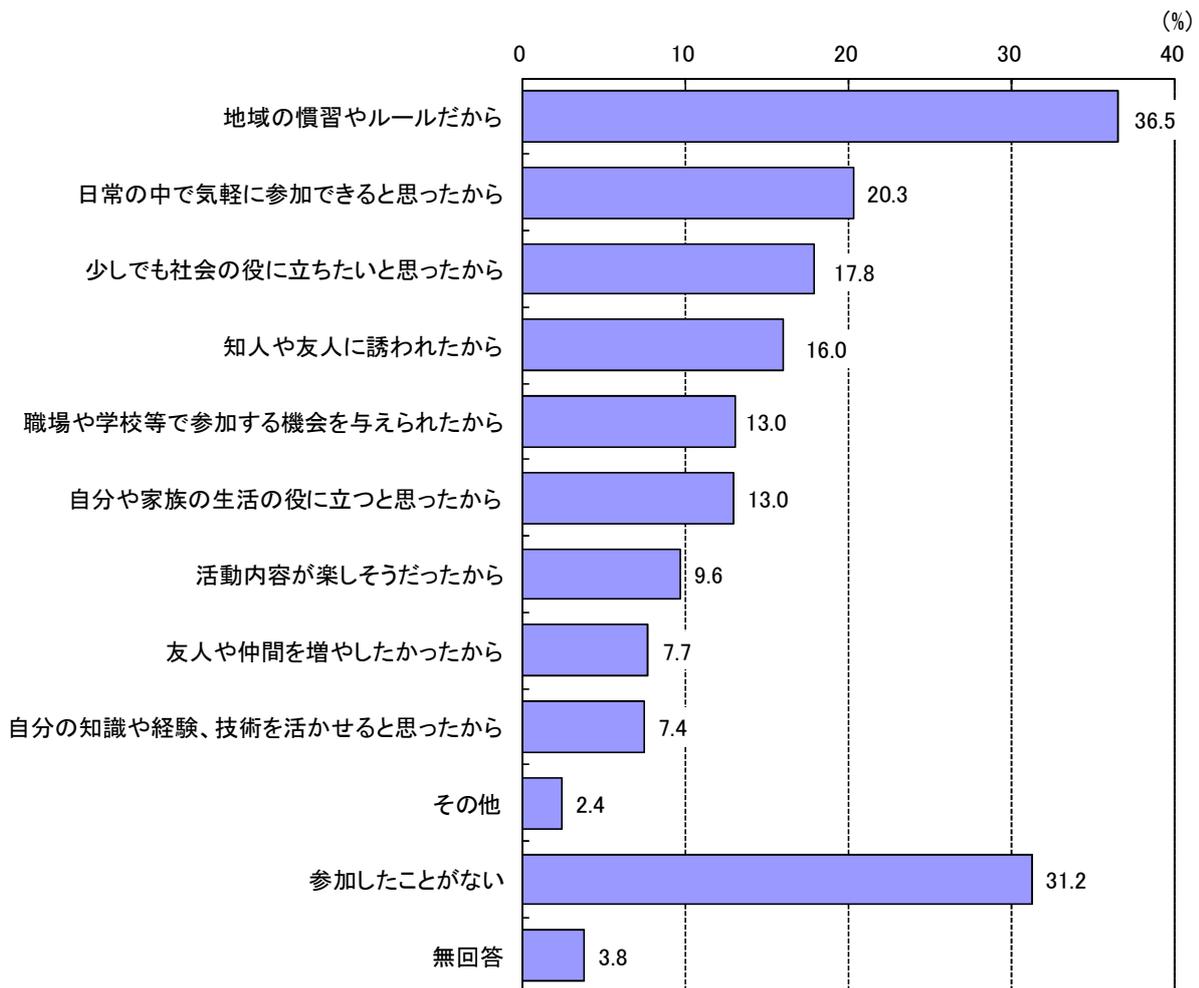
問6

お住まいの地域での地域活動に参加したきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 地域の慣習やルールだから
- 2 知人や友人に誘われたから
- 3 職場や学校等で参加する機会を与えられたから
- 4 活動内容が楽しそうだったから
- 5 友人や仲間を増やしたかったから
- 6 自分や家族の生活の役に立つと思ったから
- 7 少しでも社会の役に立ちたいと思ったから
- 8 日常の中で気軽に参加できると思ったから
- 9 自分の知識や経験、技術を活かせると思ったから
- 10 その他 ()
- 11 参加したことがない

【全 県】

「地域の慣習やルールだから」が最も高く、次いで「日常の中で気軽に参加できると思ったから」、「少しでも社会の役に立ちたいと思ったから」が続いている。



【地域別】

地域別では、全地域で「地域の慣習やルールだから」が最も高い。

「参加したことがない」は、阪神南が最も高く、神戸、阪神北が続いている。

区分	地域の慣習やルールだから	日常の中で気軽に参加できると思ったから	少しでも社会の役に立ちたいと思ったから	知人や友人に誘われたから	職場や学校等で参加する機会を与えられたから	自分や家族の生活の役に立つと思ったから	活動内容が楽しそうだったから	友人や仲間を増やしたかったから	自分の知識や経験、技術を活かせると思ったから	最大値	最小値	参加したことがない	無回答
										7.4	2.4		
全 県	36.5	20.3	17.8	16.0	13.0	13.0	9.6	7.7	7.4	2.4	31.2	3.8	
地域別	神 戸	24.3	21.6	21.2	16.2	11.2	9.7	10.4	7.7	6.6	2.7	39.4	3.9
	阪神南	25.3	18.1	12.7	12.7	9.3	13.1	9.3	8.0	8.0	2.5	41.4	4.6
	阪神北	26.7	21.9	14.2	14.2	11.5	14.2	11.1	7.6	6.6	2.8	36.8	3.5
	東播磨	45.7	13.5	16.0	14.2	15.6	10.6	8.2	7.1	7.1	1.1	27.7	3.9
	北播磨	51.3	21.4	16.2	18.5	12.5	15.9	13.3	10.0	8.1	1.5	19.9	3.7
	中播磨	57.4	23.0	20.7	19.9	18.8	17.2	9.0	5.9	6.6	2.0	16.0	2.3
	西播磨	57.8	22.6	21.6	19.6	19.3	17.9	6.0	10.6	8.0	3.7	10.3	5.3
	但 馬	59.3	26.7	23.5	22.1	14.0	16.8	7.7	7.7	10.5	2.5	12.3	2.5
	丹 波	59.9	24.9	23.0	22.0	20.1	15.5	11.0	11.0	14.2	4.5	8.4	2.6
	淡 路	57.2	19.5	20.6	18.7	15.2	14.8	7.4	4.3	10.9	1.9	18.3	3.1
地域間の差	35.6	13.2	10.8	9.4	10.8	8.2	7.3	6.7	7.6	3.4	33.0	3.0	

【性別】

区分	地域の慣習やルールだから	日常の中で気軽に参加できると思ったから	少しでも社会の役に立ちたいと思ったから	知人や友人に誘われたから	職場や学校等で参加する機会を与えられたから	自分や家族の生活の役に立つと思ったから	活動内容が楽しそうだったから	友人や仲間を増やしたかったから	自分の知識や経験、技術を活かせると思ったから	その他	参加したことがない	無回答	
													(%)
全 県	36.5	20.3	17.8	16.0	13.0	13.0	9.6	7.7	7.4	2.4	31.2	3.8	
性別	男性	38.2	16.1	19.8	13.3	9.5	13.4	7.3	5.4	9.3	2.6	34.7	4.5
	女性	35.4	23.3	16.5	17.7	15.4	12.7	11.2	9.3	6.0	2.2	29.0	3.2
性別間の差	2.8	7.2	3.3	4.4	5.9	0.7	3.9	3.9	3.3	0.4	5.7	1.3	

【年代別】

全年代で「地域の慣習やルールだから」が最も高い。

区分	地域の慣習やルールだから	日常の中で気軽に参加できると思ったから	少しでも社会の役に立ちたいと思ったから	知人や友人に誘われたから	職場や学校等で参加する機会を与えられたから	自分や家族の生活の役に立つと思ったから	活動内容が楽しそうだったから	最大値		最小値		参加したことがない	無回答
								友人や仲間を増やしたから	自分の知識や経験、技術を活かせると思ったから	その他	(%)		
全 県	36.5	20.3	17.8	16.0	13.0	13.0	9.6	7.7	7.4	2.4	31.2	3.8	
年代別	20代	17.2	5.1	1.6	12.7	17.0	5.5	6.3	2.1	3.0	0.2	61.6	1.2
	30代	20.9	18.1	8.0	17.7	16.7	12.6	15.8	4.9	4.6	1.4	42.9	0.0
	40代	33.0	11.0	12.1	13.5	25.3	13.4	8.4	7.2	3.8	1.3	34.1	2.3
	50代	45.1	17.2	17.0	10.1	19.8	10.9	6.7	4.0	3.9	2.8	28.7	2.0
	60代	45.8	21.4	20.1	13.9	8.6	13.9	7.4	8.2	8.3	2.9	27.9	4.0
	70代	39.1	31.9	26.8	23.3	5.2	14.9	11.1	12.2	10.8	2.4	23.4	4.7
	80歳以上	33.1	26.1	24.5	18.0	4.5	15.0	13.3	10.2	14.0	4.6	22.8	10.5
年代間の差	28.6	26.8	25.2	13.2	20.8	9.5	9.5	10.1	11.0	4.4	38.8	10.5	

【在住年数別】

区分	地域の慣習やルールだから	日常の中で気軽に参加できると思ったから	少しでも社会の役に立ちたいと思ったから	知人や友人に誘われたから	職場や学校等で参加する機会を与えられたから	自分や家族の生活の役に立つと思ったから	活動内容が楽しそうだったから	最大値		最小値		参加したことがない	無回答
								友人や仲間を増やしたから	自分の知識や経験、技術を活かせると思ったから	その他	(%)		
全 県	36.5	20.3	17.8	16.0	13.0	13.0	9.6	7.7	7.4	2.4	31.2	3.8	
在住年数別	1年未満	24.2	4.0	11.3	8.4	4.1	13.2	8.2	1.4	3.5	0.0	55.2	0.0
	1～3年未満	17.7	17.9	8.9	8.7	16.8	15.5	6.0	5.9	6.5	2.8	52.9	0.0
	3～5年未満	22.5	14.9	11.0	17.1	8.3	10.7	13.6	7.9	3.7	1.8	42.0	2.3
	5～10年未満	26.4	11.0	8.7	10.9	17.6	9.8	10.3	9.1	2.9	2.3	45.7	2.3
	10～15年未満	36.3	18.3	11.1	11.2	16.6	9.6	9.1	6.5	5.3	0.7	40.0	1.3
	15～20年未満	34.1	14.5	17.1	15.6	22.8	8.2	9.4	8.6	8.5	3.3	31.6	3.0
	20年以上	42.0	24.5	22.3	18.6	10.5	14.8	9.6	7.9	8.7	2.7	23.6	5.0
在住年数間の差	24.3	20.5	13.6	10.2	18.7	7.3	7.6	7.7	5.8	3.3	31.6	5.0	

問7 今までに参加した地域活動の形態

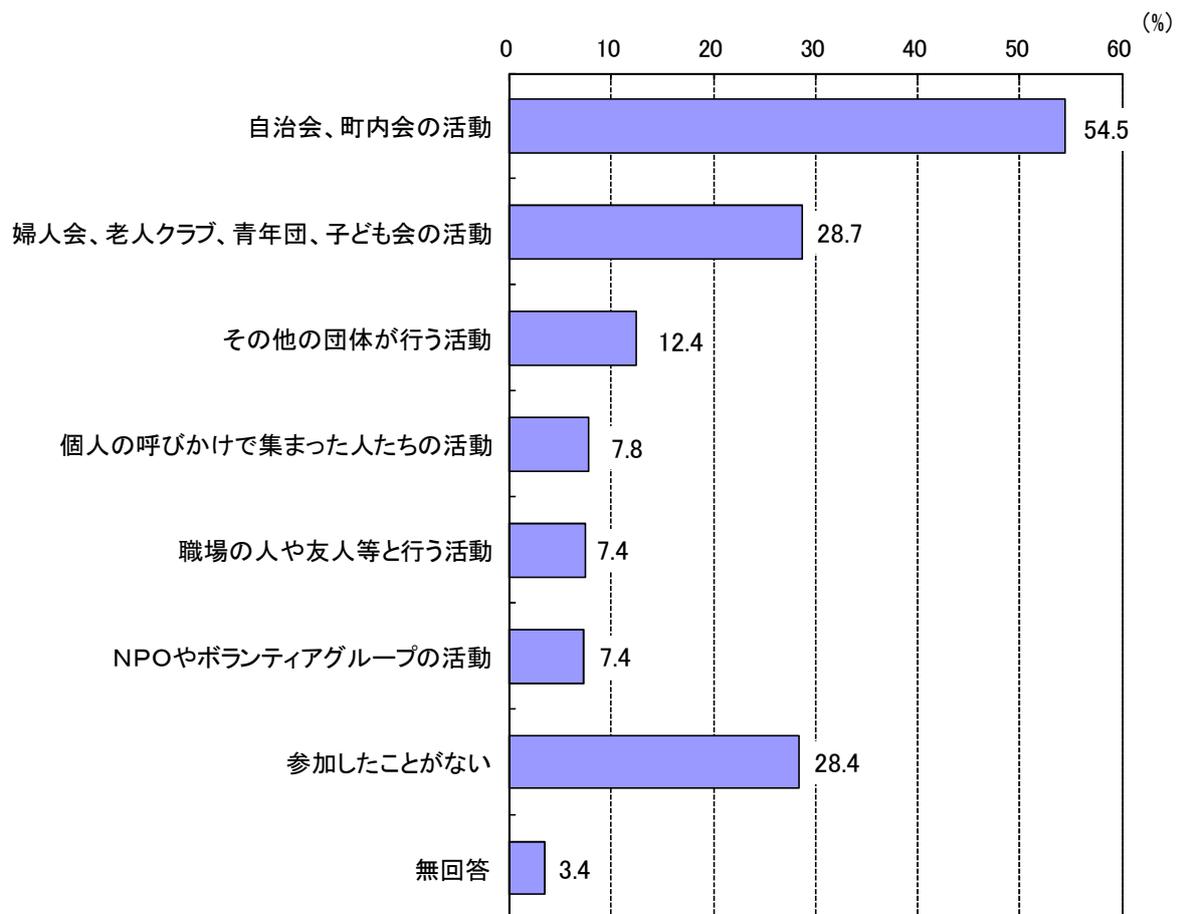
問7

今までに参加された地域活動は、どのような形で行う活動でしたか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 自治会、町内会の活動
- 2 婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の活動
- 3 NPOやボランティアグループの活動
- 4 その他の団体が行う活動
- 5 職場の人や友人等と行う活動
- 6 個人の呼びかけで集まった人たちの活動
- 7 参加したことがない

【全 県】

「自治会、町内会の活動」が最も高く、次いでに「婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の活動」が続いている。



【地域別】

全地域で「自治会、町内会の活動」が最も高い。

「参加したことがない」は、阪神南が最も高く、神戸、阪神北が続いている。

区分	自治会、町内会の活動	婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の活動	その他の団体が行う活動	個人の呼びかけで集まった人たちの活動	最大値		最小値		無回答
					職場の人や友人等と行う活動	アングロやボランティアの活動	参加したことがない	(%)	
全 県	54.5	28.7	12.4	7.8	7.4	7.4	28.4	3.4	
地域別	神 戸	43.6	19.7	12.0	6.9	7.3	8.5	37.1	4.6
	阪神南	39.7	16.0	11.8	8.0	5.5	4.2	38.0	5.1
	阪神北	54.5	16.7	12.2	6.6	7.3	9.4	34.4	1.4
	東播磨	61.7	34.4	12.4	6.0	6.7	7.8	24.5	2.5
	北播磨	67.5	49.8	16.2	10.0	10.3	8.1	14.8	3.7
	中播磨	73.0	51.6	9.8	8.2	7.4	5.5	12.5	1.6
	西播磨	79.4	51.5	12.3	11.3	8.0	8.3	9.0	3.0
	但 馬	64.9	49.1	18.2	11.9	11.6	7.0	10.5	3.5
	丹 波	79.9	43.7	20.7	11.3	11.7	11.0	8.1	2.3
淡 路	66.5	42.8	14.4	8.9	11.7	7.4	16.0	1.6	
地域間の差	40.2	35.6	10.9	5.9	6.2	6.8	29.9	3.7	

【性別】

性別	自治会、町内会の活動	婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の活動	その他の団体が行う活動	個人の呼びかけで集まった人たちの活動	職場の人や友人等と行う活動	アングロやボランティアの活動	参加したことがない	無回答	(%)
									(%)
全 県	54.5	28.7	12.4	7.8	7.4	7.4	28.4	3.4	
性別	男 性	52.9	23.4	12.1	5.7	7.4	6.2	31.6	3.8
	女 性	55.7	32.6	12.8	9.3	7.3	8.1	26.2	3.0
年代間の差	2.8	9.2	0.7	3.6	0.1	1.9	5.4	0.8	

【年代別】

全年代で「自治会、町内会の活動」が最も高い。

「参加したことがない」は、20代が最も高い。

		最大値					最小値		(%)
		自治会、町内会の活動	婦人会、老人クラブ、青年団、子どもの活動	その他の団体が行う活動	個人の呼びかけで集まった人たちの活動	職場の人や友人等と行う活動	NPOやボランティアグループの活動	参加したことがない	無回答
全 県		54.5	28.7	12.4	7.8	7.4	7.4	28.4	3.4
年 代 別	20代	25.2	12.9	4.0	3.7	10.7	1.6	60.7	1.3
	30代	34.6	18.6	12.0	5.2	6.3	8.0	44.0	0.5
	40代	55.1	32.7	9.7	3.3	4.5	4.6	31.6	1.5
	50代	58.5	29.6	10.8	5.9	8.5	6.7	27.2	1.9
	60代	60.2	28.2	15.0	7.2	8.4	8.3	24.0	4.4
	70代	64.7	32.6	16.5	13.8	7.6	10.5	18.4	3.6
	80歳以上	54.4	35.2	12.1	11.6	6.7	6.7	19.0	9.0
年代間の差		39.5	22.3	12.5	10.5	6.2	8.9	42.3	8.5

【在住年数別】

		最大値					最小値		(%)
		自治会、町内会の活動	婦人会、老人クラブ、青年団、子どもの活動	その他の団体が行う活動	個人の呼びかけで集まった人たちの活動	職場の人や友人等と行う活動	NPOやボランティアグループの活動	参加したことがない	無回答
全 県		54.5	28.7	12.4	7.8	7.4	7.4	28.4	3.4
在 住 年 数 別	1年未満	34.6	6.5	4.8	4.4	9.1	5.1	49.2	0.0
	1～3年未満	34.1	14.3	6.9	3.0	11.3	7.0	49.9	0.0
	3～5年未満	40.9	14.2	8.4	6.9	5.4	2.7	38.2	5.2
	5～10年未満	42.6	19.8	7.5	5.6	2.8	6.7	44.3	3.1
	10～15年未満	53.8	24.9	10.3	4.5	4.3	5.1	32.4	1.0
	15～20年未満	49.7	33.7	17.0	3.1	9.1	8.8	31.0	0.6
	20年以上	61.1	33.4	14.1	10.2	8.3	8.0	21.3	4.4
在住年数間の差		27.0	27.2	12.2	7.2	8.5	6.1	28.6	5.2

問8 地域活動に参加しない、しにくい理由

問8

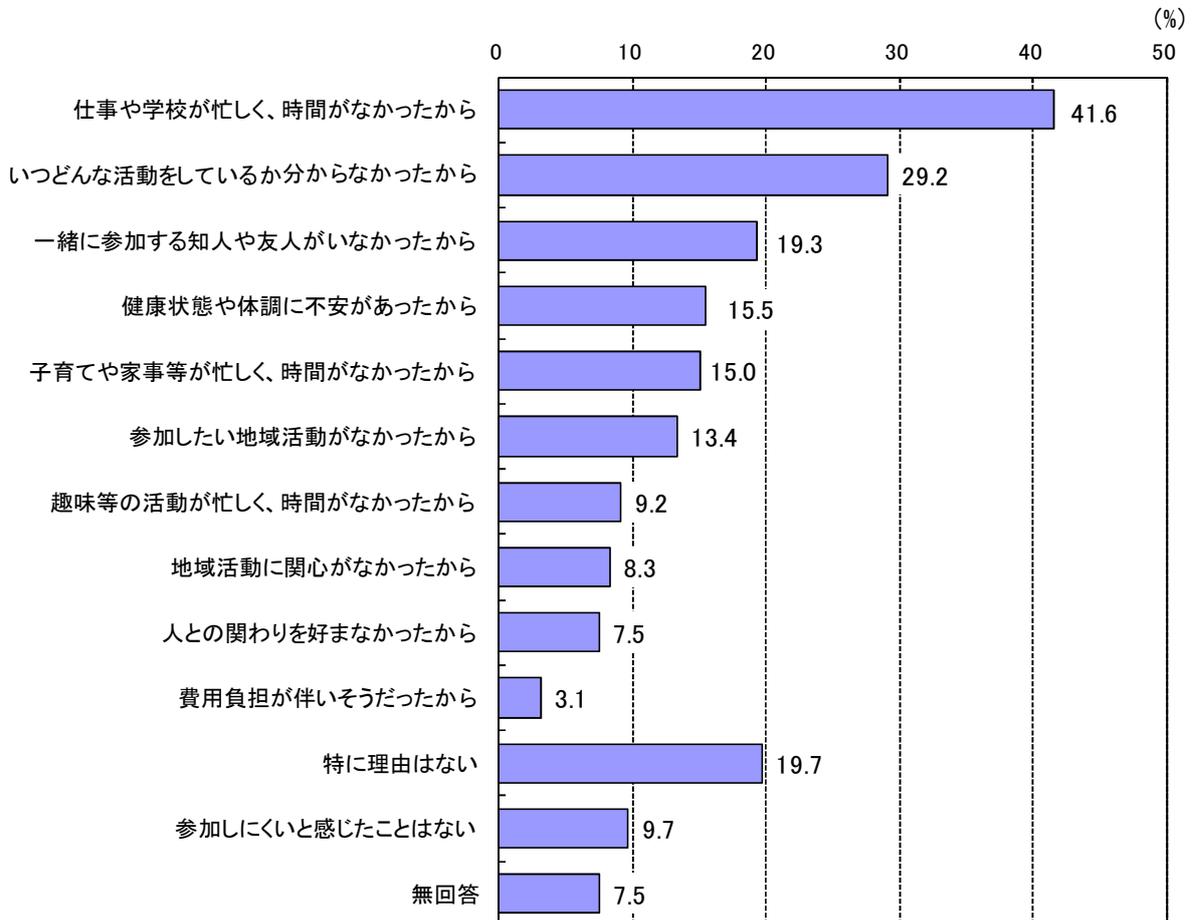
これまで地域活動に参加しなかったり、参加しにくいと感じたことがある場合、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事や学校が忙しく、時間がなかったから
- 2 子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから
- 3 趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから
- 4 費用負担が伴いそうだったから
- 5 健康状態や体調に不安があったから
- 6 一緒に参加する知人や友人がいなかったから
- 7 参加したい地域活動がなかったから
- 8 地域活動に関心がなかったから
- 9 いつ、どんな活動をしているか分からなかったから
- 10 人との関わりを好まなかったから
- 11 特に理由はない
- 12 参加しにくいと感じたことはない

【全 県】

「仕事や学校が忙しく、時間がなかったから」が最も高く、次に「いつ、どんな活動をしているか分からなかったから」が続いている。

「特に理由はない」は19.7%、「参加しにくいと感じたことはない」は9.7%となっている。



【地域別】

全地域で「仕事や学校が忙しく、時間がなかったから」が最も高い。

区分	仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	いっどんな活動をしているから	一緒に参加する知人や友人がいなかったから	健康状態や体調に不安があったから	子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	参加したい地域活動がなかったから	趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	地域活動に関心がなかったから	最大値	人との関わりを好まなかったから	最小値	参加しにくいと感じたこと	無回答	
									7.5		19.7			
全 県	41.6	29.2	19.3	15.5	15.0	13.4	9.2	8.3	7.5	3.1	19.7	9.7	7.5	
地域別	神 戸	42.5	35.5	15.4	13.5	18.1	12.0	12.4	8.9	6.9	1.5	19.7	8.1	7.7
	阪神南	38.8	35.0	22.4	16.0	12.2	14.3	8.4	10.1	6.8	4.2	23.6	5.5	7.2
	阪神北	42.4	30.9	20.8	16.3	12.2	16.0	8.3	6.3	7.6	3.8	18.8	9.7	6.6
	東播磨	44.3	26.6	23.4	14.9	14.9	13.1	4.3	9.2	10.6	4.6	16.0	11.0	6.4
	北播磨	38.4	14.4	19.2	20.7	15.1	11.8	7.7	10.0	6.6	4.1	14.4	15.9	10.3
	中播磨	43.0	23.8	20.3	12.1	15.2	13.3	10.5	6.3	7.4	2.7	20.7	13.7	6.3
	西播磨	36.5	16.9	14.0	20.9	17.6	12.0	11.6	5.3	6.3	1.3	20.9	12.3	10.3
	但 馬	44.6	18.6	18.2	19.6	12.3	13.0	6.7	7.7	8.1	3.5	18.6	10.9	10.2
	丹 波	38.8	17.2	16.5	20.4	12.6	15.5	8.7	6.8	7.1	3.2	20.1	20.1	8.1
	淡 路	42.8	15.2	19.1	17.1	17.1	14.4	5.1	7.4	5.4	4.7	21.8	10.1	9.3
地域間の差	8.1	21.1	9.4	8.8	5.9	4.2	8.1	4.8	5.2	3.4	9.2	14.6	4.0	

【性別】

性別	仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	いっどんな活動をしているから	一緒に参加する知人や友人がいなかったから	健康状態や体調に不安があったから	子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	参加したい地域活動がなかったから	趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	地域活動に関心がなかったから	最大値	人との関わりを好まなかったから	最小値	参加しにくいと感じたこと	無回答	
									7.5		19.7			
全 県	41.6	29.2	19.3	15.5	15.0	13.4	9.2	8.3	7.5	3.1	19.7	9.7	7.5	
性別	男 性	47.9	29.8	18.1	12.1	7.0	12.5	12.0	8.6	8.2	3.7	23.1	11.1	6.4
	女 性	37.4	28.8	20.2	17.9	20.8	14.2	7.3	8.2	7.1	2.8	17.5	8.9	7.9
年代間の差	10.5	1.0	2.1	5.8	13.8	1.7	4.7	0.4	1.1	0.9	5.6	2.2	1.5	

【年代別】

「仕事や学校が忙しく、時間がなかったから」は20代～60代で最も高い。

区分	仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	いっどんな活動をしていくか分からなかったから	一緒に参加する知人や友人がいなかったから	健康状態や体調に不安があったから	子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	参加したい地域活動がなかったから	趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	地域活動に関心がなかったから	最大値	最小値	(%)			
									人との関わりを好まなかったから	費用負担が伴いそうだったから	特に理由はない	参加しにくいと感じたことはない	無回答	
全 県	41.6	29.2	19.3	15.5	15.0	13.4	9.2	8.3	7.5	3.1	19.7	9.7	7.5	
年代別	20代	54.6	41.5	27.6	3.3	4.3	3.8	15.0	21.6	14.2	2.8	18.1	6.5	0.4
	30代	51.9	40.7	19.5	4.1	35.1	15.3	4.5	9.8	8.2	3.5	14.3	4.0	1.2
	40代	61.9	31.7	22.0	6.3	27.3	12.8	7.6	8.3	8.4	2.8	13.2	4.7	2.5
	50代	57.0	31.3	18.5	9.0	14.6	11.8	10.1	6.7	7.0	4.3	15.0	7.1	3.4
	60代	44.6	28.3	20.6	18.1	12.2	16.8	10.9	7.7	7.6	2.9	16.7	9.3	6.7
	70代	21.0	22.7	15.5	25.3	9.0	14.5	9.5	7.0	7.0	3.1	26.7	15.1	14.1
	80歳以上	11.3	18.7	15.8	31.5	4.0	12.3	7.3	4.9	3.2	2.8	34.7	18.6	17.8
年代間の差	50.6	22.8	12.1	28.2	31.1	13.0	10.5	16.7	11.0	1.5	21.5	14.6	17.4	

【在住年数別】

	仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	いっどんな活動をしていくか分からなかったから	一緒に参加する知人や友人がいなかったから	健康状態や体調に不安があったから	子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	参加したい地域活動がなかったから	趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	地域活動に関心がなかったから	最大値	最小値	(%)			
									人との関わりを好まなかったから	費用負担が伴いそうだったから	特に理由はない	参加しにくいと感じたことはない	無回答	
全 県	41.6	29.2	19.3	15.5	15.0	13.4	9.2	8.3	7.5	3.1	19.7	9.7	7.5	
在住年数別	1年未満	64.1	21.5	19.8	9.1	15.3	12.3	9.1	10.3	6.9	6.0	5.3	22.8	0.0
	1～3年未満	50.0	43.8	30.4	8.9	19.3	13.6	11.3	4.6	5.5	5.3	17.9	9.8	1.3
	3～5年未満	51.7	40.4	27.9	8.4	25.9	20.8	8.1	10.0	5.6	2.9	12.4	1.9	4.6
	5～10年未満	46.5	38.1	25.6	5.4	24.8	10.1	10.8	8.5	7.0	4.0	12.7	3.3	5.4
	10～15年未満	46.3	36.9	19.7	14.4	20.4	15.5	9.0	11.7	8.6	2.5	18.3	4.6	3.2
	15～20年未満	46.4	30.3	16.5	14.0	19.2	11.1	8.6	8.1	6.6	3.0	21.4	9.5	2.7
	20年以上	37.1	24.1	16.9	19.0	10.6	13.5	9.0	7.9	7.9	2.9	22.2	12.1	10.1
在住年数間の差	27.0	22.3	13.9	13.6	15.3	10.7	3.2	7.1	3.1	3.5	16.9	20.9	10.1	

2 今後の地域活動の充実について

問9 参加したい地域活動の活動形態

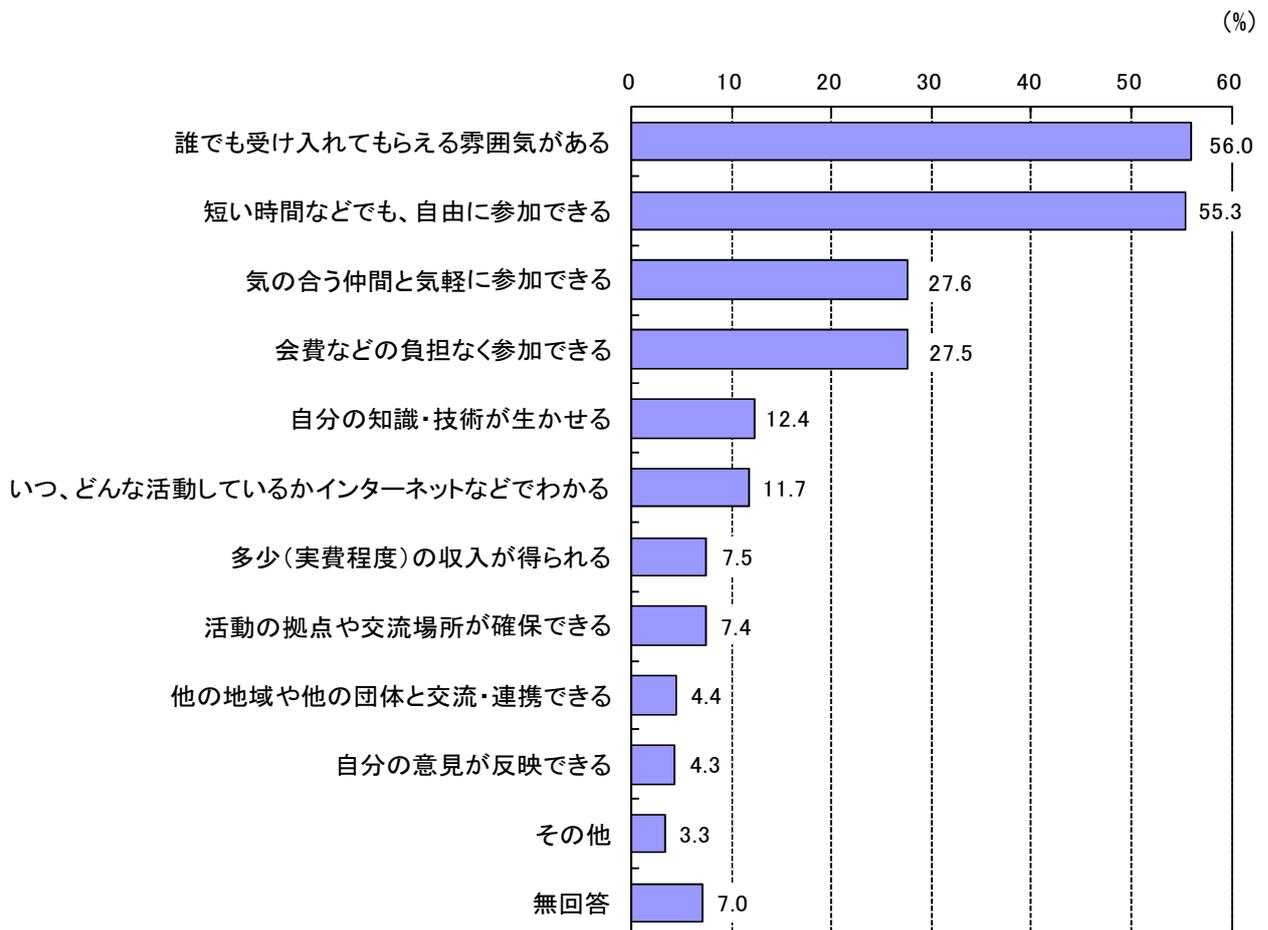
問9

お住まいの地域での地域活動について、どのような活動形態であれば参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある
- 2 気の合う仲間と気軽に参加できる
- 3 短い時間などでも、自由に参加できる
- 4 会費などの負担なく参加できる
- 5 多少（実費程度）の収入が得られる
- 6 自分の知識・技術が生かせる
- 7 自分の意見が反映できる
- 8 活動の拠点や交流場所が確保できる
- 9 他の地域や他の団体と交流・連携できる
- 10 いつ、どんな活動しているかインターネットなどでわかる
- 11 その他

【全 県】

「誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある」、「短い時間などでも、自由に参加できる」の2つが5割を超えており、次いで、「気の合う仲間と気軽に参加できる」、「会費などの負担なく参加できる」が続いている。



【地域別】

区分	誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある	短い時間などでも、自由に参加できる	気の合う仲間と気軽に参加できる	会費などの負担なく参加できる	自分の知識・技術が活かせる	いつ、どんな活動しているかインターネットなどでわかる	多少（実費程度）の収入が得られる	活動の拠点や交流場所が確保できる	他の地域や他の団体と交流・連携できる	最大値	最小値	（%）	
										自分の意見が反映できる	その他		無回答
全 県	56.0	55.3	27.6	27.5	12.4	11.7	7.5	7.4	4.4	4.3	3.3	7.0	
地域別	神 戸	58.3	56.0	23.6	27.8	11.2	13.5	8.5	8.1	3.5	3.9	3.9	6.6
	阪神南	54.0	57.0	24.1	26.6	13.9	12.7	6.8	4.6	2.5	3.8	3.0	10.1
	阪神北	60.1	56.3	21.5	26.4	11.5	16.3	7.6	6.3	4.5	5.9	3.1	5.6
	東播磨	52.5	52.5	31.2	27.3	15.2	9.9	8.9	8.5	4.6	4.6	3.2	5.0
	北播磨	55.4	50.6	35.4	29.5	10.7	6.6	5.5	8.1	9.2	4.4	4.1	7.4
	中播磨	56.6	55.9	31.6	30.9	10.5	10.9	5.9	8.6	6.6	4.3	2.3	6.3
	西播磨	53.2	54.2	38.5	24.9	11.6	6.6	6.3	9.0	4.3	4.0	3.0	8.3
	但 馬	55.8	58.6	40.4	27.4	12.6	2.8	8.4	7.7	5.3	4.6	3.2	7.7
	丹 波	53.4	53.4	32.4	28.8	13.6	5.8	8.7	7.8	8.7	2.9	3.9	7.1
	淡 路	49.4	51.8	40.5	24.5	14.8	7.0	6.2	9.7	5.1	5.1	3.1	7.0
地域間の差	10.7	8.0	19.0	6.4	4.7	13.5	3.4	5.1	6.7	3.0	1.8	5.1	

【性別】

「自分の知識・技術が活かせる」は男性が女性に比べ 10.2 ポイント高い。

区分	誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある	短い時間などでも、自由に参加できる	気の合う仲間と気軽に参加できる	会費などの負担なく参加できる	自分の知識・技術が活かせる	いつ、どんな活動しているかインターネットなどでわかる	多少（実費程度）の収入が得られる	活動の拠点や交流場所が確保できる	他の地域や他の団体と交流・連携できる	自分の意見が反映できる	その他	無回答	（%）	
全 県	56.0	55.3	27.6	27.5	12.4	11.7	7.5	7.4	4.4	4.3	3.3	7.0		
性別	男 性	53.7	52.8	23.5	23.5	18.4	10.8	8.1	8.2	5.3	5.8	3.4	7.1	
	女 性	58.0	57.4	30.6	30.7	8.2	12.5	7.2	6.7	3.8	3.0	3.1	6.5	
性別間の差	4.3	4.6	7.1	7.2	10.2	1.7	0.9	1.5	1.5	2.8	0.3	0.6		

【年代別】

区分		最大値								最小値		(%)	
		誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある	短い時間などでも、自由に参加できる	気の合う仲間と気軽に参加できる	会費などの負担なく参加できる	自分の知識・技術が生かせる	いつ、どんな活動しているかインターネットなどでわかる	多少(実費程度)の収入が得られる	活動の拠点や交流場所が確保できる	他の地域や他の団体と交流・連携できる	自分の意見が反映できる	その他	無回答
全 県		56.0	55.3	27.6	27.5	12.4	11.7	7.5	7.4	4.4	4.3	3.3	7.0
年代別	20代	50.1	49.0	31.6	32.0	11.5	27.5	15.5	5.8	3.0	3.7	1.9	2.1
	30代	65.4	54.1	28.9	40.7	3.6	19.7	15.2	6.0	1.4	4.3	1.6	1.0
	40代	56.7	55.4	27.0	27.3	8.0	17.5	9.6	5.7	5.3	4.1	2.8	2.1
	50代	57.5	58.6	23.1	26.4	12.5	14.3	8.6	7.9	4.4	3.8	5.2	3.4
	60代	58.3	64.0	27.3	26.5	12.7	9.7	7.0	8.3	3.2	3.2	2.5	4.4
	70代	55.3	51.4	28.0	26.6	17.9	3.7	2.2	8.1	5.9	5.4	3.8	11.7
	80歳以上	46.3	47.2	30.7	19.2	15.9	2.4	2.1	8.3	6.5	4.9	3.8	22.9
年代間の差		19.1	16.8	8.5	21.5	14.3	25.1	13.4	2.6	5.1	2.2	3.6	21.9

【在住年数別】

		最大値								最小値		(%)	
		誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある	短い時間などでも、自由に参加できる	気の合う仲間と気軽に参加できる	会費などの負担なく参加できる	自分の知識・技術が生かせる	いつ、どんな活動しているかインターネットなどでわかる	多少(実費程度)の収入が得られる	活動の拠点や交流場所が確保できる	他の地域や他の団体と交流・連携できる	自分の意見が反映できる	その他	無回答
全 県		56.0	55.3	27.6	27.5	12.4	11.7	7.5	7.4	4.4	4.3	3.3	7.0
在住年数別	1年未満	56.5	61.7	27.0	36.0	4.1	9.7	8.5	7.6	1.0	5.3	6.6	5.2
	1～3年未満	64.8	69.5	24.9	30.4	9.5	18.9	10.2	3.9	6.0	3.6	0.3	3.1
	3～5年未満	61.8	51.1	31.4	39.2	6.3	15.6	18.1	3.9	1.2	2.8	6.4	2.0
	5～10年未満	57.4	59.5	18.3	31.1	7.6	18.6	9.0	6.9	4.5	5.8	2.6	6.8
	10～15年未満	64.1	51.8	21.4	34.4	14.6	19.6	9.5	8.3	1.0	2.9	3.4	1.7
	15～20年未満	52.6	58.8	25.2	23.5	13.7	16.2	3.0	6.9	5.4	2.9	3.5	3.0
	20年以上	53.8	53.7	30.7	24.9	13.5	7.6	6.5	8.0	5.2	4.5	3.2	9.3
在住年数間の差		12.2	18.4	13.1	15.7	10.5	12.0	15.1	4.4	5.0	3.0	6.3	7.6

問 10 地域団体の活動資金の確保への協力や関心

問 10

地域コミュニティに関わる団体の活動資金の確保について、あなたが現在協力していることや関心はありますか。それぞれの項目ごとに、一番近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

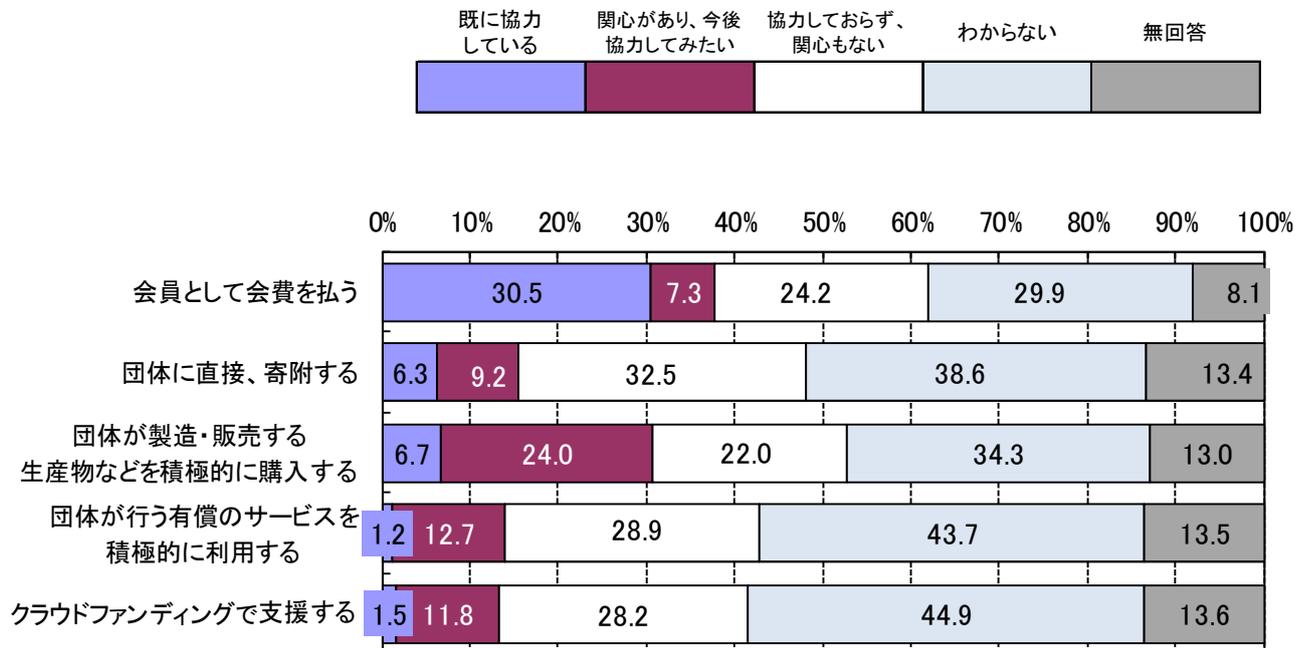
- ア 会員として会費を払う
- イ 団体に直接、寄附する
- ウ 団体が製造・販売する生産物などを積極的に購入する
- エ 団体が行う有償のサービス（買物代行等）を積極的に利用する
- オ クラウドファンディング(特定の活動に対する資金提供等)で支援する

- 1 既に協力している 2 関心があり、今後協力してみたい
- 3 協力しておらず、関心もない 4 わからない

【全県】

「既に協力している」は、「会員として会費を払う」が最も高く、次いで「団体が製造・販売する生産物などを積極的に購入する」が続いている。

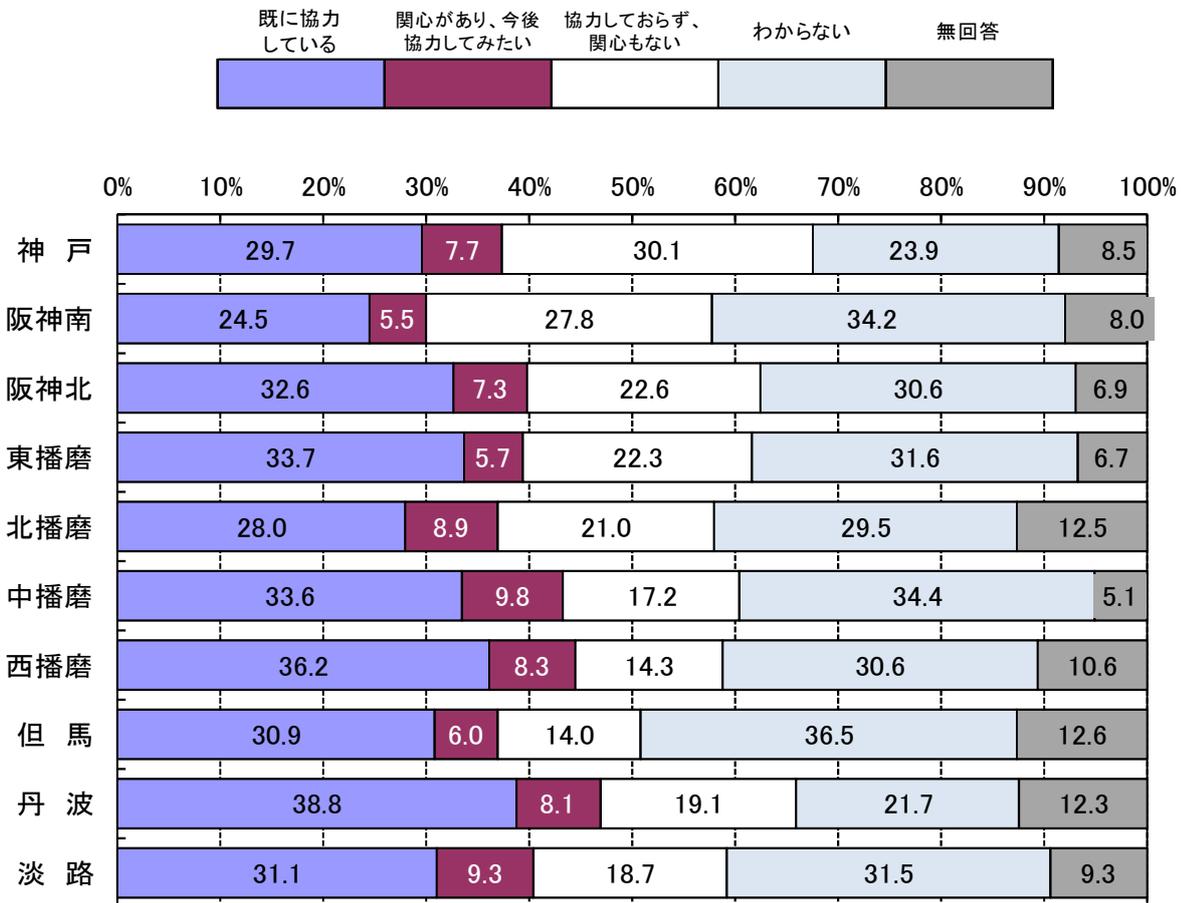
「関心があり、今後協力してみたい」は、「団体が製造・販売する生産物などを積極的に購入する」が最も高く、次いで「団体が行う有償サービスを積極的に利用する」が続いている。



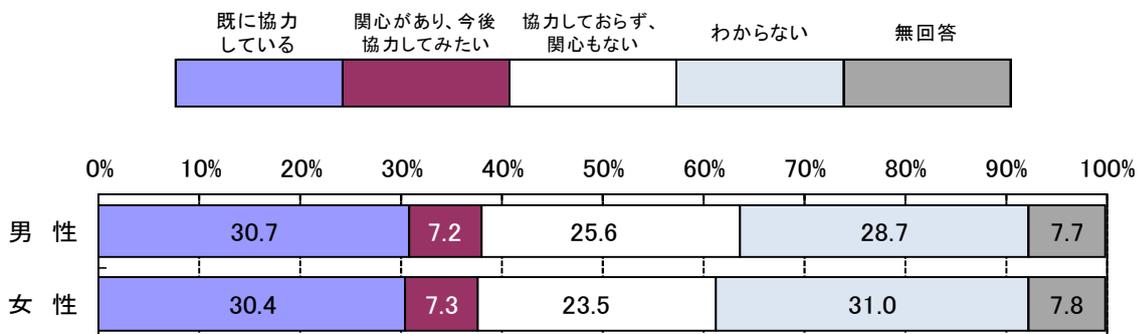
〔ア 会員として会費を払う〕

【地域別】

「すでに協力している」は、丹波地域が最も高く、次いで、西播磨、東播磨、中播磨が続いている。



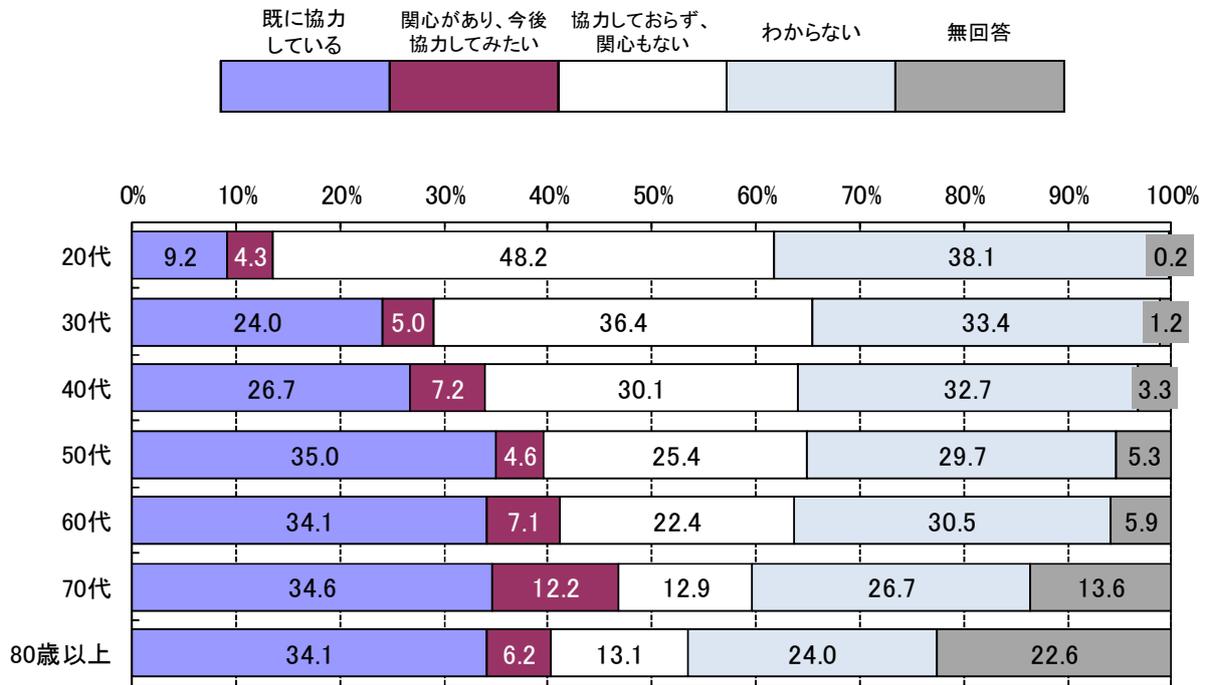
【性別】



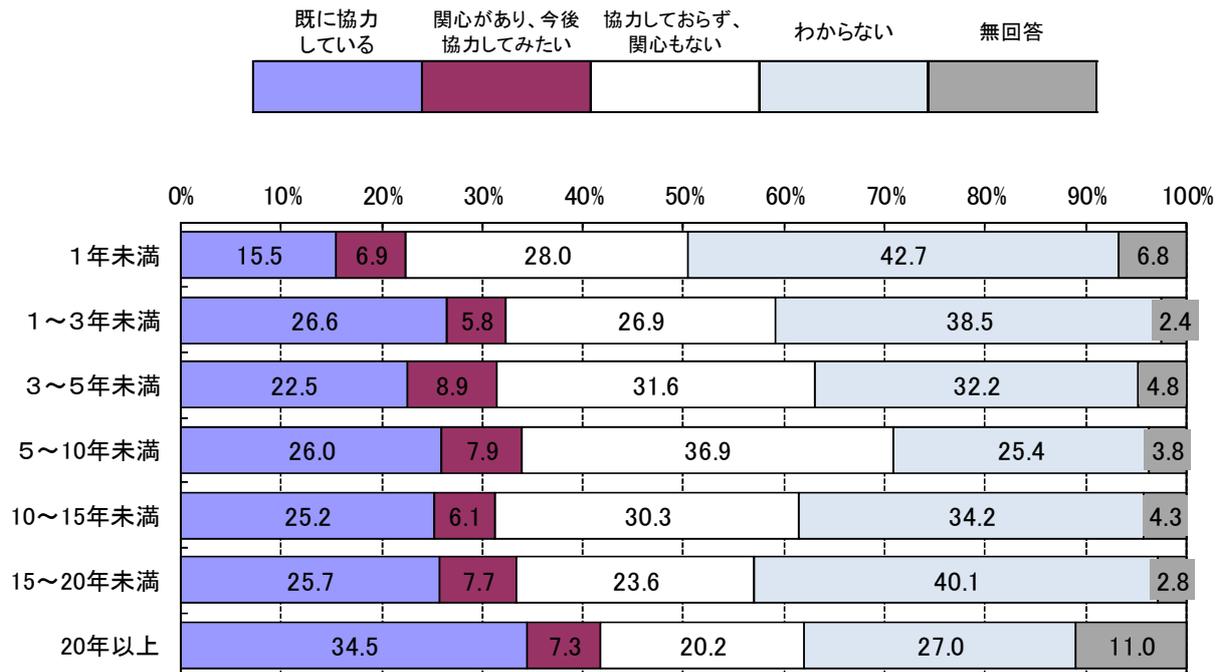
【年代別】

「既に協力している」は50代が最も高く、70代、60代、80歳以上が続いている。

「協力しておらず、関心もない」は20代で48.2%となっている。



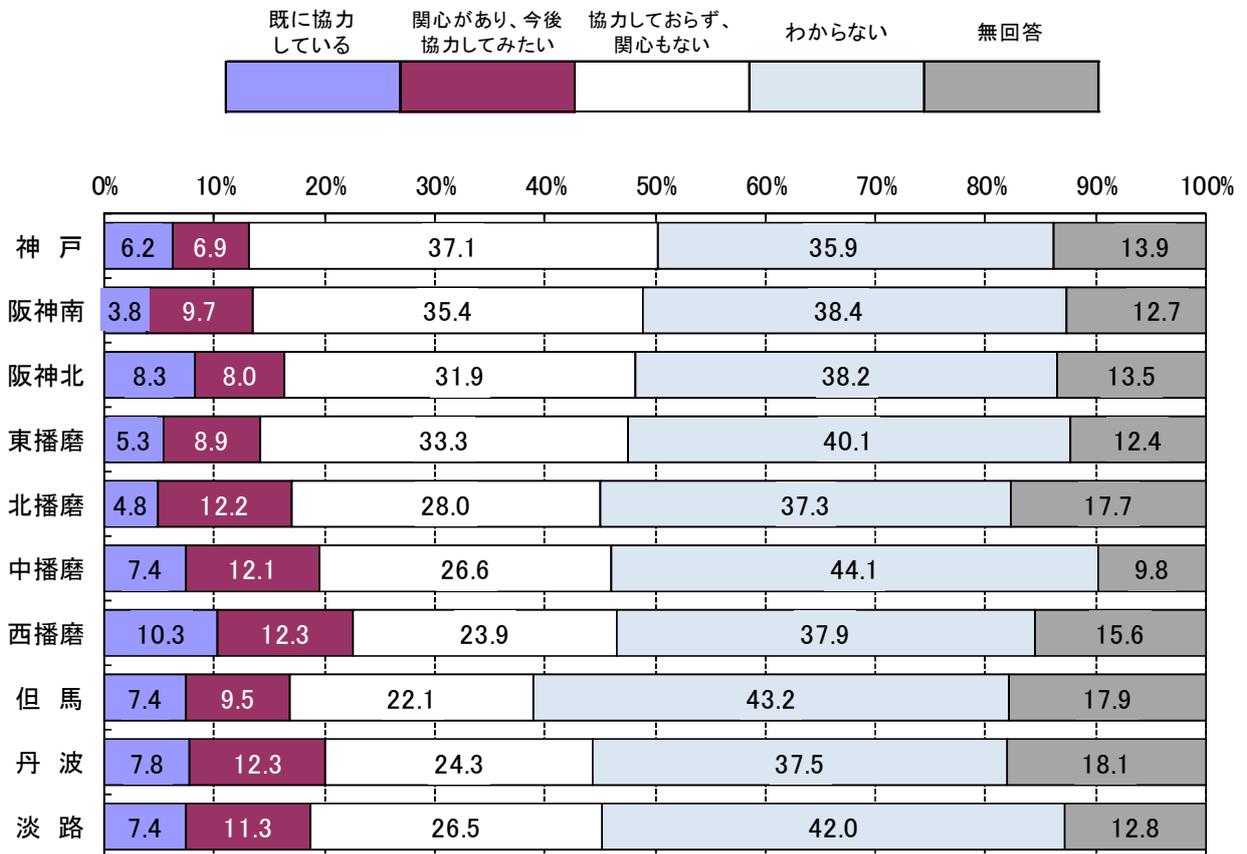
【在住年数別】



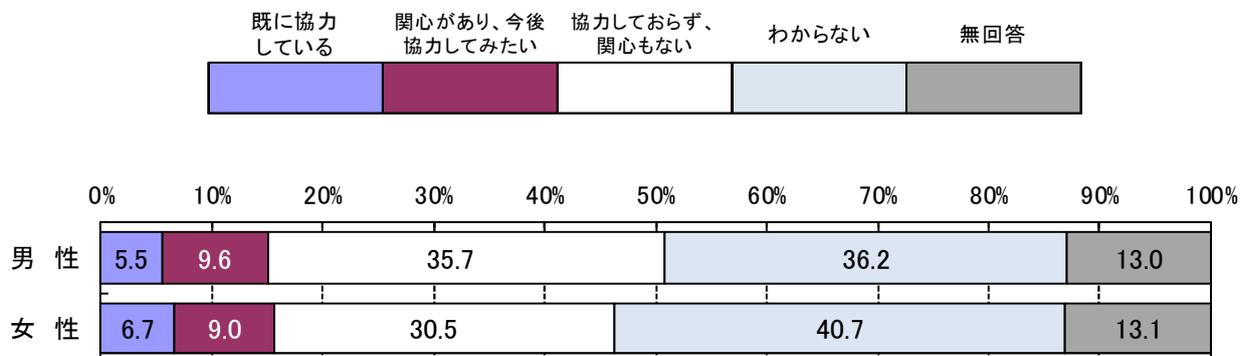
〔イ 団体に直接寄付する〕

【地域別】

「すでに協力している」は、西播磨地域が最も高く、次いで、阪神北、丹波が続いている。

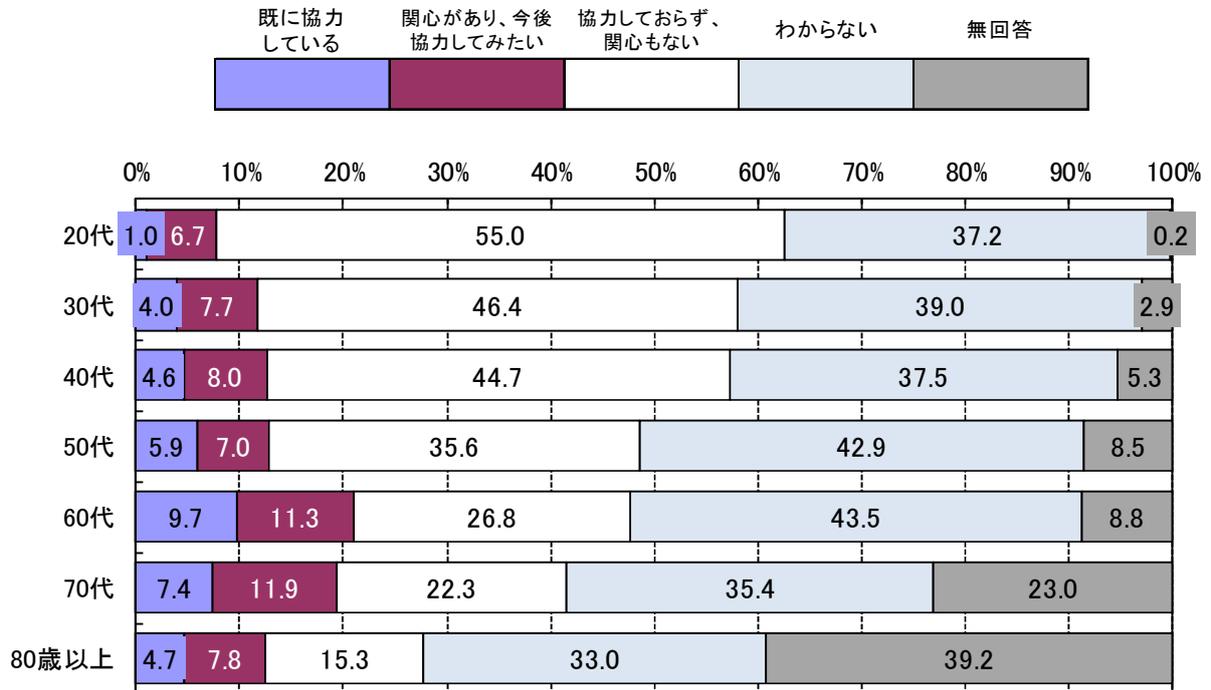


【性別】

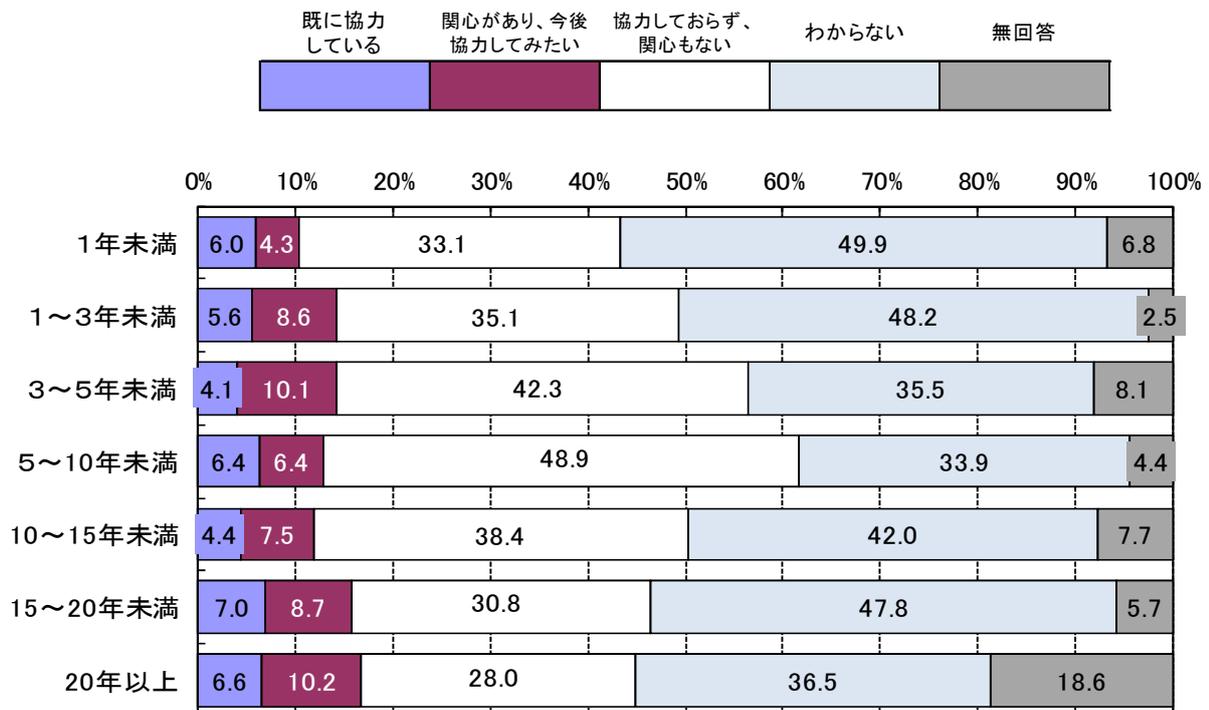


【年代別】

「既に協力している」は60代が最も高く、70代、50代が続いている。



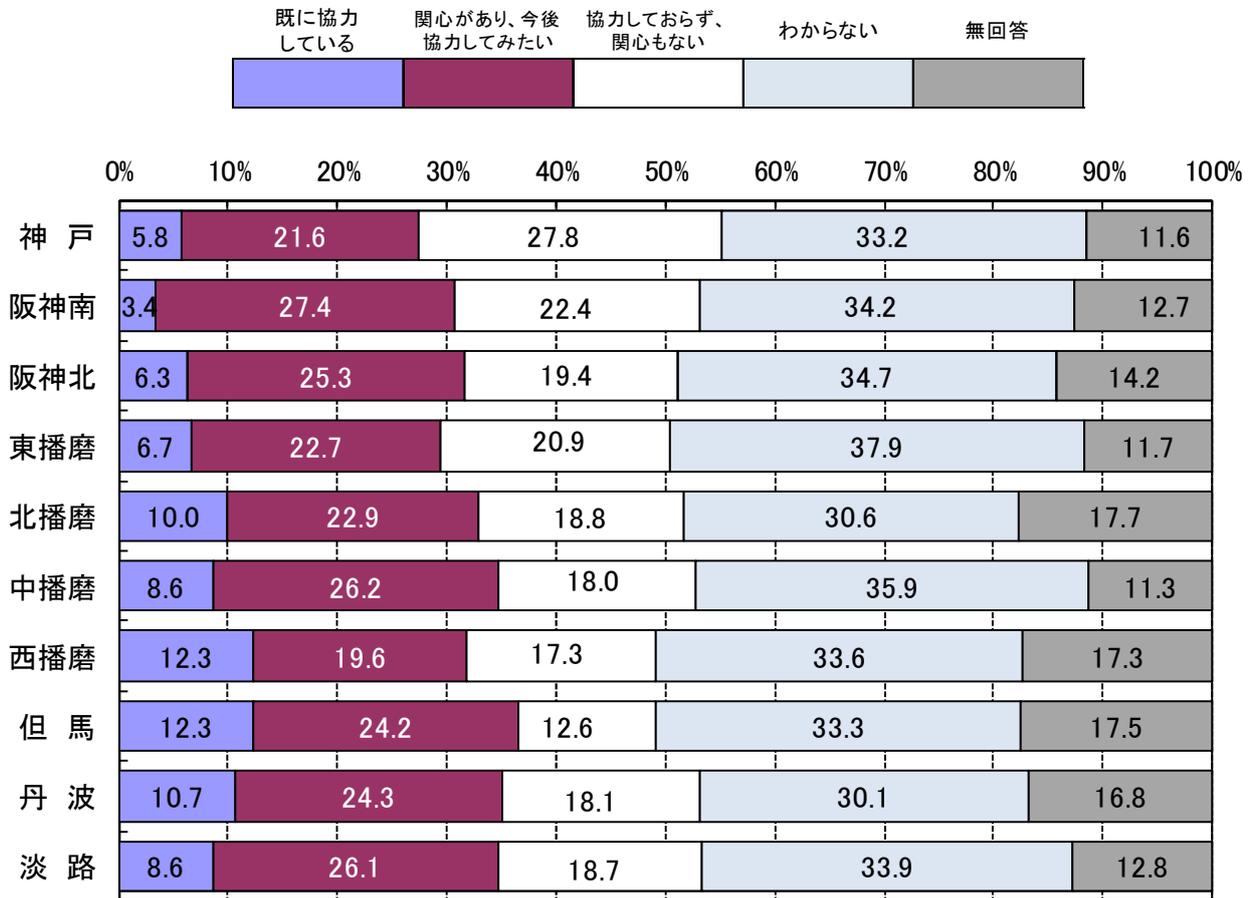
【在住年数別】



〔ウ 団体が製造・販売する生産物などを積極的に購入する〕

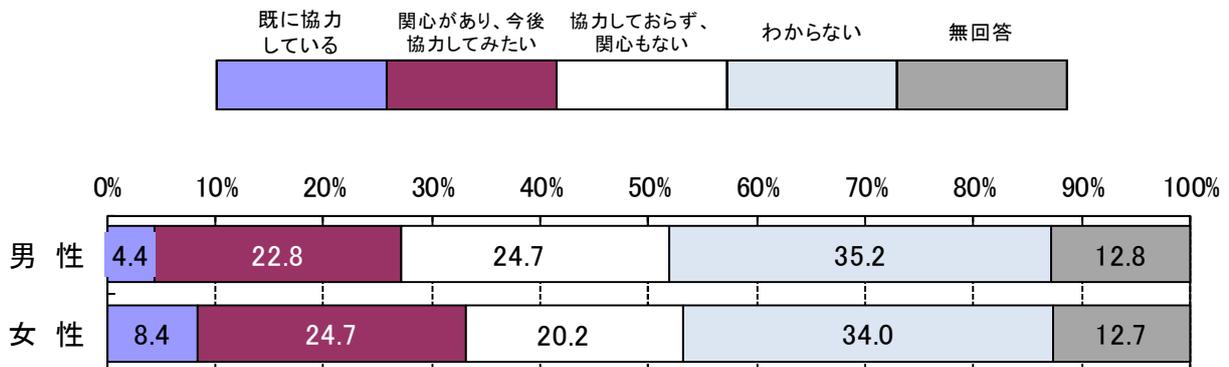
【地域別】

「既に協力している」は西播磨及び但馬が最も高く、丹波、北播磨が続いている。



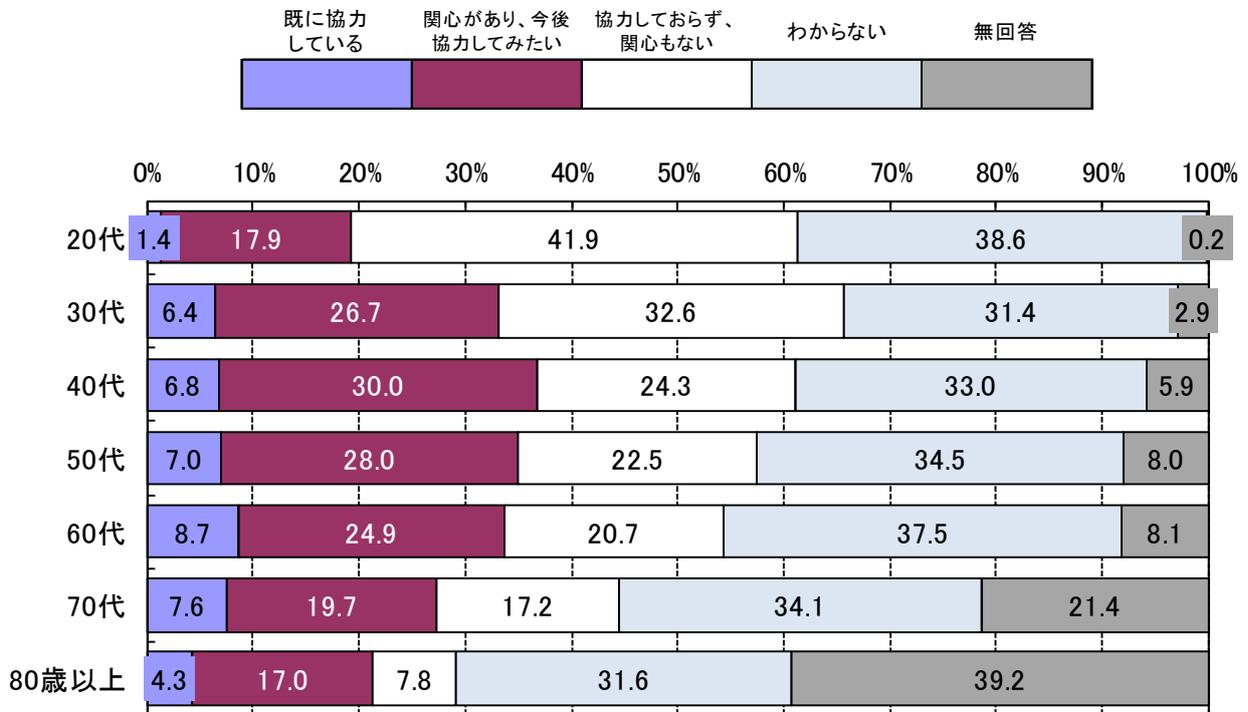
【性別】

「既に協力している」は女性が男性より4.0ポイント高い。

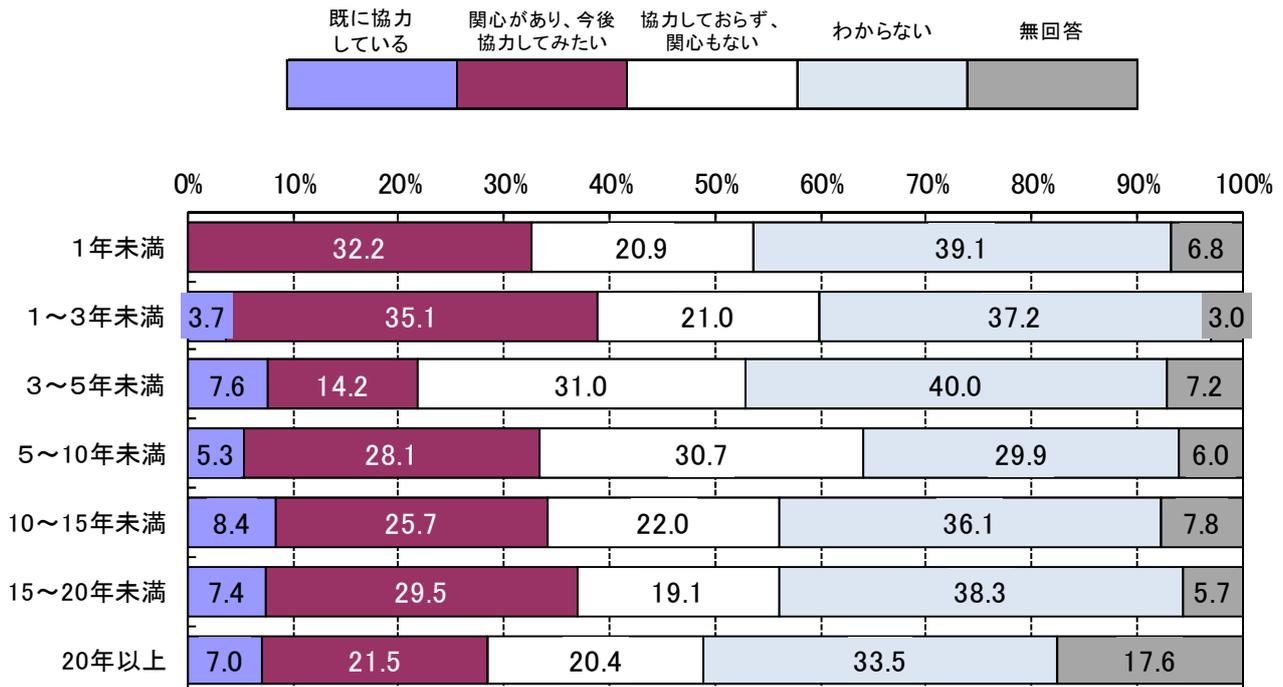


【年代別】

「既に協力している」は60代が最も高く、70代、50代が続いている。



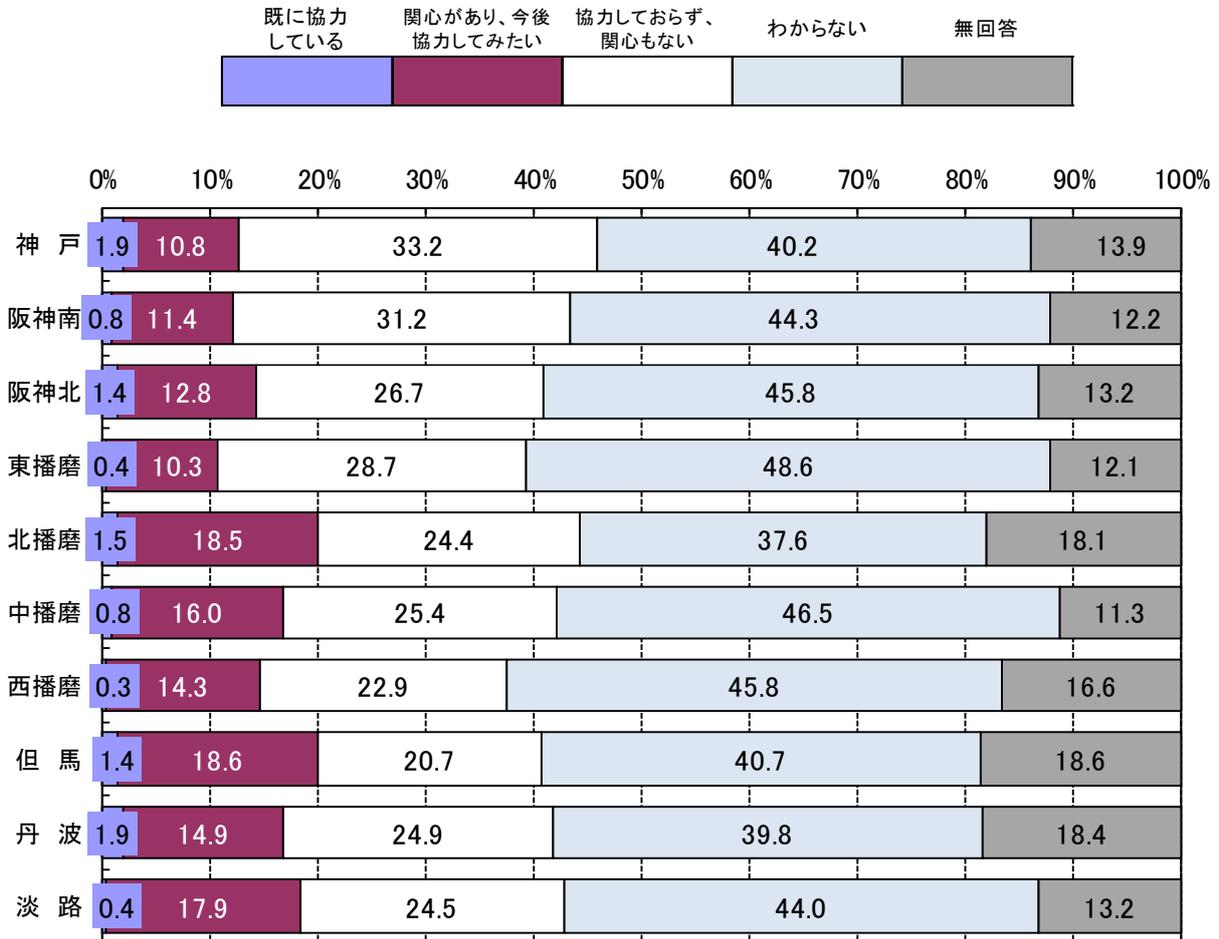
【在住年数別】



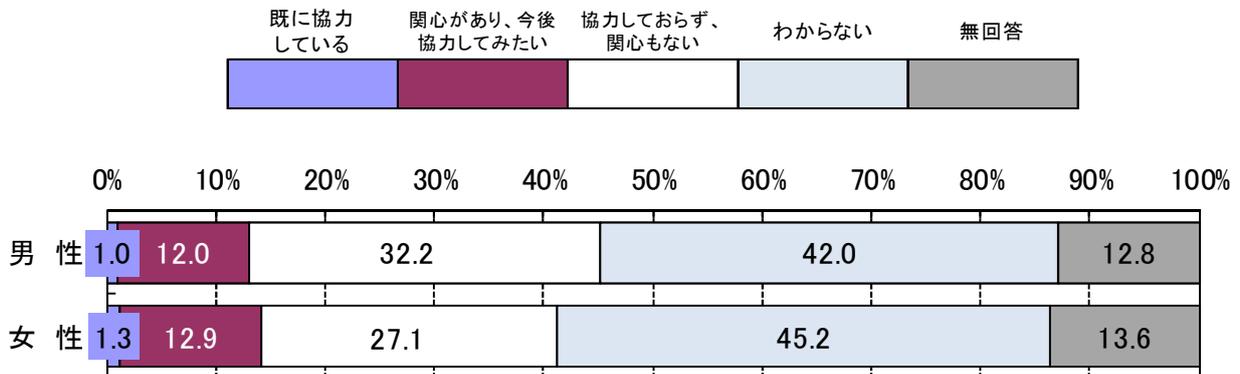
【エ 団体が行う有償のサービス（買物代行等）を積極的に利用する】

【地域別】

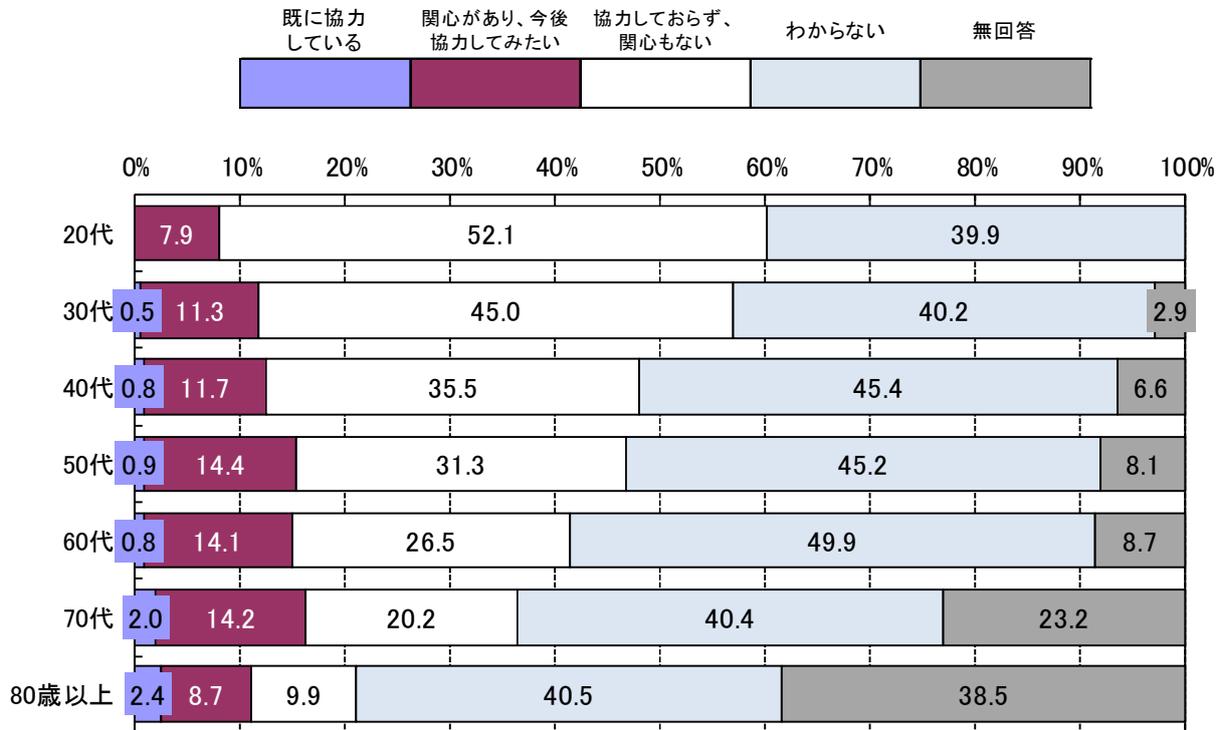
「既に協力している」は神戸、丹波が最も高く、北播磨、阪神北、但馬が続いている。



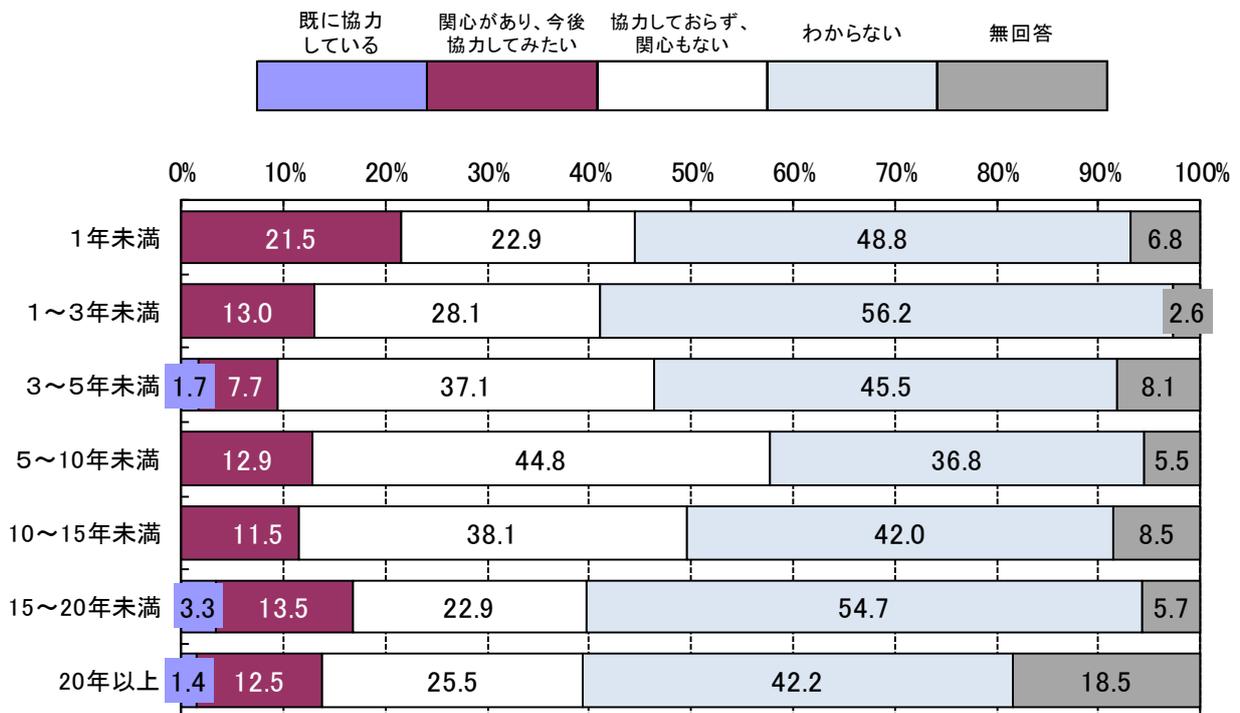
【性別】



【年代別】



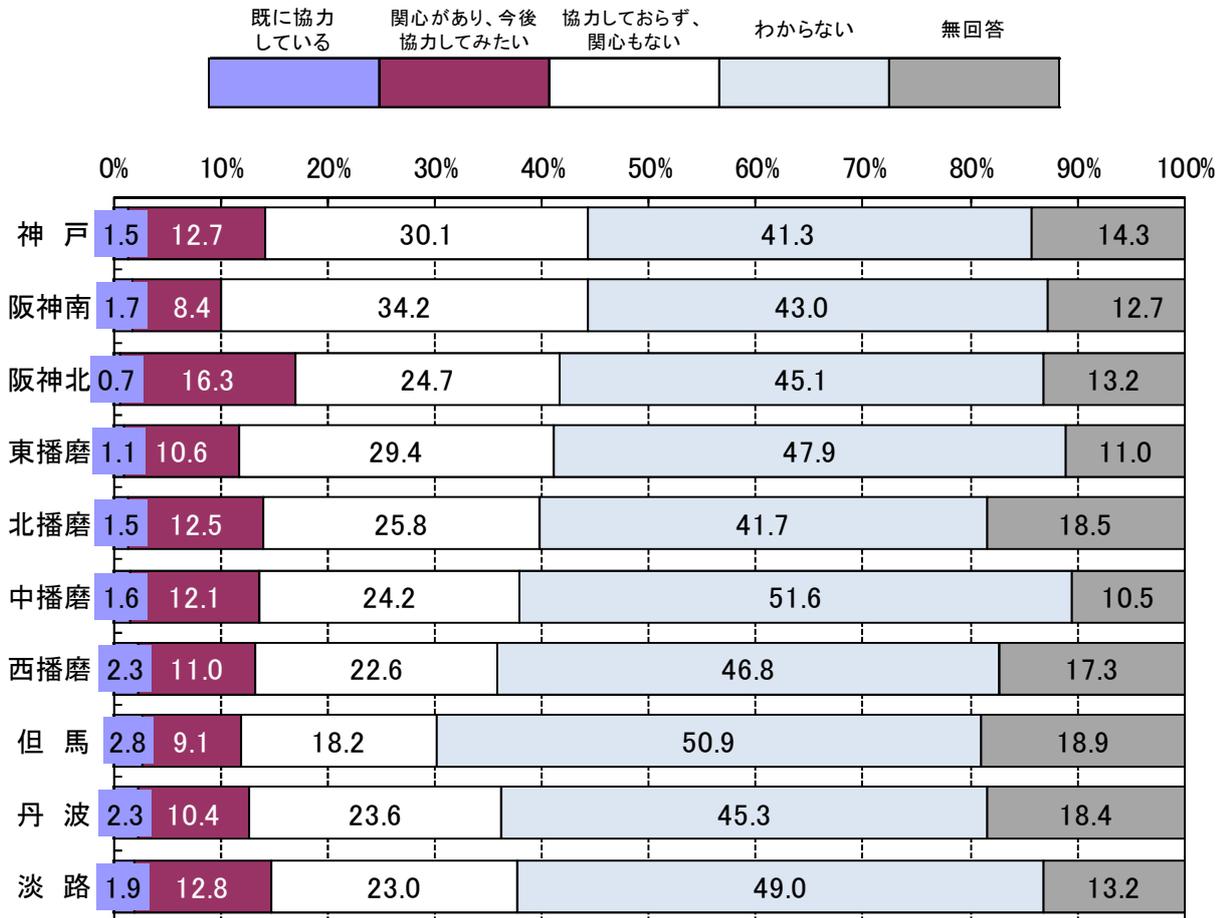
【在住年数別】



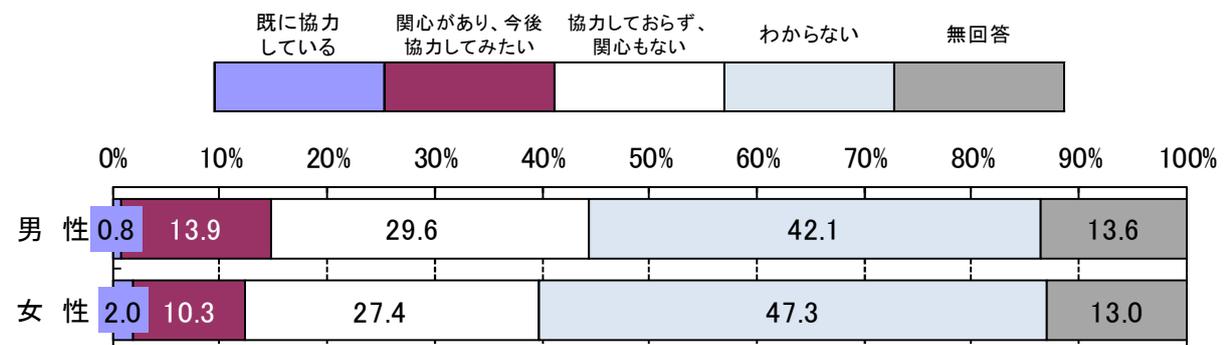
〔オ クラウドファンディング（特定の活動に対する資金提供等）で支援する〕

【地域別】

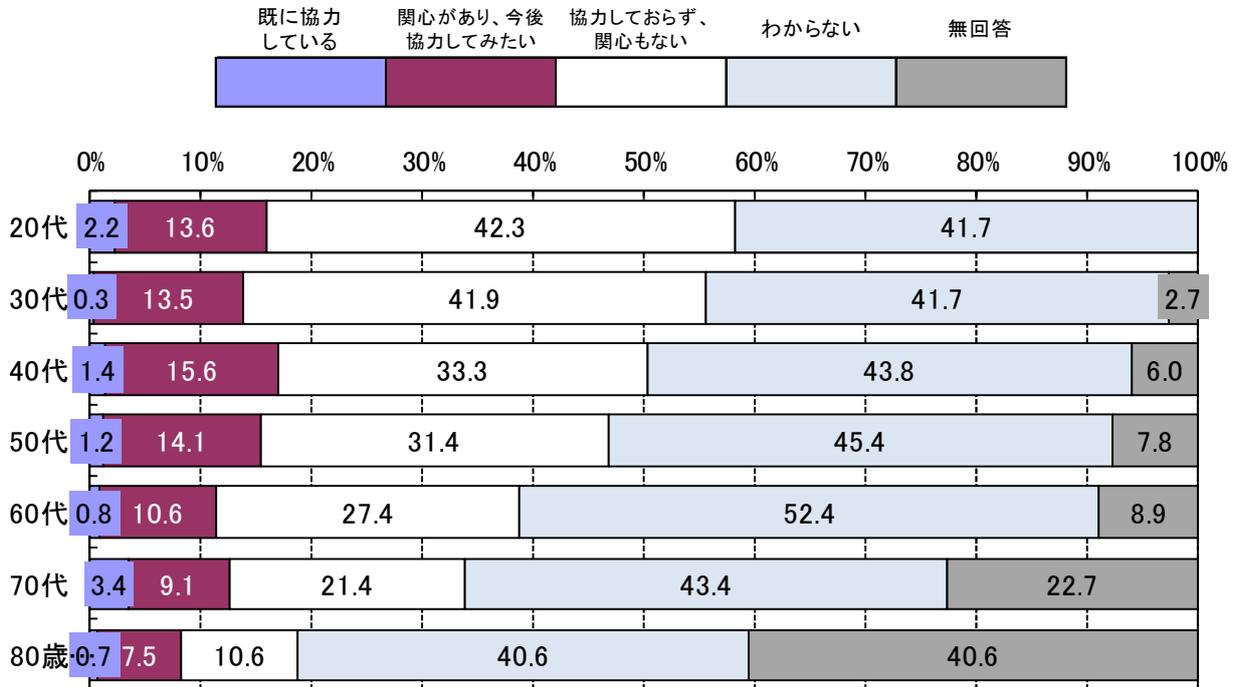
「既に協力している」は但馬が最も高く、西播磨、丹波、淡路が続いている。



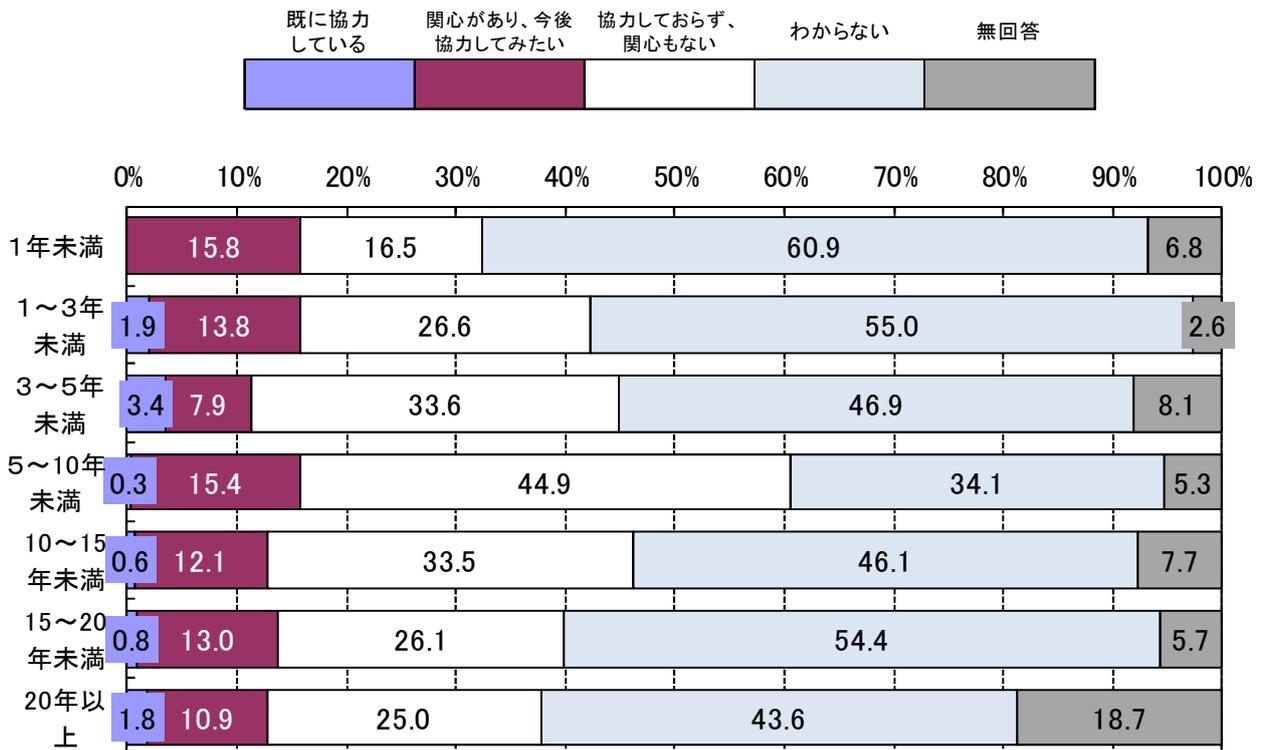
【性別】



【年代別】



【在住年数別】



3 県行政への参画と協働

問 11 地域の課題解決のための行政との関わり方

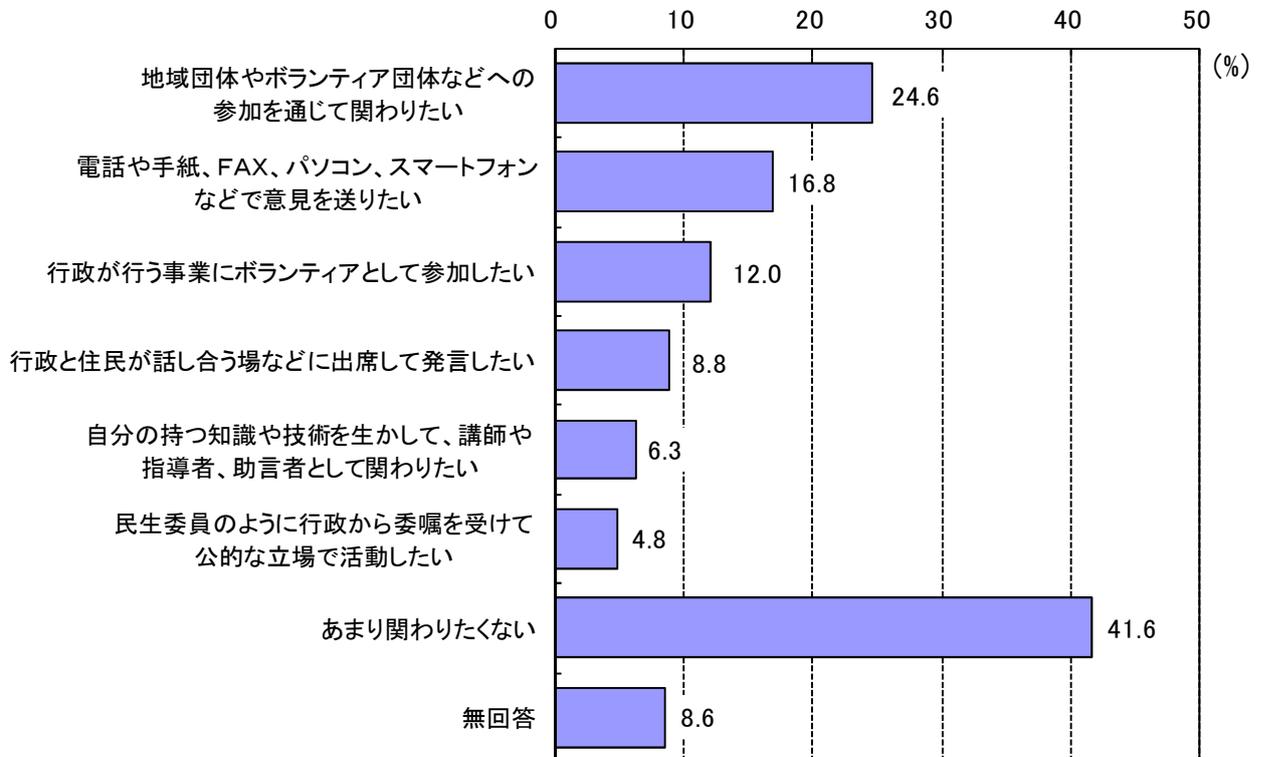
問 11

あなたは、お住まいの地域の課題を解決するため、行政にどのような形で関わりたいと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 地域団体やボランティア団体などへの参加を通じて関わりたい
- 2 行政が行う事業にボランティアとして参加したい
- 3 電話や手紙、FAX、パソコン、スマートフォンなどで意見を送りたい
- 4 行政と住民が話し合う場などに出席して発言したい
- 5 自分の持つ知識や技術を生かして、講師や指導者、助言者として関わりたい
- 6 民生委員のように行政から委嘱を受けて公的な立場で活動したい
- 7 あまり関わりたいくない

【全 県】

「地域団体やボランティア団体などへの参加を通じて関わりたい」が高く、次いで「電話や手紙、FAX、パソコン、スマートフォンなどで意見を送りたい」、「行政が行う事業にボランティアとして参加したい」で続いている。一方、「あまり関わりたいくない」が41.6%と最も高くなっている。



【地域別】

「あまり関わりたくない」が丹波を除く9地域で、最も高くなっている。

区分	地域団体やボランティアなどへの参加を通じて関わりたい	電話や手紙、FAX、パソコン、スマートフォンなどで意見を送りたい	行政が行う事業にボランティアとして参加したい	行政と住民が話し合う場などに出席して発言したい	自分の持つ知識や技術を生かして、講師や指導者、助言者として関わりたい	最大値		最小値		無回答 (%)
						値	値	値	値	
全 県	24.6	16.8	12.0	8.8	6.3	4.8	41.6	8.6		
地域別	神 戸	23.9	20.1	11.2	9.7	4.6	43.6	7.7		
	阪神南	21.1	16.5	11.0	5.5	8.4	43.5	10.1		
	阪神北	24.0	14.2	14.9	8.3	7.6	4.2	39.2	8.3	
	東播磨	22.0	18.8	9.6	7.8	3.9	3.9	42.9	8.9	
	北播磨	26.2	14.0	14.0	14.8	5.9	6.3	38.7	10.3	
	中播磨	30.5	16.8	13.7	8.2	7.0	5.1	39.1	6.6	
	西播磨	30.6	13.3	12.6	11.3	8.0	4.0	40.9	8.6	
	但 馬	27.4	9.8	14.7	12.3	7.4	7.0	35.1	11.9	
	丹 波	36.6	11.0	13.9	12.3	7.8	2.9	35.9	10.7	
淡 路	24.1	12.5	10.1	12.1	6.6	7.4	42.0	6.6		
地域間の差	15.5	10.3	5.3	9.3	4.5	4.5	8.5	5.3		

【性別】

区分	性別	地域団体やボランティアなどへの参加を通じて関わりたい	電話や手紙、FAX、パソコン、スマートフォンなどで意見を送りたい	行政が行う事業にボランティアとして参加したい	行政と住民が話し合う場などに出席して発言したい	自分の持つ知識や技術を生かして、講師や指導者、助言者として関わりたい	民生委員のように行政から委嘱を受けて公的な立場で活動したい	あまり関わりたくない	無回答 (%)
全 県		24.6	16.8	12.0	8.8	6.3	4.8	41.6	8.6
性別	男 性	24.9	20.0	13.3	13.3	9.2	5.5	37.9	6.5
	女 性	24.7	14.6	11.3	5.6	4.3	4.4	44.6	9.4
性別間の差		0.2	5.4	2.0	7.7	4.9	1.1	6.7	2.9

【年代別】

区分		最大値				最小値			(%)
		地域団体やボランティアなどへの参加を通じて関わりたい	電話や手紙、FAX、パソコン、スマートフォンなどで意見を送りたい	行政が行う事業にボランティアとして参加したい	行政と住民が話し合う場などに出席して発言したい	自分の持つ知識や技術を生かして、講師や指導者、助言者として関わりたい	民生委員のように行政から委嘱を受けて公的な立場で活動したい	あまり関わりたくない	無回答
全 県		24.6	16.8	12.0	8.8	6.3	4.8	41.6	8.6
年代別	20代	20.5	25.0	7.2	3.4	3.8	0.9	50.8	2.0
	30代	23.3	27.5	14.9	7.6	6.7	6.7	41.2	0.6
	40代	25.2	24.4	12.8	5.8	8.0	4.3	43.6	1.7
	50代	24.2	22.0	12.1	9.2	6.5	5.3	40.6	5.2
	60代	31.3	13.8	13.0	10.0	8.3	5.2	37.4	6.5
	70代	25.8	7.1	13.3	10.5	5.1	5.0	43.3	12.8
	80歳以上	13.9	8.3	7.7	11.3	3.5	4.6	41.8	28.2
年代間の差		17.4	20.4	7.7	7.9	4.8	5.8	13.4	27.6

【在住年数別】

区分		最大値				最小値			(%)
		地域団体やボランティアなどへの参加を通じて関わりたい	電話や手紙、FAX、パソコンなどで意見を送りたい	行政が行う事業にボランティアとして参加したい	行政と住民が話し合う場などに出席して発言したい	自分の持つ知識や技術を生かして、講師や指導者、助言者として関わりたい	民生委員のように行政から委嘱を受けて公的な立場で活動したい	あまり関わりたくない	無回答
全 県		24.6	16.8	12.0	8.8	6.3	4.8	41.6	8.6
在住年数別	1年未満	13.3	49.5	8.6	7.5	8.1	0.0	27.8	0.0
	1～3年未満	33.5	17.4	12.0	6.8	4.9	7.5	41.9	4.4
	3～5年未満	21.8	24.5	10.4	12.0	8.4	8.2	42.1	2.5
	5～10年未満	21.8	18.8	11.4	7.2	7.3	4.9	41.2	6.6
	10～15年未満	22.8	24.6	11.5	8.0	6.7	3.8	42.9	5.7
	15～20年未満	19.6	18.9	14.1	6.5	5.3	7.6	44.9	4.1
	20年以上	26.2	13.1	12.3	9.5	6.2	4.2	41.6	10.8
在住別間の差		20.2	36.4	5.5	5.5	3.5	8.2	17.1	10.8

問 12 県民意見の県政への反映状況

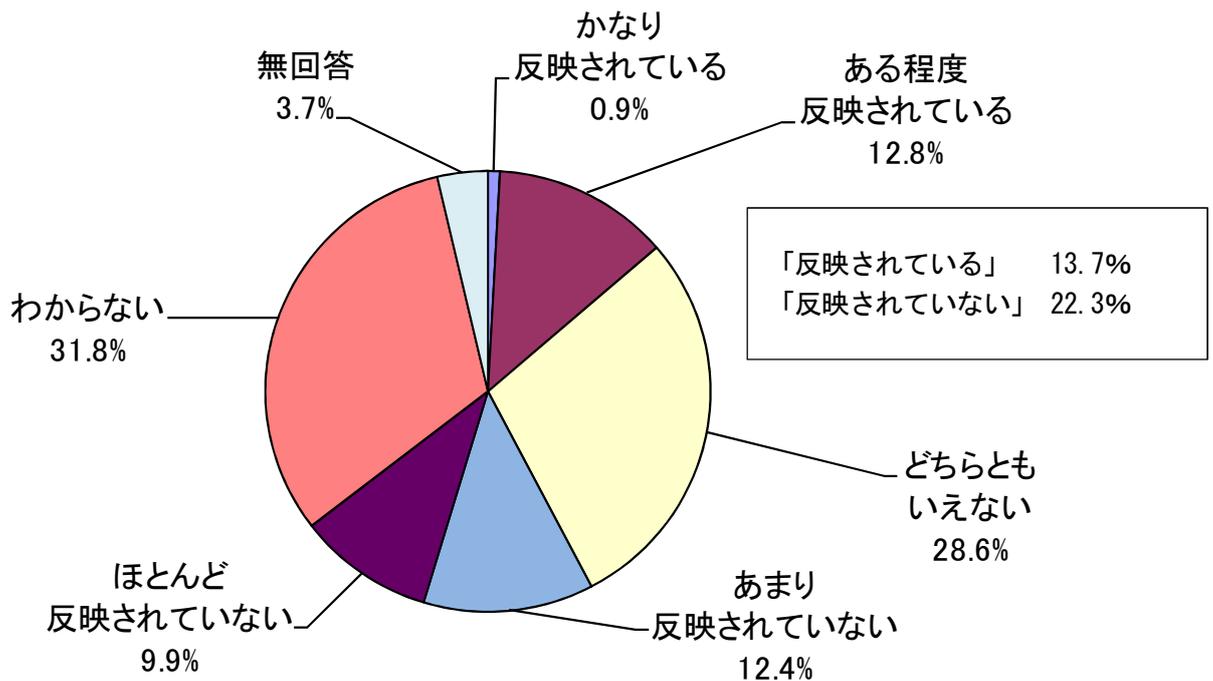
問 12

あなたは県民の意見が県政に反映されていると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 かなり反映されている | 2 ある程度反映されている |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり反映されていない |
| 5 ほとんど反映されていない | 6 わからない |

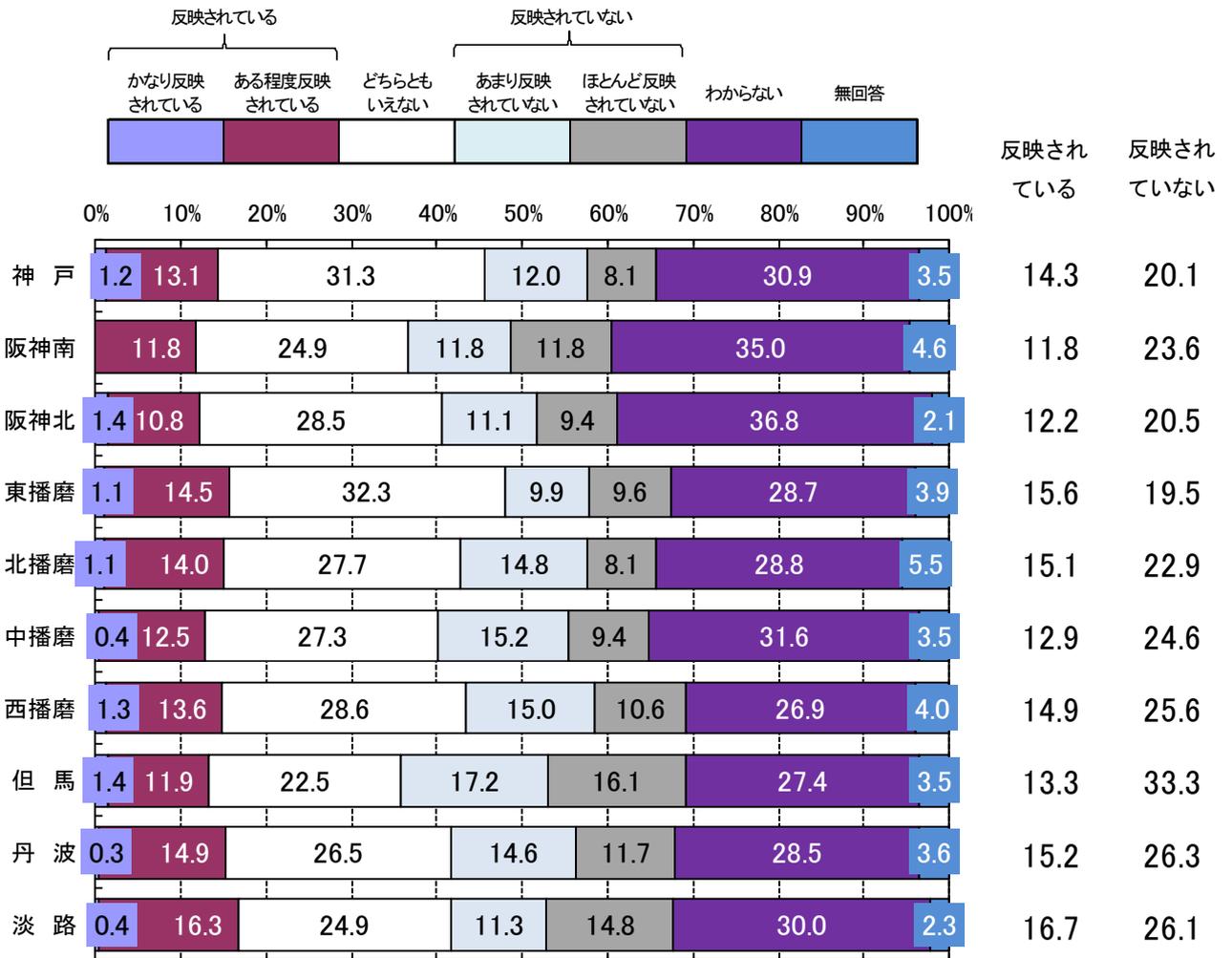
【全 県】

「かなり反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた『反映されている』は13.7%、「ほとんど反映されていない」と「あまり反映されていない」を合わせた『反映されていない』は22.3%となっている。

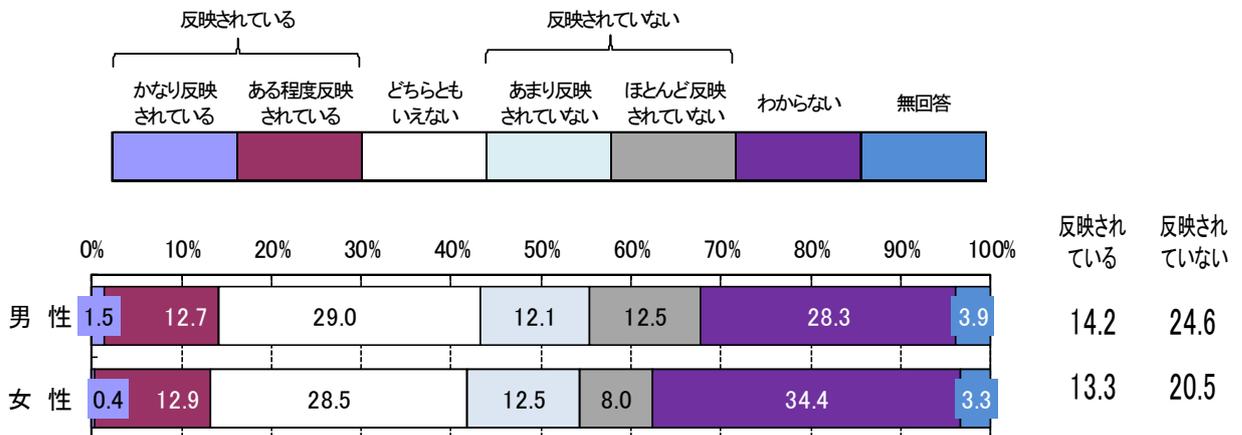


【地域別】

「反映されている」は淡路が最も高く、阪神南、阪神北、中播磨、但馬以外は、全県（13.7%）を超えている。「反映されていない」は但馬が最も高く、阪神南、西播磨、中播磨、丹波、淡路は全県（22.3%）を超えている。

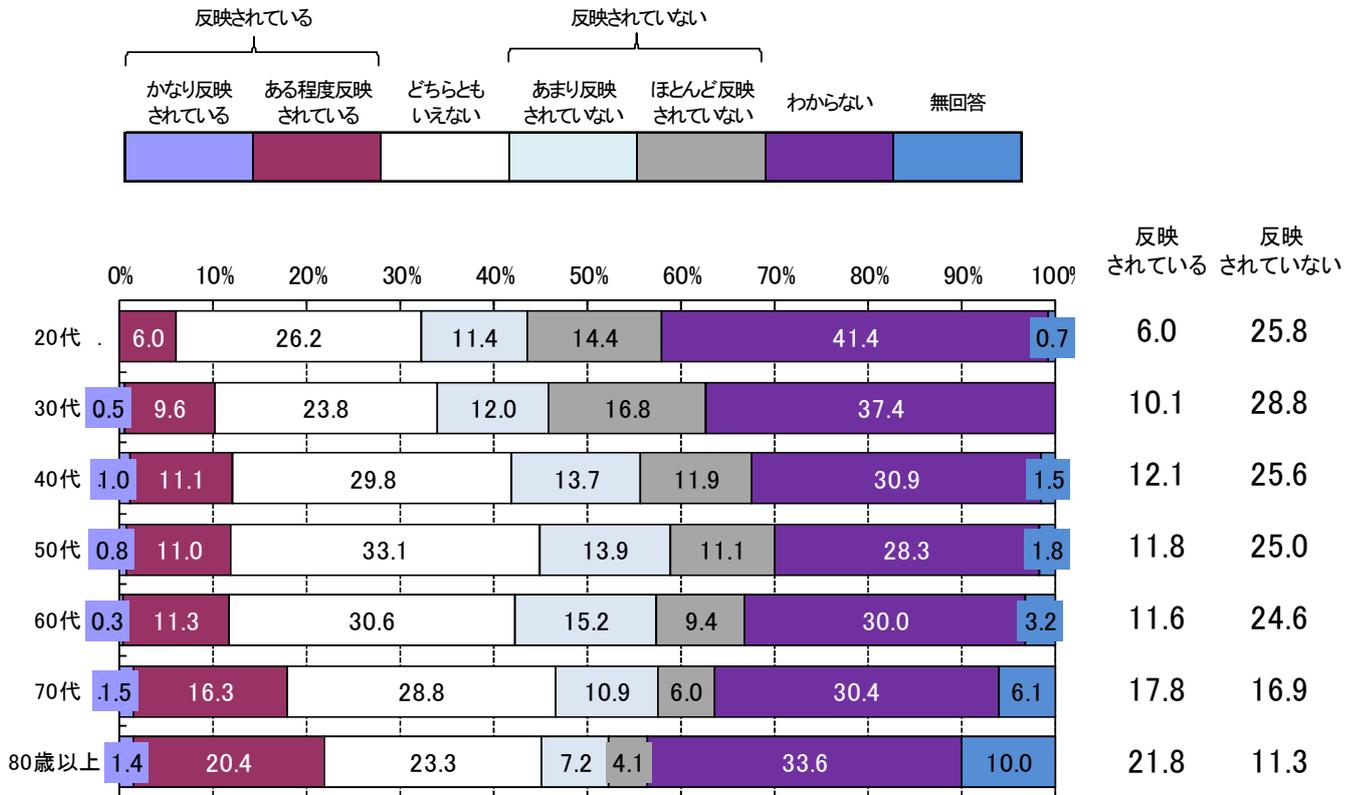


【性別】

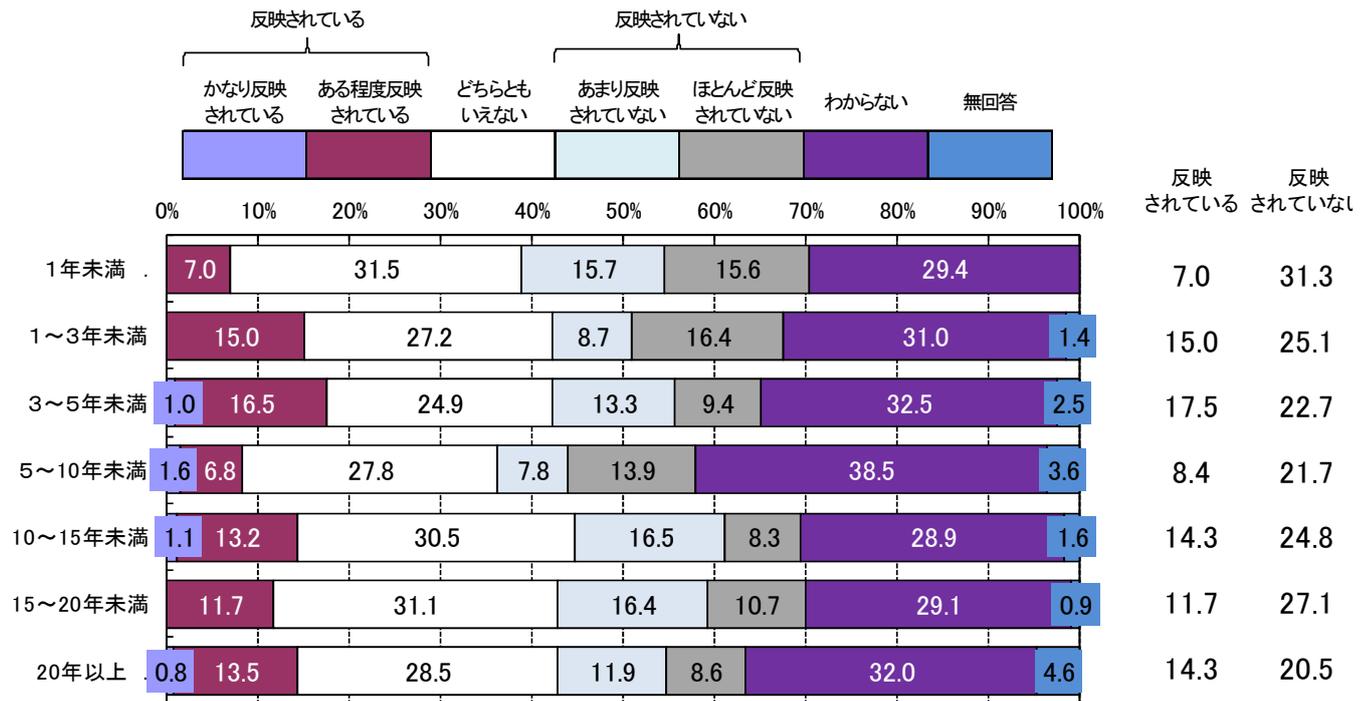


【年代別】

『反映されている』は80代が最も高く、70代、40代が続いている。



【在住年数別】



問 13 県民に身近な県政にするための方策

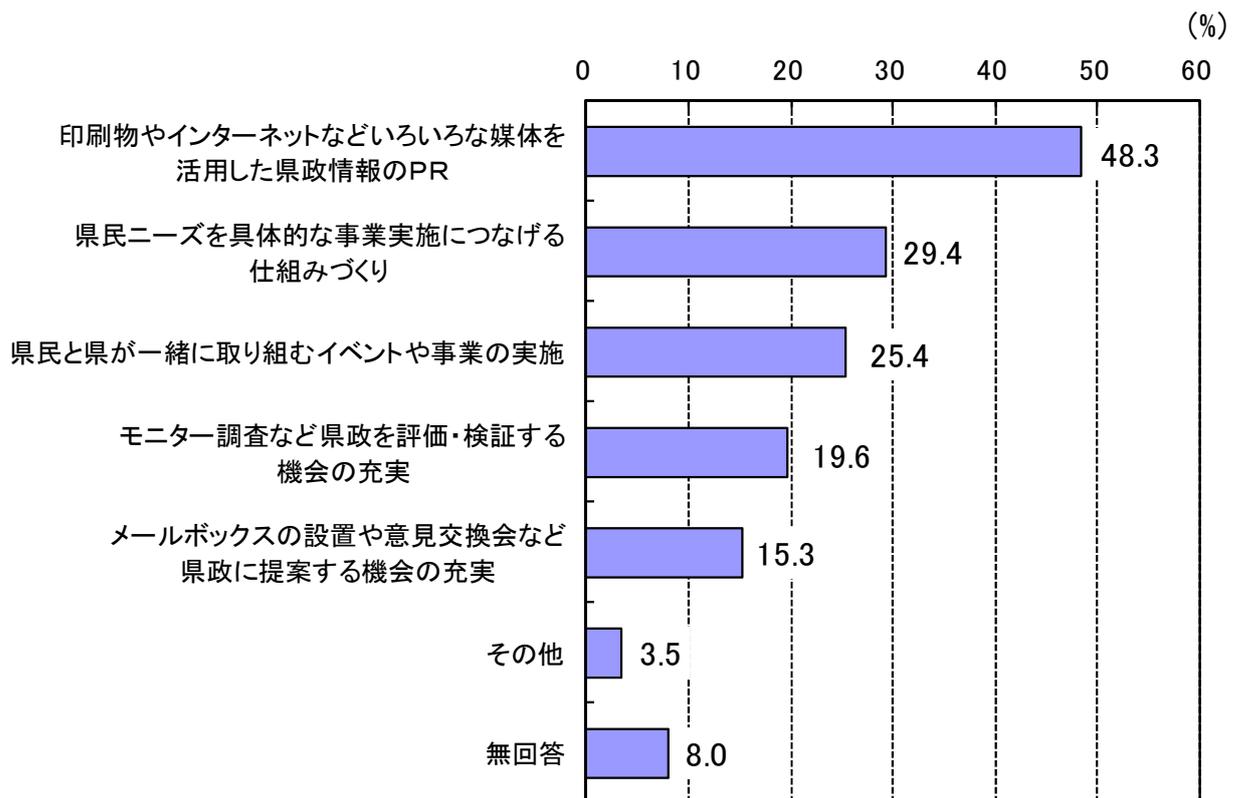
問 13

県民に身近な県政とするためには、どのようなことが必要と思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 印刷物やインターネットなどいろいろな媒体を活用した県政情報のPR
- 2 メールボックスの設置や意見交換会など県政に提案する機会の充実
- 3 県民ニーズを具体的な事業実施につなげる仕組みづくり
- 4 県民と県が一緒に取り組むイベントや事業の実施
- 5 モニター調査など県政を評価・検証する機会の充実
- 6 その他

【全 県】

「印刷物やインターネットなどいろいろな媒体を活用した県政情報のPR」が最も高く、次に「県民ニーズを具体的な事業実施につなげる仕組みづくり」、「県民と県が一緒に取り組むイベントや事業の実施」が続いている。



【地域別】

全地域で「印刷物やインターネットなどいろいろは媒体を活用した県政情報のPR」が最も高い。

区分		最大値	最小値	(%)				
区分		印刷物やインターネットなどいろいろな媒体を活用した県政情報のPR	県民ニーズを具体的な事業実施につなげる仕組みづくり	県民と県が一緒に取り組むイベントや事業の実施	モニター調査など県政を評価・検証する機会の充実	メールボックスの設置や意見交換会など県政に提案する機会の充実	その他	無回答
全 県		48.3	29.4	25.4	19.6	15.3	3.5	8.0
地域別	神 戸	55.6	27.8	25.1	18.5	16.6	2.3	5.8
	阪神南	46.4	27.0	25.3	19.8	11.8	5.9	10.1
	阪神北	43.4	31.9	26.0	21.2	13.9	4.2	6.9
	東播磨	50.0	28.4	19.9	24.1	18.8	2.8	7.1
	北播磨	44.3	31.7	25.8	14.0	13.3	4.8	11.4
	中播磨	44.5	32.8	30.9	18.8	17.6	1.6	7.4
	西播磨	44.5	29.2	24.3	18.6	16.6	3.3	12.3
	但 馬	39.3	34.7	28.1	18.2	12.6	3.9	11.2
	丹 波	41.4	32.7	27.8	18.1	14.2	4.9	10.7
	淡 路	45.9	28.8	28.8	15.6	12.5	3.5	9.3
地域間の差		16.3	7.7	11.0	10.1	7.0	4.3	6.5

【性別】

区分		(%)						
区分		印刷物やインターネットなどいろいろな媒体を活用した県政情報のPR	県民ニーズを具体的な事業実施につなげる仕組みづくり	県民と県が一緒に取り組むイベントや事業の実施	モニター調査など県政を評価・検証する機会の充実	メールボックスの設置や意見交換会など県政に提案する機会の充実	その他	無回答
全 県		48.3	29.4	25.4	19.6	15.3	3.5	8.0
性別	男 性	48.2	31.1	24.5	20.5	16.2	5.1	7.1
	女 性	48.8	28.1	26.3	19.0	14.8	2.5	8.1
性別間の差		0.6	3.0	1.8	1.5	1.4	2.6	1.0

【年代別】

区分	最大値				最小値		無回答	(%)
	印刷物やインターネットなどいろいろな媒体を活用した県政情報のPR	県民ニーズを具体的な事業実施につなげる仕組みづくり	県民と県が一緒に取り組むイベントや事業の実施	モニター調査など県政を評価・検証する機会の充実	メールボックスの設置や意見交換会など県政に提案する機会の充実	その他		
全 県	48.3	29.4	25.4	19.6	15.3	3.5	8.0	
年代別	20代	52.3	24.9	29.7	26.3	17.8	3.6	1.5
	30代	45.8	33.8	30.6	32.4	16.3	3.2	1.2
	40代	45.7	31.4	27.3	20.2	20.6	2.9	1.9
	50代	47.2	31.6	22.1	25.7	17.5	3.1	3.0
	60代	48.5	32.1	26.6	17.7	15.2	2.4	7.7
	70代	52.4	27.5	24.5	12.4	12.5	5.3	12.6
	80歳以上	46.4	20.4	20.1	11.5	8.6	4.3	24.1
年代間の差	6.7	13.4	10.5	20.9	12.0	2.9	22.9	

【在住年数別】

区分	最大値				最小値		無回答	(%)
	印刷物やインターネットなどいろいろな媒体を活用した県政情報のPR	県民ニーズを具体的な事業実施につなげる仕組みづくり	県民と県が一緒に取り組むイベントや事業の実施	モニター調査など県政を評価・検証する機会の充実	メールボックスの設置や意見交換会など県政に提案する機会の充実	その他		
全 県	48.3	29.4	25.4	19.6	15.3	3.5	8.0	
在住年数別	1年未満	31.6	21.3	29.1	35.8	23.1	1.6	1.2
	1～3年未満	53.1	25.7	30.4	25.5	15.8	6.1	0.0
	3～5年未満	43.0	31.3	27.1	29.3	19.9	2.0	5.5
	5～10年未満	44.0	29.7	32.8	20.0	16.9	2.2	6.9
	10～15年未満	44.5	32.4	29.0	21.7	24.0	1.8	3.2
	15～20年未満	50.0	32.7	17.4	21.7	17.2	1.7	4.8
	20年以上	50.3	28.5	24.3	17.0	12.6	4.3	10.4
在住年数間の差	21.5	11.4	15.4	18.8	11.4	4.5	10.4	

4 毎年調査項目

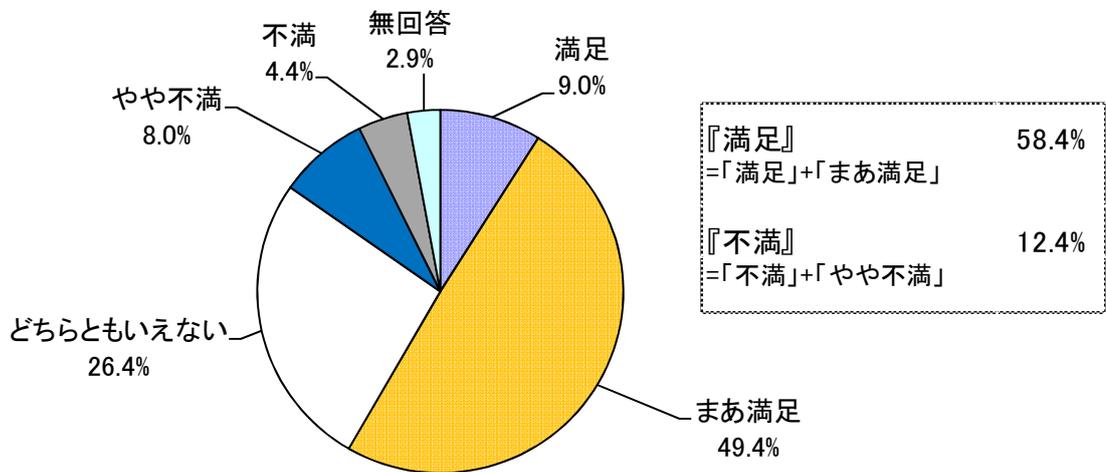
問 14 今の生活全般での満足度

問 14
 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
 4 やや不満 5 不満

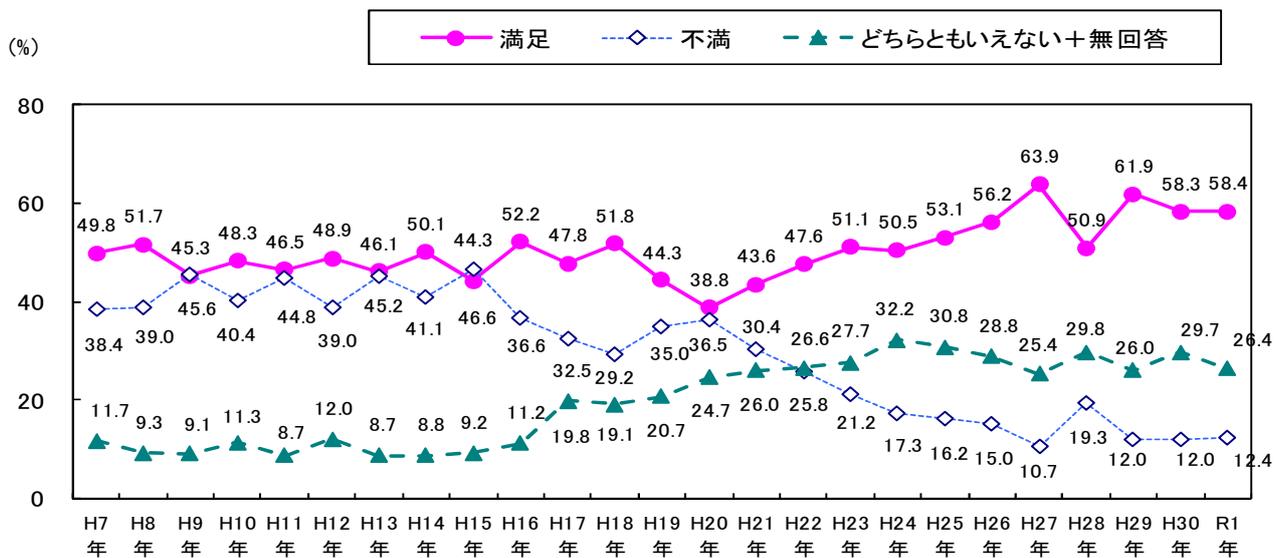
【全県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足(58.4%)』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満(12.4%)』を46.0ポイント上回っている。



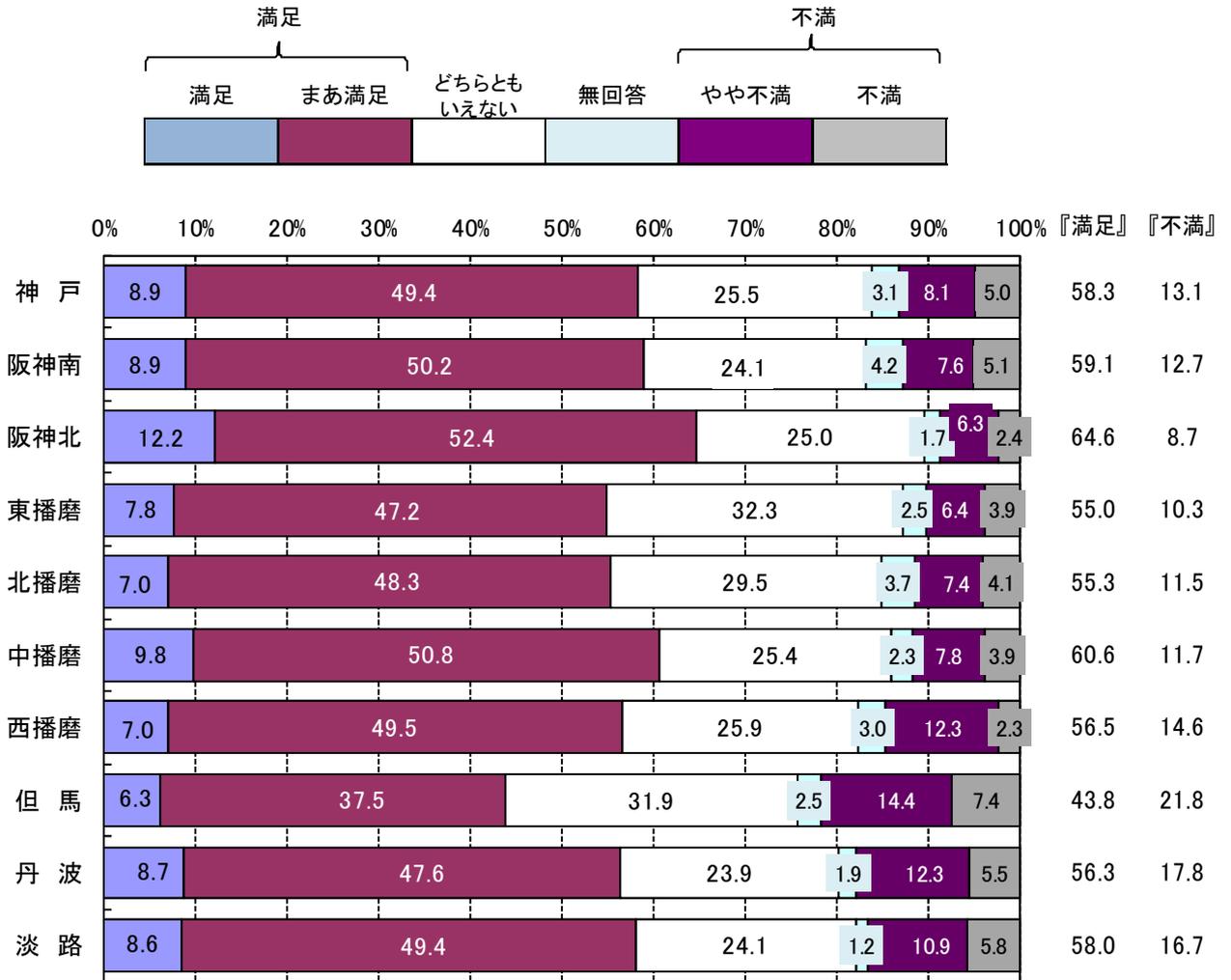
【経年比較】

『満足』は前年より0.1ポイント増加、『不満』も0.4ポイント増加となった。



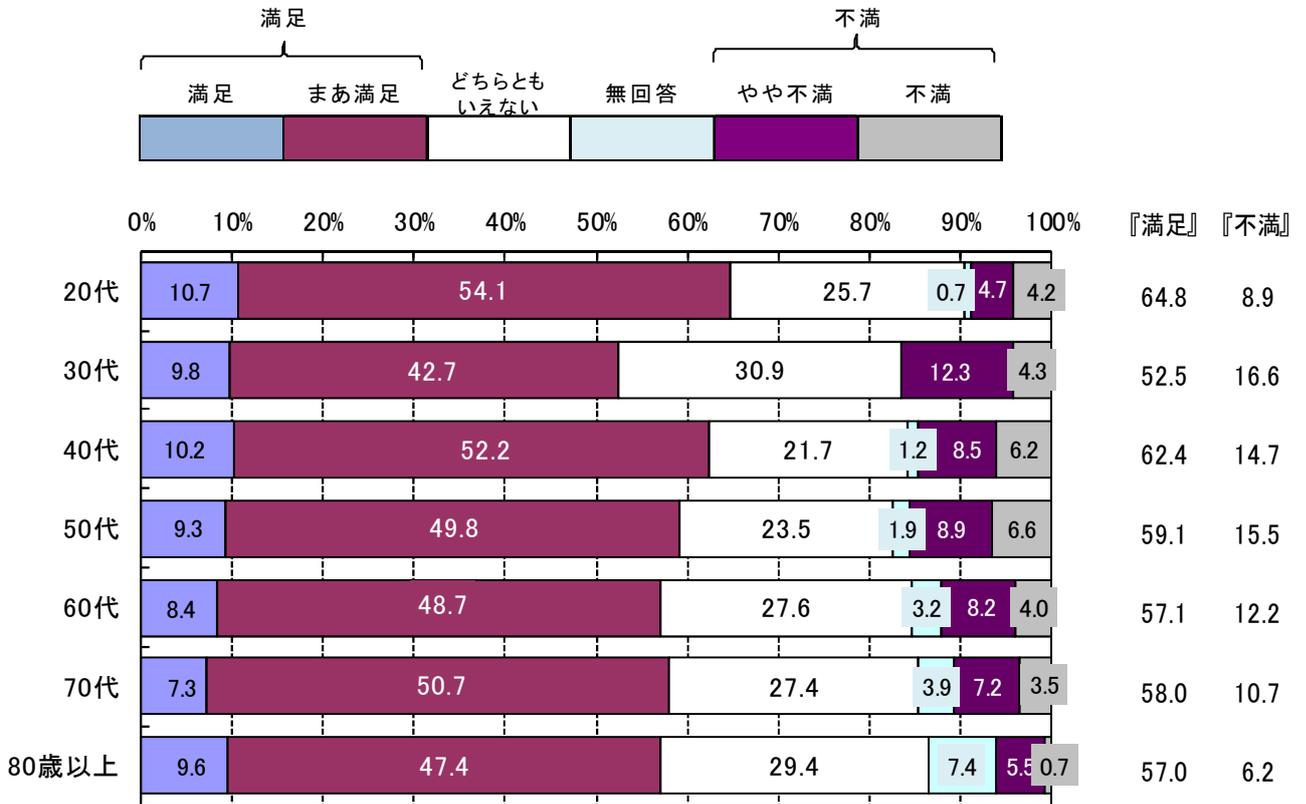
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、中播磨、阪神北が全県(58.4%)を上回った。



【年代別】

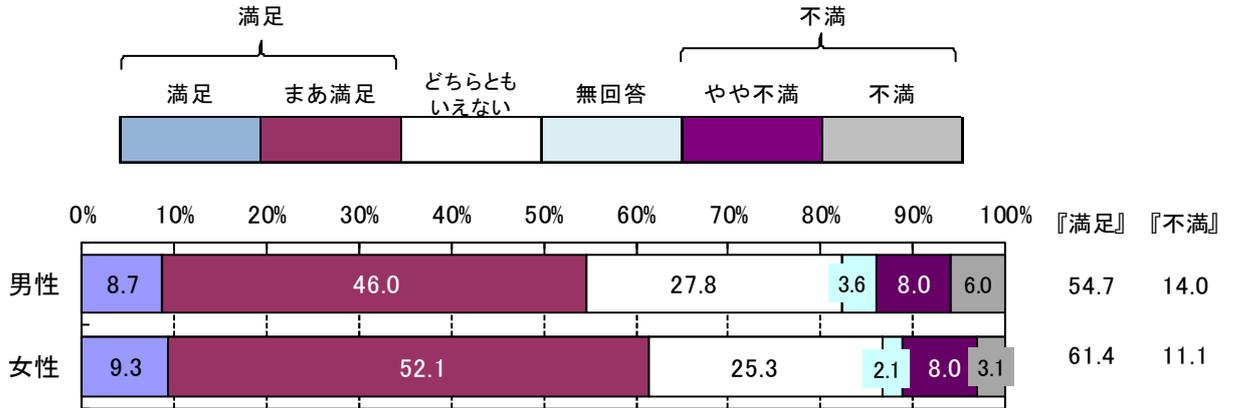
『満足』は、50代が前年より最も増加(7.1ポイント増)、『不満』は30代が前年より最も増加した(3.0ポイント増)。



区分	『満足』		R1-H30	『不満』		R1-H30
	R1	H30		R1	H30	
全県	58.4	58.3	0.1	12.4	12.0	0.4
20代	64.8	61.0	3.8	8.9	12.3	-3.4
30代	52.5	62.9	-10.4	16.6	13.6	3.0
40代	62.4	56.3	6.1	14.7	13.2	1.5
50代	59.1	52.0	7.1	15.5	14.2	1.3
60代	57.1	60.8	-3.7	12.2	14.2	-2.0
70代	58.0	57.6	0.4	10.7	8.1	2.6
80歳以上	57.0	60.9	-3.9	6.2	8.5	-2.3

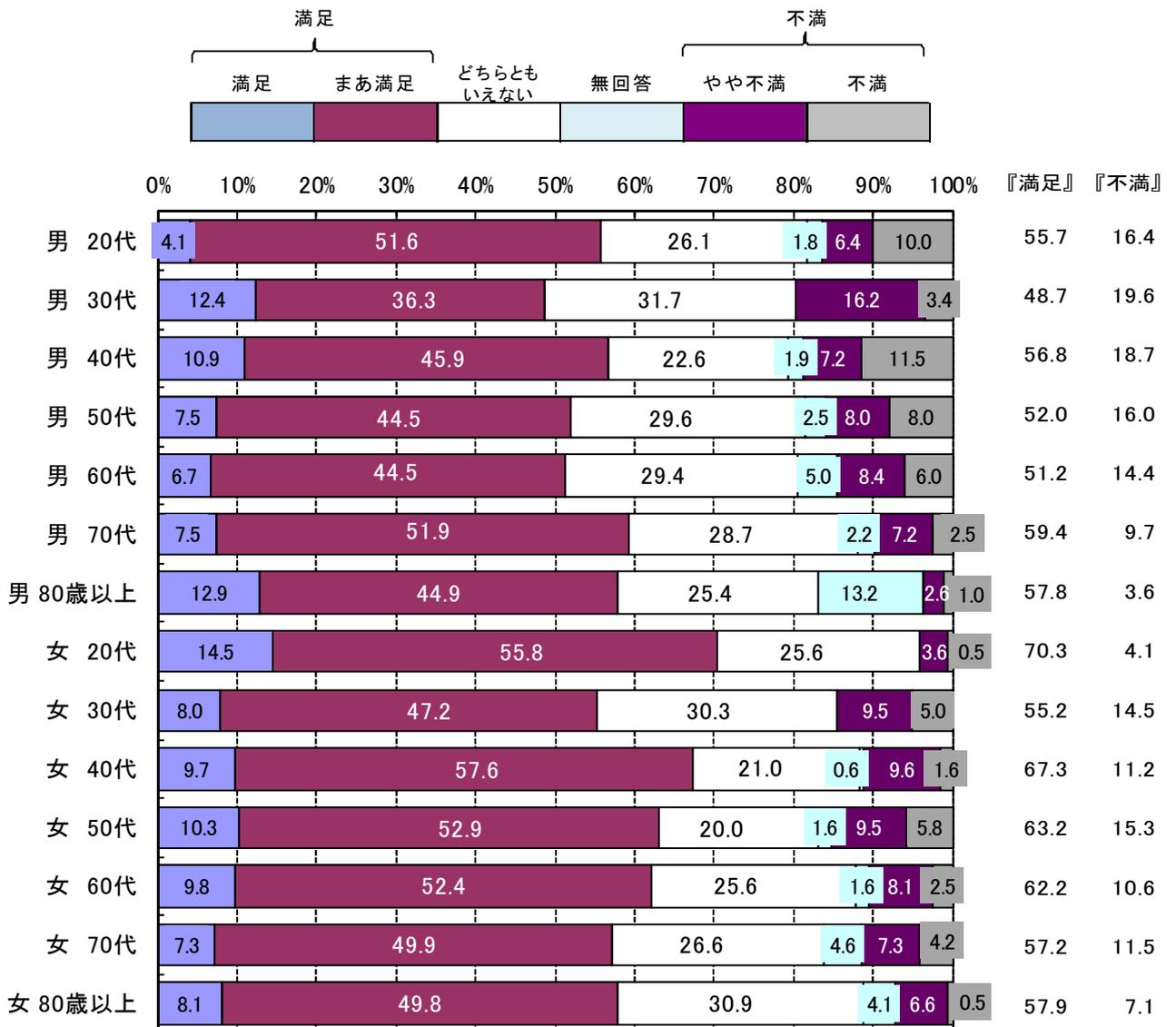
【性別】

『満足』は、女性が男性より6.7ポイント高い。



【性・年代別】

男性、女性ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回り、最も『満足』が高いのは、男性は70代、女性は20代となった。



問 15 今の生活の項目別での満足度

問 15

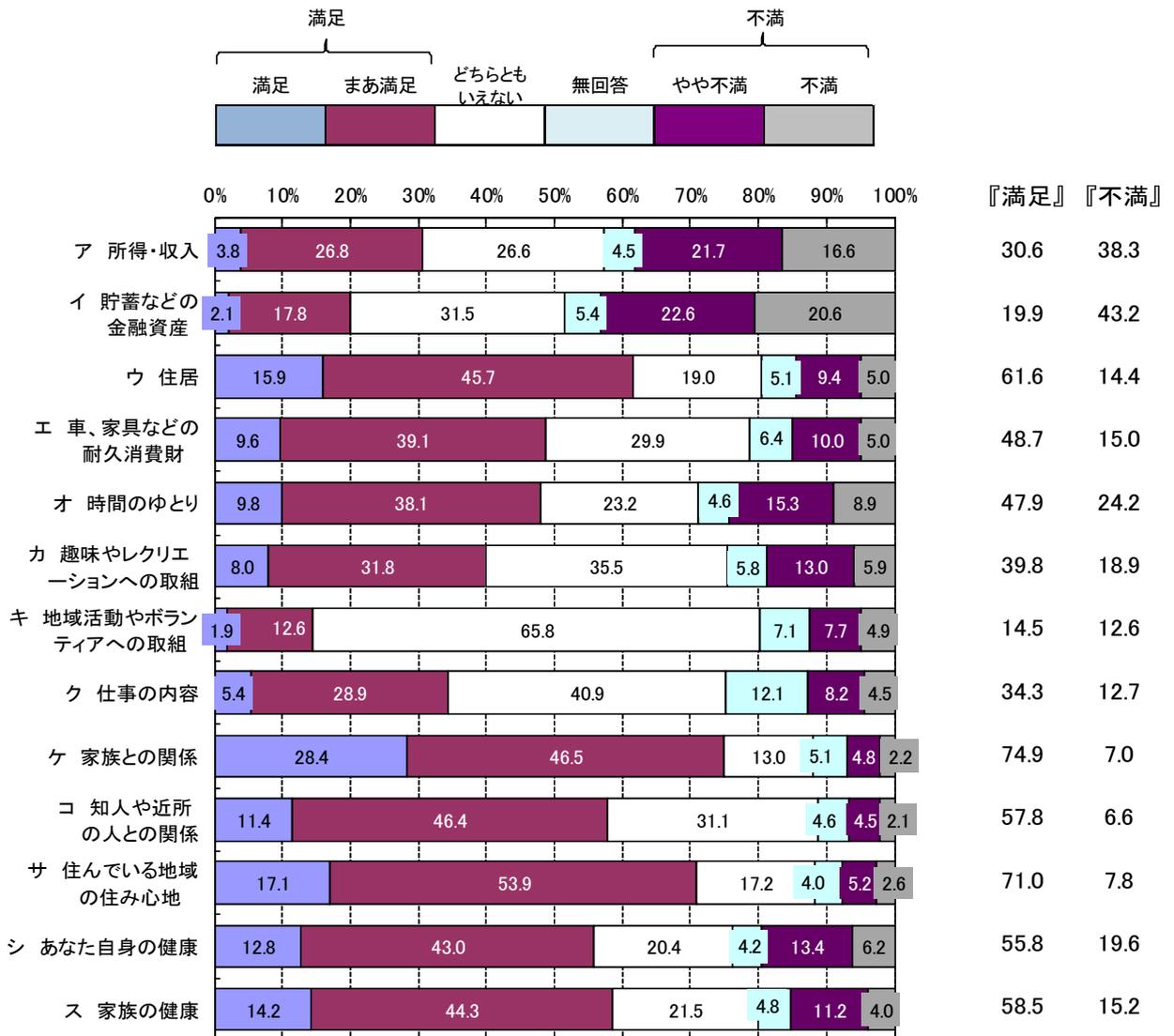
あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全県】

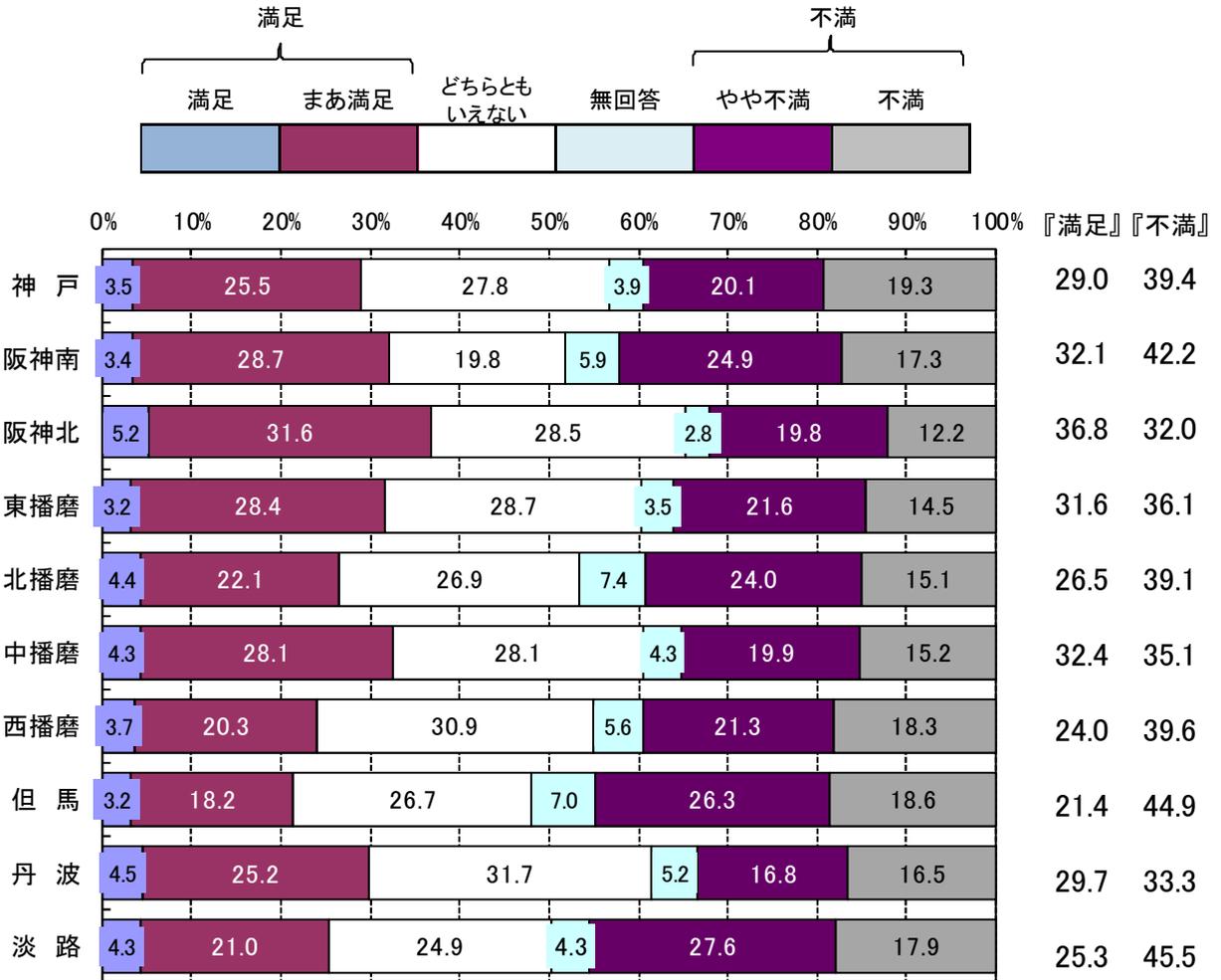
『満足』は、「ケ 家族との関係」が最も高く、続いて「サ 住んでいる地域の住み心地」、「ウ 住居」が続いている。



〔ア 所得・収入〕

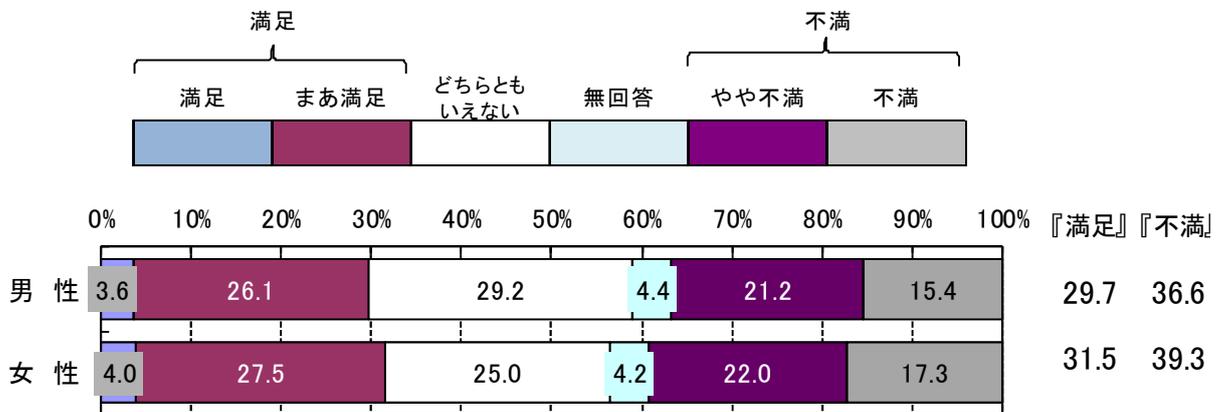
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、中播磨、阪神南が続いている。



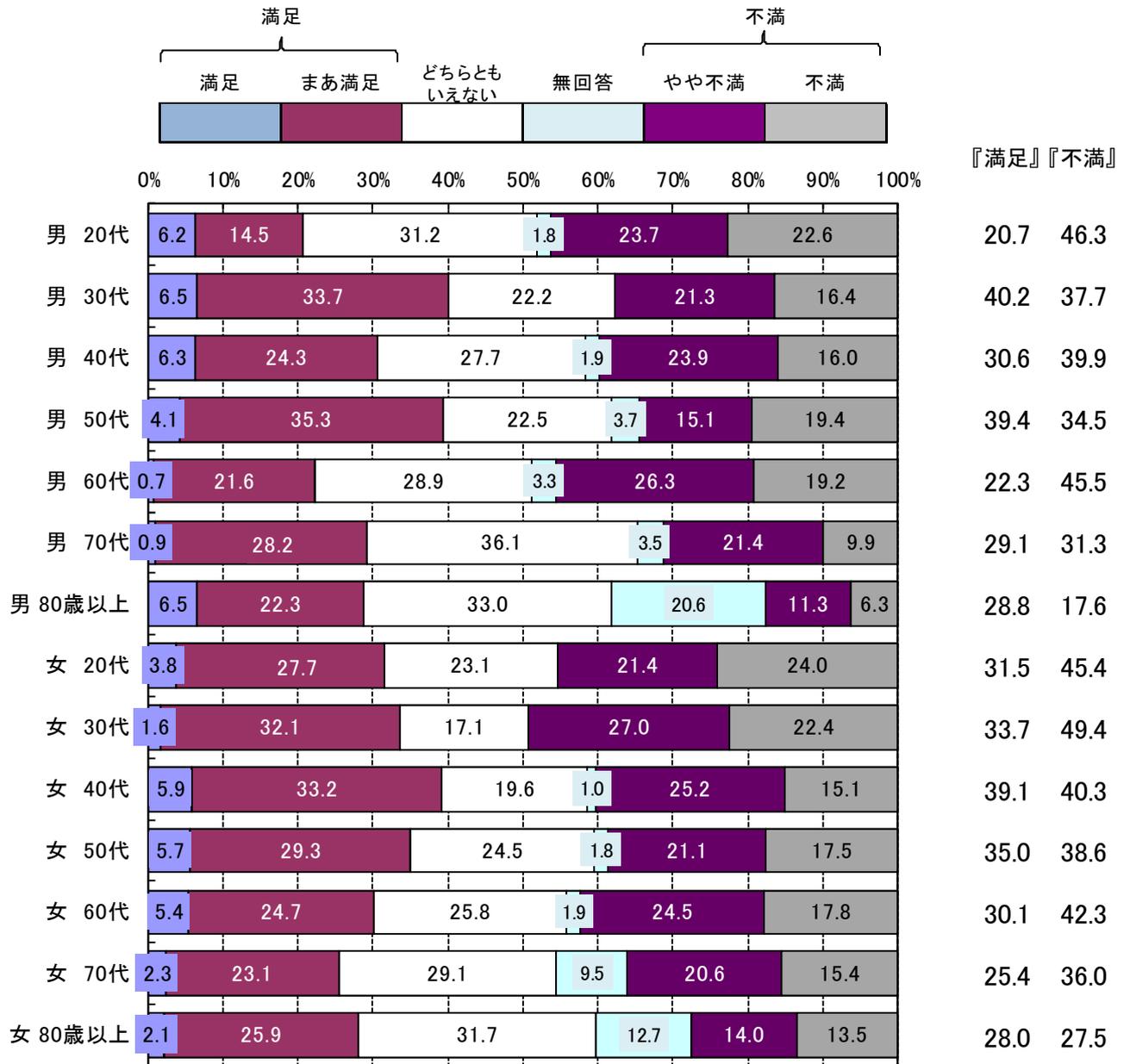
【性別】

『満足』は女性が男性より1.8ポイント高く、『不満』も女性が2.7ポイント高い。



【性・年代別】

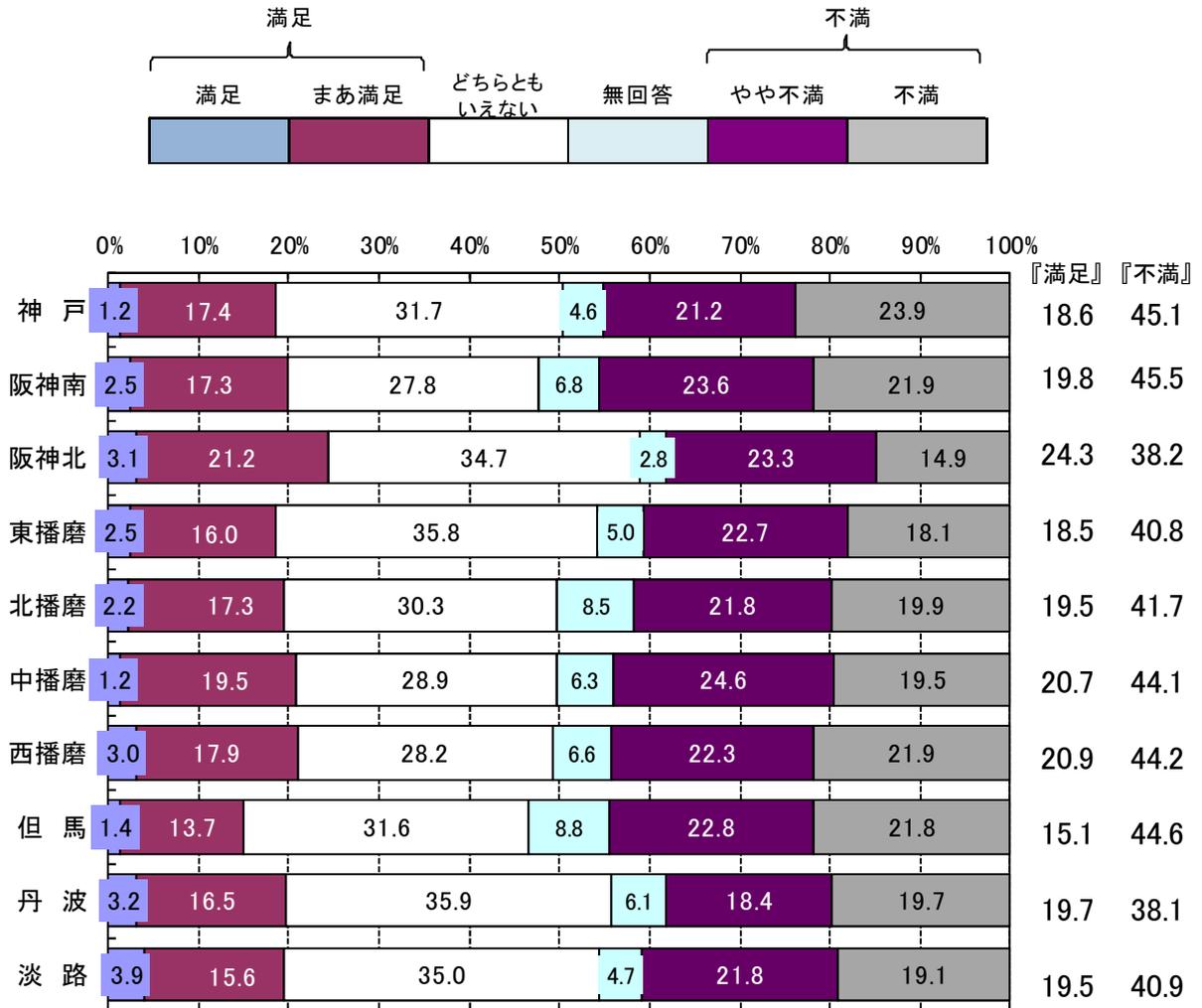
『満足』は、男性は50代、女性は40代が最も高い。



〔イ 貯蓄などの金融資産〕

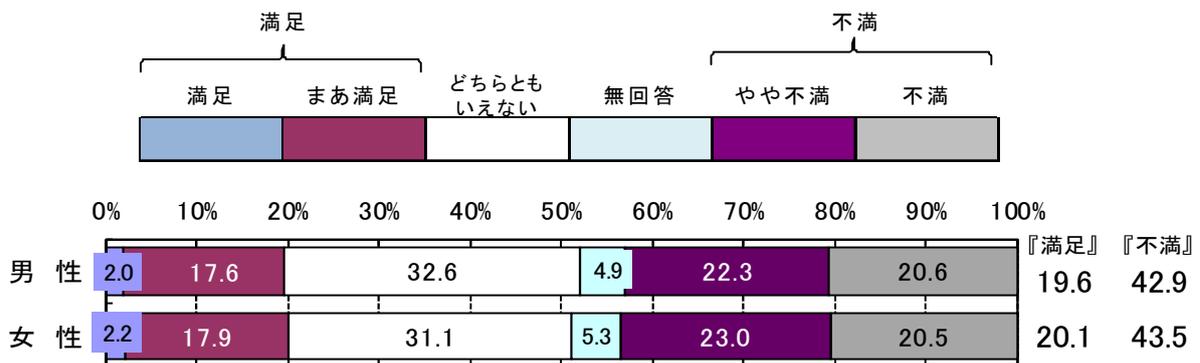
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、西播磨、中播磨が続いている。



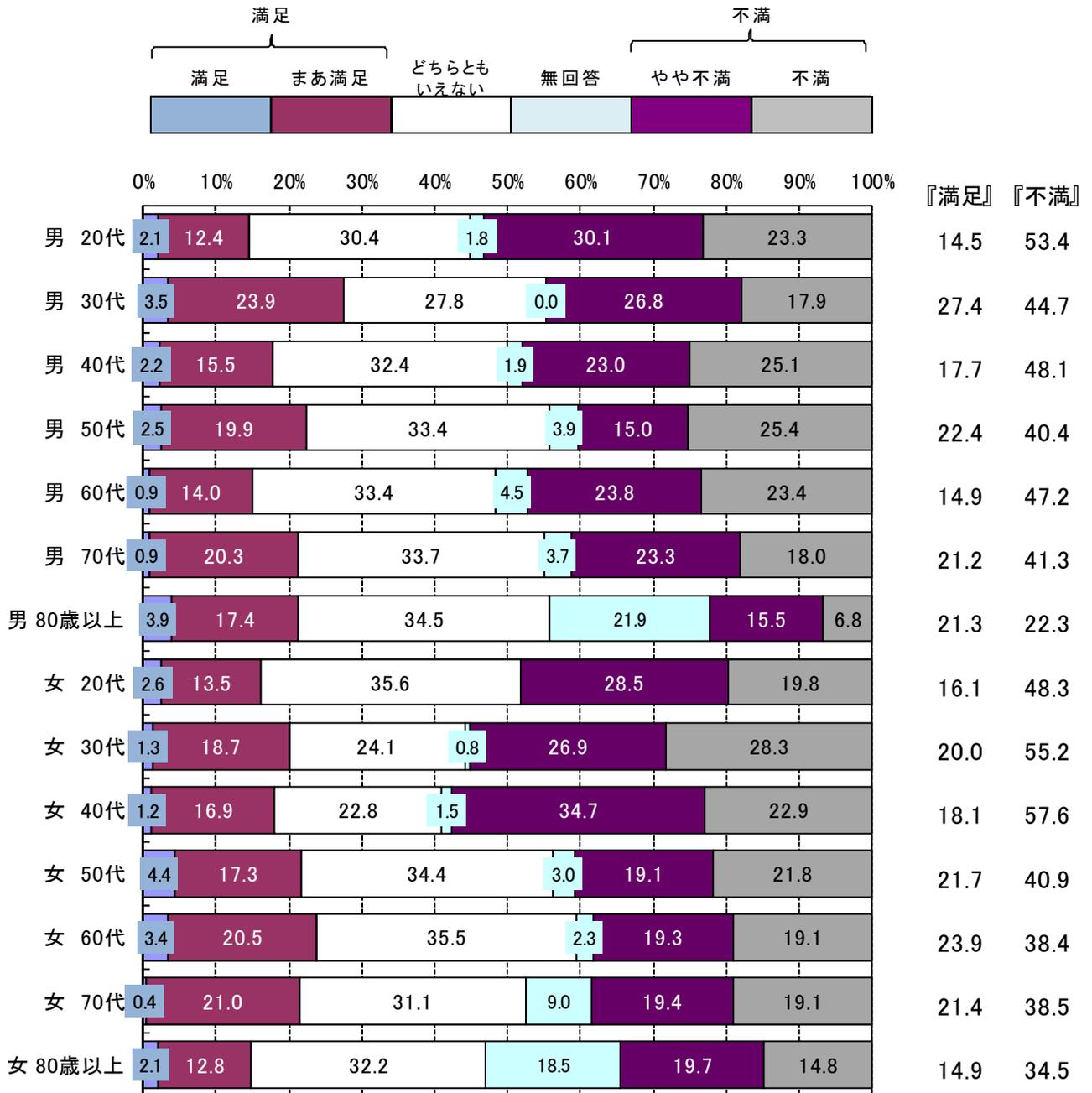
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

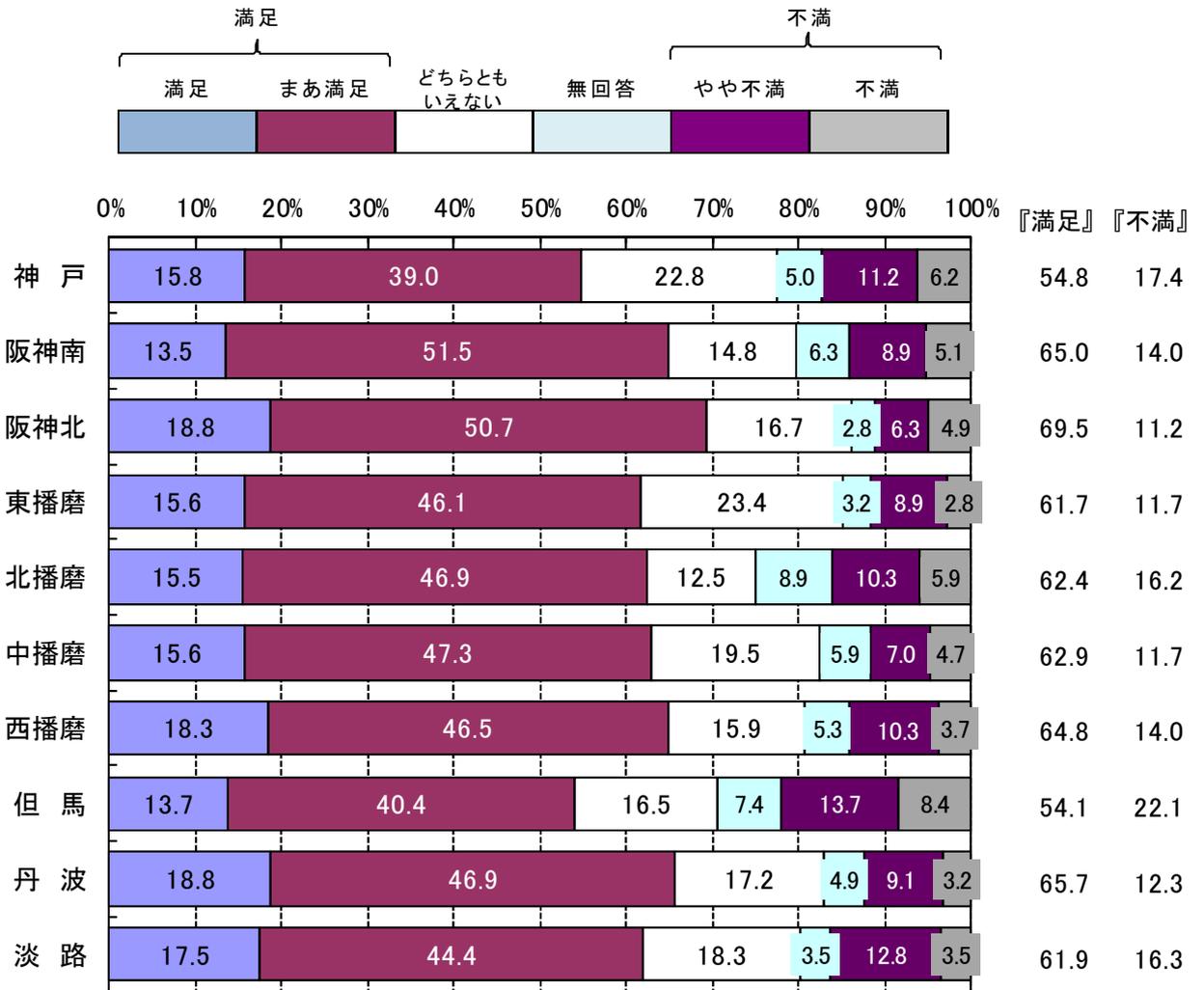
『満足』は、男性は50代、女性は60代が最も高い。



〔ウ 住居〕

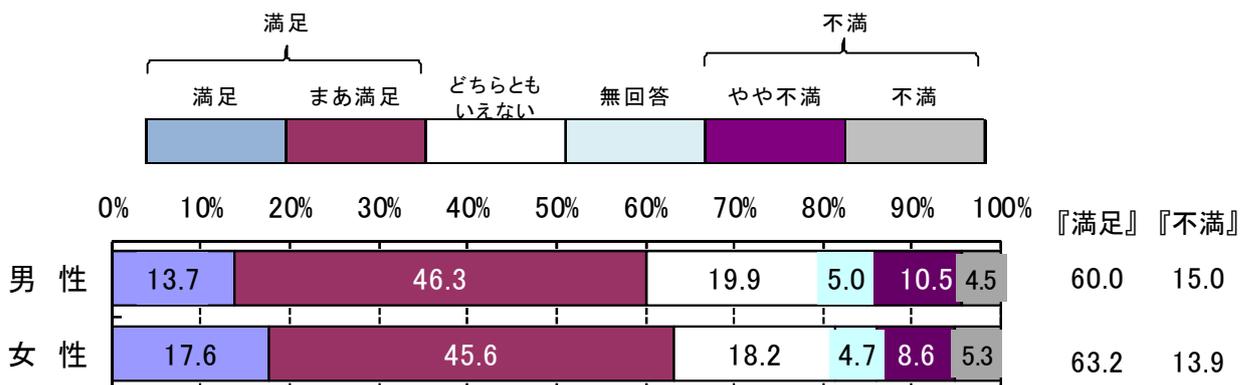
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、丹波、阪神南が続いている。



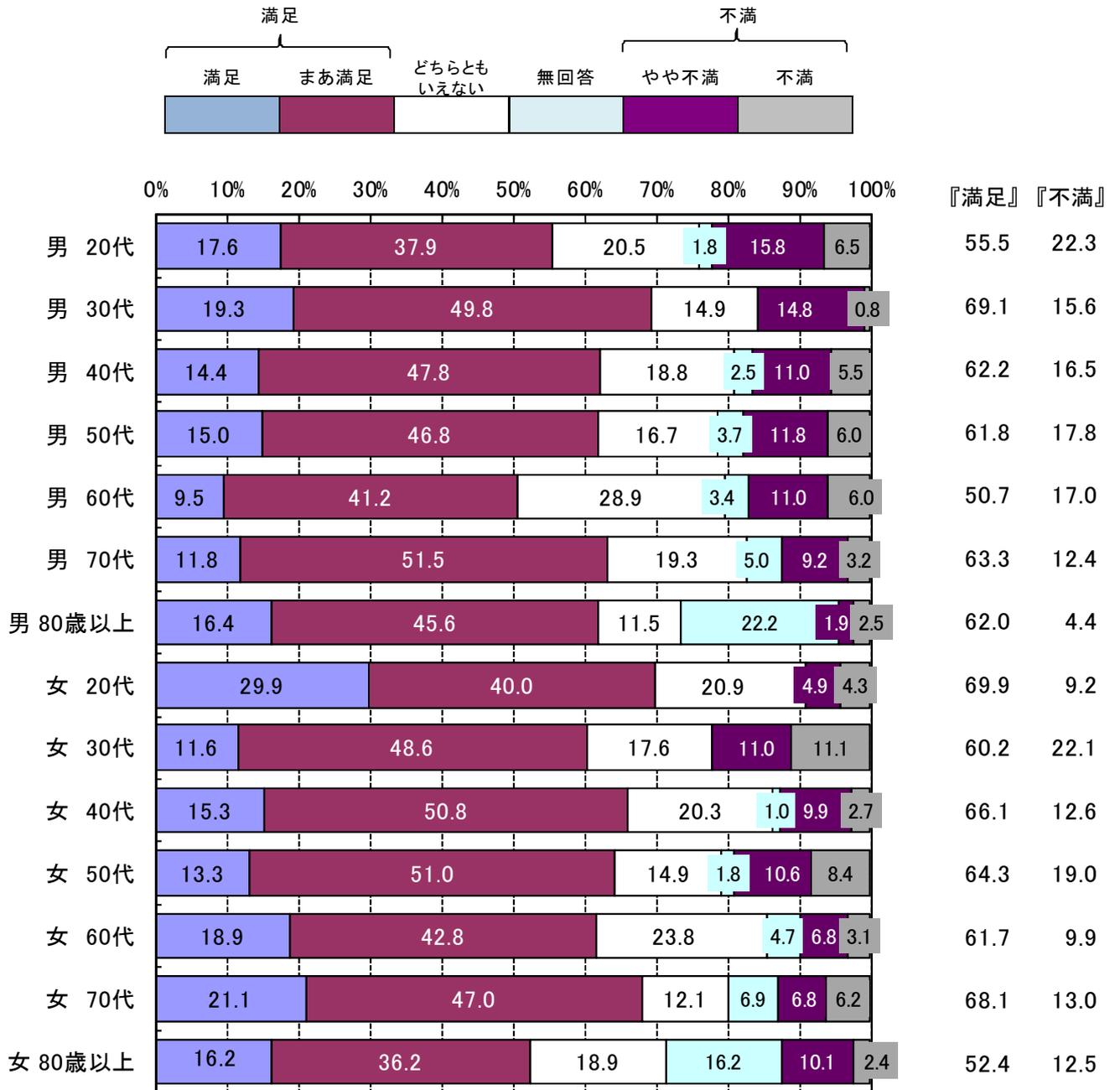
【性別】

『満足』は女性の方が男性より3.2ポイント高い。



【性・年代別】

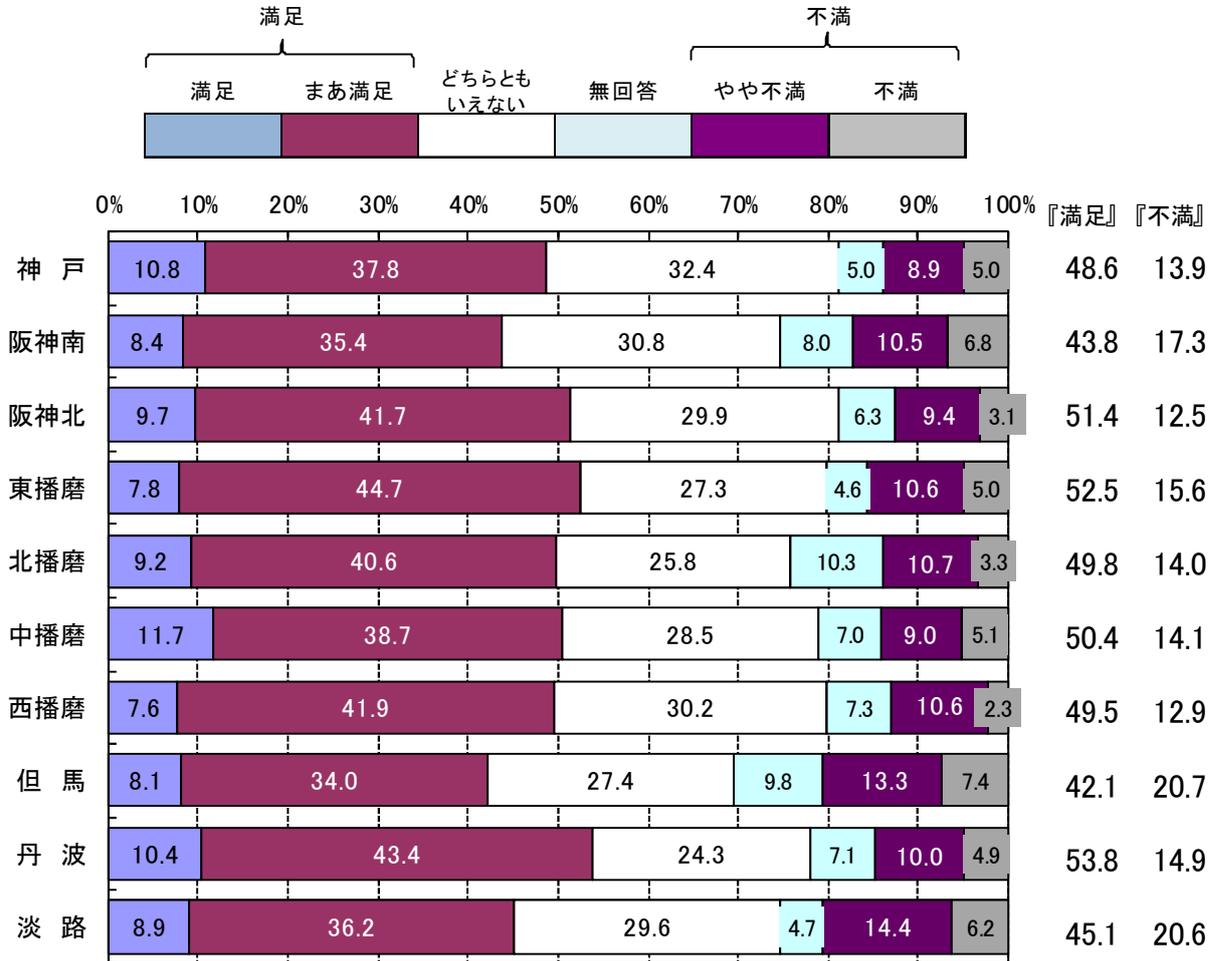
『満足』は、男性は30代、女性は20代が最も高い。



〔エ 車、家具などの耐久消費財〕

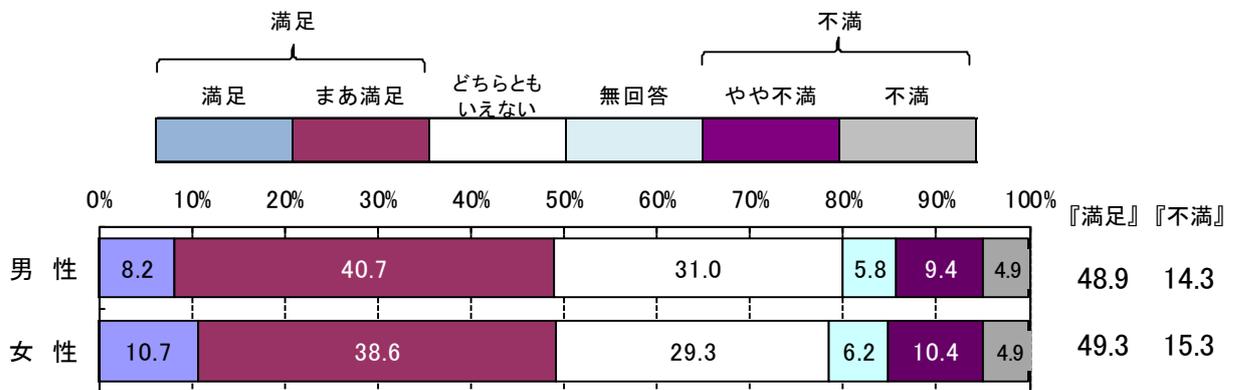
【地域別】

『満足』は丹波が最も高く、東播磨、阪神北が続いている。



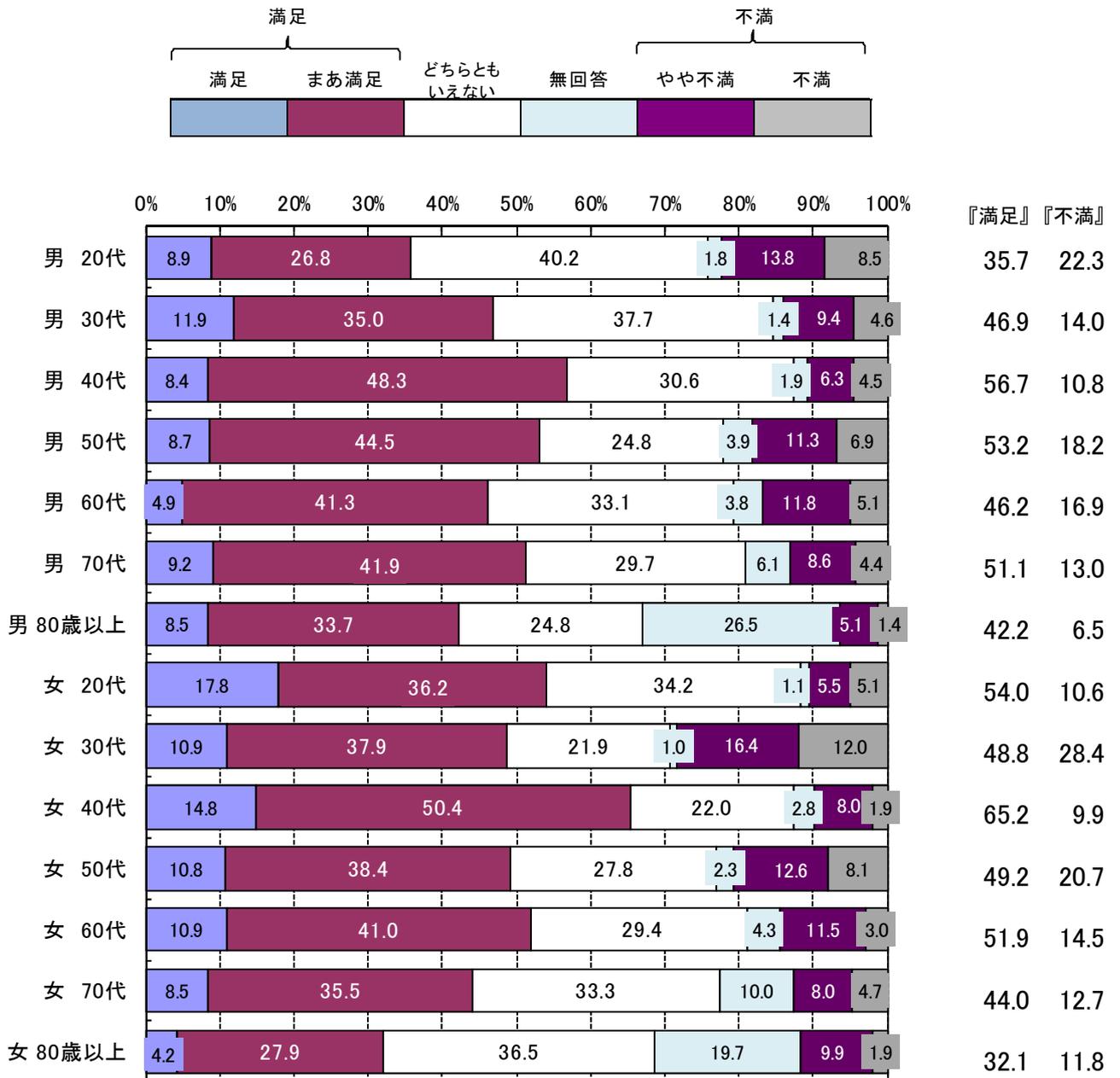
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



【性・年代別】

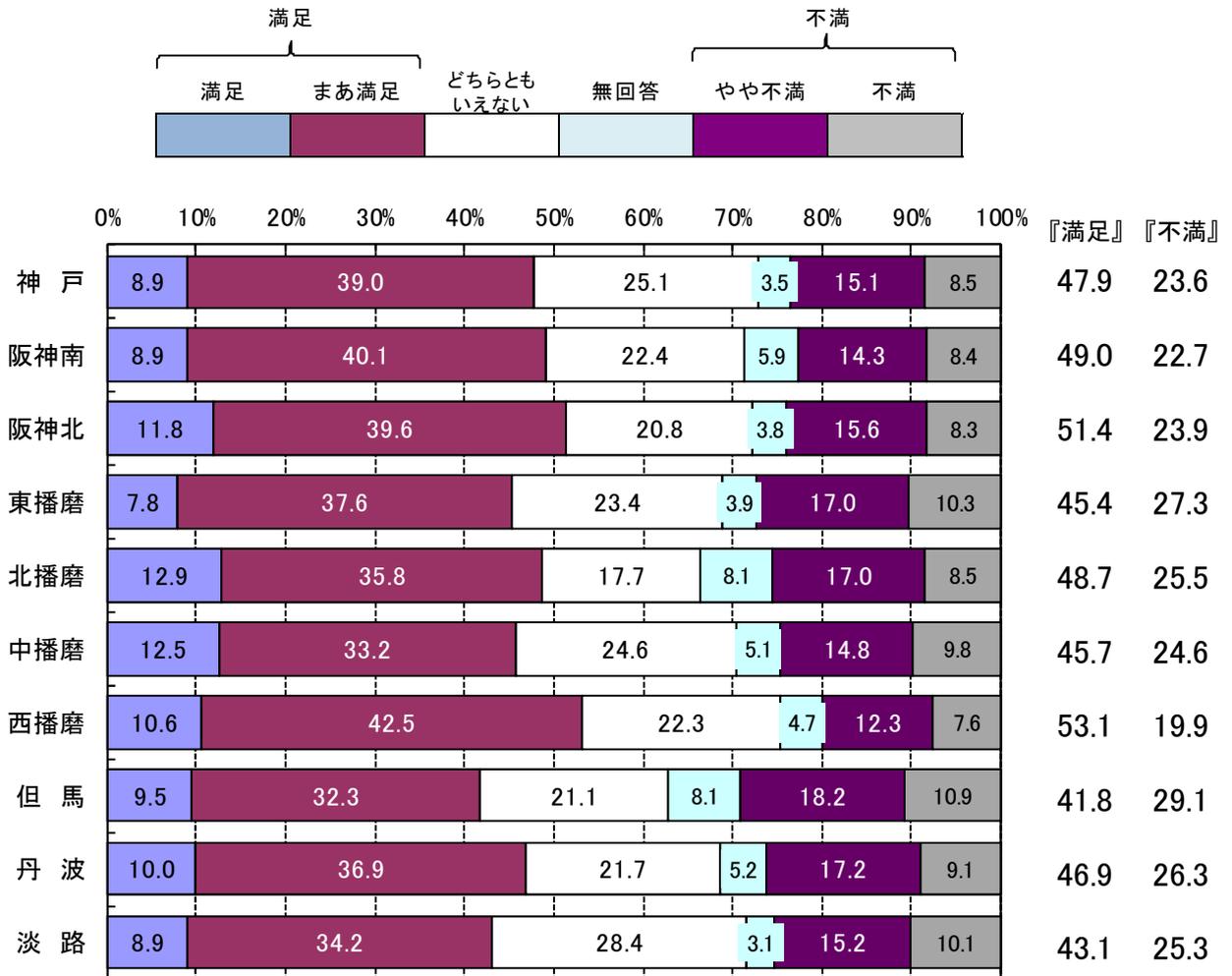
『満足』は、男女ともに40代が最も高い。



〔オ 時間のゆとり〕

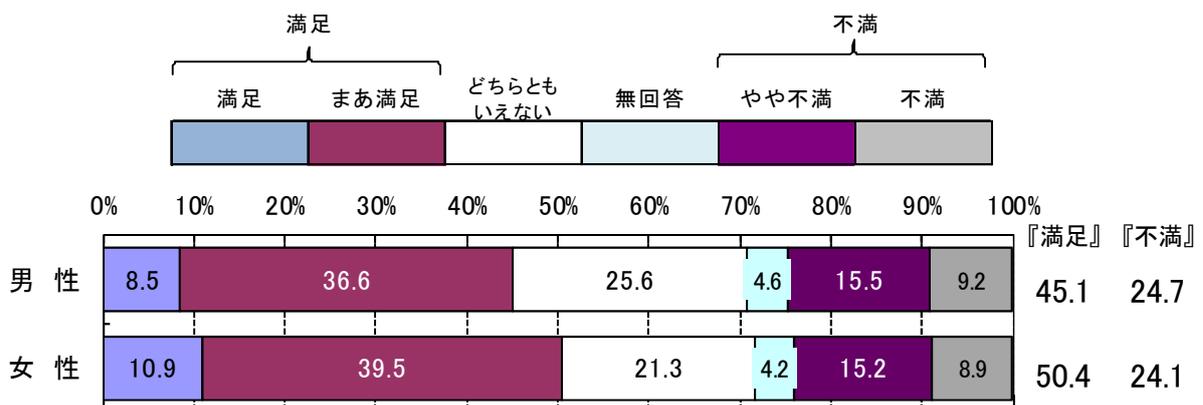
【地域別】

『満足』は西播磨が最も高く、阪神北、阪神南が続いている。



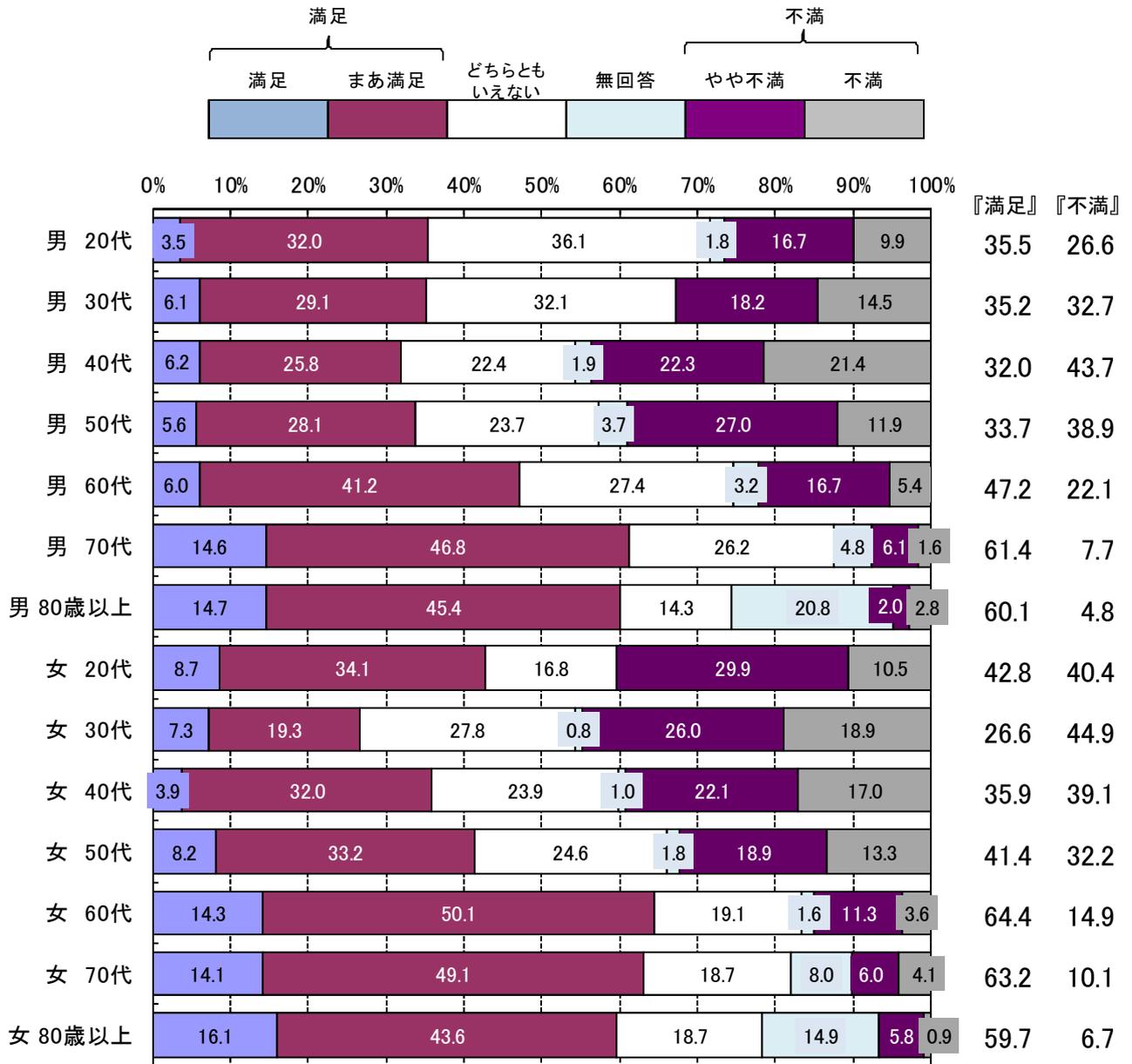
【性別】

『満足』は女性の方が男性より5.3ポイント高い。



【性・年代別】

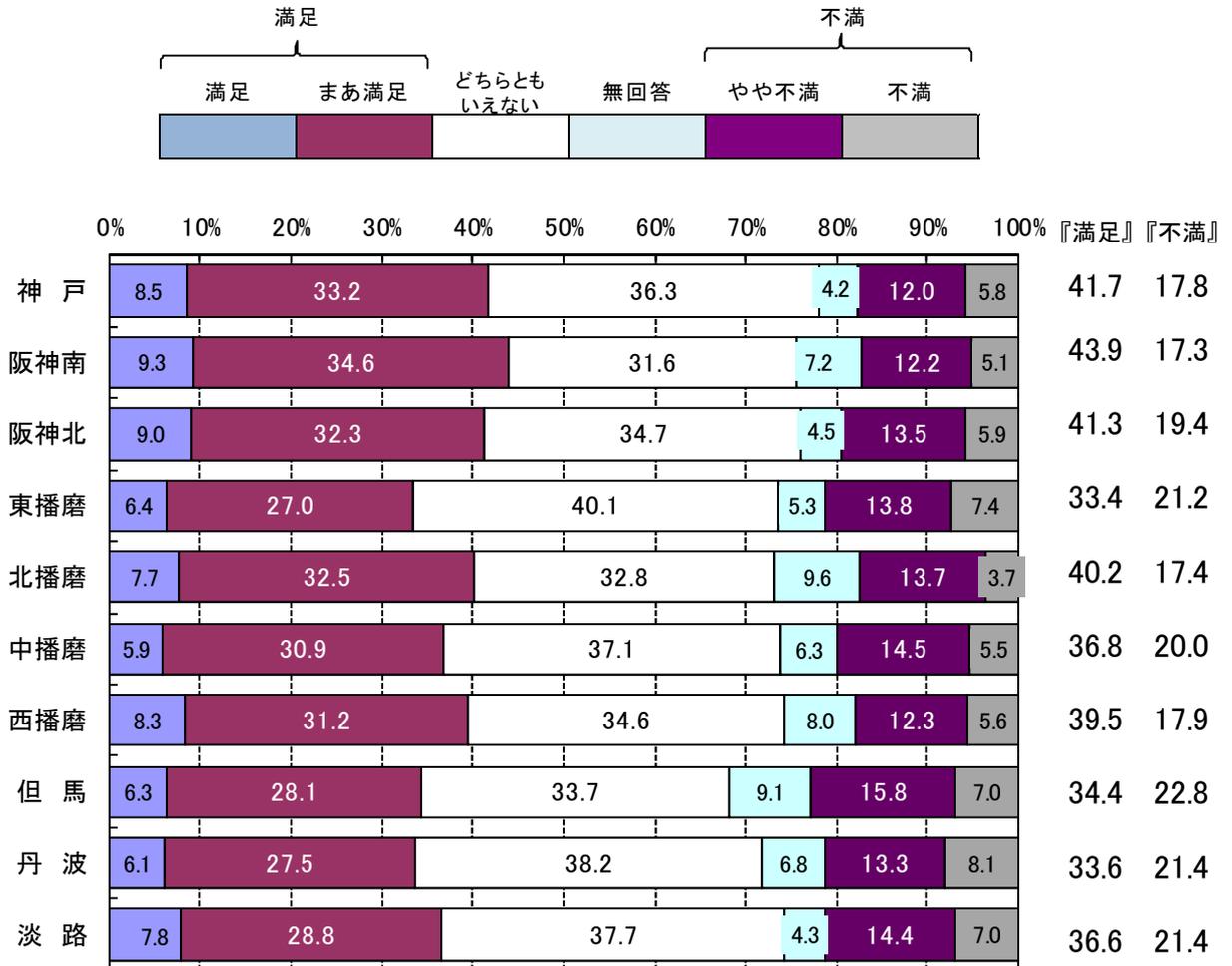
『満足』は、男性は70代、女性は60代が最も高い。



〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

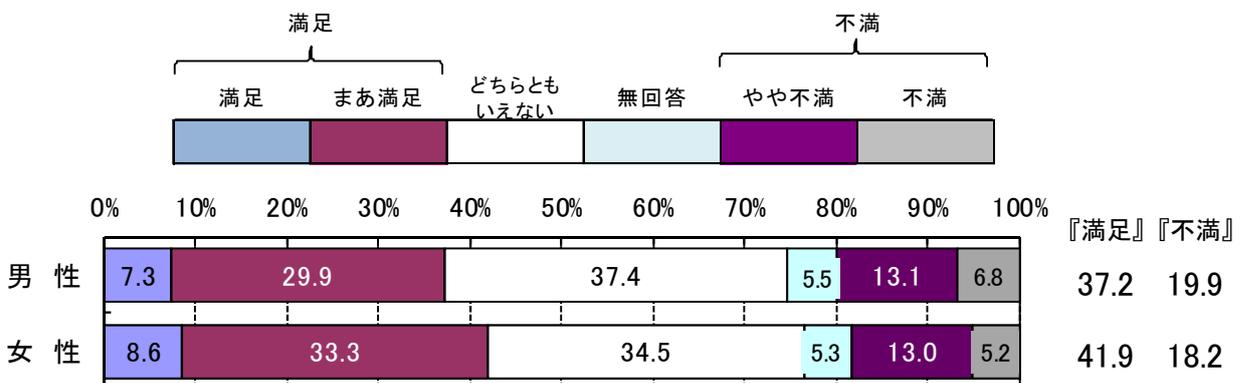
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く、神戸、阪神北が続いている。



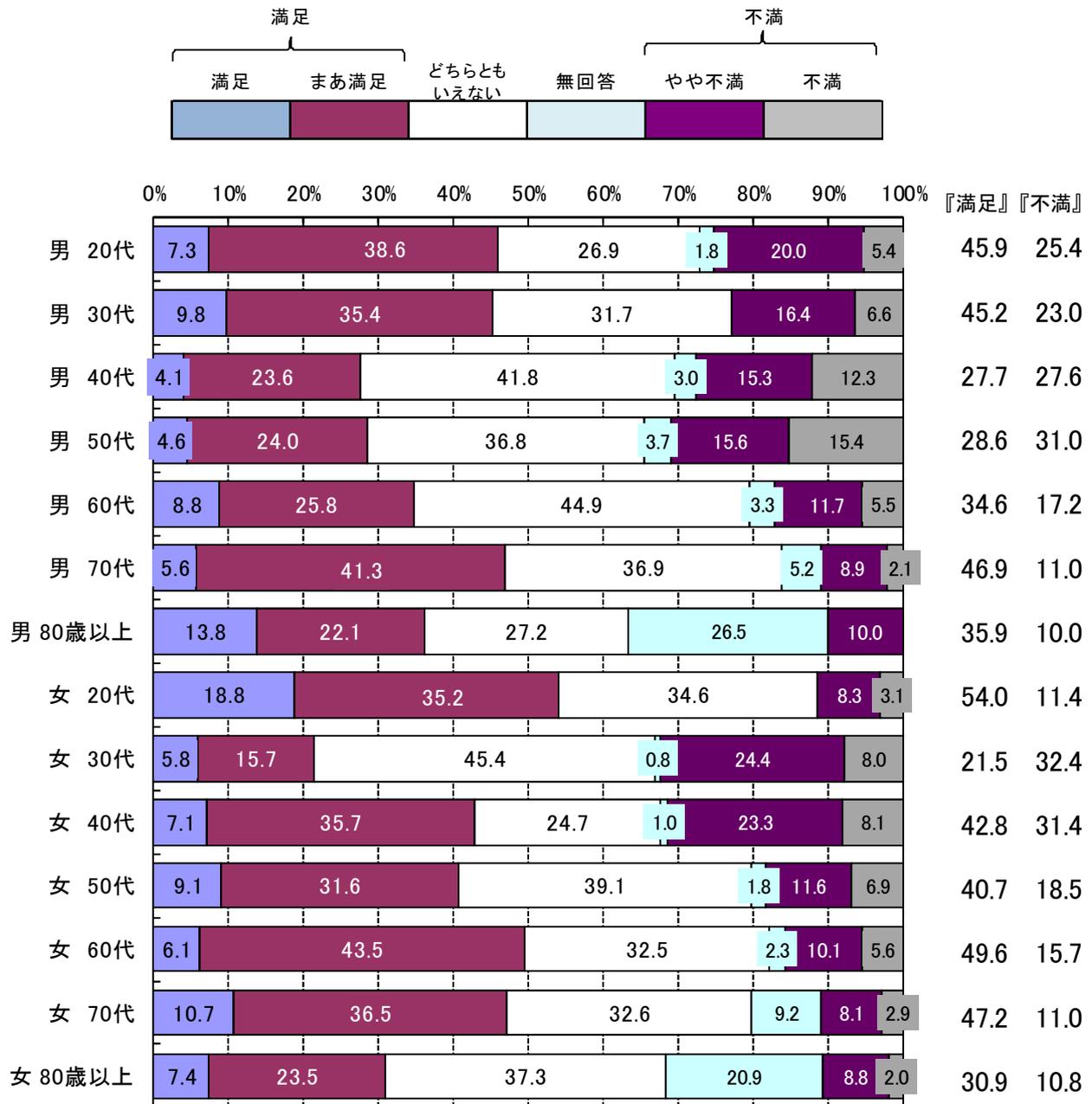
【性別】

『満足』は女性の方が男性より4.7ポイント高い。



【性・年代別】

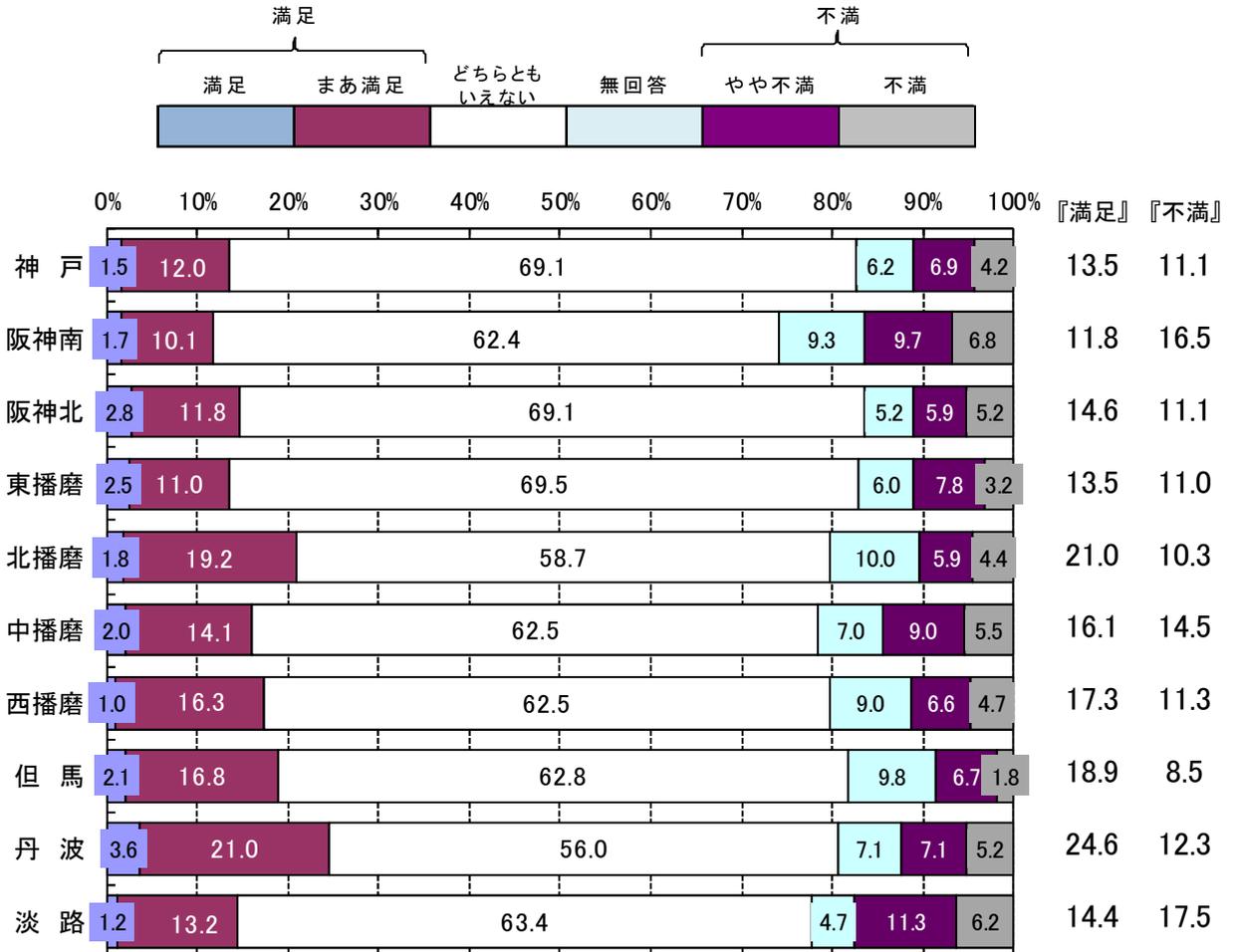
『満足』は、男性は70代、女性は20代が最も高い。



〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

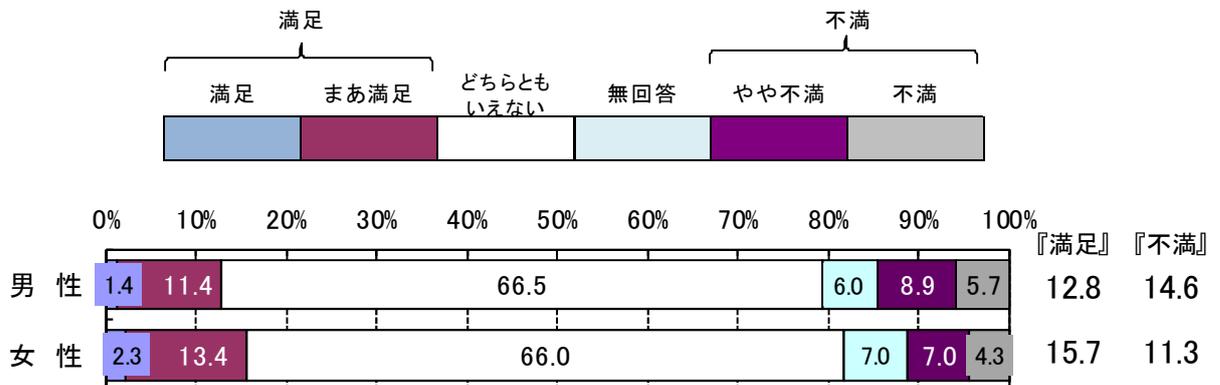
【地域別】

『満足』は丹波が最も高く、北播磨、但馬が続いている。



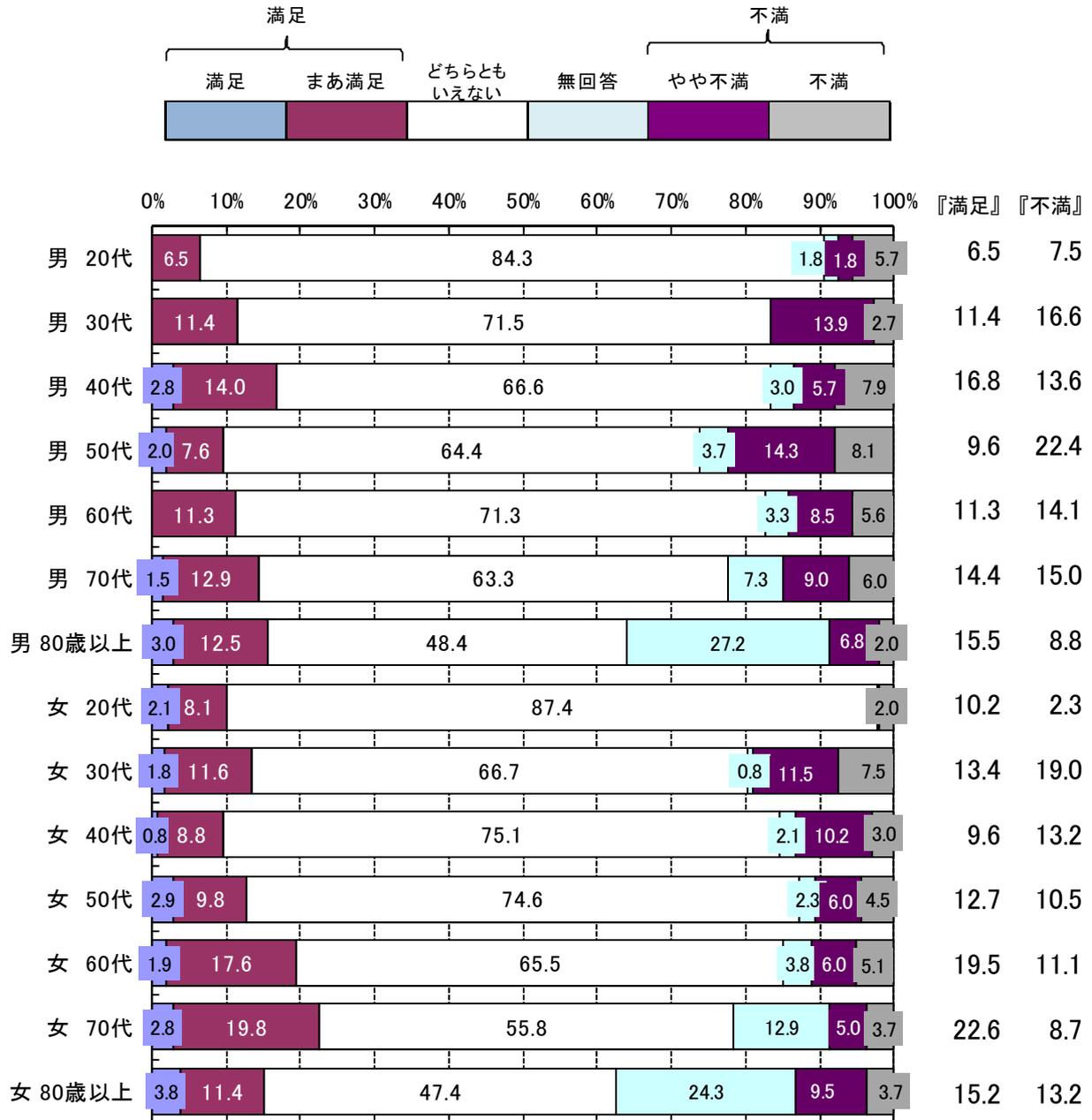
【性別】

『満足』は女性が男性より2.9ポイント高い。



【性・年代別】

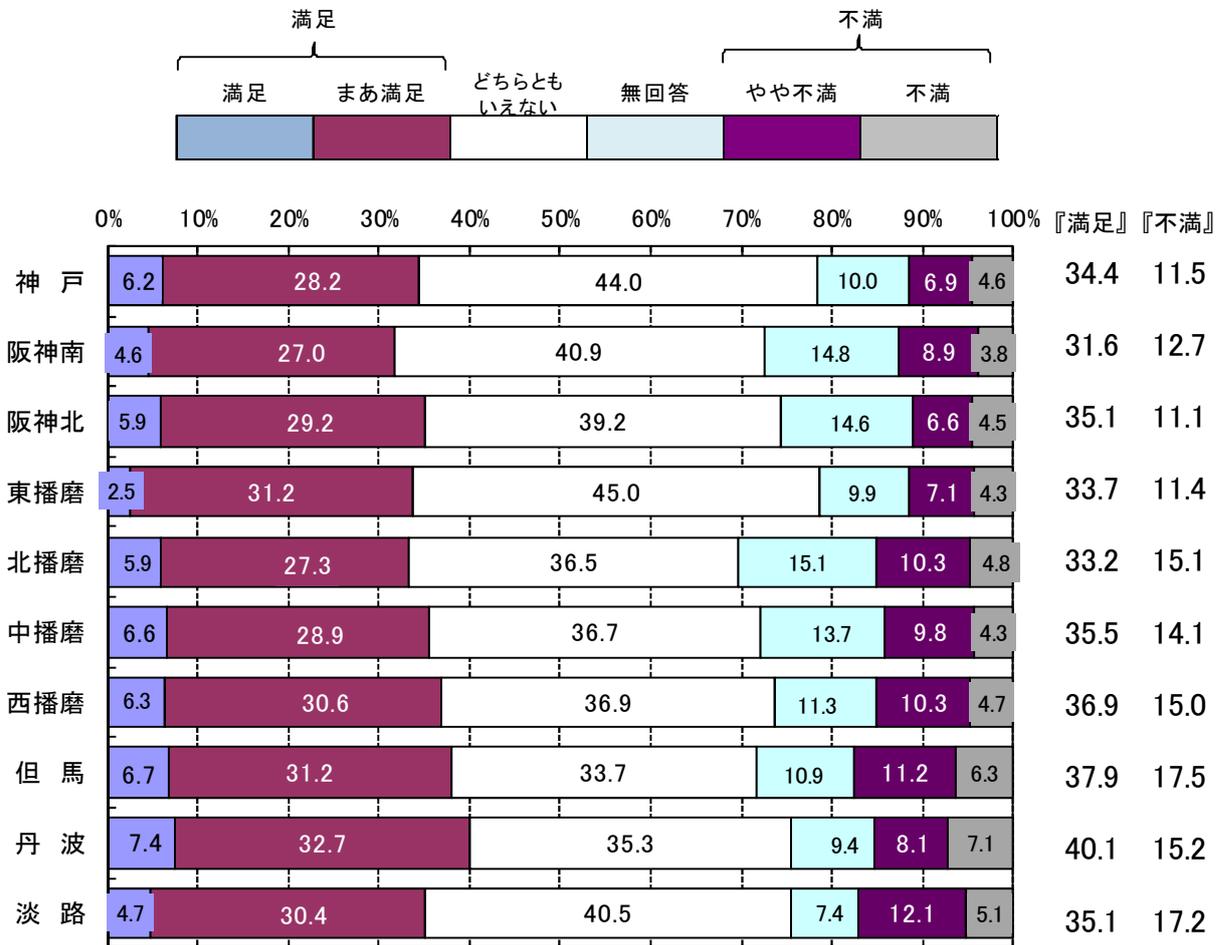
『満足』は、男性は80歳以上、女性は70代が最も高い。



〔ク 仕事の内容〕

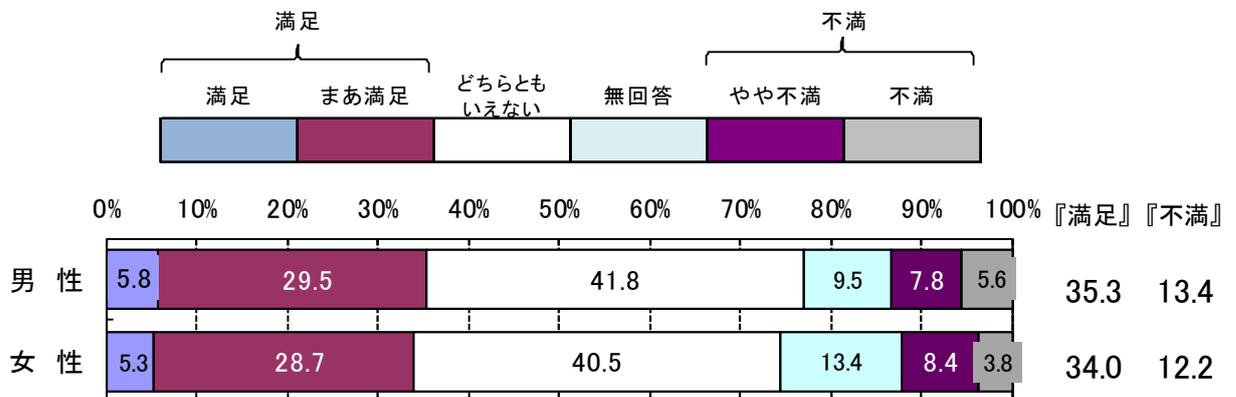
【地域別】

『満足』は、丹波が最も高く、但馬、西播磨が続いている。



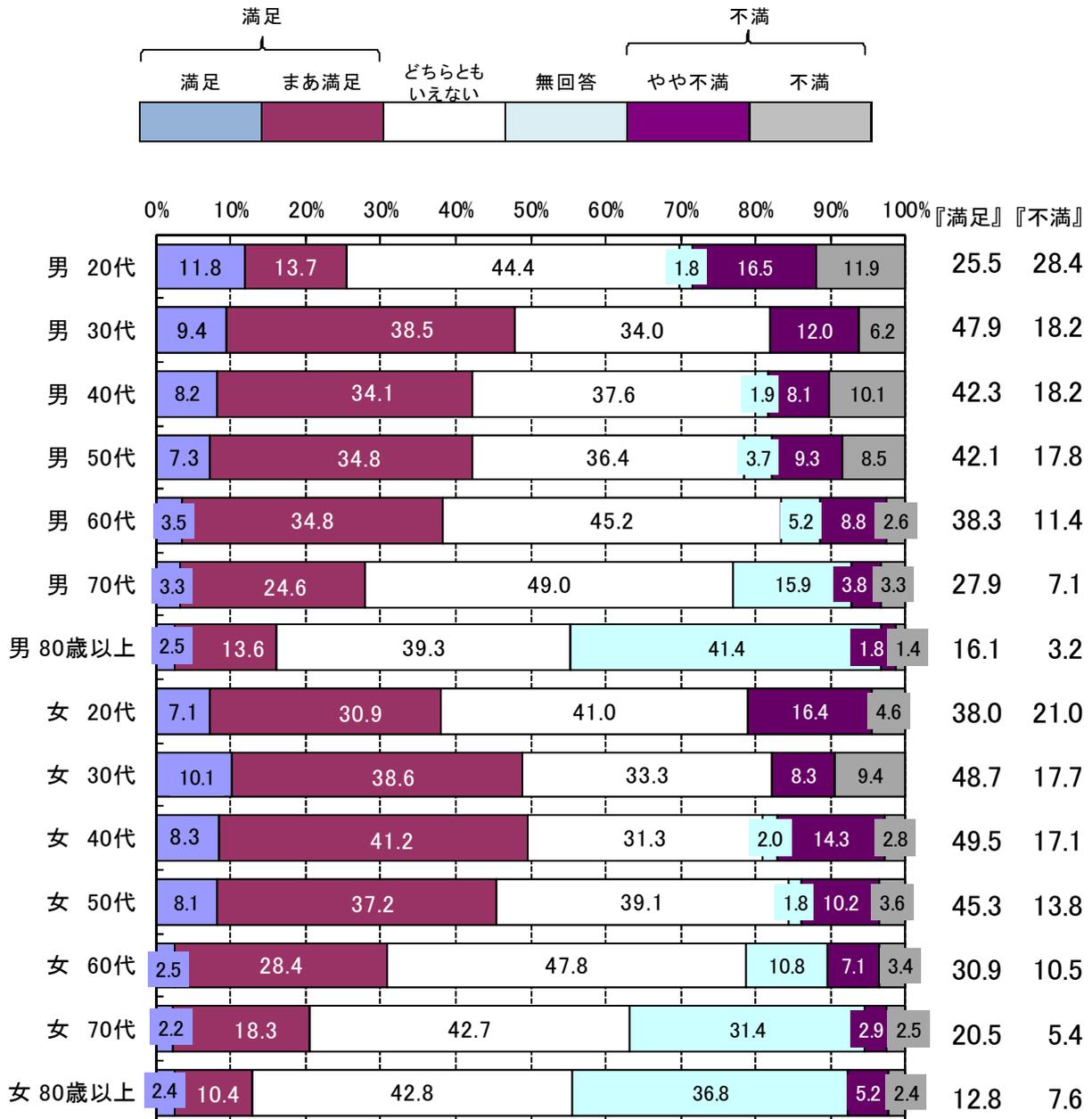
【性別】

『満足』は、男性が女性より1.3ポイント高い。



【性・年代別】

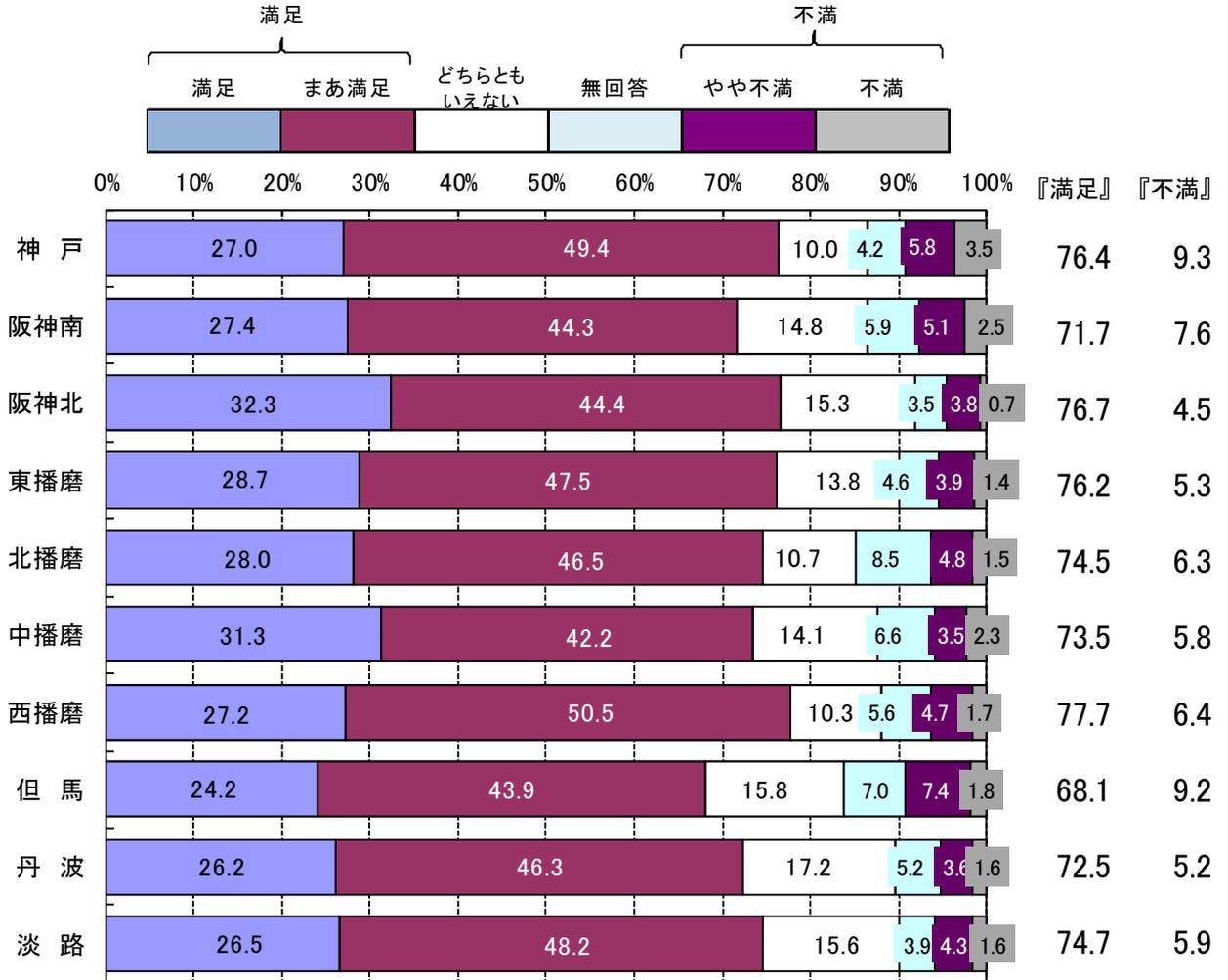
『満足』は、男性は30代、女性は40代が最も高い。



〔ケ 家族との関係〕

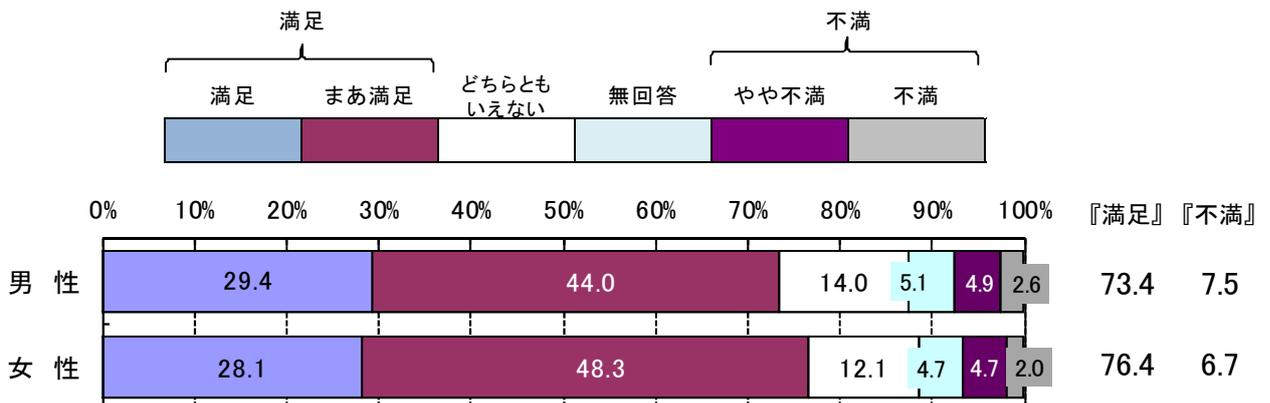
【地域別】

『満足』は、西播磨が最も高く、阪神北、神戸が続いている。



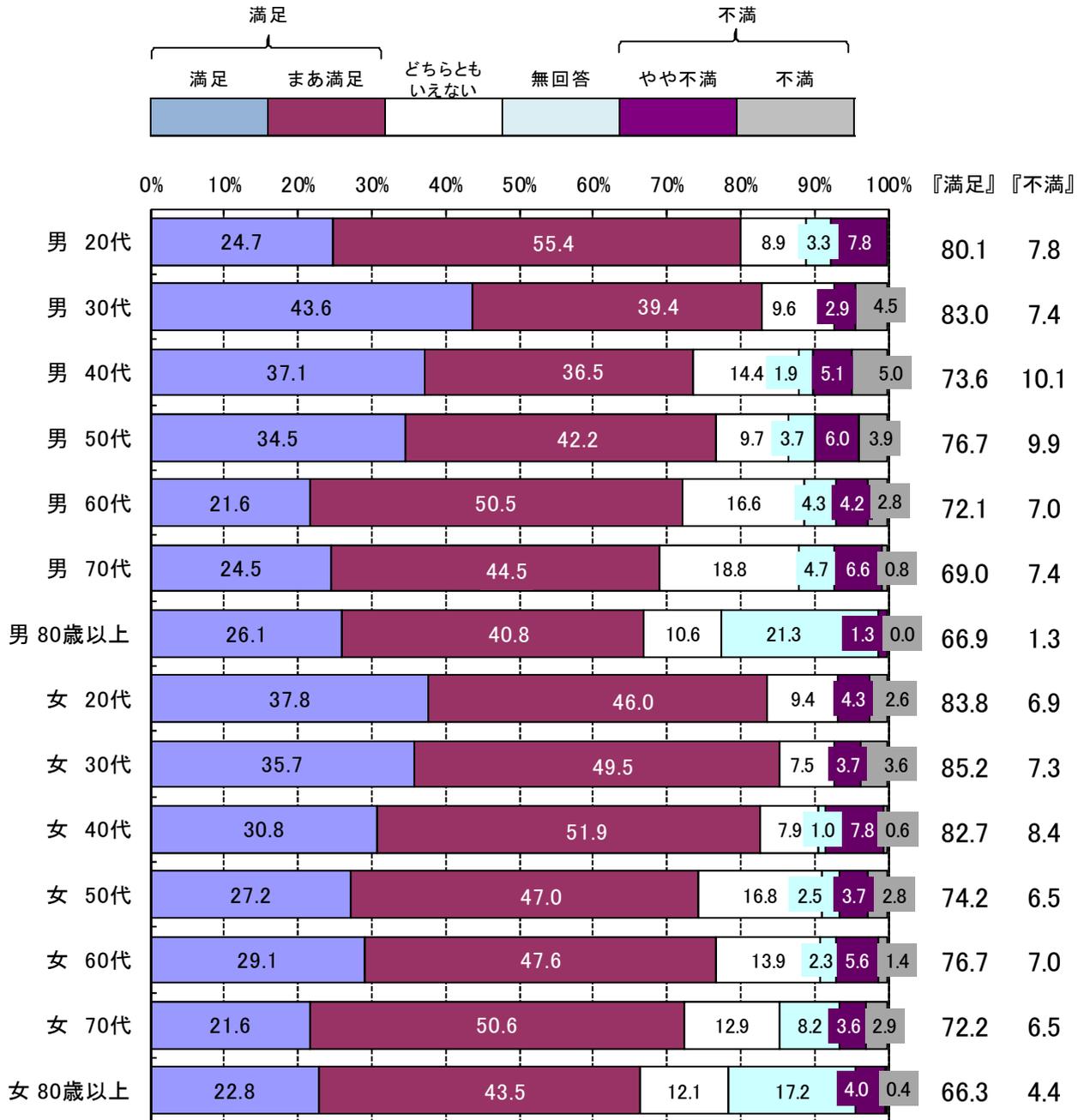
【性別】

『満足』は女性が男性より3.0ポイント高い。



【性・年代別】

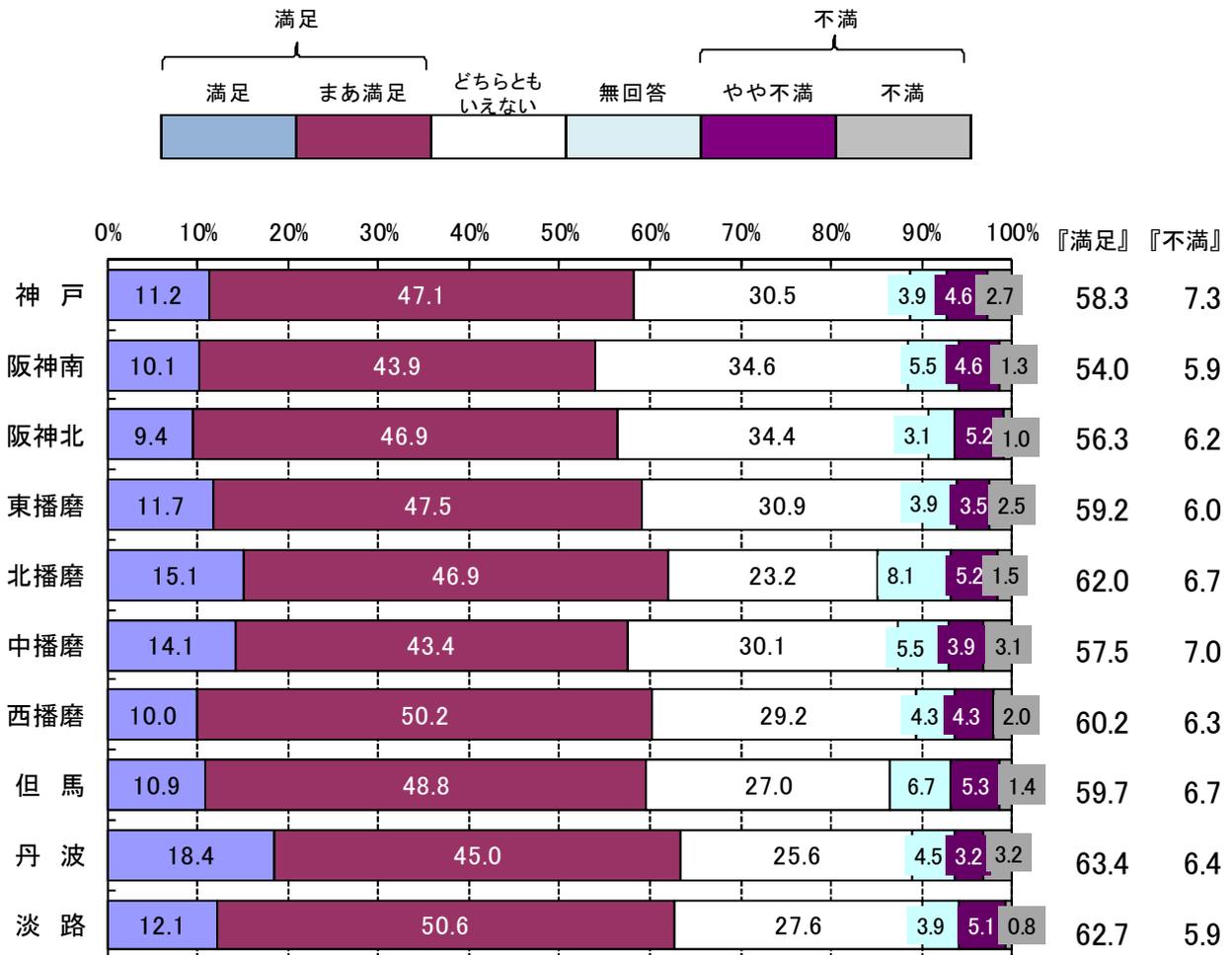
『満足』は、男女とも30代が最も高い。



〔コ 知人や近所の人との関係〕

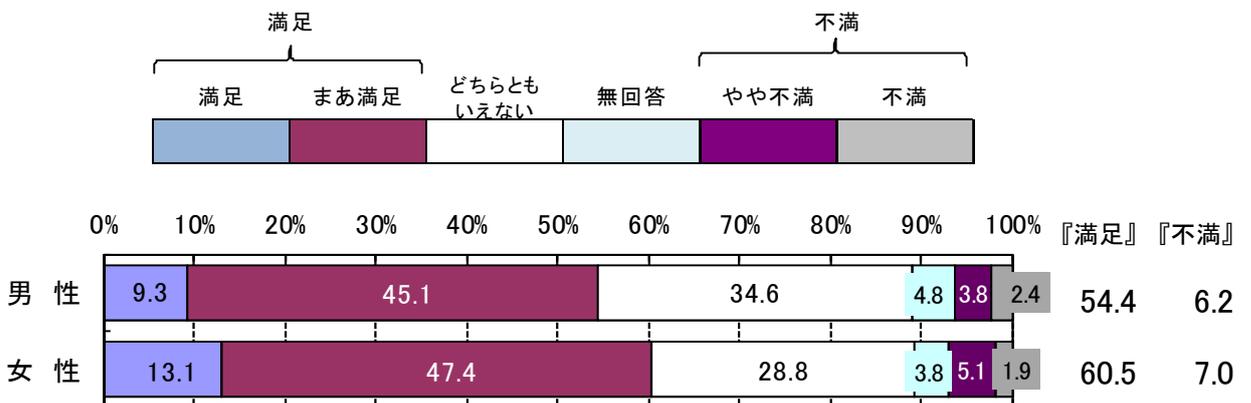
【地域別】

『満足』は丹波が最も高く、淡路、北播磨が最も高い。



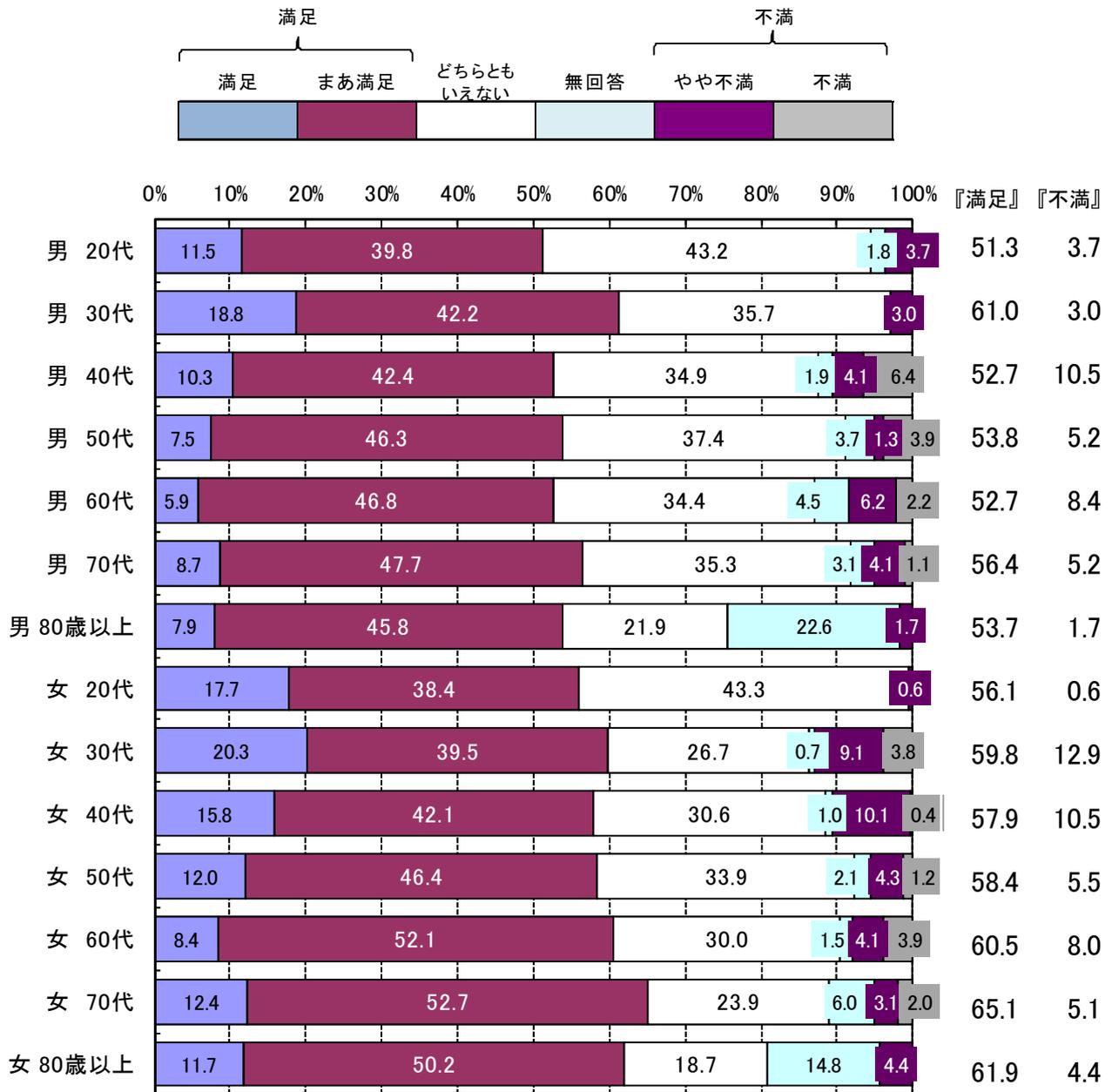
【性別】

『満足』は、女性が男性より6.1ポイント高い。



【性・年代別】

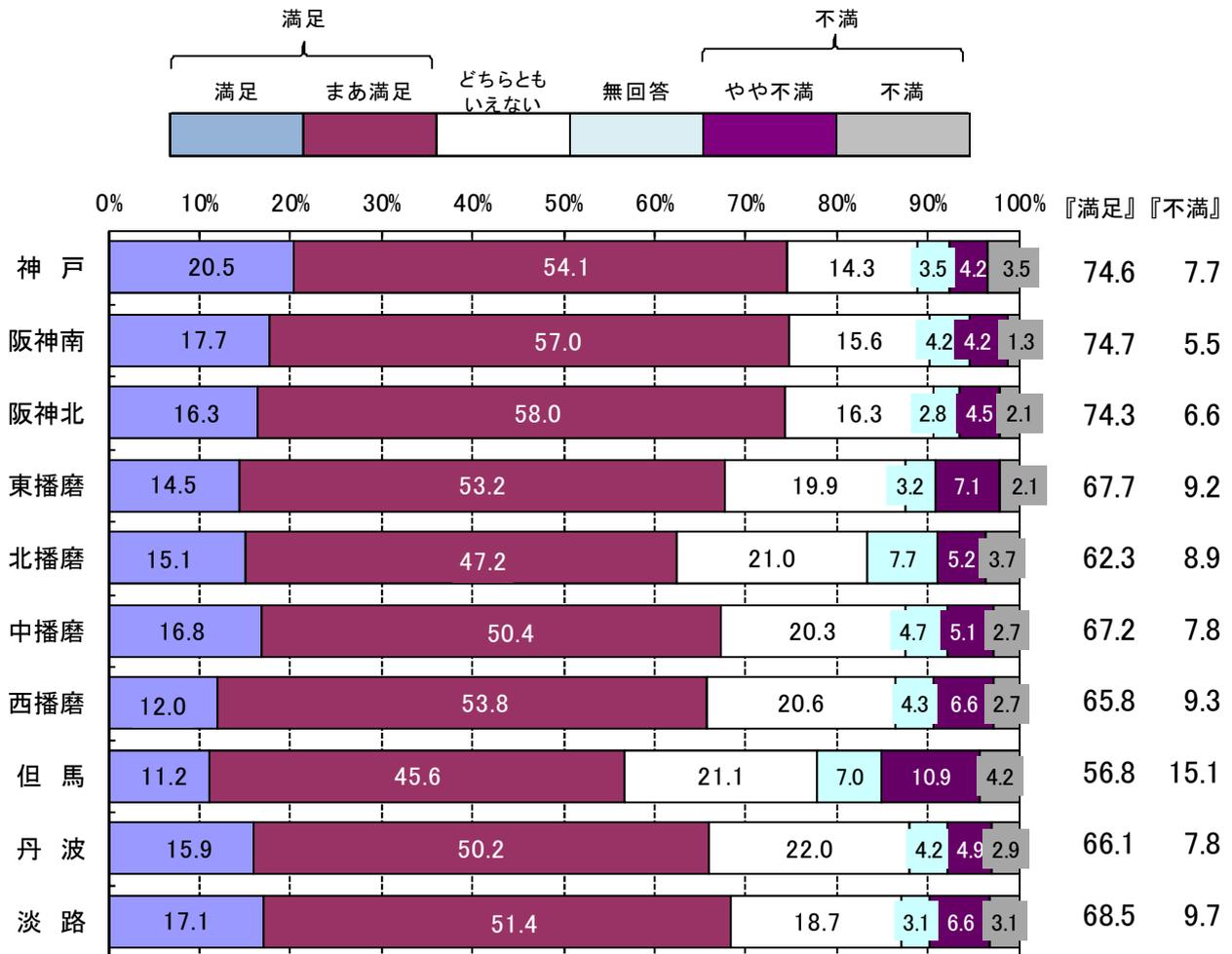
『満足』は、男性は30代、女性は70代が最も高い。



〔サ 住んでいる地域の住み心地〕

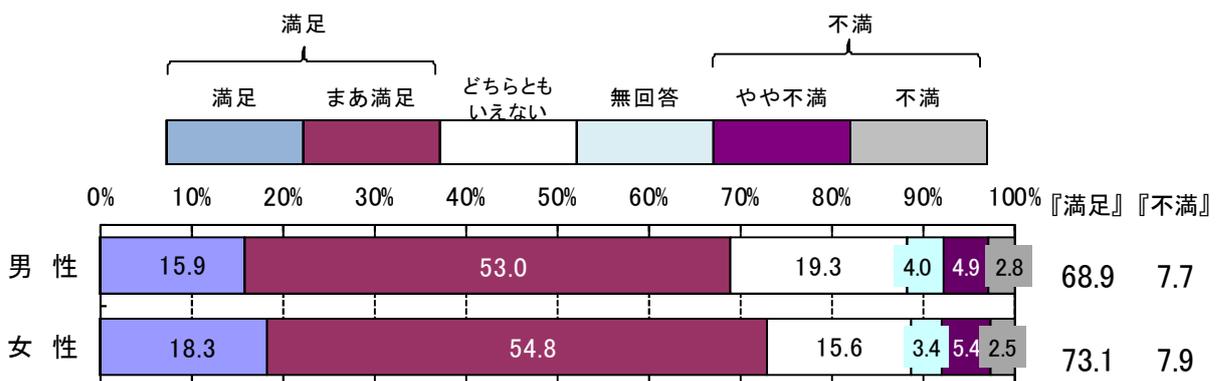
【地域別】

『満足』は、阪神南が最も高く、神戸、阪神北と続いている。



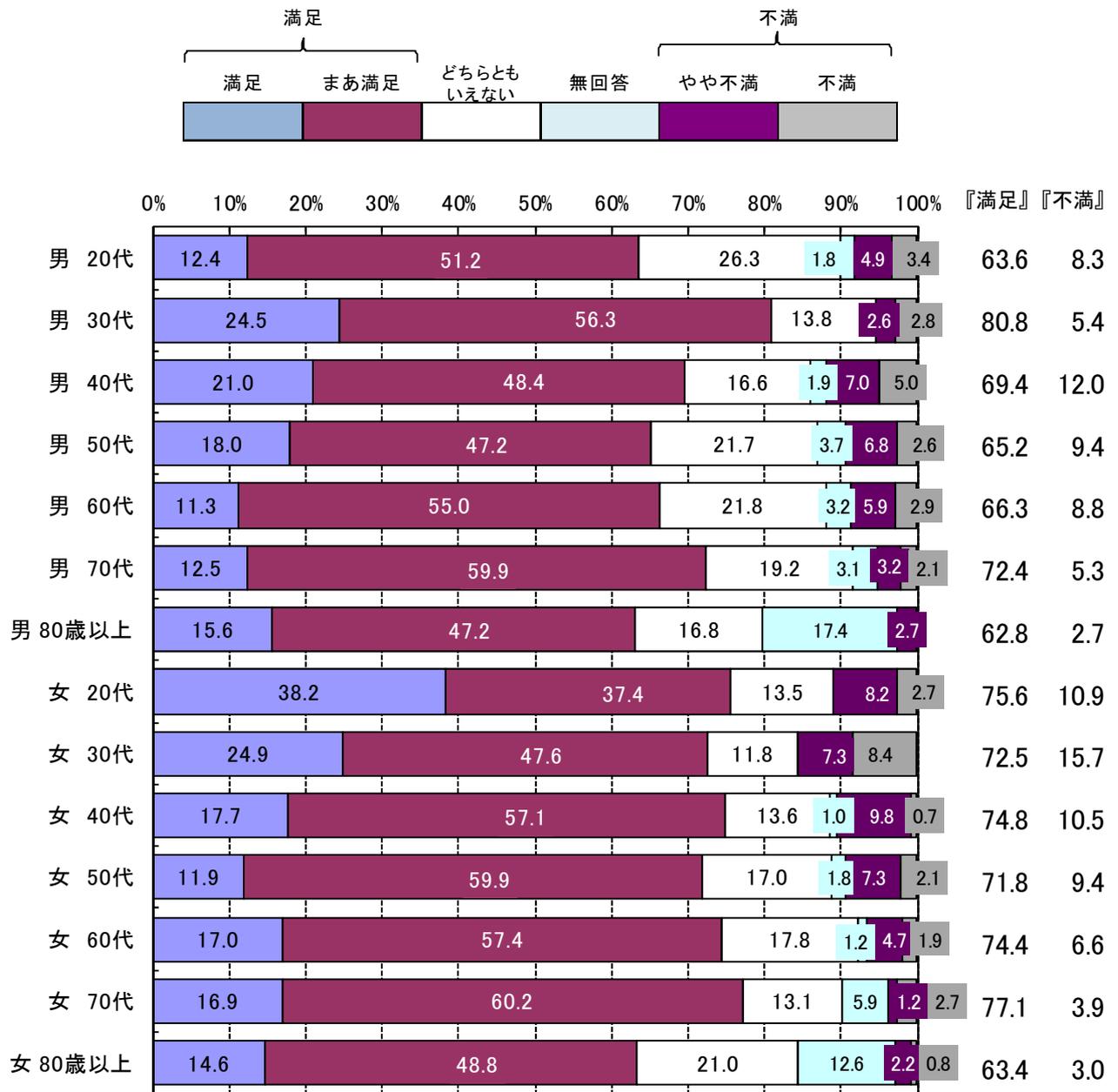
【性別】

『満足』は、女性が男性より4.2ポイント高い。



【性・年代別】

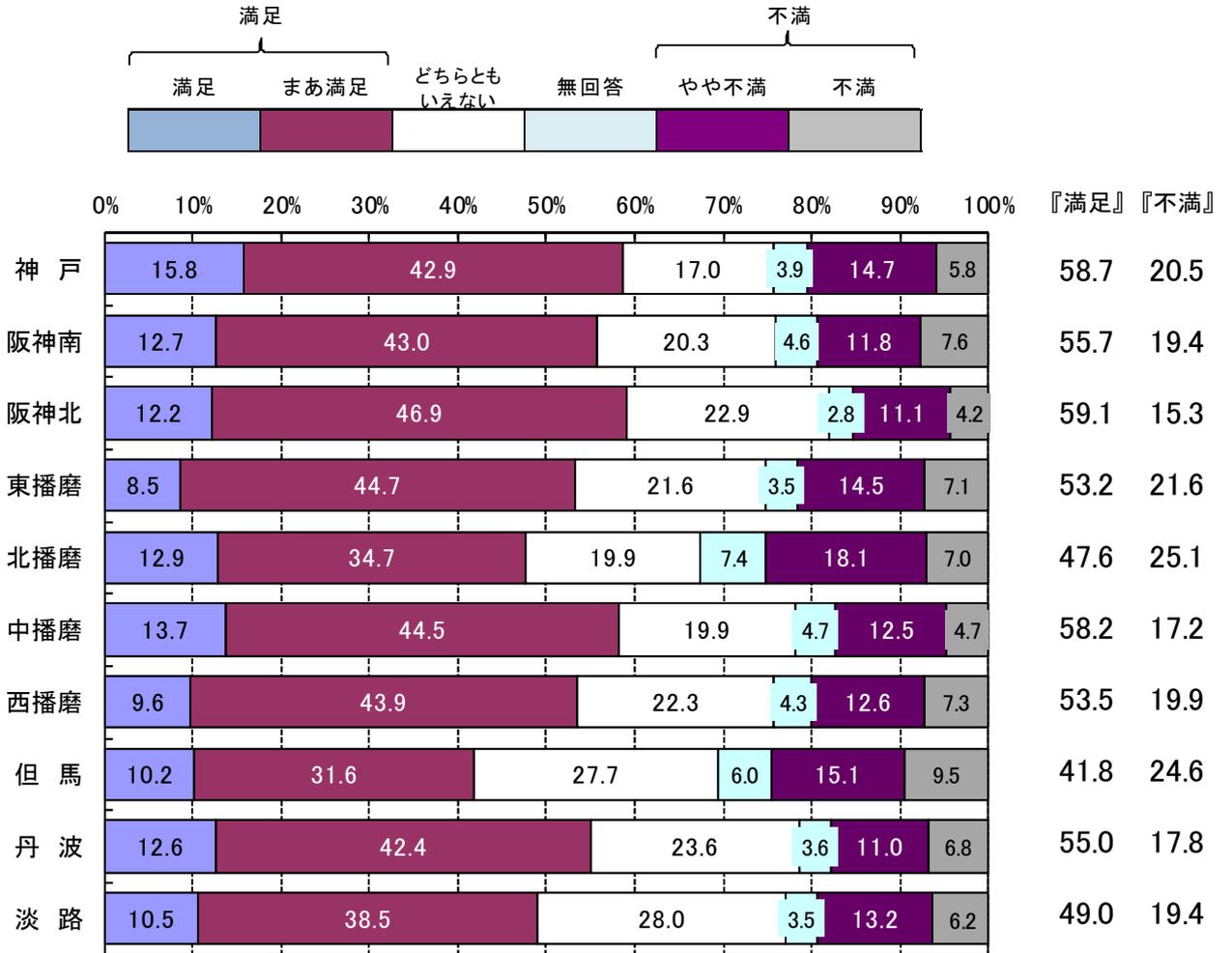
『満足』は、男性は30代、女性は70代が最も高い。



〔シ あなた自身の健康〕

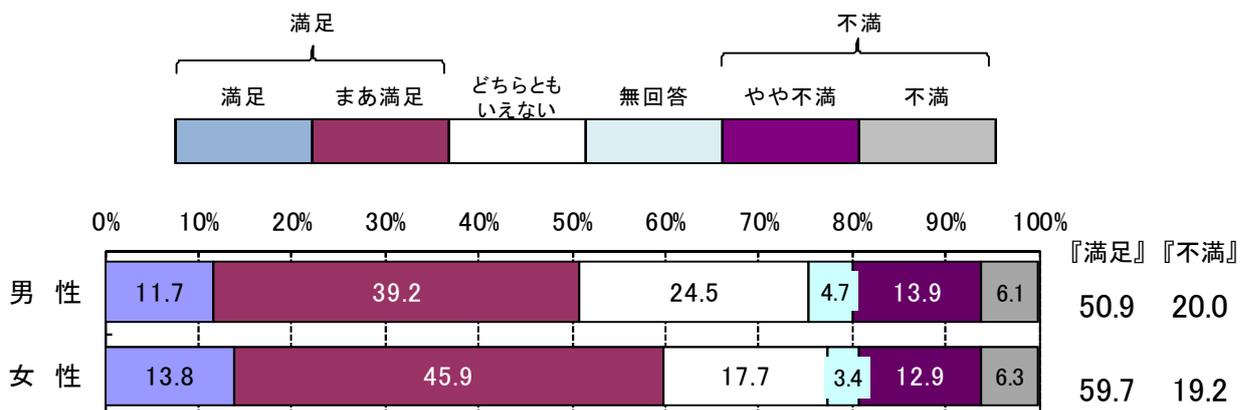
【地域別】

『満足』は、阪神北が最も高く、神戸、中播磨が続いている。



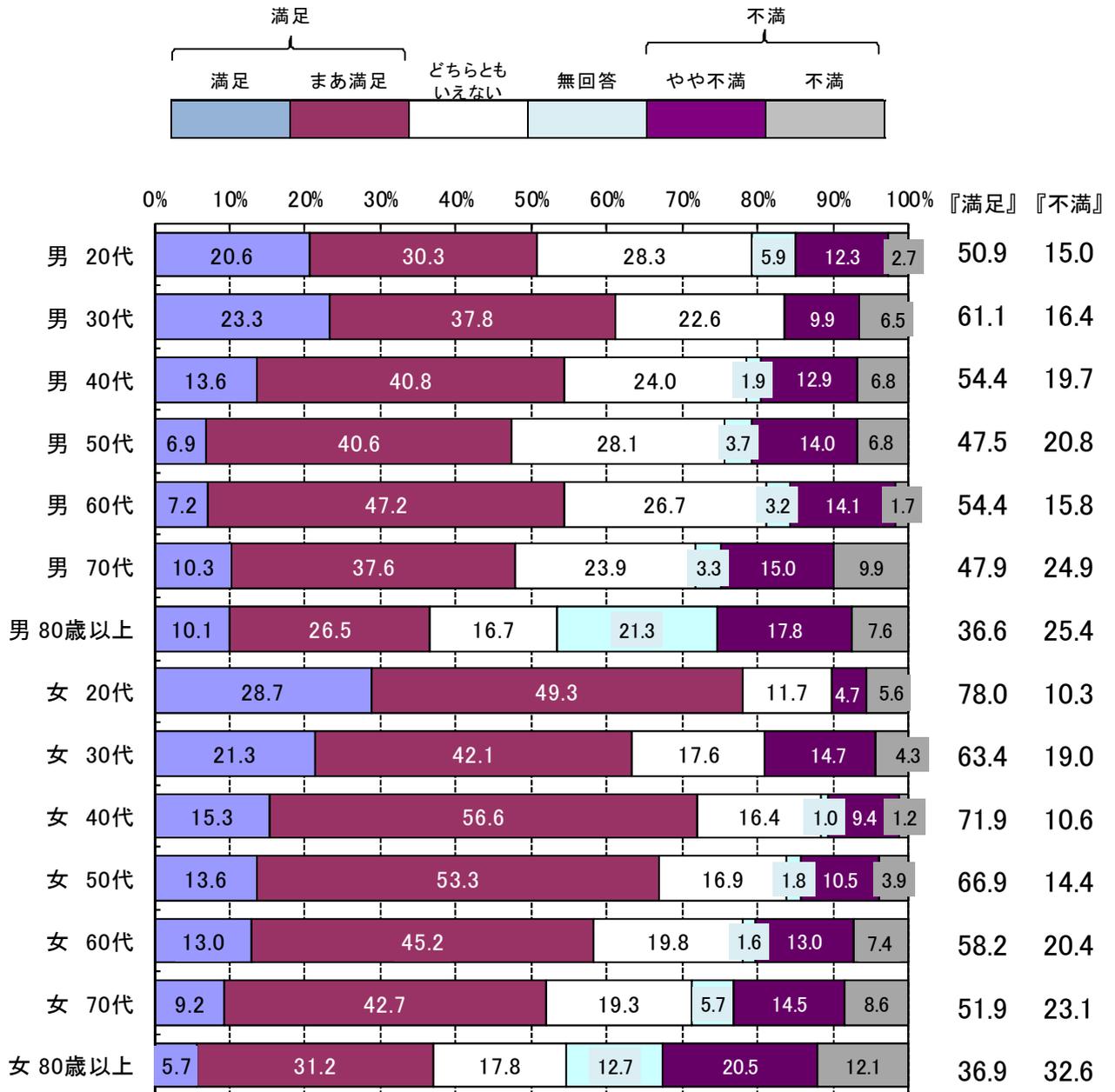
【性別】

『満足』は、女性が男性より8.8ポイント高い。



【性・年代別】

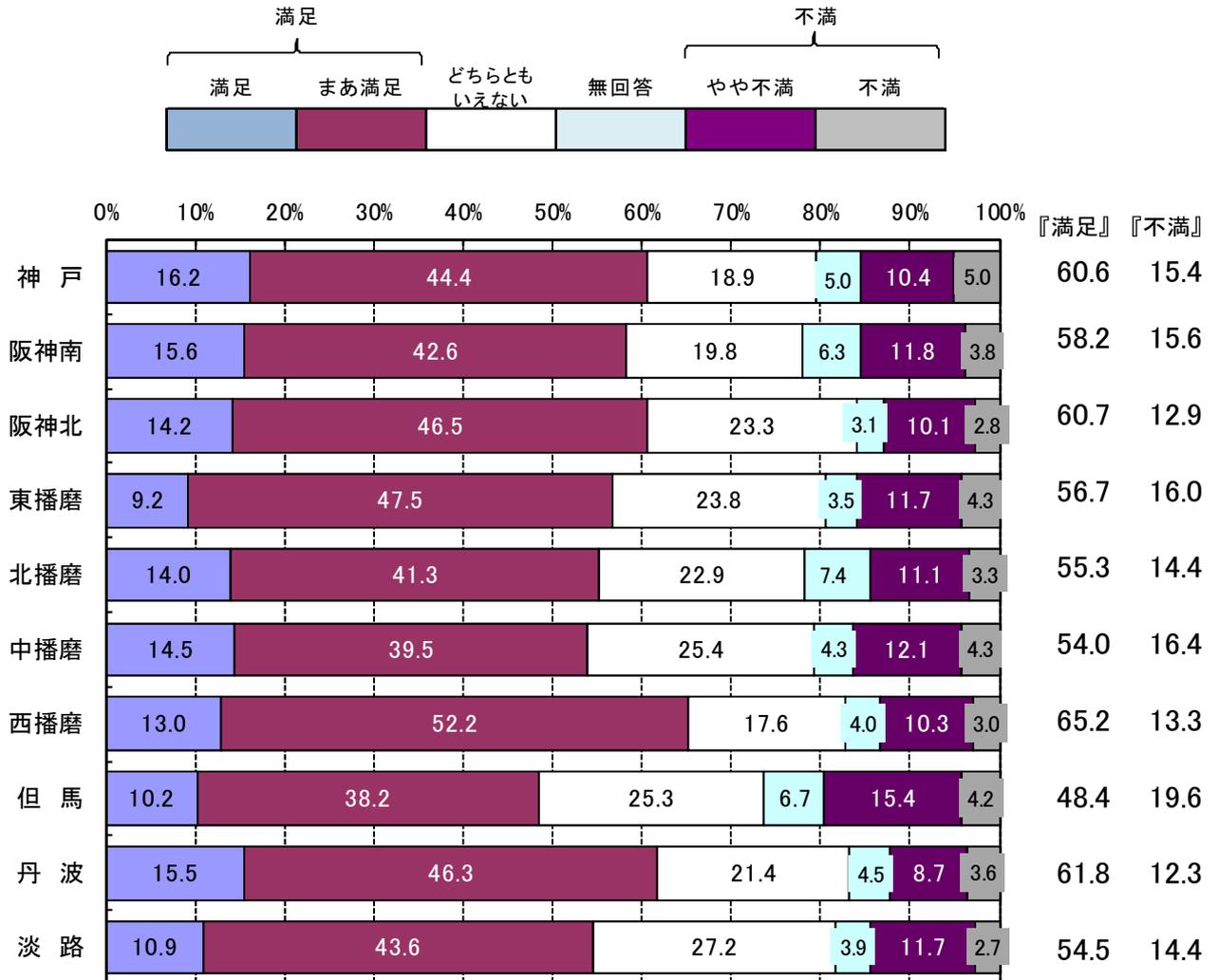
『満足』は、男性は30代、女性は20代が最も高い。



〔ス 家族の健康〕

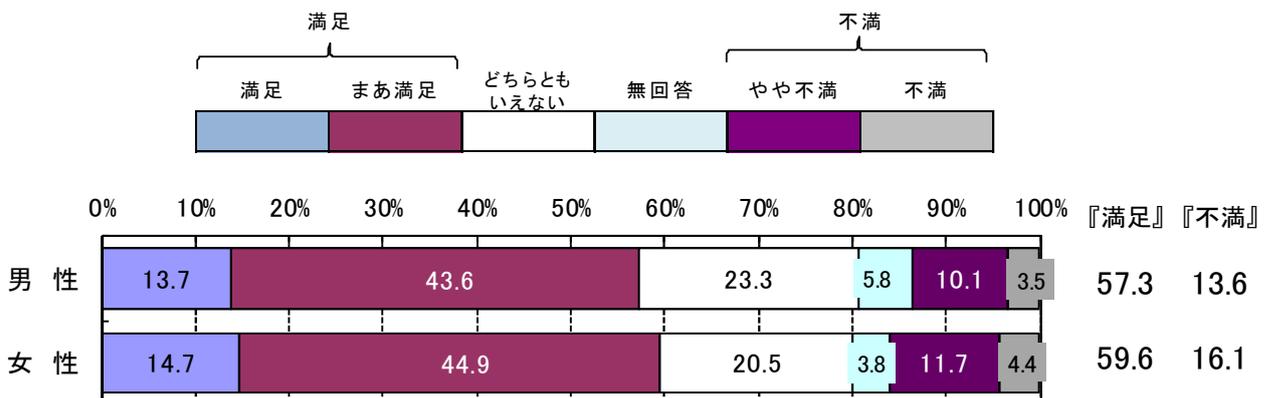
【地域別】

『満足』は、西播磨が最も高く、丹波、阪神北が続いている。



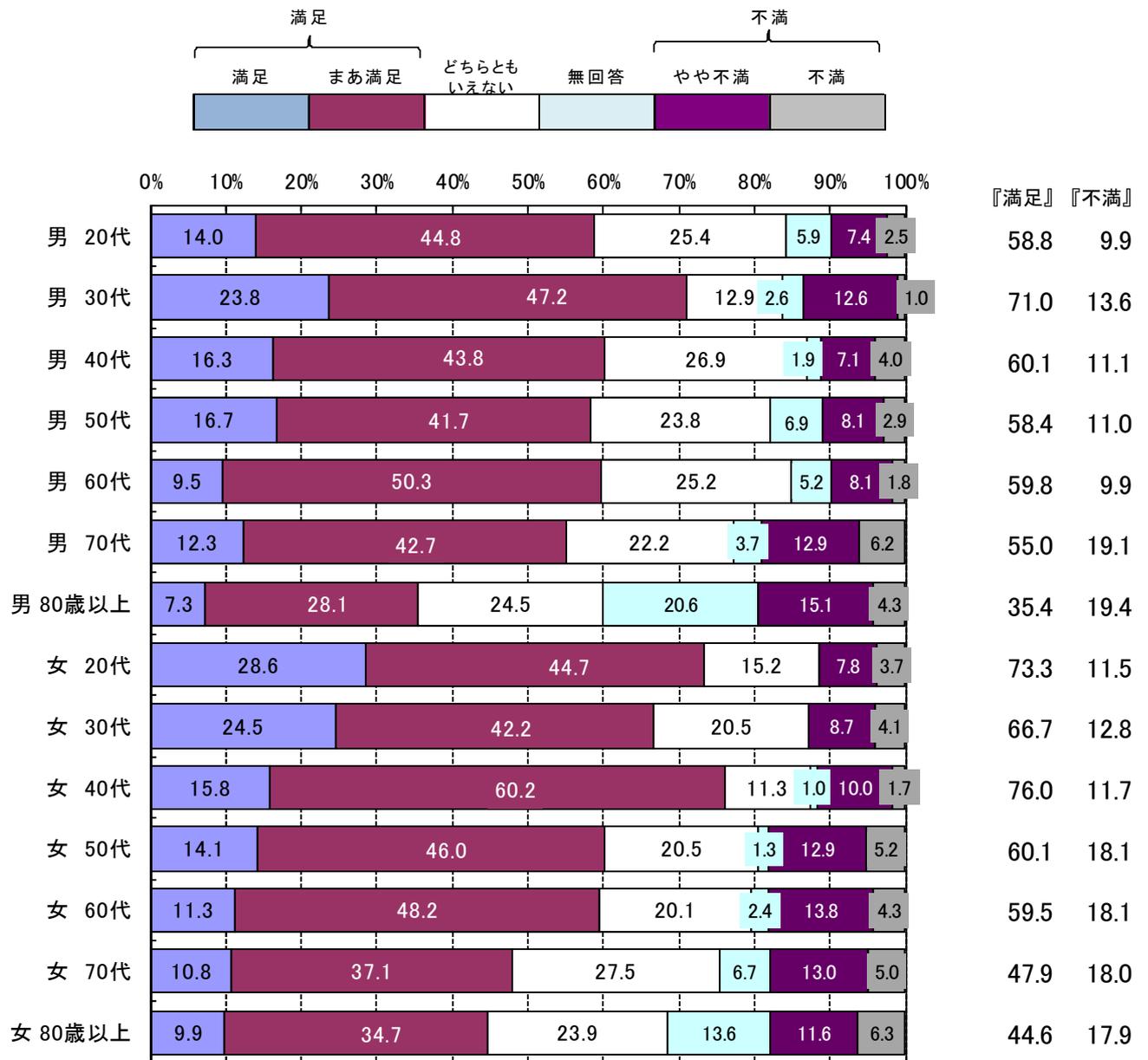
【性別】

『満足』は女性が男性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

『満足』は、男性は30代、女性は40代が最も高い。



問 16 去年と比べた生活の向上感

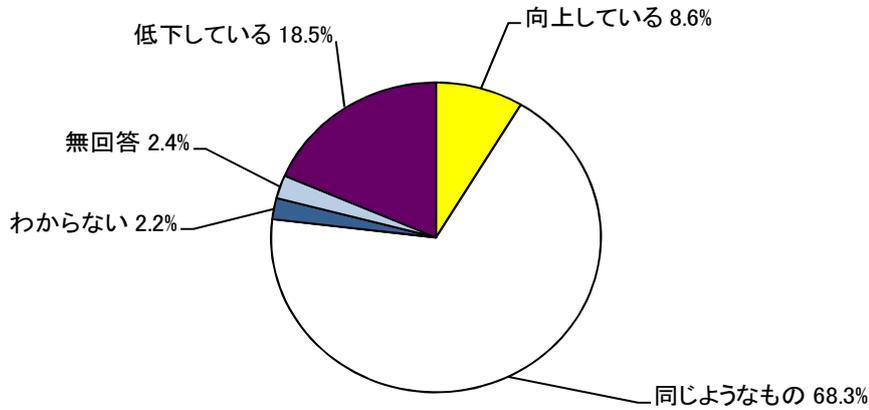
問 16

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

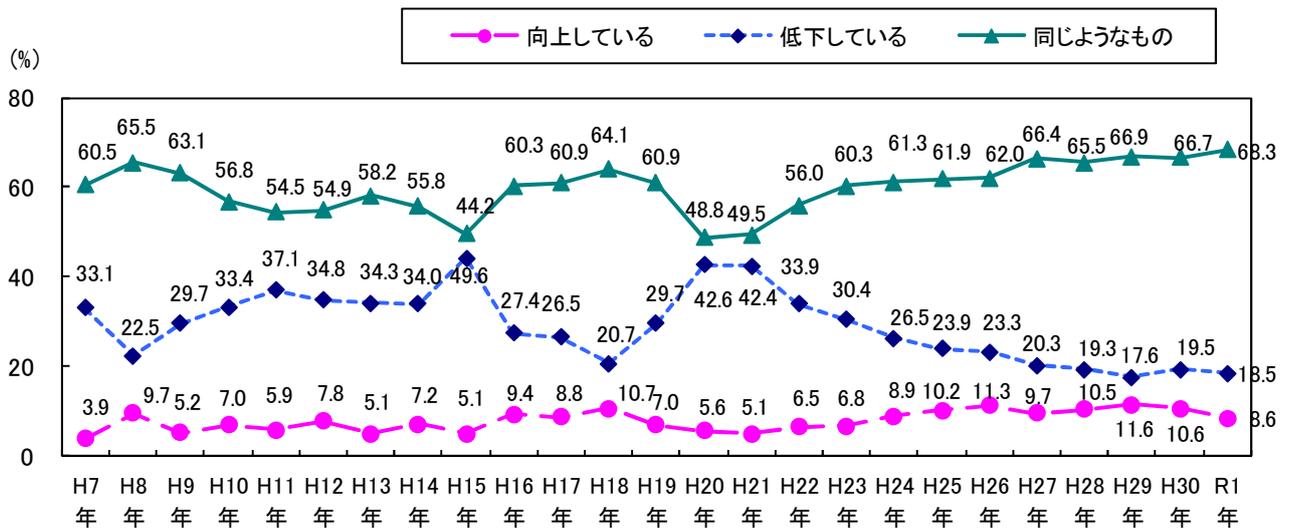
【全県】

「同じようなもの」が最も高く、次いで「低下している」、「向上している」の順となった。



【経年比較】

「向上している」は前年から2.0ポイント減少し、「低下している」も1.0ポイント減少した。



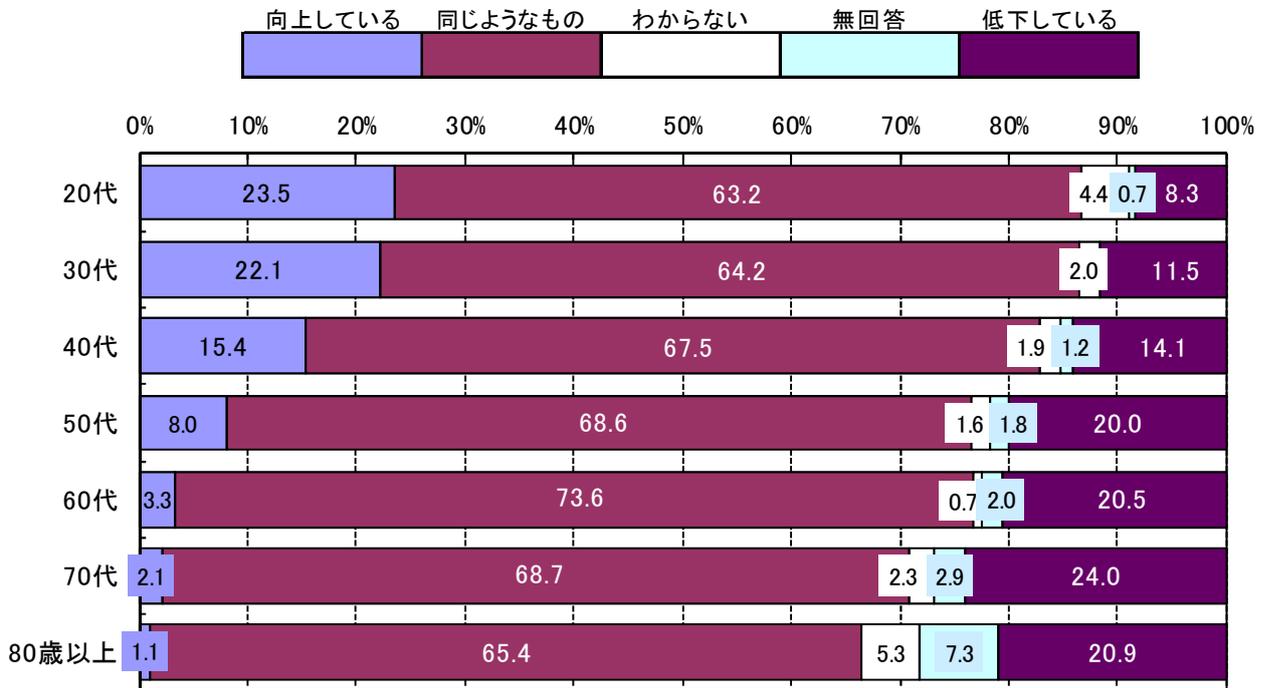
【地域別】

「向上している」は中播磨が最も高く、阪神北、東播磨、丹波、淡路が全県(8.6%)を超えている。



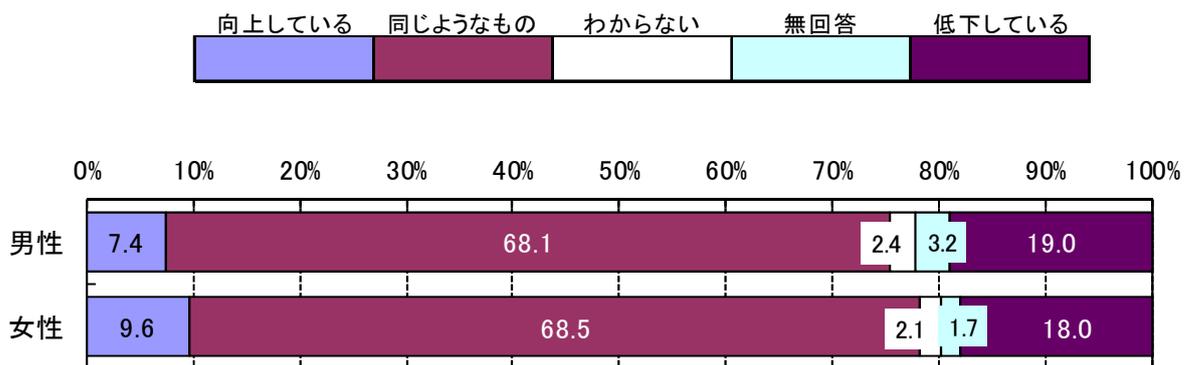
【年代別】

「向上している」は20代が最も高い。



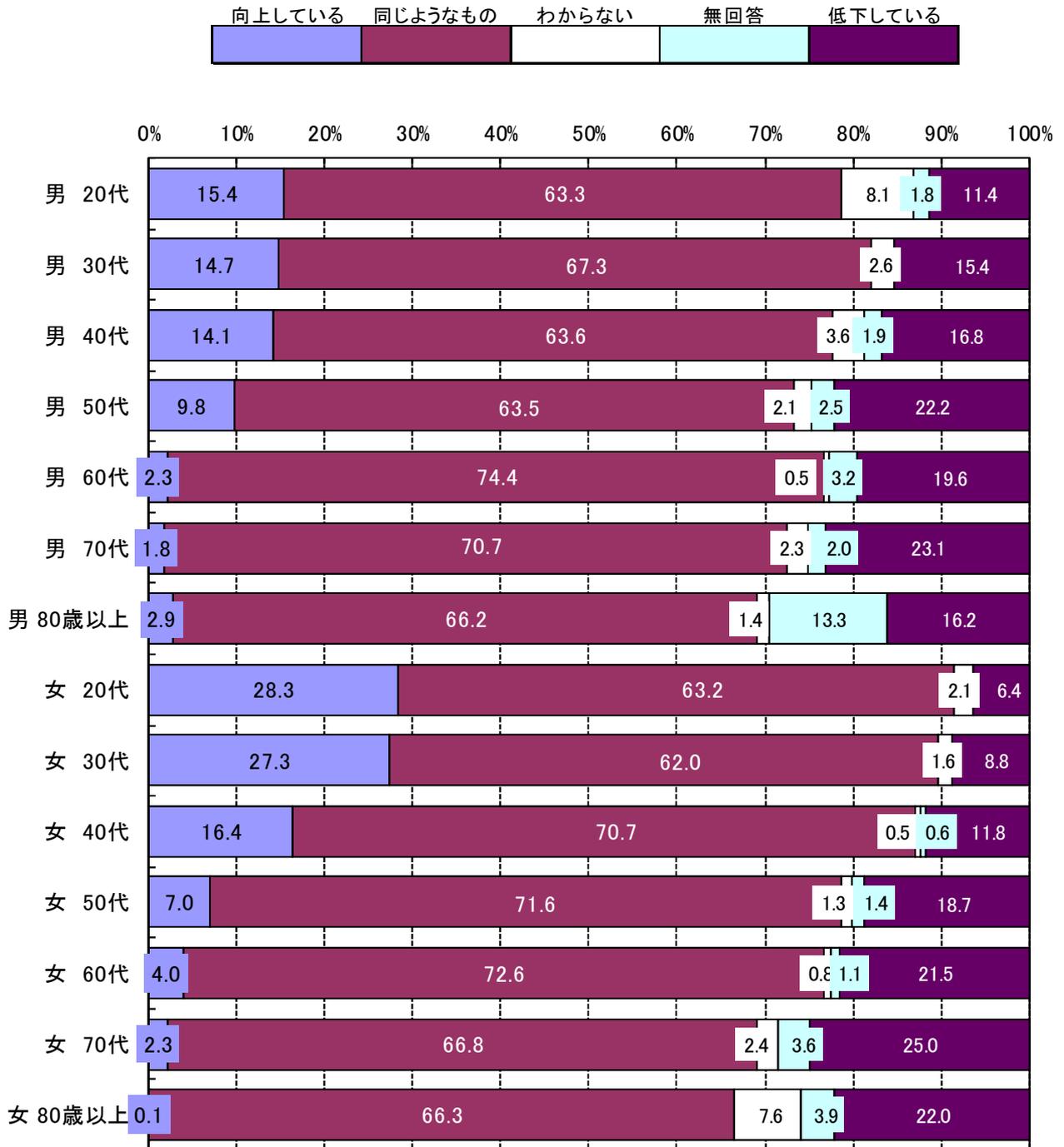
【性別】

「向上している」は、女性の方が男性より2.2ポイント高い。



【性・年代別】

「向上している」は、男女ともに20代が最も高い。



問 17 大地震発生の可能性

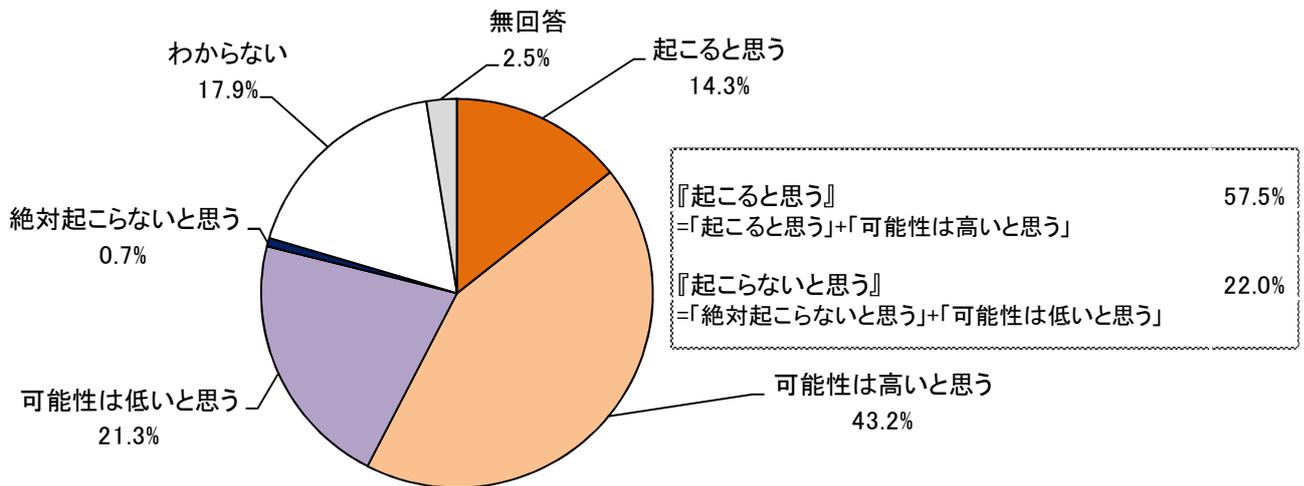
問 17

あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

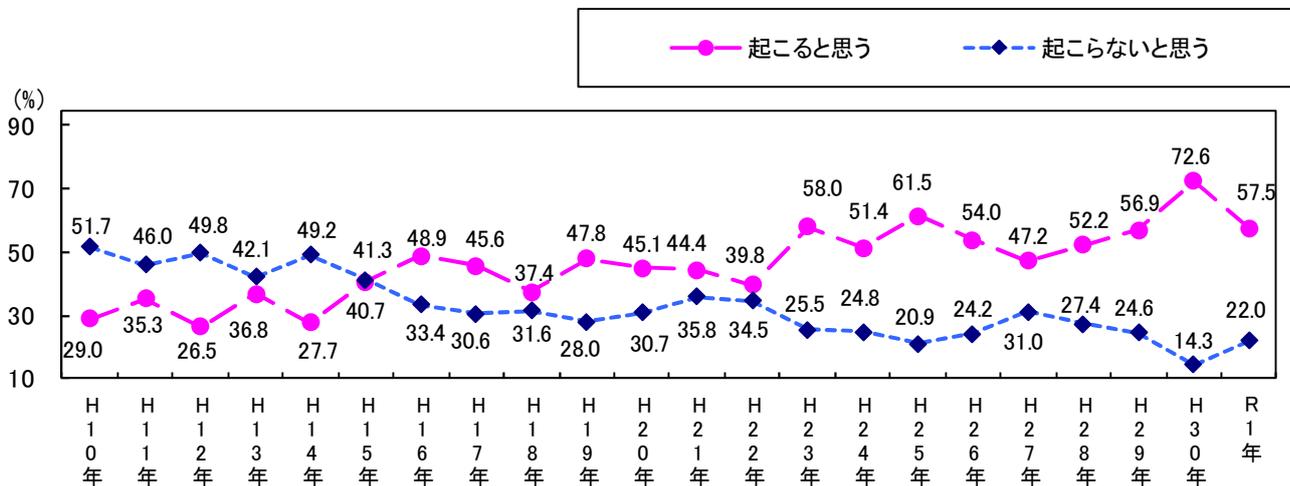
【全県】

「起こると思う」と「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は 57.5%で、「絶対起こらないと思う」と「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は 22.0%となった。



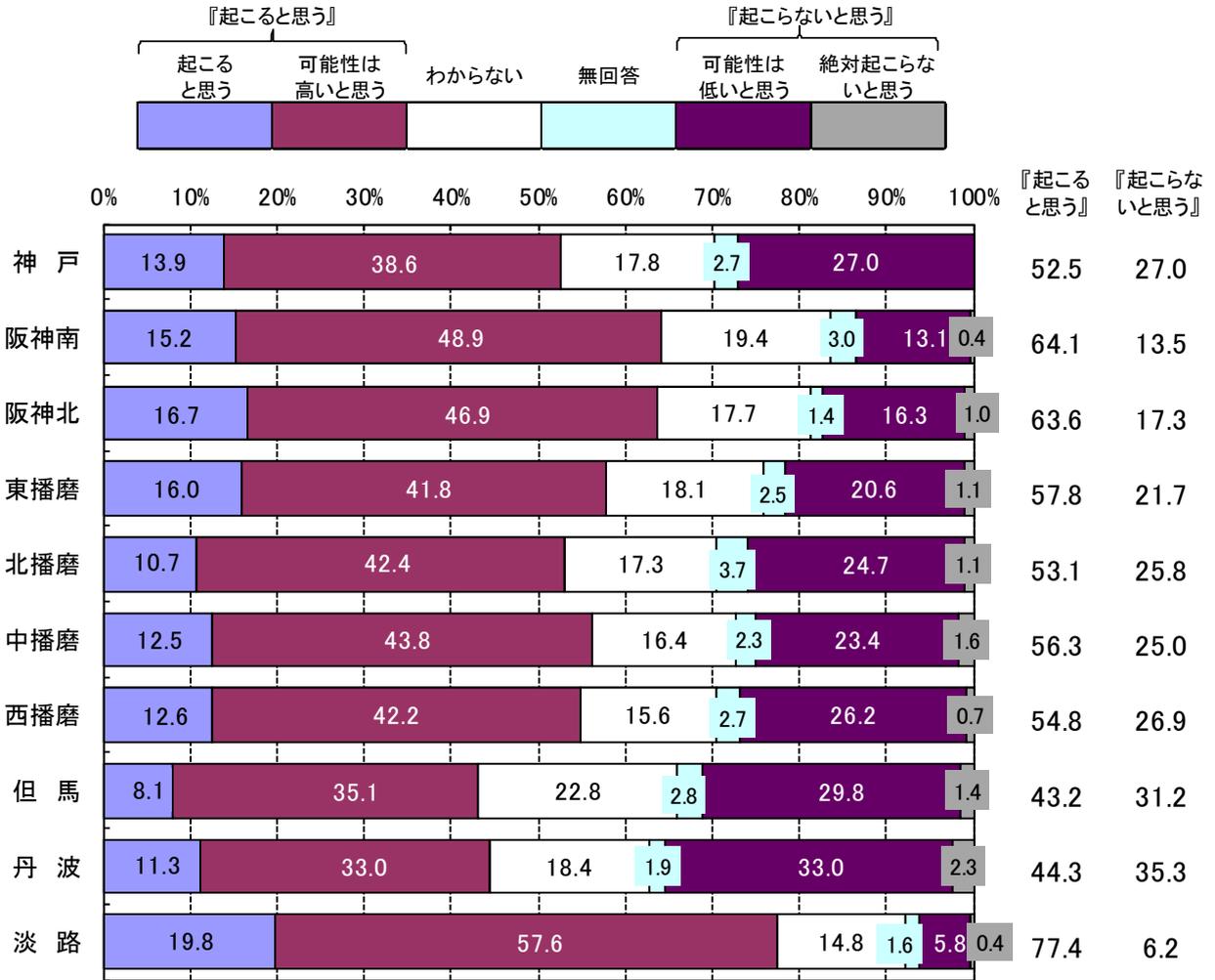
【経年比較】

『起こると思う』は、前年より 15.1ポイント減少している。



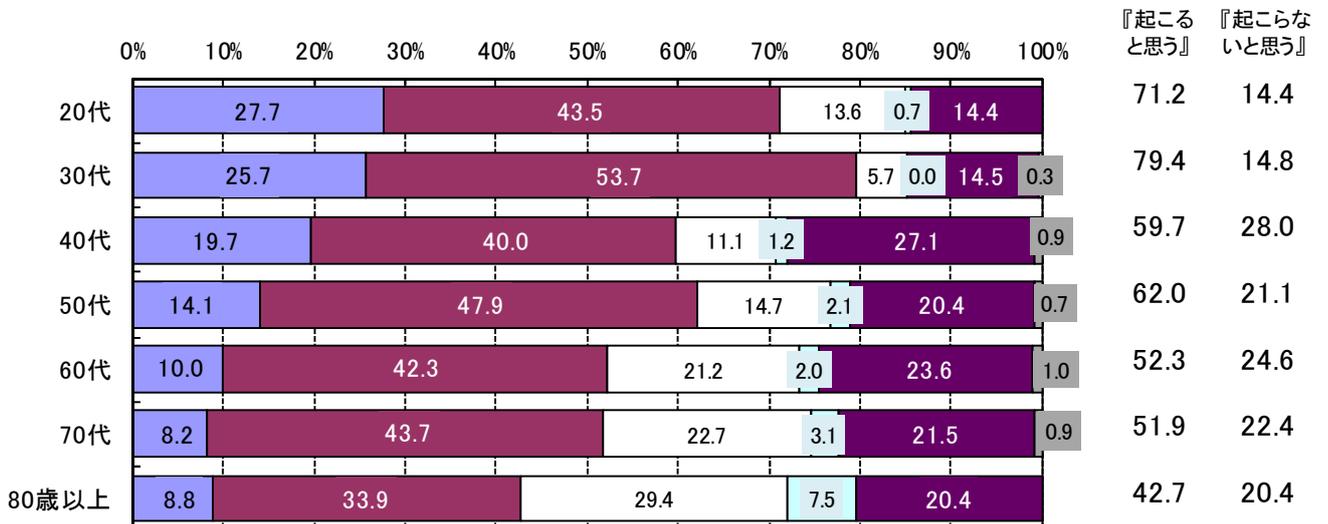
【地域別】

『起こると思う』は、淡路が最も高く、次いで阪神南、阪神北が続いている。



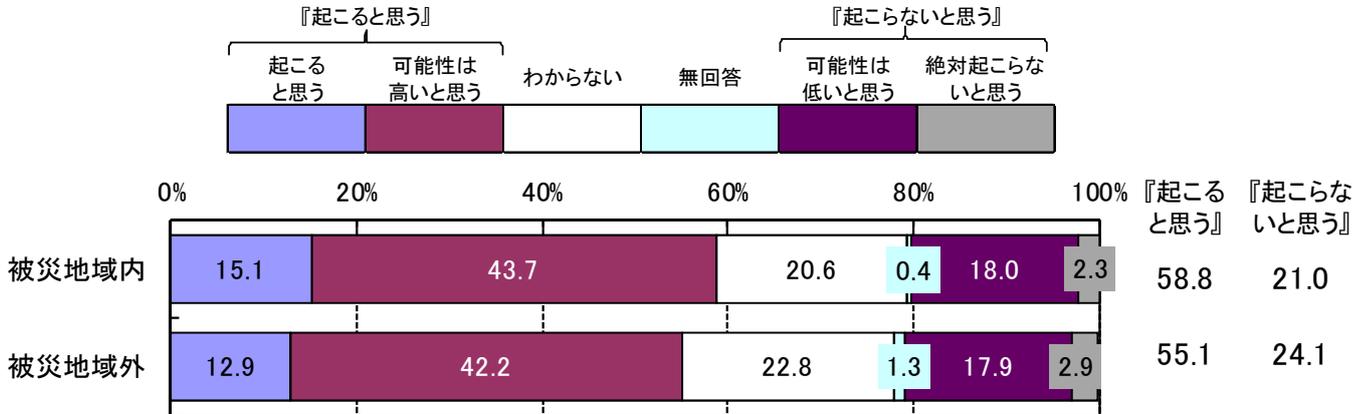
【年代別】

『起こると思う』は30代が最も高い。



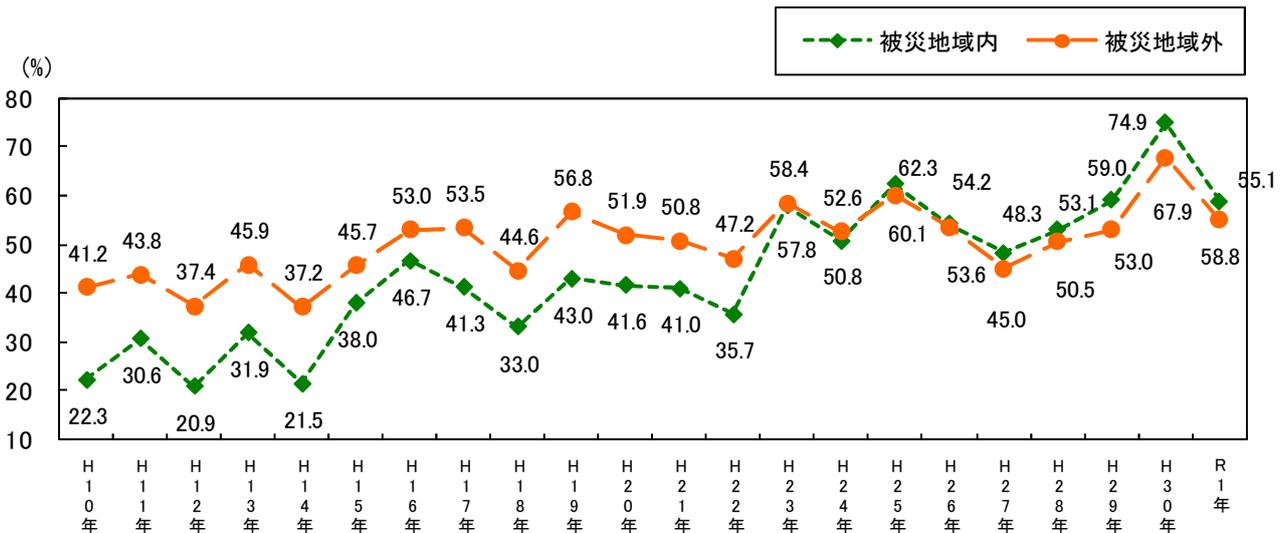
【阪神・淡路大震災 被災地域内外別(※)】

『起こると思う』は、被災地域外よりも被災地域内の方が3.7ポイント高くなっている。



【阪神・淡路大震災 被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

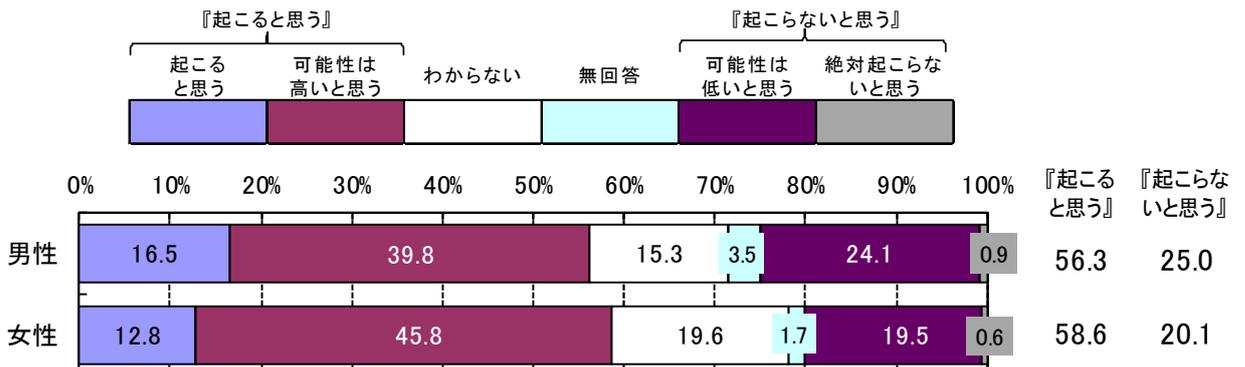
被災地域内は前年より19.8ポイント減少し、被災地域外も9.1ポイント減少している。



※被災地域…神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、川西市、淡路市、洲本市、南あわじ市

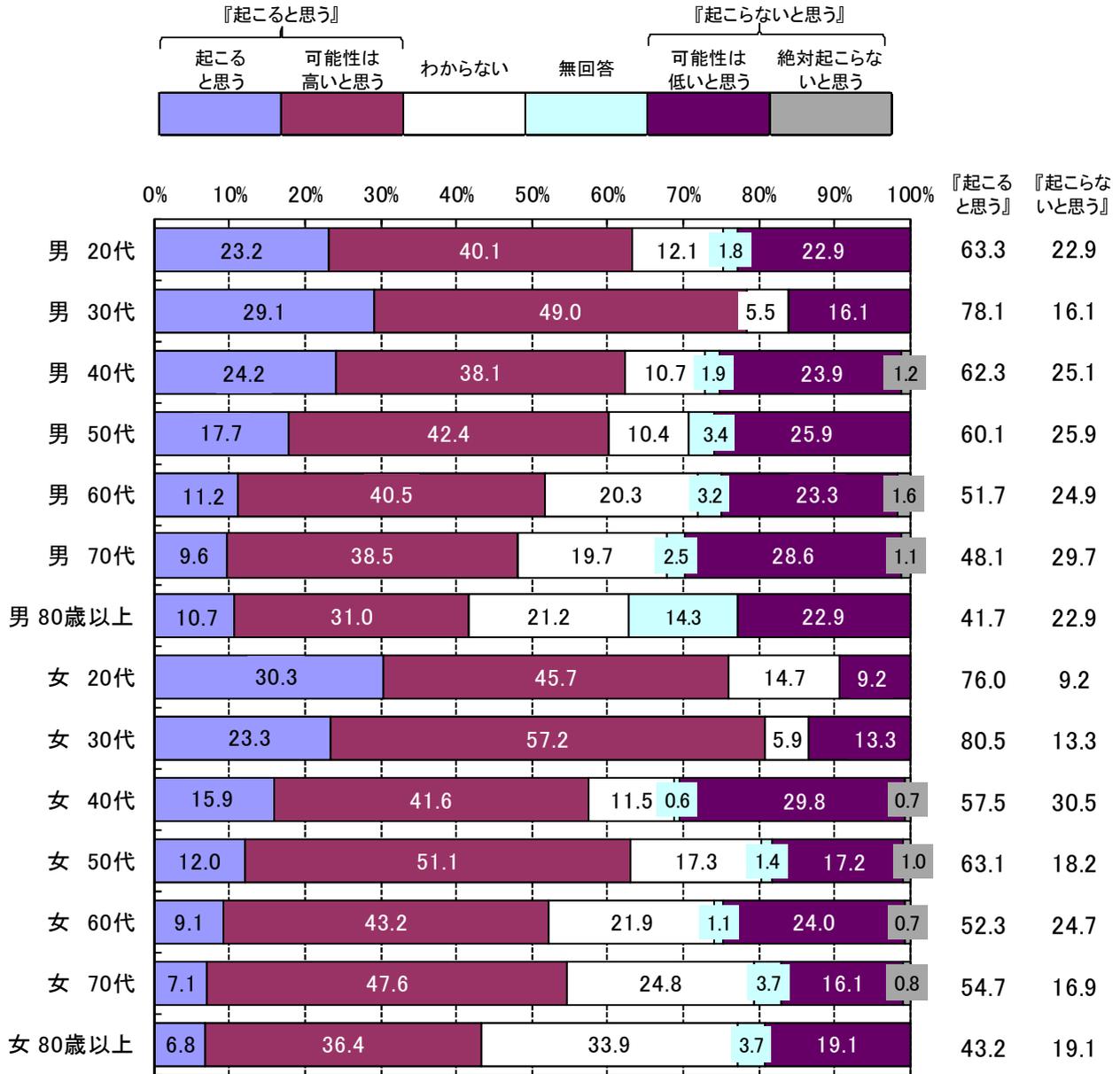
【性別】

『起こらないと思う』は、男性が女性より4.9ポイント高い。



【性・年代別】

『起こると思う』は、男女ともに30代が最も高い。



問 18 地域活動への参加

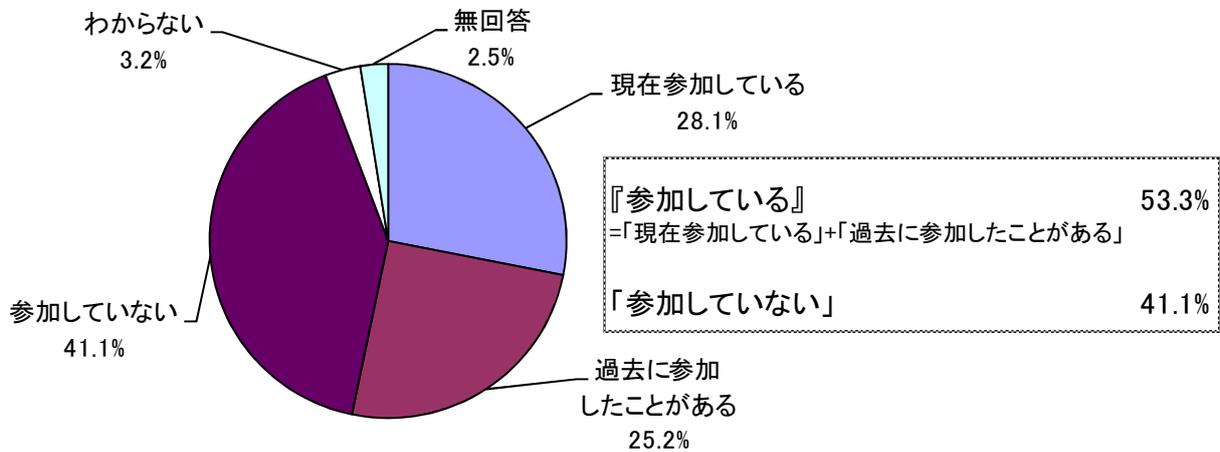
問 18

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

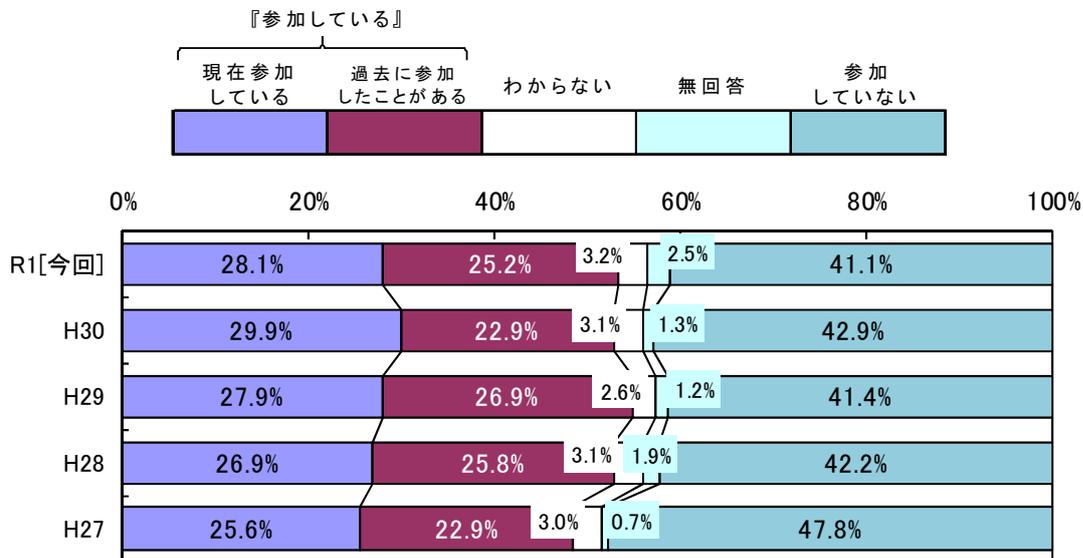
【全県】

「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加している』は53.3%となった。



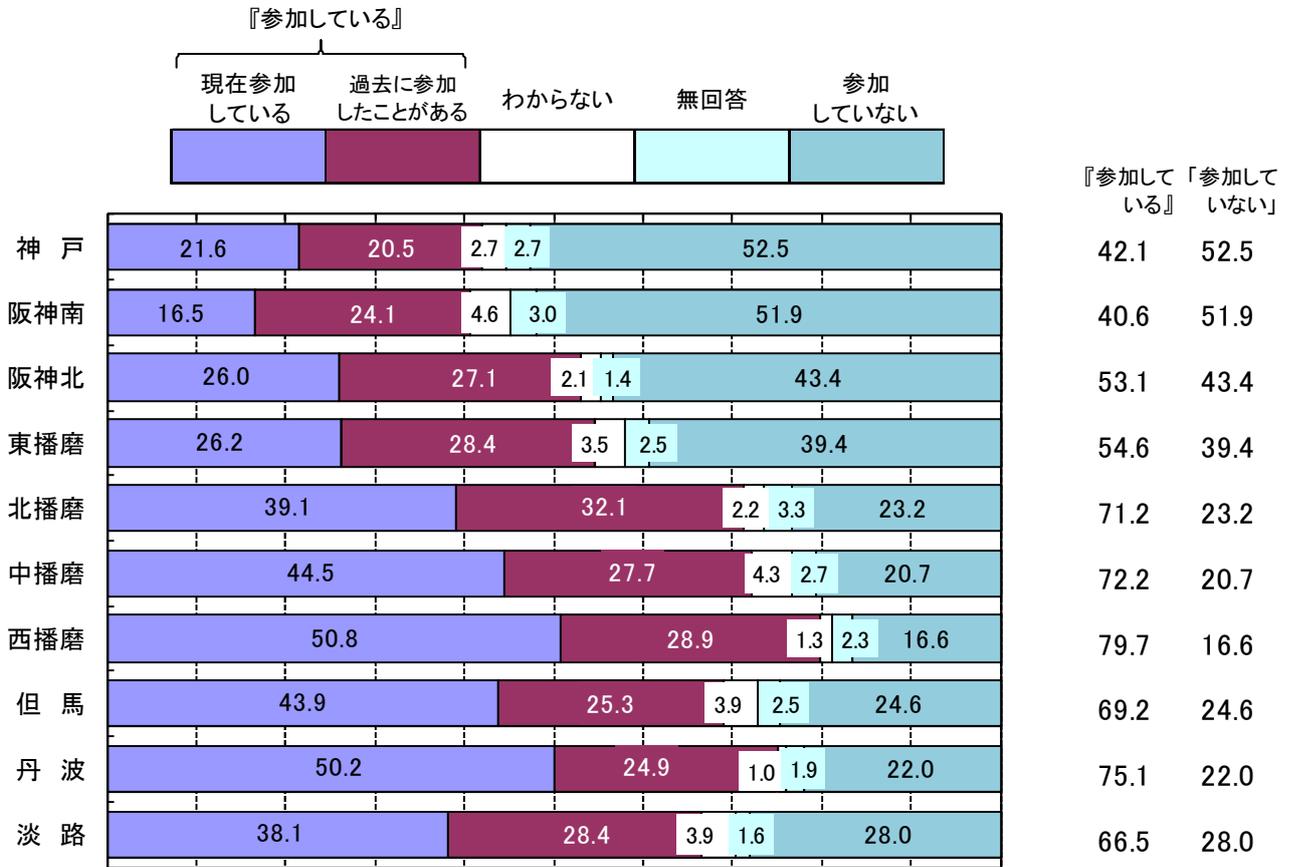
【経年比較】

『参加している』は、前年(52.8%)より0.5ポイント増加した。



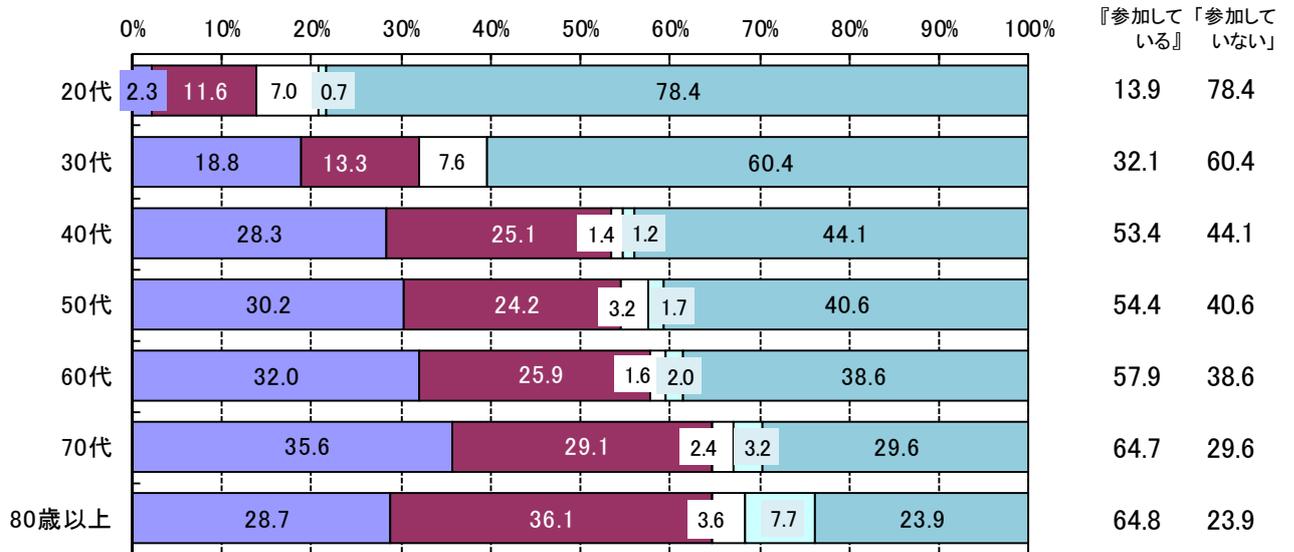
【地域別】

『参加している』は、西播磨が最も高く、丹波、中播磨、但馬が続いている。



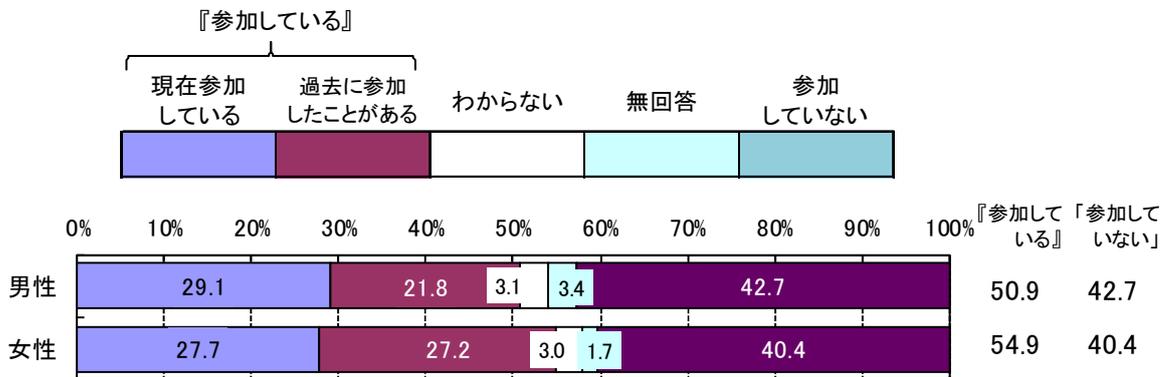
【年代別】

『参加している』は70代が最も高い。



【性別】

『参加している』は、女性の方が男性より4.0ポイント高い。



【性・年代別】

『参加している』は、男性は70代、女性は80歳以上が最も高い。



問 19 県政への関心

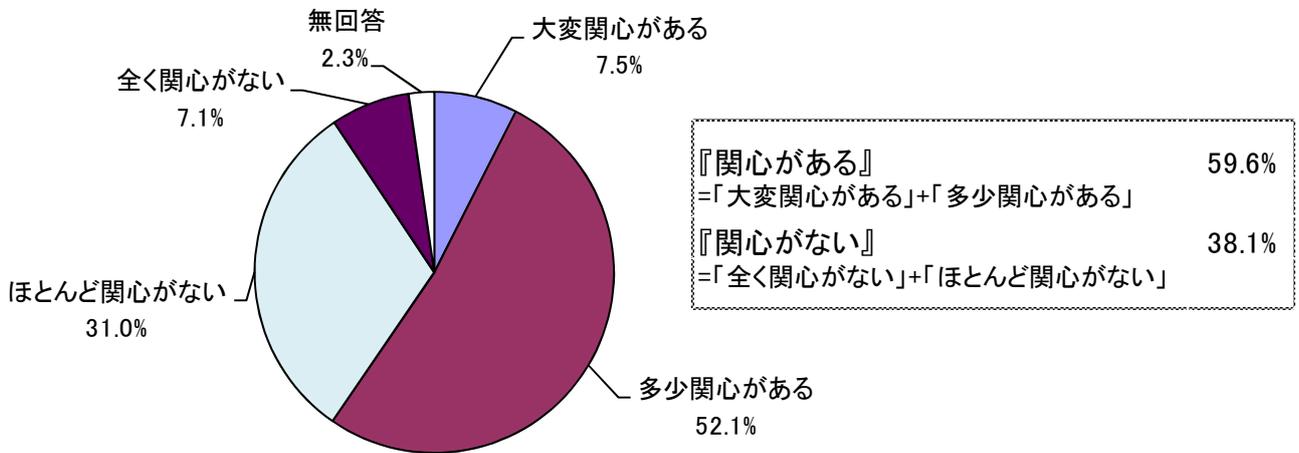
問 19

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

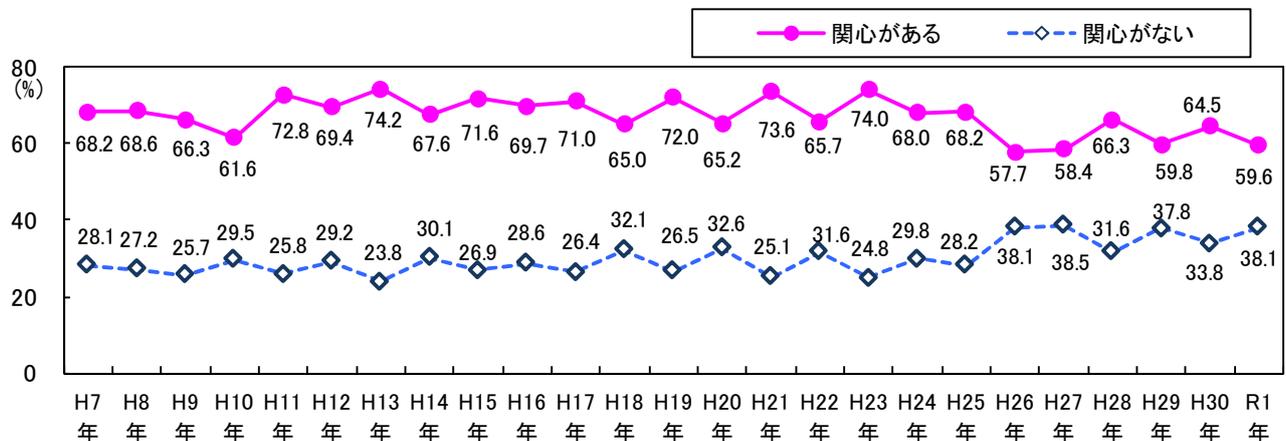
【全県】

「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が59.6%で、「全く関心がない」と「ほとんど関心がない」を合わせた『関心がない』は38.1%となった。



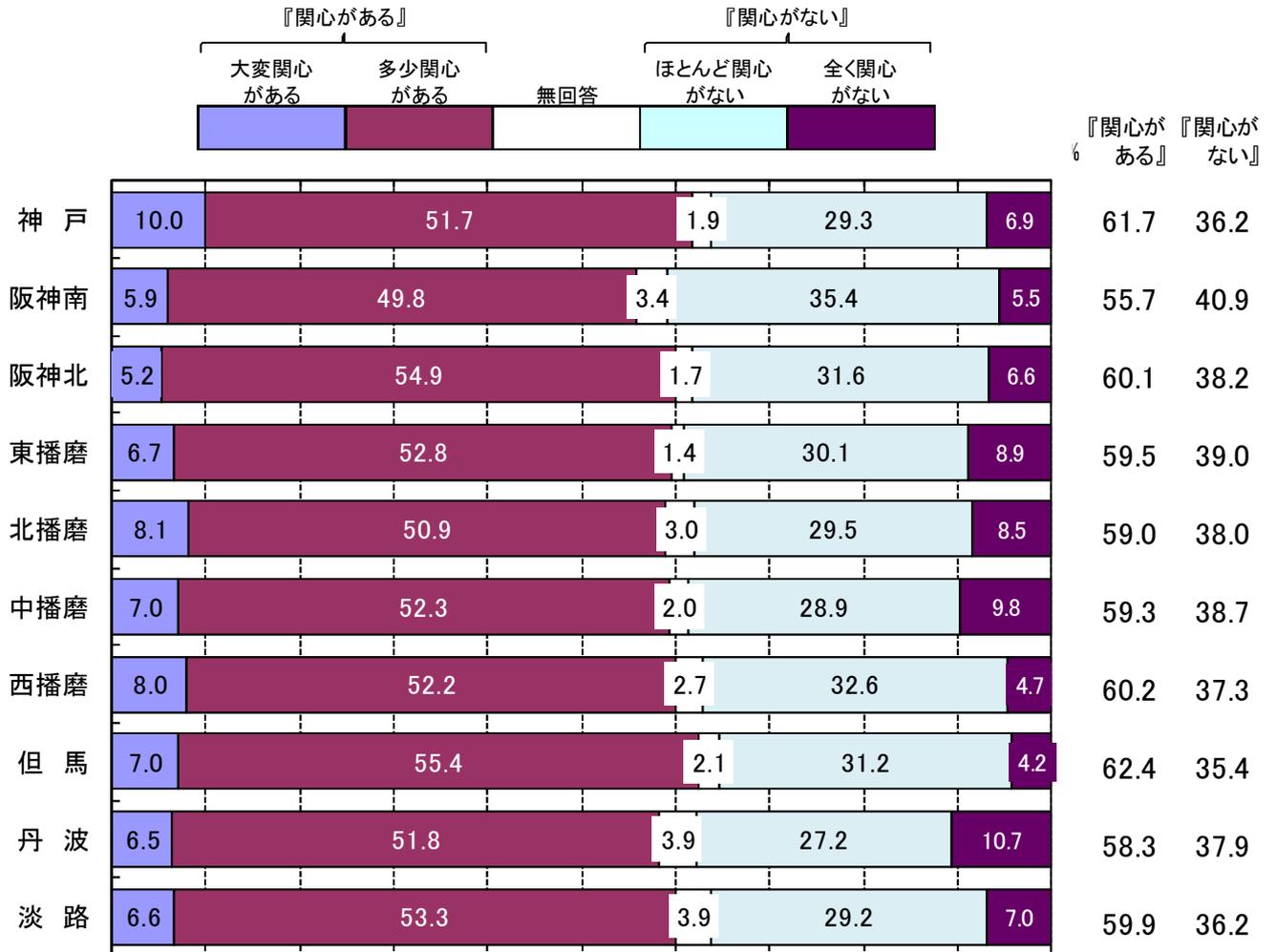
【経年比較】

『関心がある』は前年より4.9ポイント減少し、『関心がない』は前年より4.3ポイント増加している。



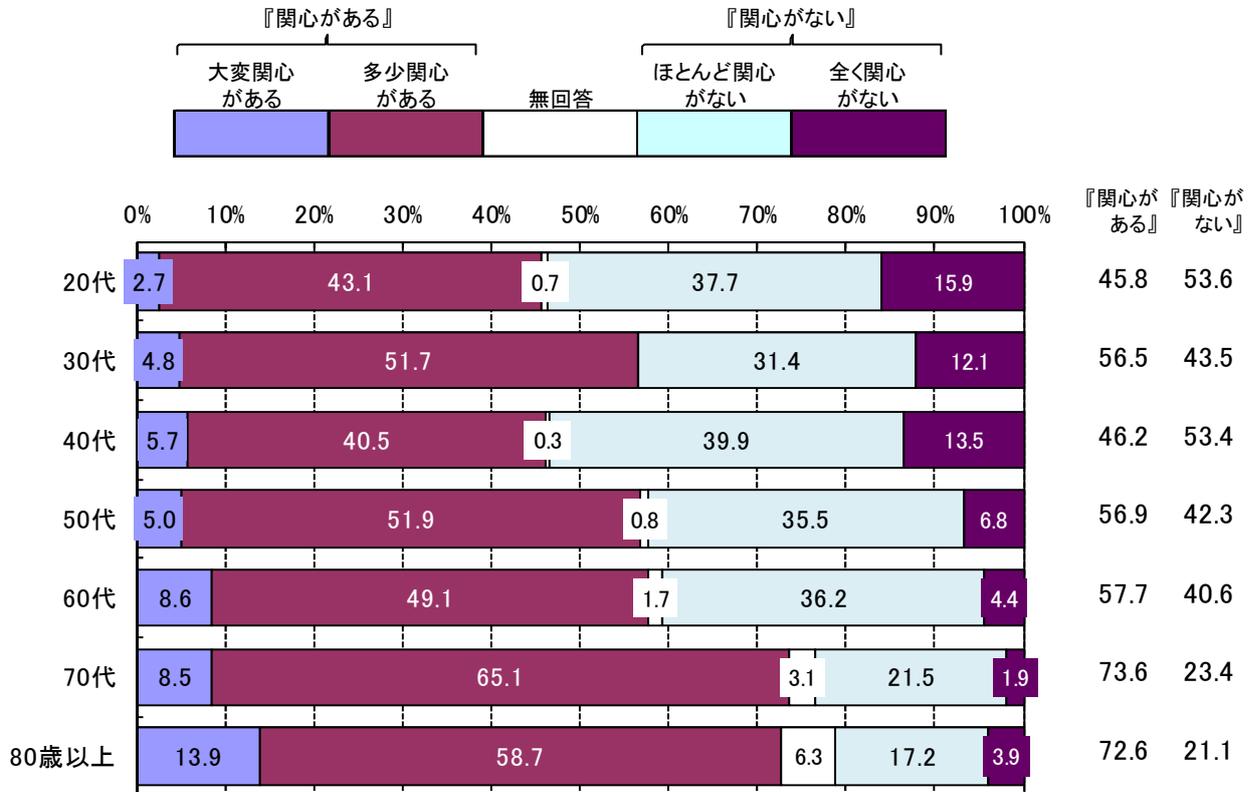
【地域別】

『関心がある』は但馬が最も高く、神戸、西播磨、阪神北が続いている。



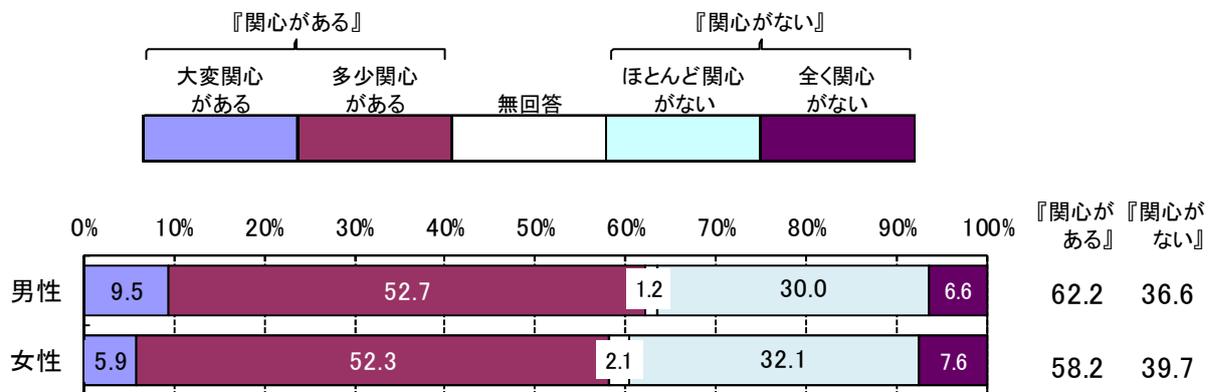
【年代別】

『関心がある』は70代が最も高い。



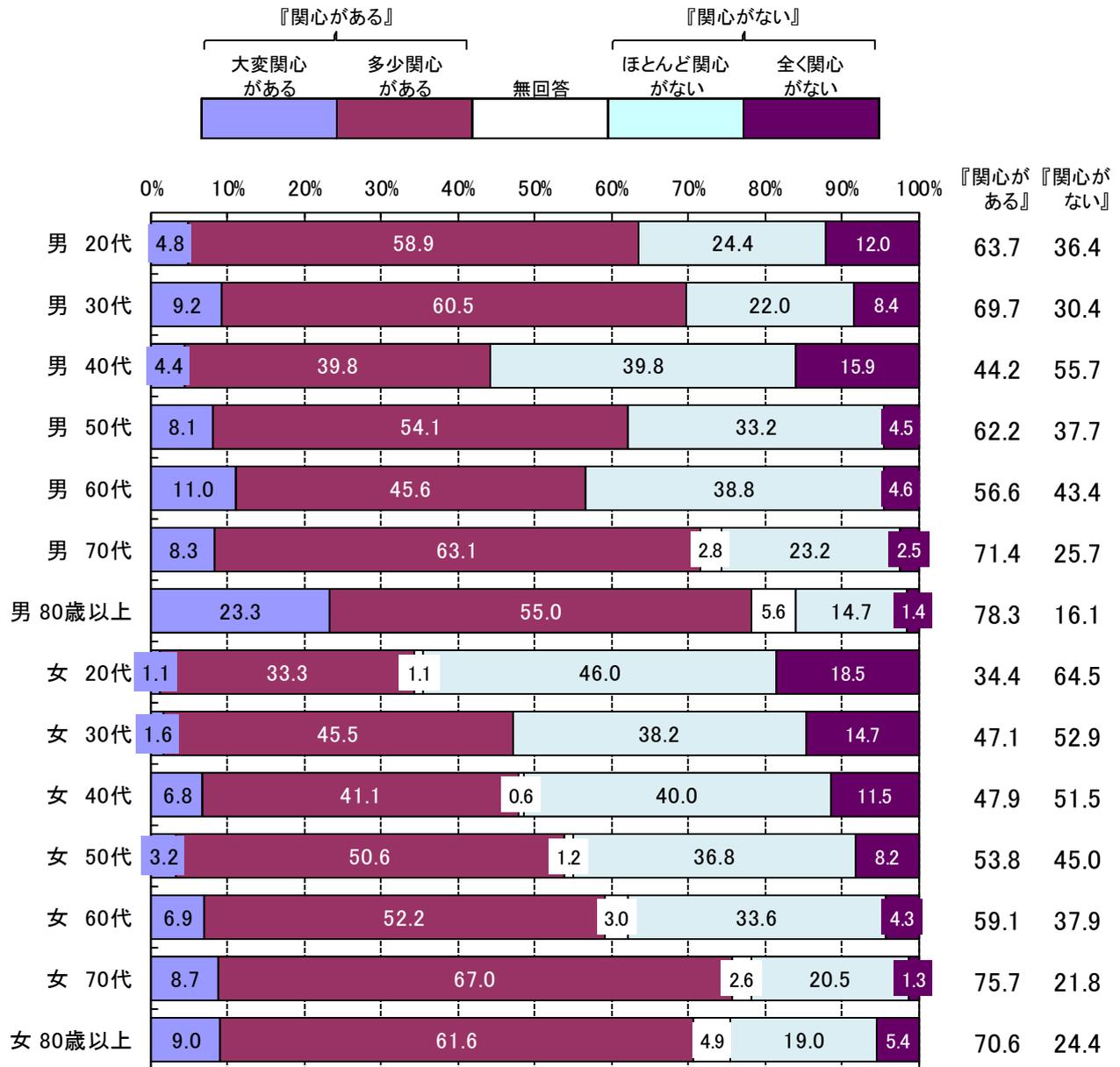
【性別】

『関心がある』は、男性の方が女性より4.0ポイント高い。



【性・年代別】

『関心がある』は、男性は80歳以上、女性は70代が最も高い。



問 20 県政への評価

問 20

県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

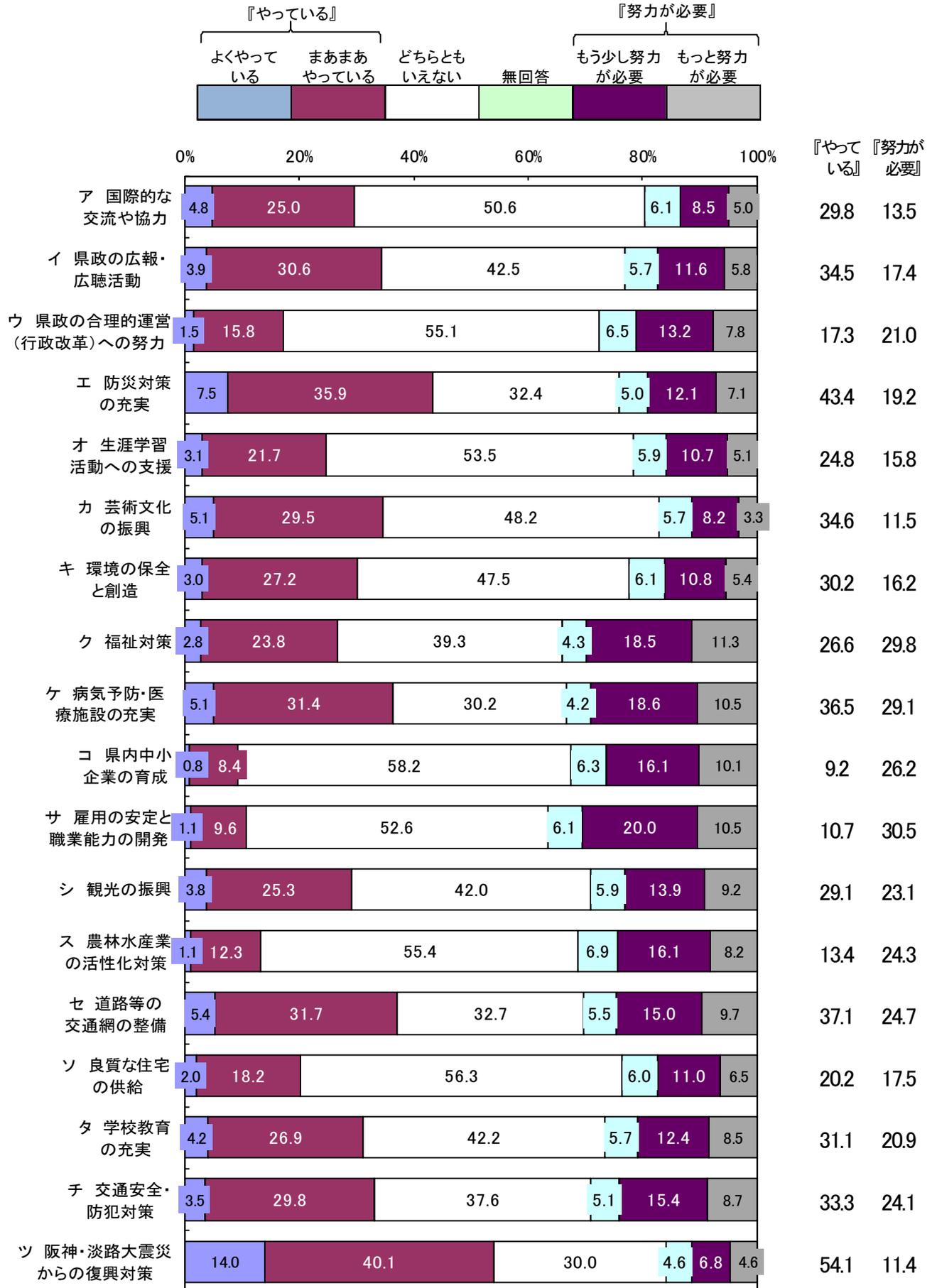
- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は「ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策(54.1%)」が最も高く、「エ 防災対策の充実(43.4%)」、「セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備(37.1%)」と続いている。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、「サ 雇用の安定と職業能力の開発(30.5%)」が最も高く、「ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策(29.8%)」、「ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実(29.1%)」と続いている。

18項目中、13項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。



【前年度比較】

『やっている』は、〔エ 防災対策の充実 (8.9 ポイント増)〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備 (6.9 ポイント増)〕、〔チ 交通安全・防犯対策 (6.5 ポイント増)〕など、10項目で増加した。

一方、『努力が必要』は〔イ 県政の広報・広聴活動 (3.3 ポイント増)〕、〔ス 農林水産業の活性化対策 (2.8 ポイント増)〕、〔ア 国際的な交流や協力 (3.3 ポイント増)〕など、6項目で増加した。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	8.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.9
チ 交通安全・防犯対策	6.5
タ 学校教育の充実	4.5
キ 環境の保全と創造	4.2
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	2.6
ケ 病気予防や医療施設の充実	2.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.4
ソ 良質な住宅の供給	2.2
オ 生涯学習活動への支援	0.2
カ 芸術文化の振興	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-1.5
シ 観光の振興	-2.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.2

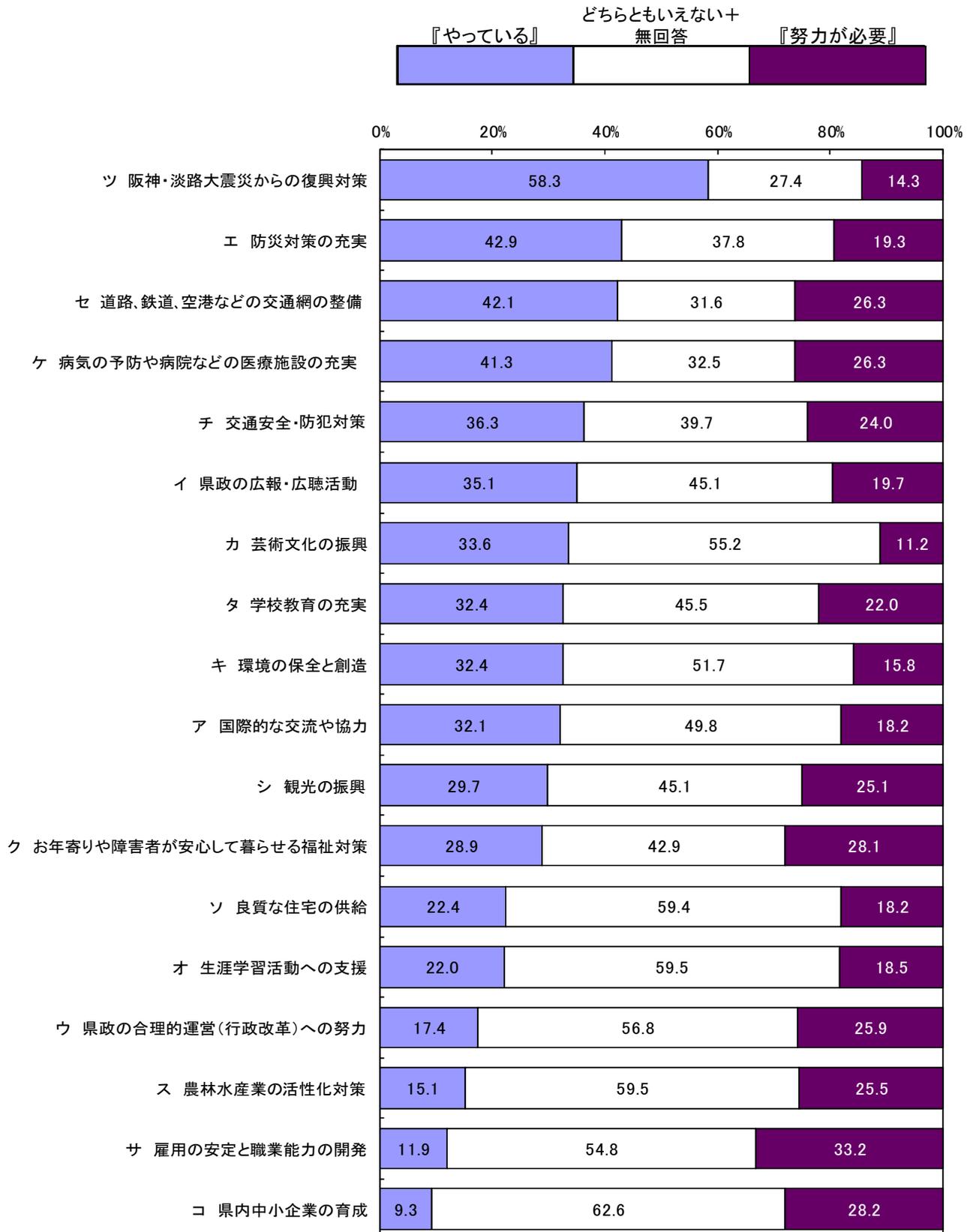
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

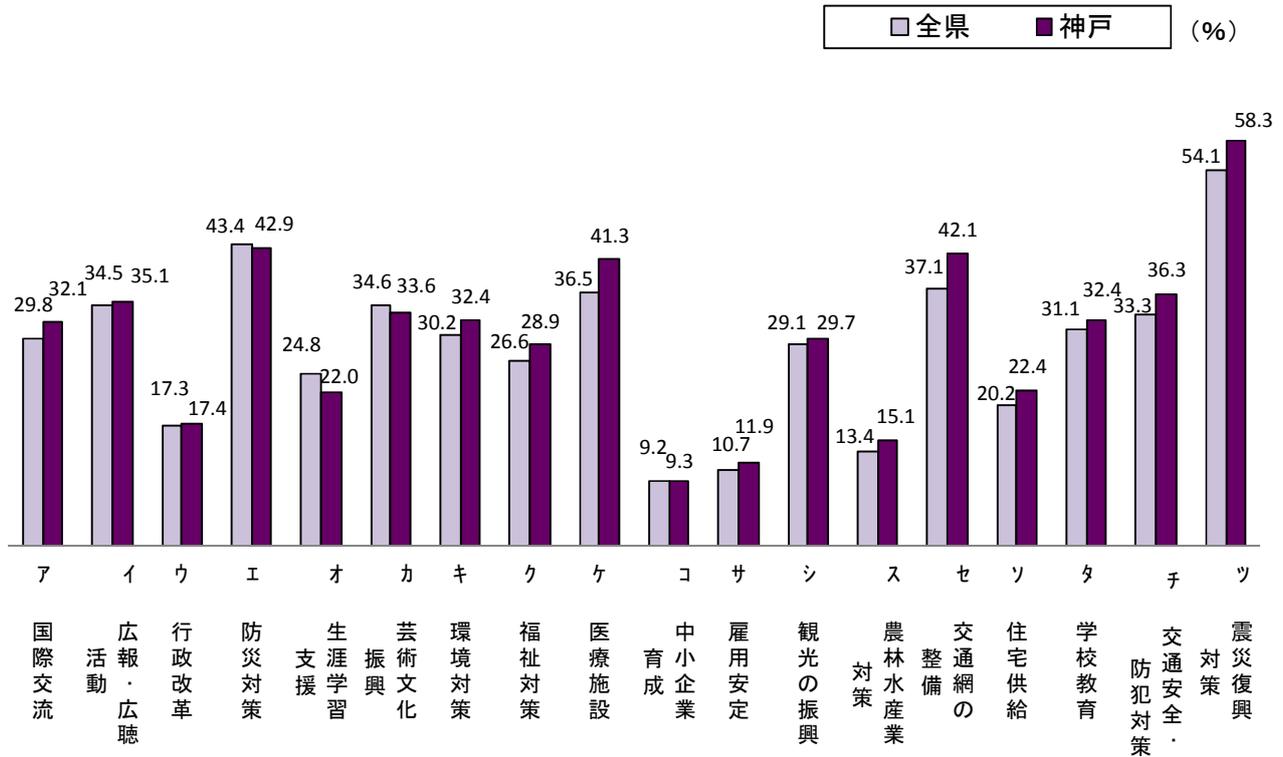
『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	3.3
ス 農林水産業の活性化対策	2.8
ア 国際的な交流や協力	2.7
カ 芸術文化の振興	1.4
オ 生涯学習活動への支援	0.9
チ 交通安全・防犯対策	0.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.4
シ 観光の振興	-0.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.9
ケ 病気予防や医療施設の充実	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
キ 環境の保全と創造	-1.3
コ 県内中小企業の育成	-1.7
エ 防災対策の充実	-2.4
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-3.5

《神戸地域》

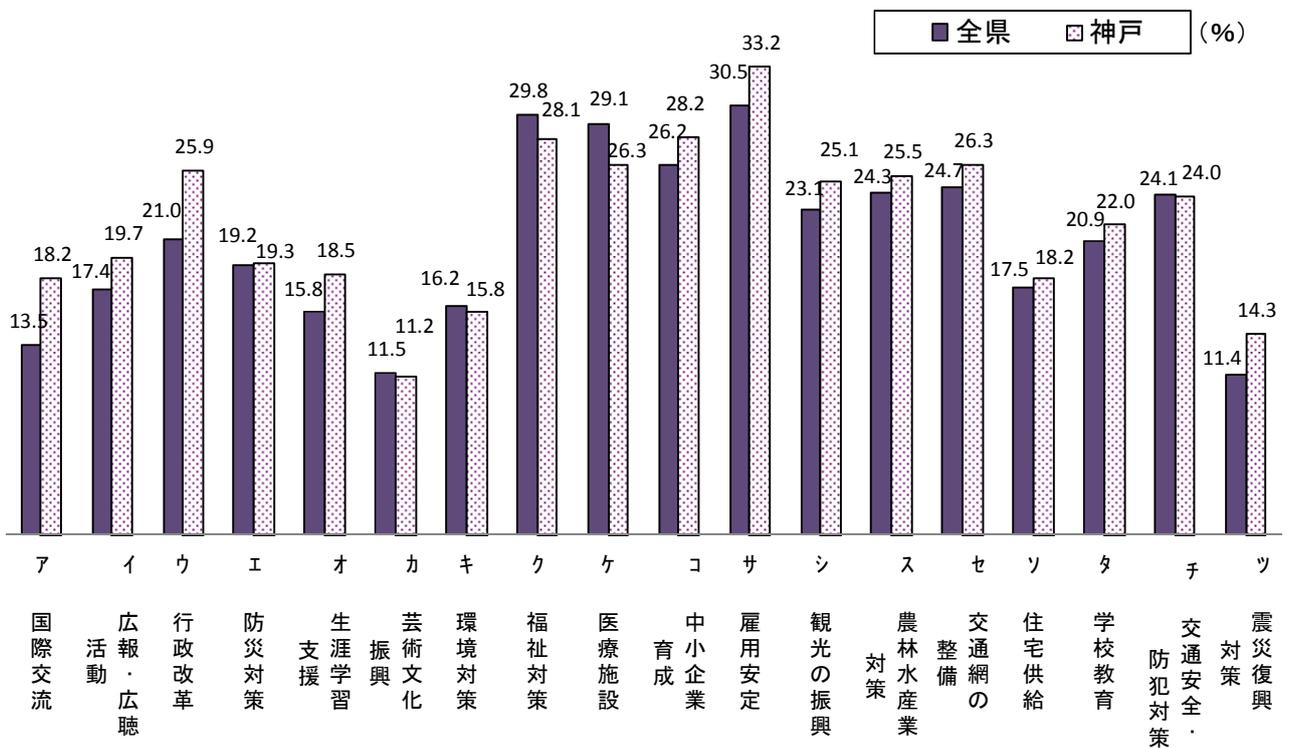
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と神戸】



『努力が必要』【全県と神戸】



全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕党で努力が求められている。

前年との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔ア 国際的な交流や協力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.2
チ 交通安全・防犯対策	3.0
ア 国際的な交流や協力	2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.3
キ 環境の保全と創造	2.2
ソ 良質な住宅の供給	2.2
ス 農林水産業の活性化対策	1.7
タ 学校教育の充実	1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.2
シ 観光の振興	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	0.1
コ 県内中小企業の育成	0.1
エ 防災対策の充実	-0.5
カ 芸術文化の振興	-1.0
オ 生涯学習活動への支援	-2.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	4.9
ア 国際的な交流や協力	4.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
オ 生涯学習活動への支援	2.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.3
シ 観光の振興	2.0
コ 県内中小企業の育成	2.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.6
ス 農林水産業の活性化対策	1.2
タ 学校教育の充実	1.1
ソ 良質な住宅の供給	0.7
エ 防災対策の充実	0.1
チ 交通安全・防犯対策	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.3
キ 環境の保全と創造	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.8

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

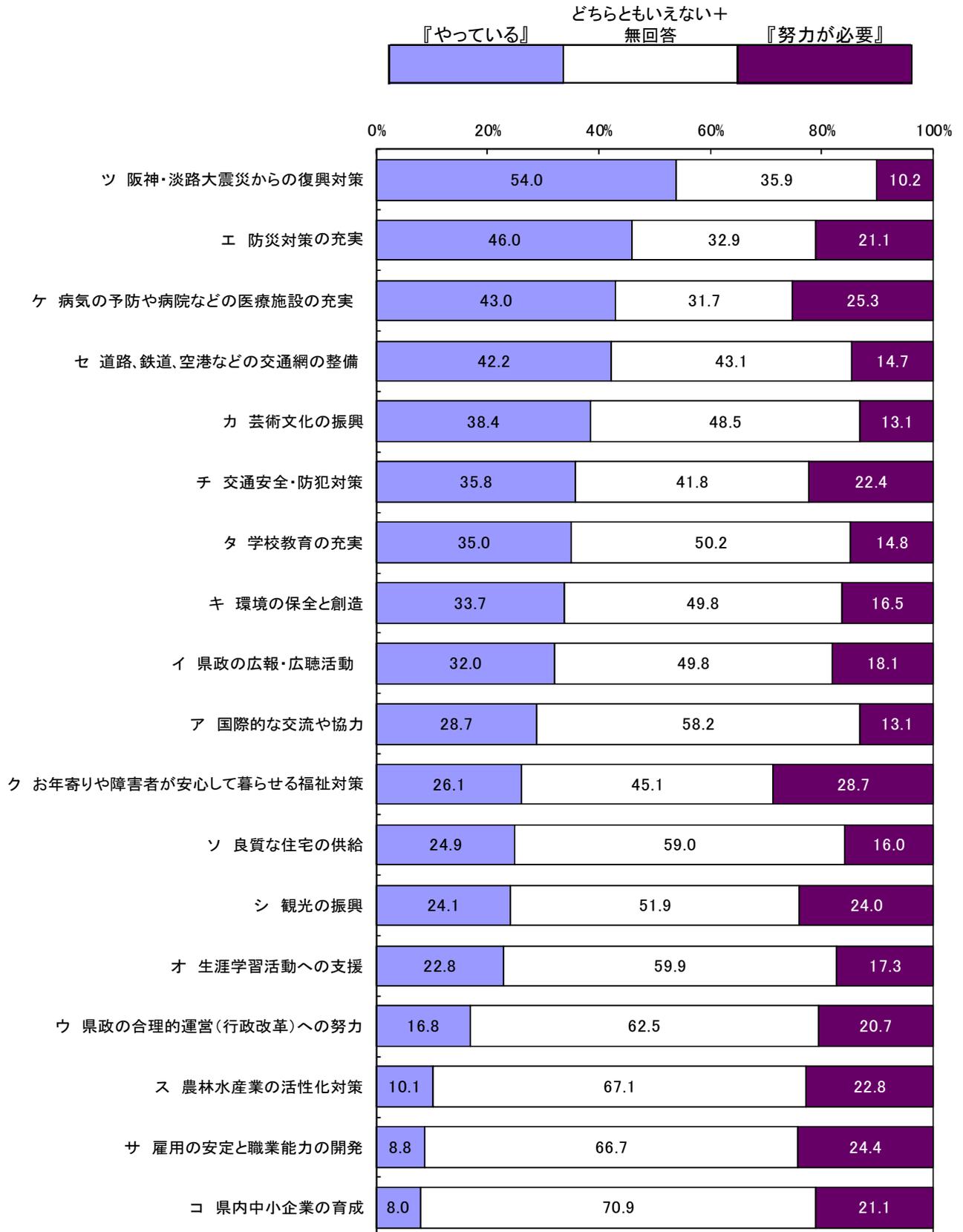
『やっている』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	9.1
エ 防災対策の充実	8.2
チ 交通安全・防犯対策	7.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.2
ソ 良質な住宅の供給	4.2
キ 環境の保全と創造	3.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.5
ス 農林水産業の活性化対策	1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.1
タ 学校教育の充実	0.9
オ 生涯学習活動への支援	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.4
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-3.1
カ 芸術文化の振興	-4.1
ア 国際的な交流や協力	-4.8
イ 県政の広報・広聴活動	-6.8
シ 観光の振興	-7.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

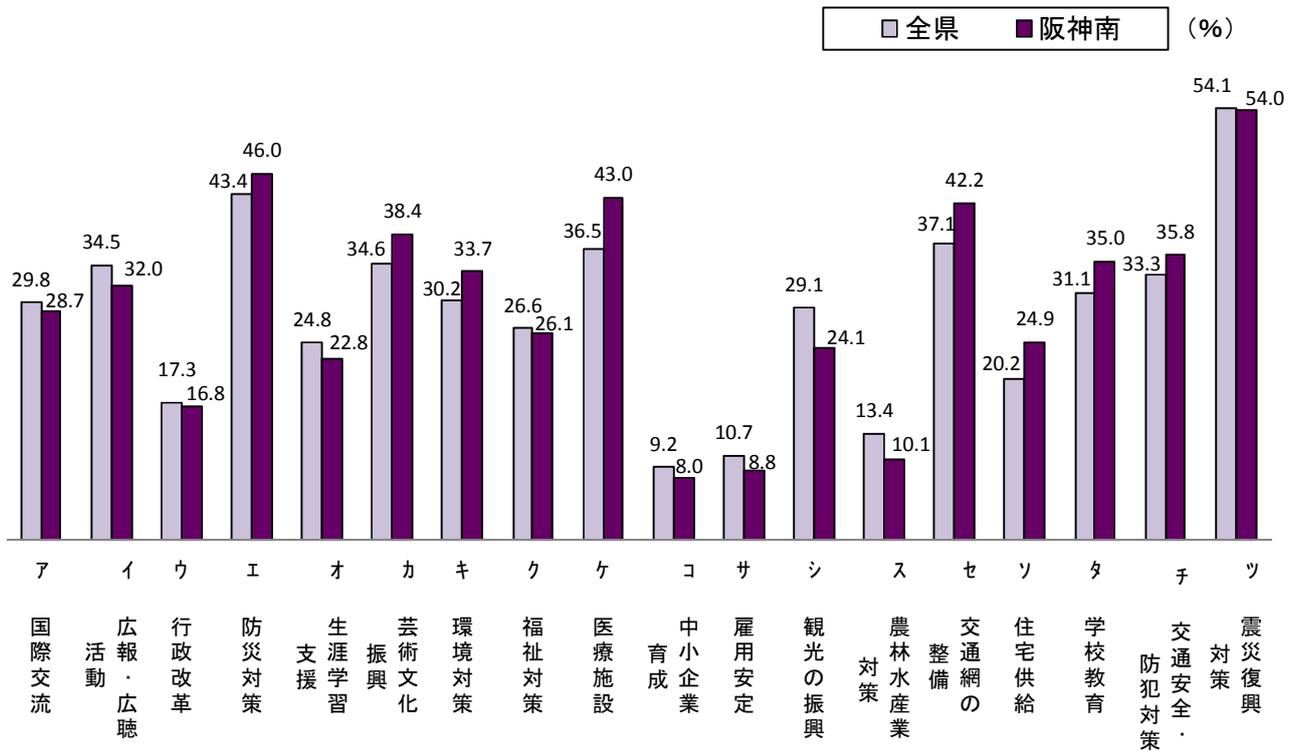
『努力が必要』	増減
ア 国際的な交流や協力	9.6
イ 県政の広報・広聴活動	8.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.2
チ 交通安全・防犯対策	5.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.6
オ 生涯学習活動への支援	4.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.2
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	4.0
ス 農林水産業の活性化対策	4.0
ソ 良質な住宅の供給	3.9
タ 学校教育の充実	2.3
コ 県内中小企業の育成	1.7
シ 観光の振興	1.1
カ 芸術文化の振興	0.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.2
エ 防災対策の充実	-0.4
キ 環境の保全と創造	-1.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.5

《阪神南地域》

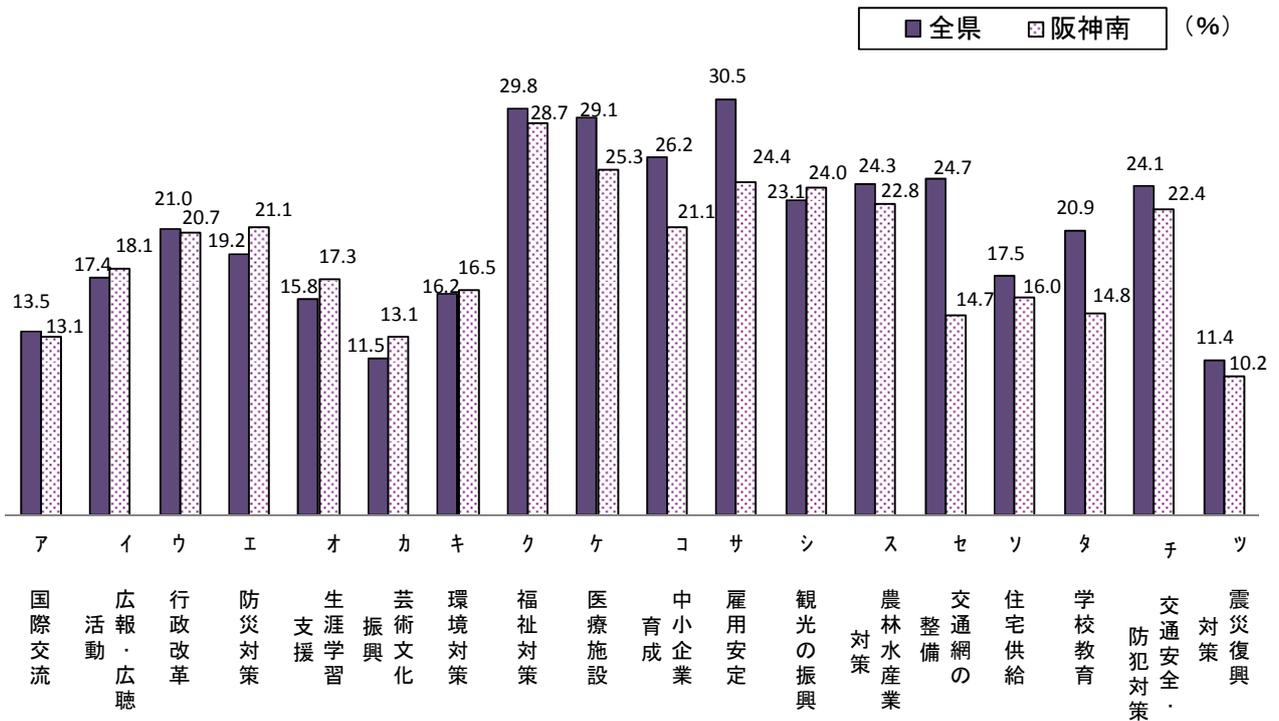
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神南】



『努力が必要』【全県と阪神南】



全県との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等の評価が高く、〔エ 防災対策の充実〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔エ 防災対策の充実〕等の評価が高く、〔カ 芸術文化の振興〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.1
ソ 良質な住宅の供給	4.7
カ 芸術文化の振興	3.8
キ 環境の保全と創造	3.5
タ 学校教育の充実	2.6
エ 防災対策の充実	2.6
チ 交通安全・防犯対策	2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-1.1
コ 県内中小企業の育成	-1.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.9
オ 生涯学習活動への支援	-2.0
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
ス 農林水産業の活性化対策	-3.3
シ 観光の振興	-5.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
エ 防災対策の充実	1.9
カ 芸術文化の振興	1.6
オ 生涯学習活動への支援	1.5
シ 観光の振興	0.9
イ 県政の広報・広聴活動	0.7
キ 環境の保全と創造	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.3
ア 国際的な交流や協力	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.5
チ 交通安全・防犯対策	-1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.8
コ 県内中小企業の育成	-5.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-6.1
タ 学校教育の充実	-7.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-10.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

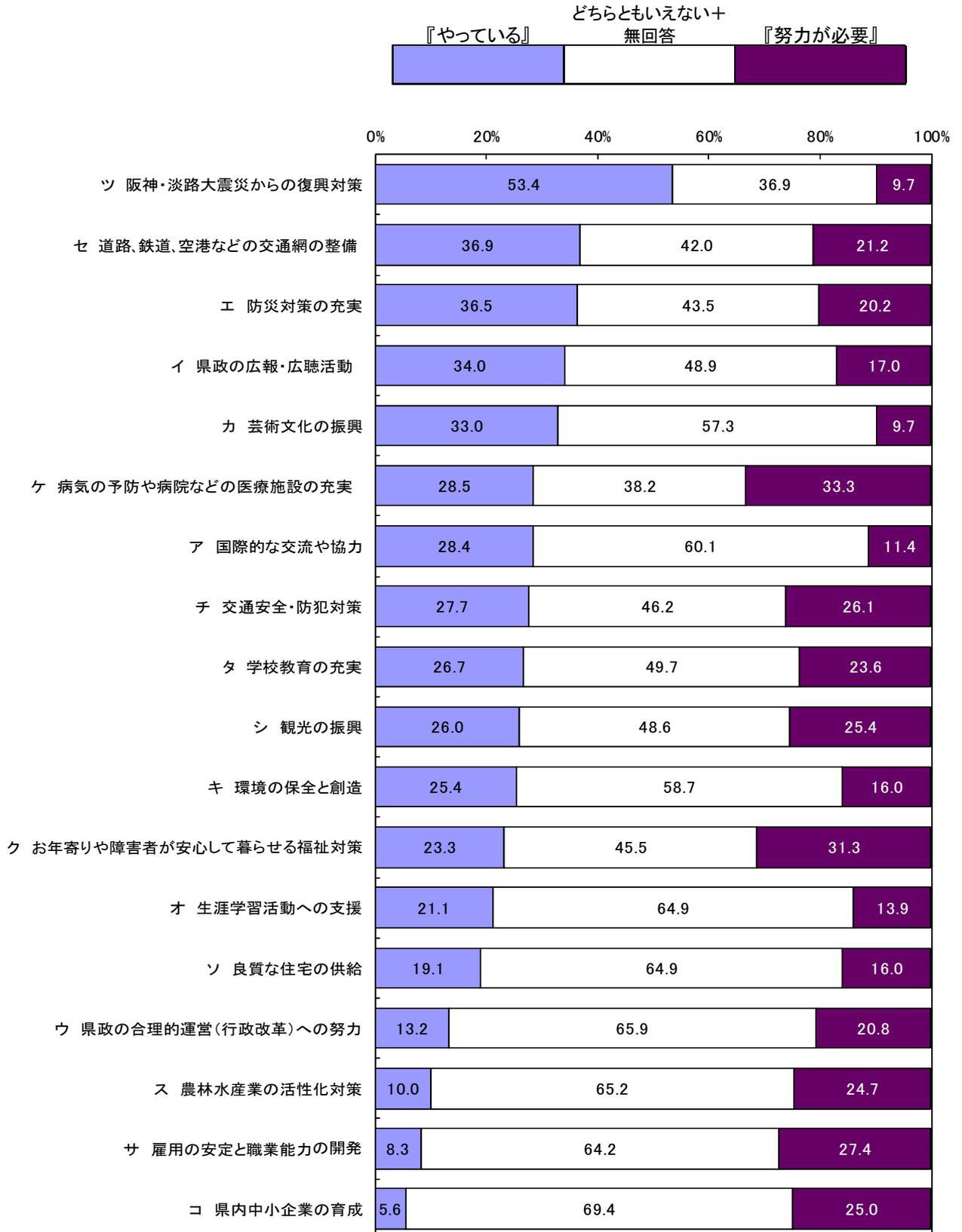
『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	10.1
キ 環境の保全と創造	7.8
タ 学校教育の充実	6.8
チ 交通安全・防犯対策	6.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.3
ソ 良質な住宅の供給	4.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.8
オ 生涯学習活動への支援	2.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.0
カ 芸術文化の振興	1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.4
ア 国際的な交流や協力	0.1
シ 観光の振興	-0.6
コ 県内中小企業の育成	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.5
イ 県政の広報・広聴活動	-5.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

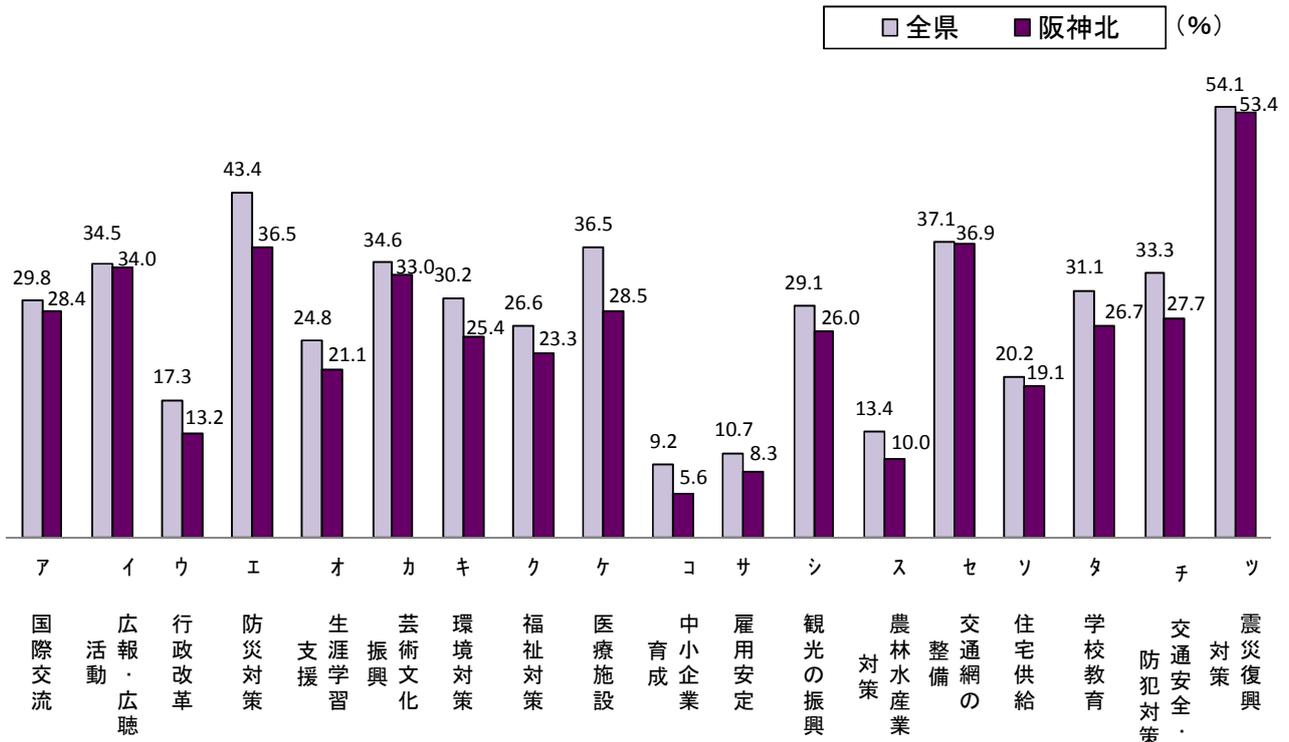
『努力が必要』	増減
カ 芸術文化の振興	2.3
イ 県政の広報・広聴活動	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.2
キ 環境の保全と創造	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.8
シ 観光の振興	-1.5
オ 生涯学習活動への支援	-2.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.1
エ 防災対策の充実	-2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.9
チ 交通安全・防犯対策	-5.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.0
ソ 良質な住宅の供給	-5.2
コ 県内中小企業の育成	-6.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.9
タ 学校教育の充実	-11.9

《阪神北地域》

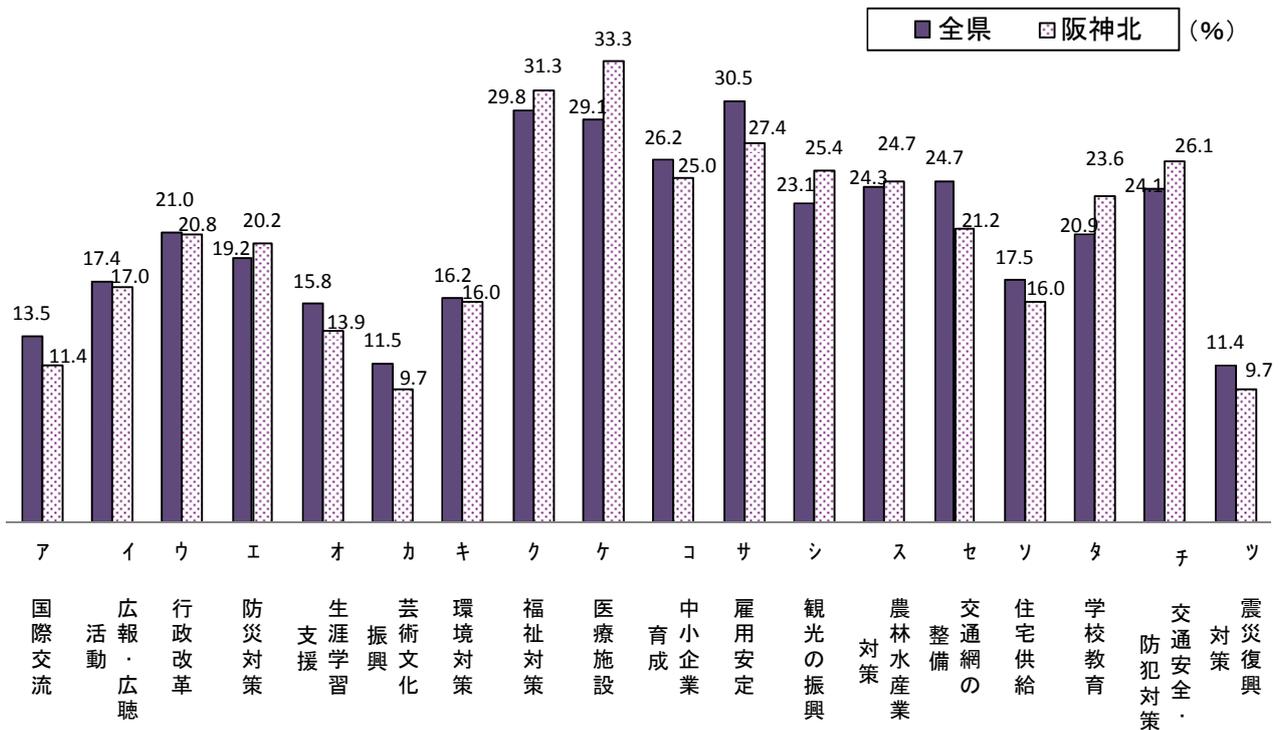
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神北】



『努力が必要』【全県と阪神北】



全県との比較では、評価が高い項目はなく、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.4
シ 観光の振興	-3.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.3
ス 農林水産業の活性化対策	-3.4
コ 県内中小企業の育成	-3.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.1
キ 環境の保全と創造	-4.8
チ 交通安全・防犯対策	-5.6
タ 学校教育の充実	-5.7
エ 防災対策の充実	-6.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.2
シ 観光の振興	2.3
チ 交通安全・防犯対策	2.0
タ 学校教育の充実	1.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.5
エ 防災対策の充実	1.0
ス 農林水産業の活性化対策	0.4
キ 環境の保全と創造	-0.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
コ 県内中小企業の育成	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.7
カ 芸術文化の振興	-1.8
オ 生涯学習活動への支援	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

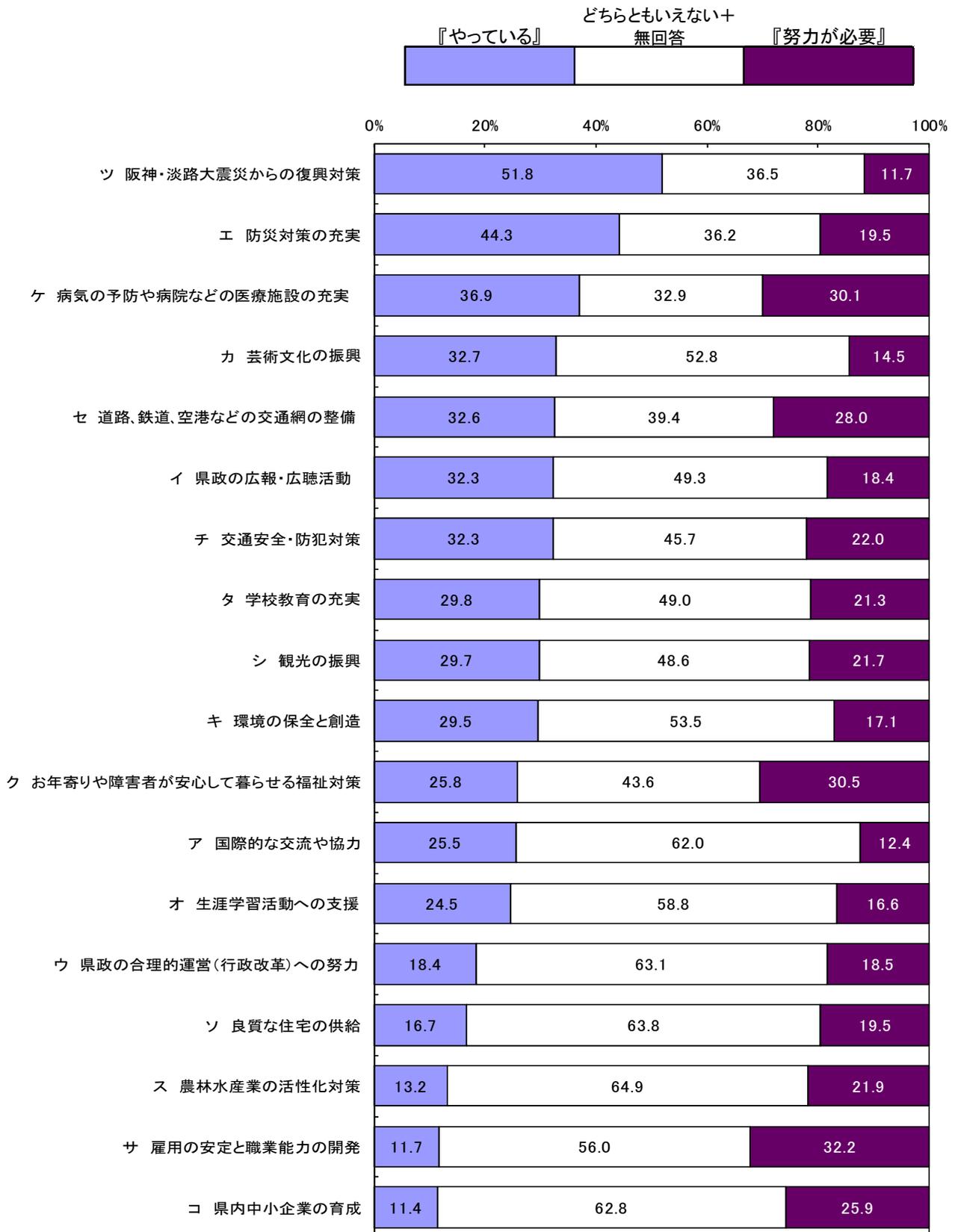
『やっている』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.7
エ 防災対策の充実	4.6
ア 国際的な交流や協力	2.6
チ 交通安全・防犯対策	2.3
キ 環境の保全と創造	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.7
コ 県内中小企業の育成	-0.8
タ 学校教育の充実	-1.6
シ 観光の振興	-1.6
カ 芸術文化の振興	-2.9
オ 生涯学習活動への支援	-2.9
ス 農林水産業の活性化対策	-3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

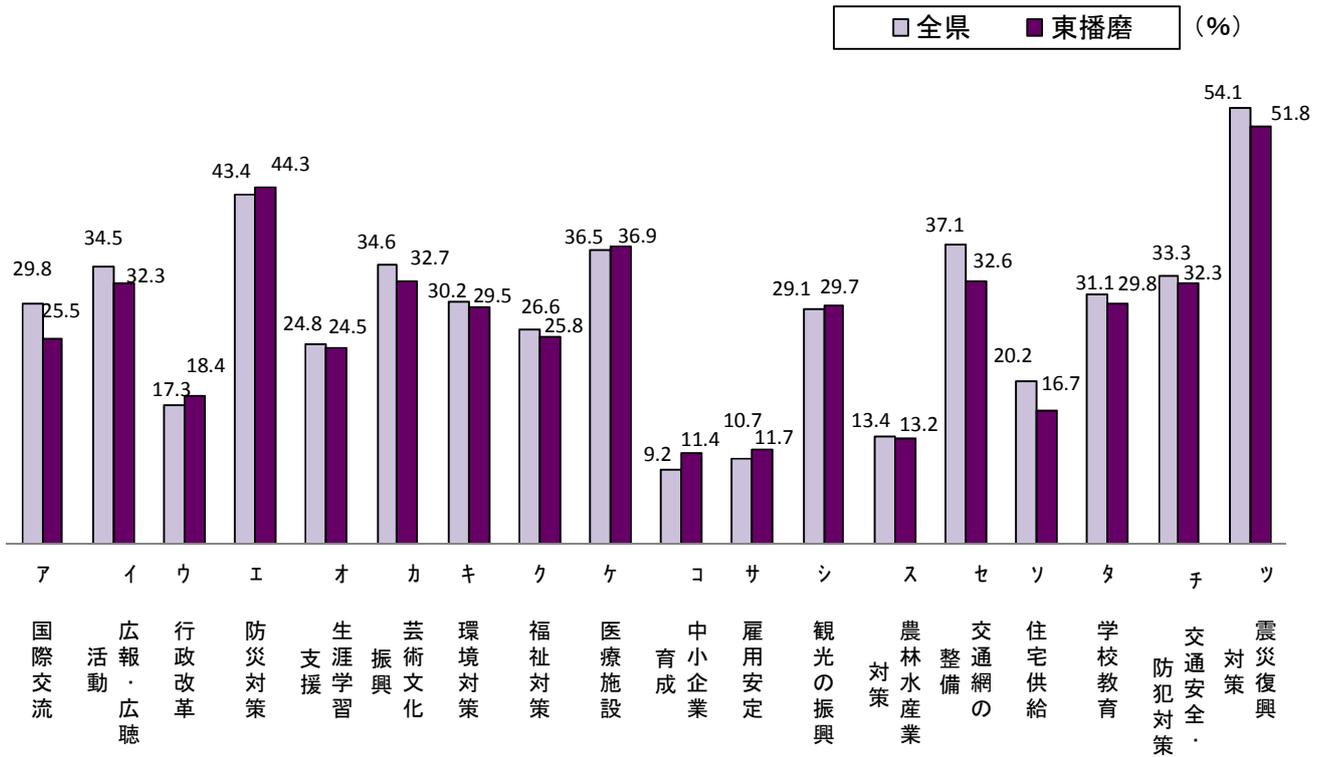
『努力が必要』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	6.8
シ 観光の振興	2.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.5
カ 芸術文化の振興	1.4
ア 国際的な交流や協力	-0.4
タ 学校教育の充実	-1.1
オ 生涯学習活動への支援	-1.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
キ 環境の保全と創造	-1.6
エ 防災対策の充実	-2.0
コ 県内中小企業の育成	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.8

《東播磨地域》

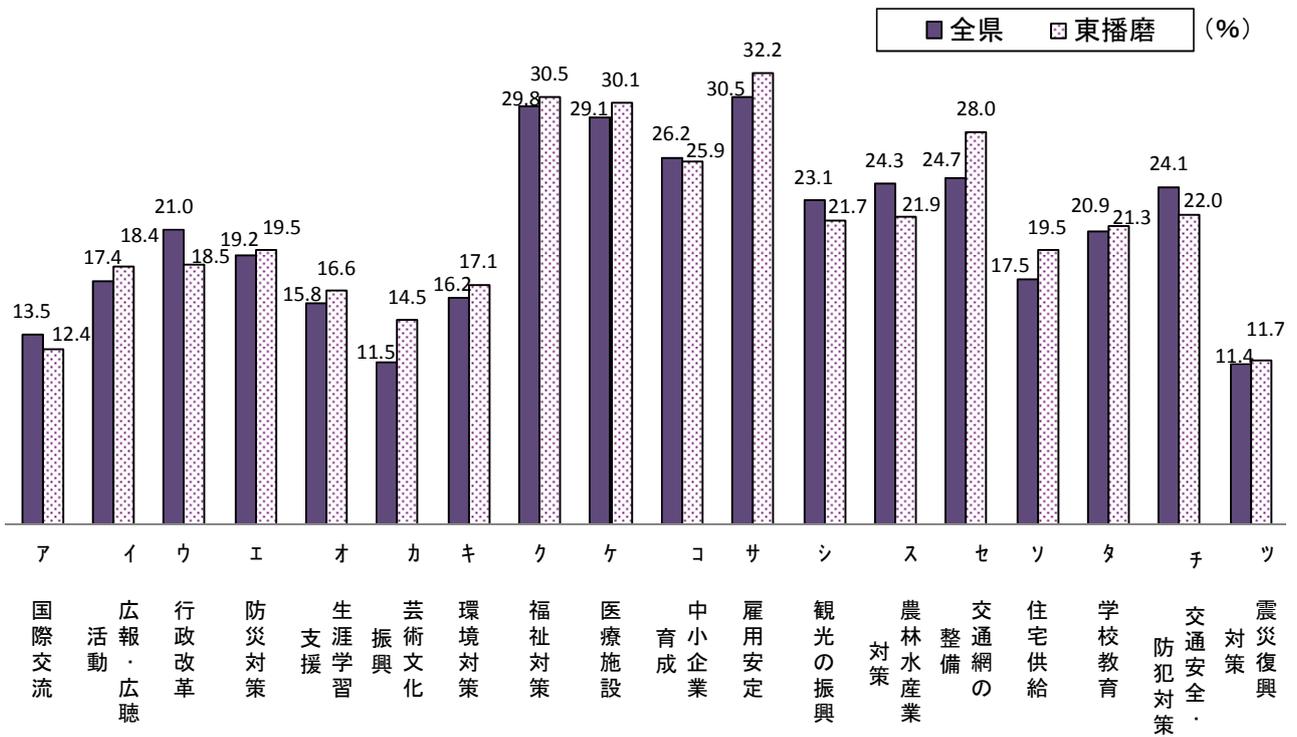
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と東播磨】



『努力が必要』【全県と東播磨】



全県との比較では、〔コ 県内中小企業の育成〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕で努力が求められている。

前年との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	2.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.0
エ 防災対策の充実	0.9
シ 観光の振興	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.4
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.3
キ 環境の保全と創造	-0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.8
チ 交通安全・防犯対策	-1.0
カ 芸術文化の振興	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.3
タ 学校教育の充実	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-4.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.3
カ 芸術文化の振興	3.0
ソ 良質な住宅の供給	2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.0
イ 県政の広報・広聴活動	1.0
キ 環境の保全と創造	0.9
オ 生涯学習活動への支援	0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.3
エ 防災対策の充実	0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.3
タ 学校教育の充実	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-1.1
シ 観光の振興	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
ス 農林水産業の活性化対策	-2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

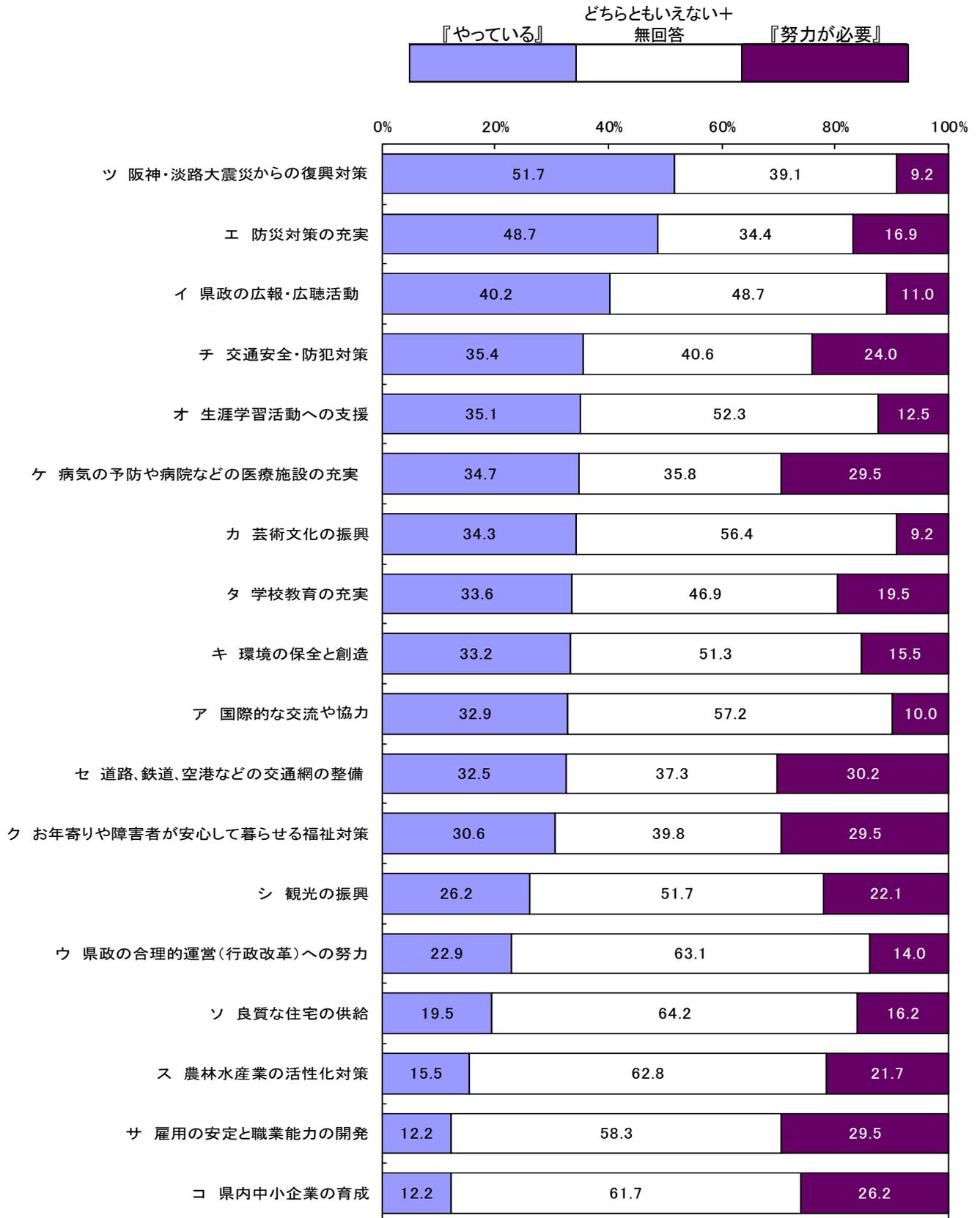
『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	13.1
チ 交通安全・防犯対策	8.0
タ 学校教育の充実	5.8
キ 環境の保全と創造	4.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
カ 芸術文化の振興	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.6
ス 農林水産業の活性化対策	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-2.8
シ 観光の振興	-3.2
ア 国際的な交流や協力	-3.4
イ 県政の広報・広聴活動	-5.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

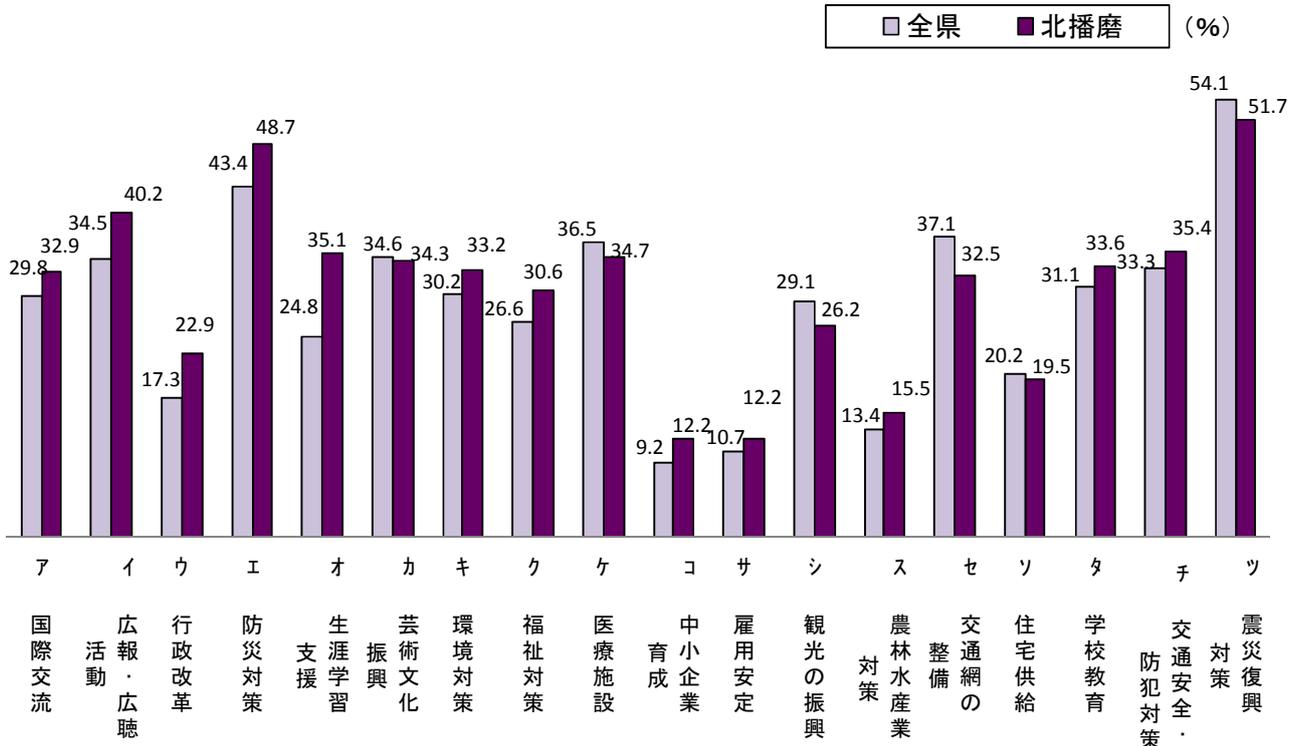
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.2
カ 芸術文化の振興	3.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.1
ス 農林水産業の活性化対策	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
ア 国際的な交流や協力	-0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.6
ソ 良質な住宅の供給	-0.7
コ 県内中小企業の育成	-1.0
シ 観光の振興	-2.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6
チ 交通安全・防犯対策	-2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.1
タ 学校教育の充実	-3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.4
キ 環境の保全と創造	-4.5
エ 防災対策の充実	-5.4

《北播磨地域》

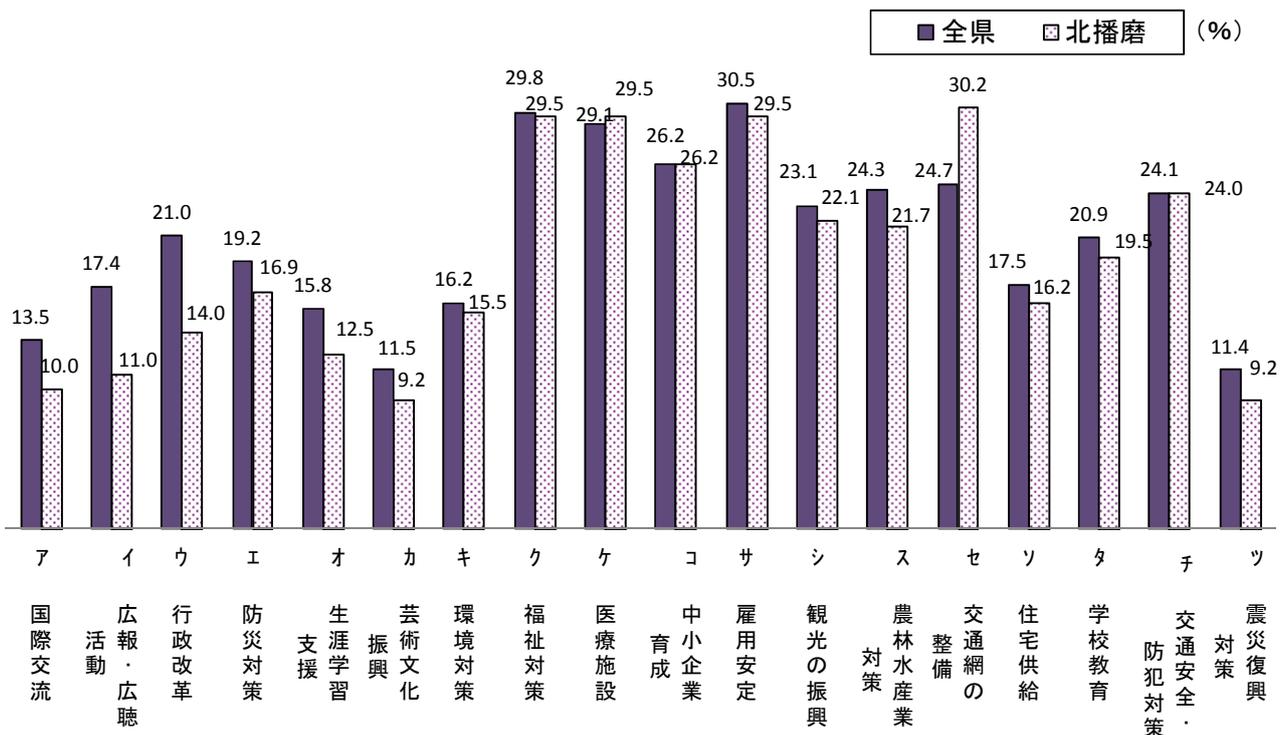
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と北播磨】



『努力が必要』【全県と北播磨】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	10.3
イ 県政の広報・広聴活動	5.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.6
エ 防災対策の充実	5.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.0
ア 国際的な交流や協力	3.1
コ 県内中小企業の育成	3.0
キ 環境の保全と創造	3.0
チ 交通安全・防犯対策	2.1
ス 農林水産業の活性化対策	2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.5
タ 学校教育の充実	1.2
カ 芸術文化の振興	-0.3
ソ 良質な住宅の供給	-0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
シ 観光の振興	-2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.4
コ 県内中小企業の育成	0.0
チ 交通安全・防犯対策	-0.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.3
キ 環境の保全と創造	-0.7
シ 観光の振興	-1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.3
エ 防災対策の充実	-2.3
タ 学校教育の充実	-2.5
ス 農林水産業の活性化対策	-2.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.3
ア 国際的な交流や協力	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-6.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-7.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

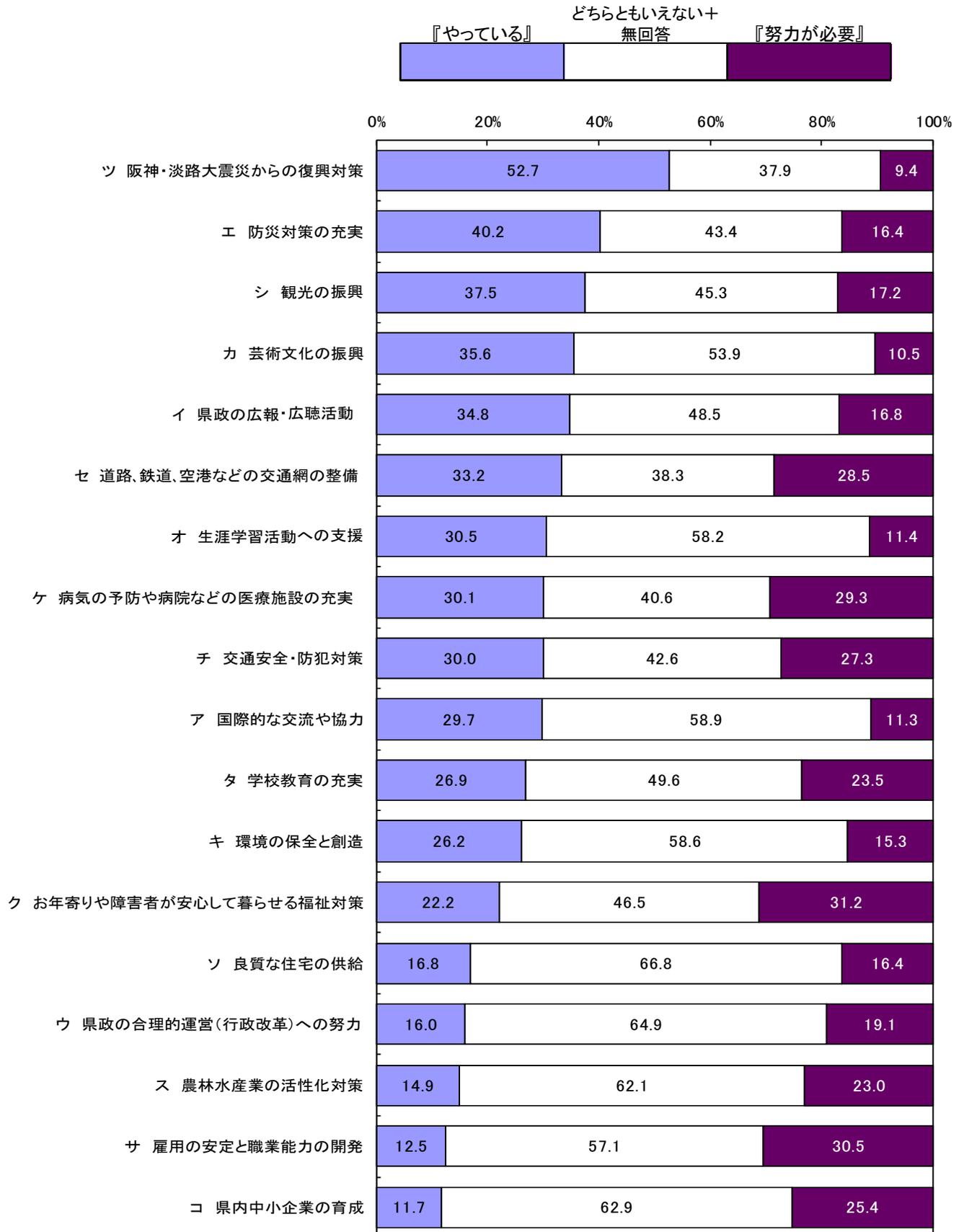
『やっている』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	10.0
エ 防災対策の充実	9.3
イ 県政の広報・広聴活動	6.2
チ 交通安全・防犯対策	5.8
オ 生涯学習活動への支援	4.8
キ 環境の保全と創造	3.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.3
タ 学校教育の充実	1.6
ソ 良質な住宅の供給	1.6
コ 県内中小企業の育成	0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
シ 観光の振興	-0.4
ス 農林水産業の活性化対策	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.5
ア 国際的な交流や協力	-3.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

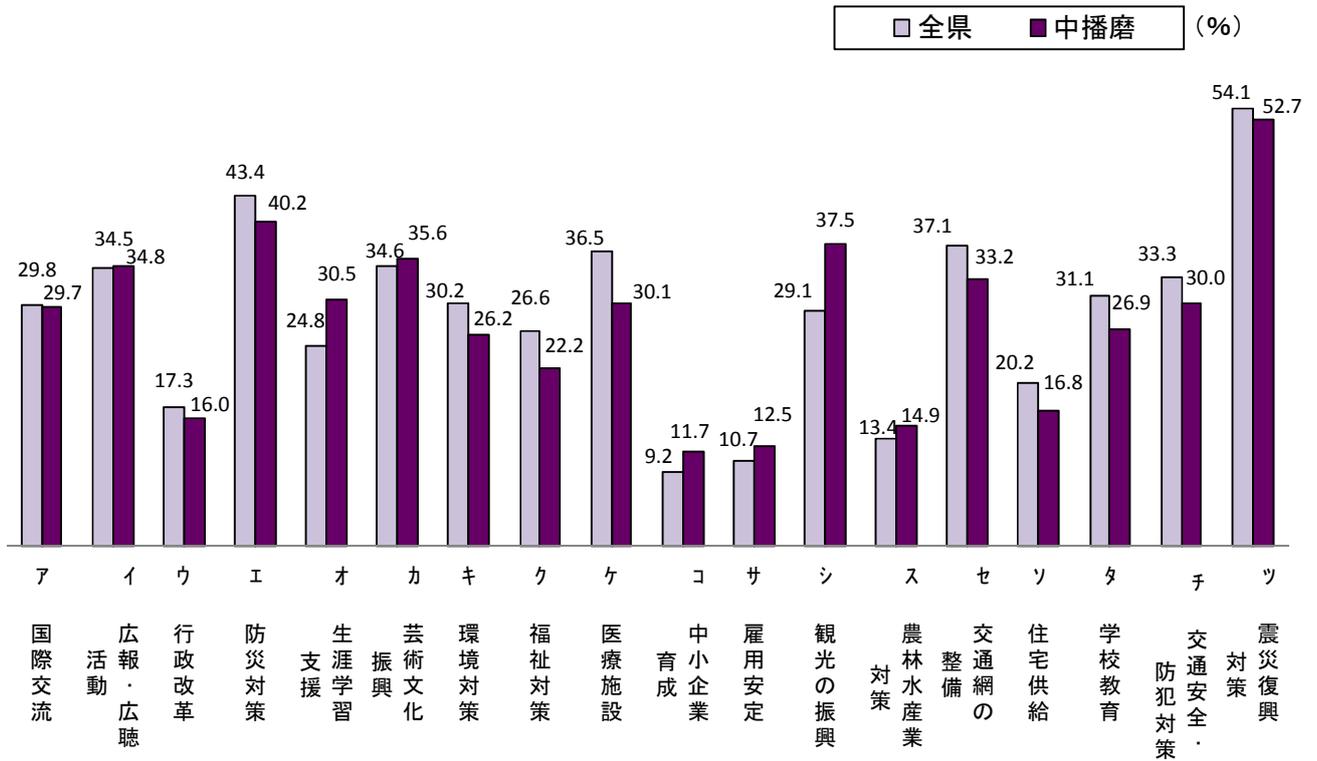
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.6
チ 交通安全・防犯対策	3.5
オ 生涯学習活動への支援	2.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.2
エ 防災対策の充実	0.8
キ 環境の保全と創造	0.7
タ 学校教育の充実	0.6
ア 国際的な交流や協力	0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.4
カ 芸術文化の振興	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
ソ 良質な住宅の供給	-2.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.4
コ 県内中小企業の育成	-3.4
シ 観光の振興	-4.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.8

《中播磨地域》

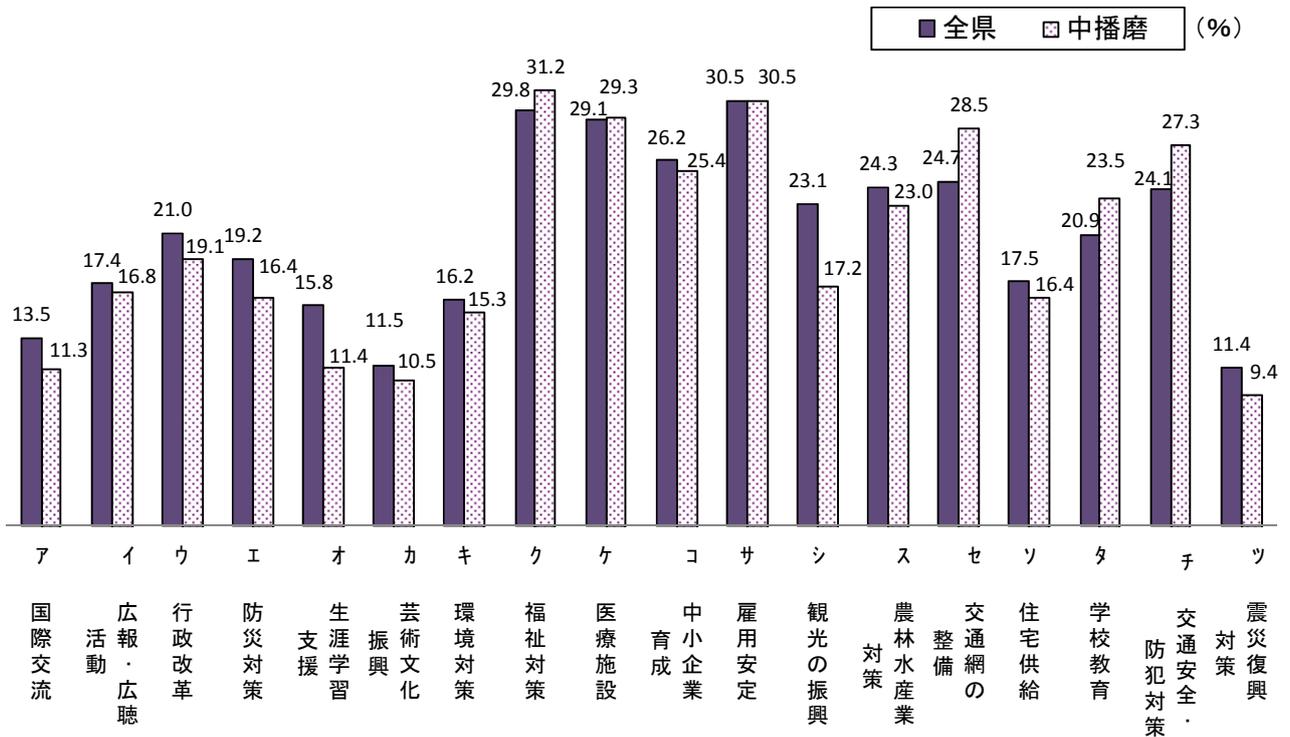
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と中播磨】



『努力が必要』【全県と中播磨】



全県との比較では〔シ 観光の振興〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通者整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔セ 道路、鉄道、空港などの交通者整備〕等で評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	8.4
オ 生涯学習活動への支援	5.7
コ 県内中小企業の育成	2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.8
ス 農林水産業の活性化対策	1.5
カ 芸術文化の振興	1.0
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
ア 国際的な交流や協力	-0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.4
エ 防災対策の充実	-3.2
チ 交通安全・防犯対策	-3.3
ソ 良質な住宅の供給	-3.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.9
キ 環境の保全と創造	-4.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.4
タ 学校教育の充実	-5.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.8
チ 交通安全・防犯対策	3.2
タ 学校教育の充実	1.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
イ 県政の広報・広聴活動	-0.6
コ 県内中小企業の育成	-0.8
キ 環境の保全と創造	-0.9
カ 芸術文化の振興	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
ス 農林水産業の活性化対策	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.0
ア 国際的な交流や協力	-2.2
エ 防災対策の充実	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-4.4
シ 観光の振興	-5.9

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

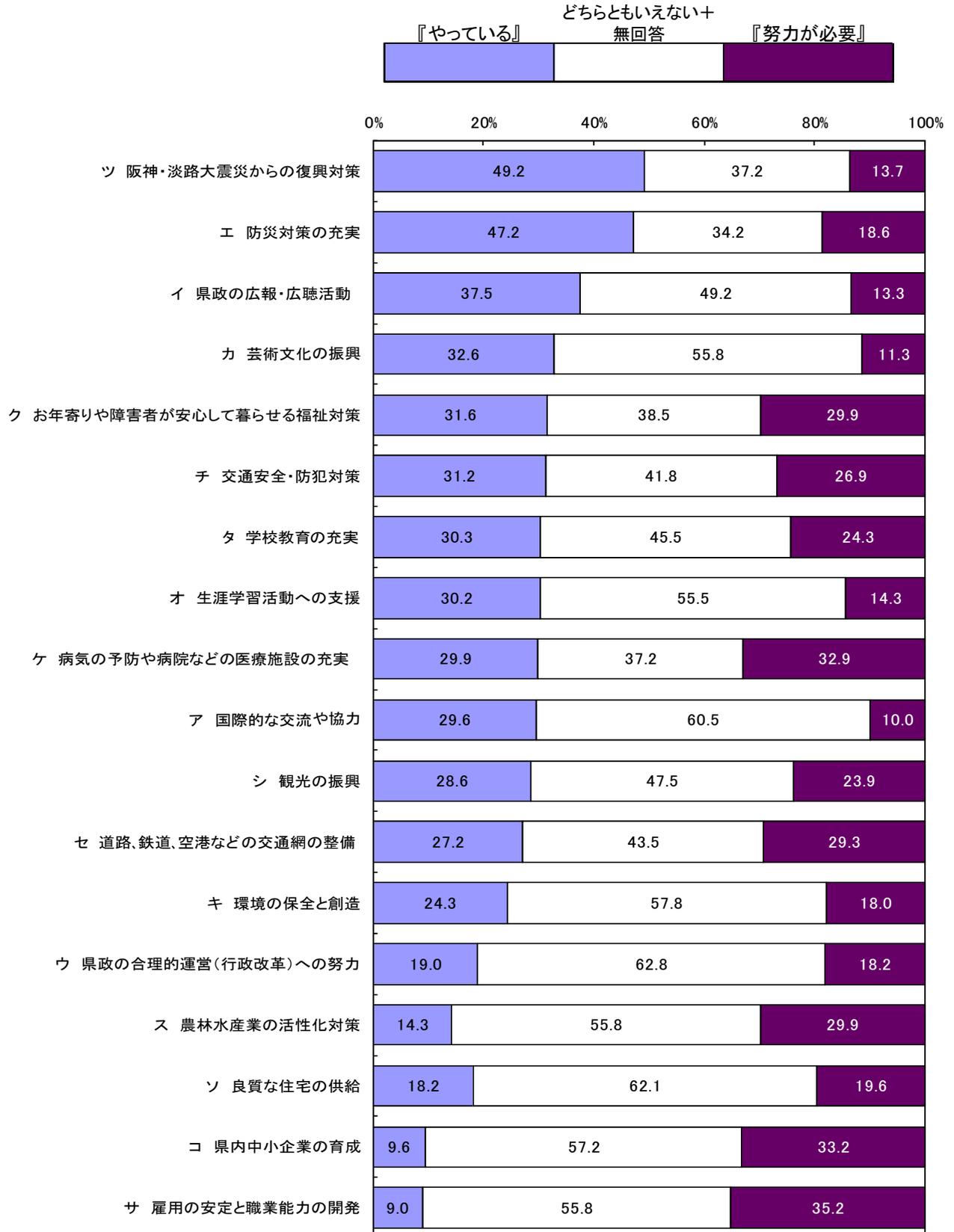
『やっている』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	12.3
エ 防災対策の充実	9.2
カ 芸術文化の振興	8.9
チ 交通安全・防犯対策	7.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.5
キ 環境の保全と創造	4.6
ス 農林水産業の活性化対策	4.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.7
タ 学校教育の充実	2.4
コ 県内中小企業の育成	2.3
シ 観光の振興	2.1
オ 生涯学習活動への支援	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.5
ソ 良質な住宅の供給	0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

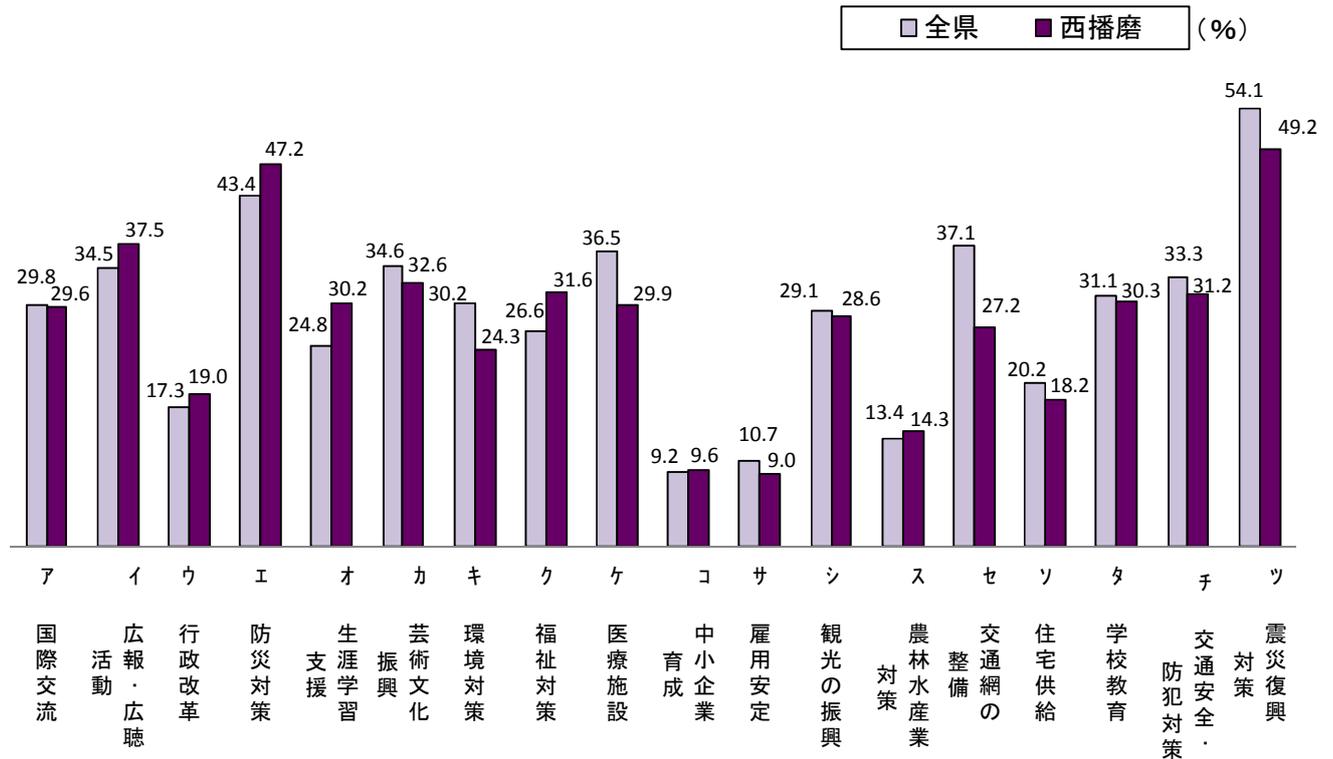
『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	1.6
カ 芸術文化の振興	1.1
オ 生涯学習活動への支援	0.9
キ 環境の保全と創造	0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.4
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.2
シ 観光の振興	-2.7
コ 県内中小企業の育成	-2.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.9
ソ 良質な住宅の供給	-6.0
エ 防災対策の充実	-7.1

《西播磨地域》

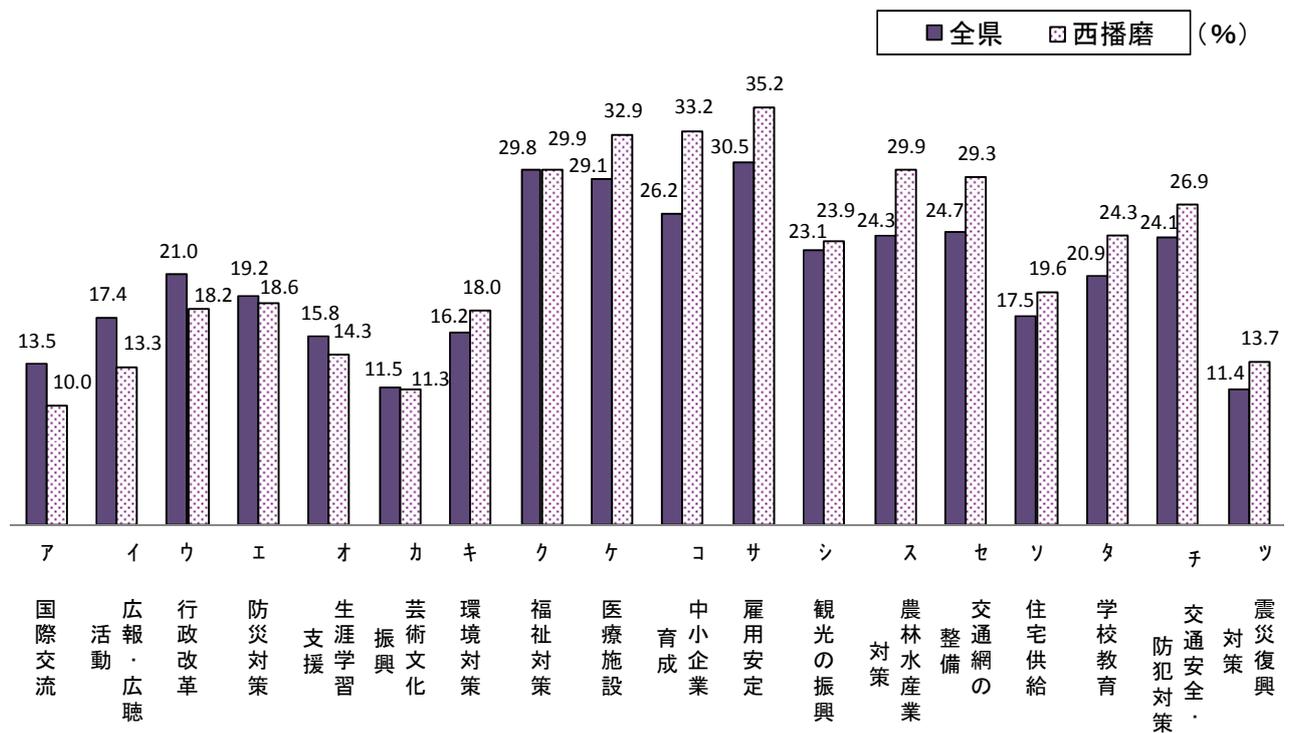
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と西播磨】



『努力が必要』【全県と西播磨】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔コ 県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	5.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.0
エ 防災対策の充実	3.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.9
コ 県内中小企業の育成	0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.2
シ 観光の振興	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.7
ソ 良質な住宅の供給	-2.0
カ 芸術文化の振興	-2.0
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
タ 学校教育の充実	-2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.9
キ 環境の保全と創造	-5.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	7.0
ス 農林水産業の活性化対策	5.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.8
チ 交通安全・防犯対策	2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.3
タ 学校教育の充実	2.3
ソ 良質な住宅の供給	2.1
キ 環境の保全と創造	1.8
シ 観光の振興	0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.1
カ 芸術文化の振興	-0.2
エ 防災対策の充実	-0.6
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.8
ア 国際的な交流や協力	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-4.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

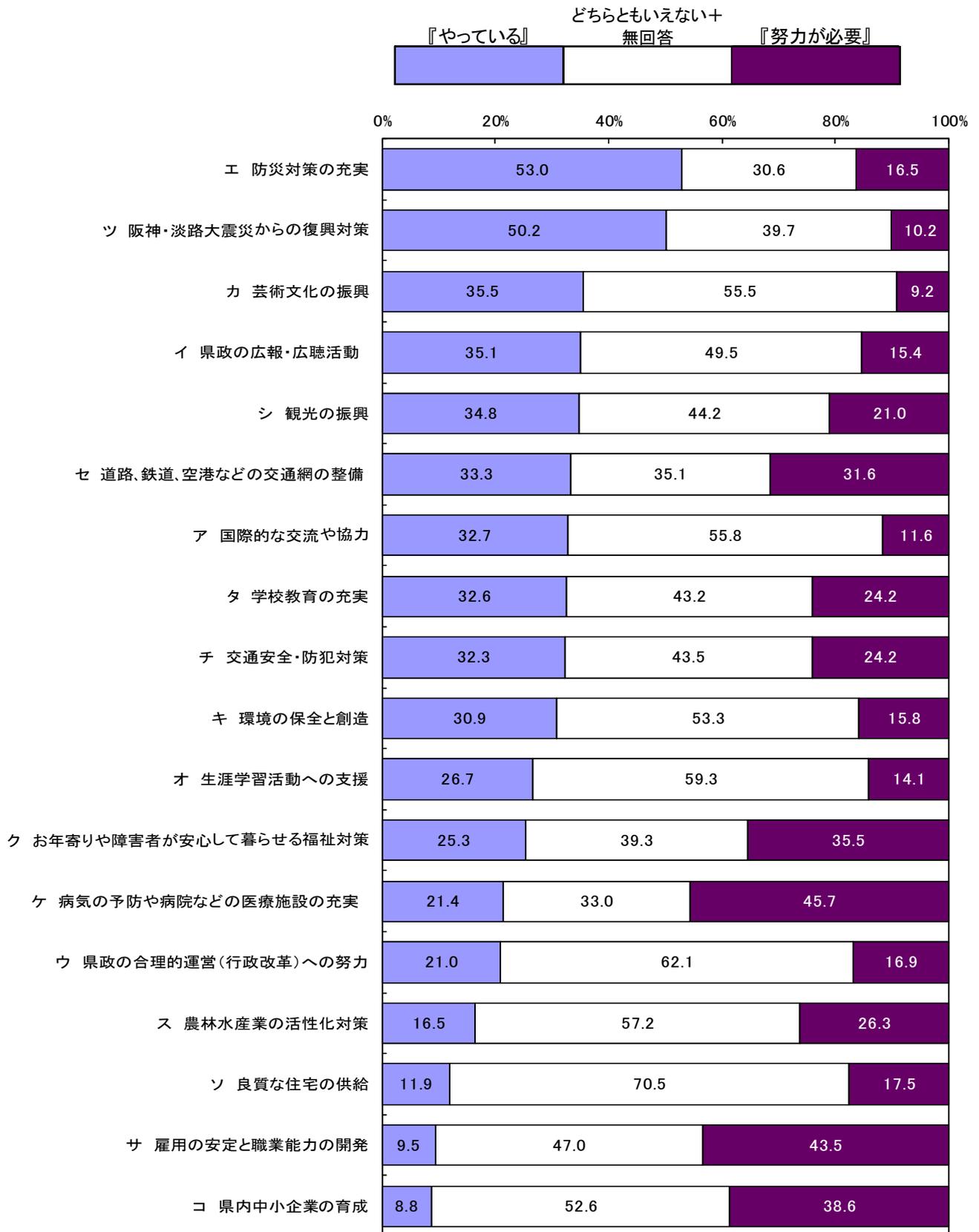
『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	8.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	7.7
タ 学校教育の充実	6.1
チ 交通安全・防犯対策	5.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.1
ソ 良質な住宅の供給	2.0
カ 芸術文化の振興	0.1
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
シ 観光の振興	-2.5
キ 環境の保全と創造	-2.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.5
コ 県内中小企業の育成	-2.6
イ 県政の広報・広聴活動	-2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

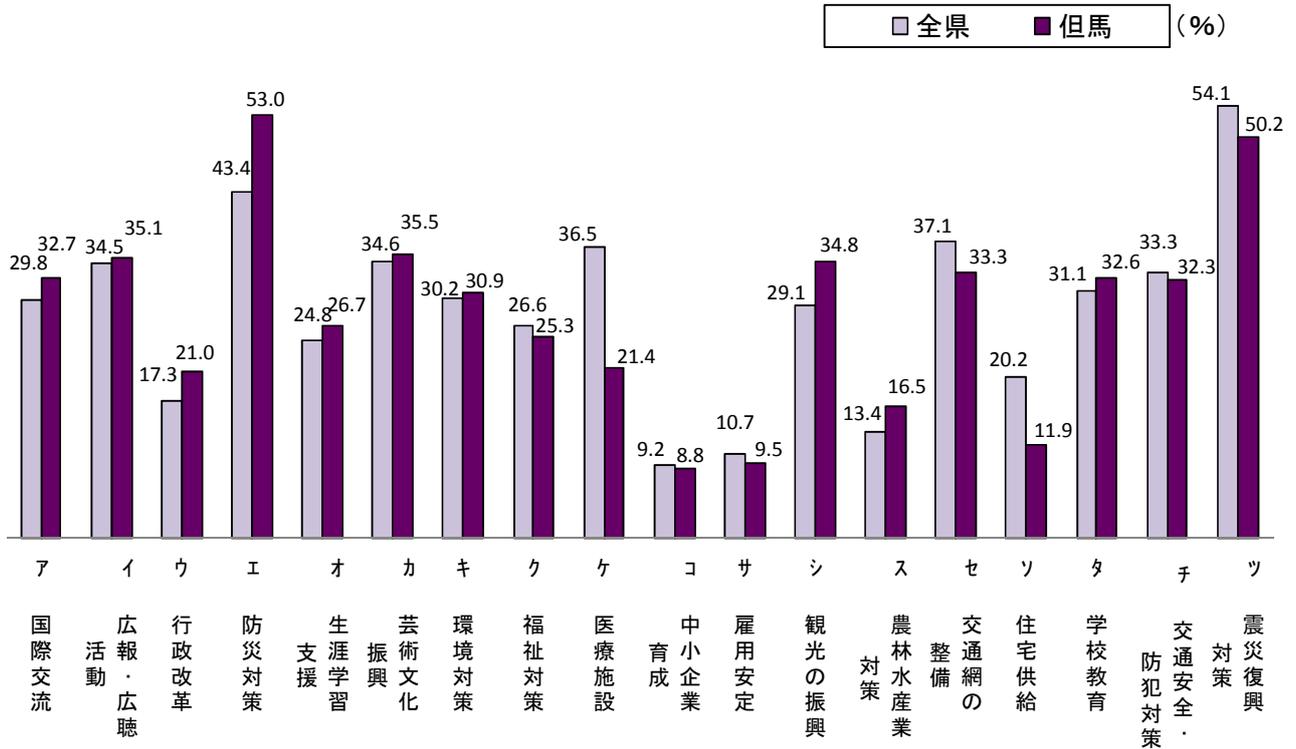
『努力が必要』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	6.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.4
タ 学校教育の充実	4.4
チ 交通安全・防犯対策	4.4
イ 県政の広報・広聴活動	3.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.4
エ 防災対策の充実	2.4
ソ 良質な住宅の供給	2.1
カ 芸術文化の振興	2.1
キ 環境の保全と創造	1.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.5
コ 県内中小企業の育成	1.4
オ 生涯学習活動への支援	1.4
ア 国際的な交流や協力	0.4
シ 観光の振興	0.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.2

《但馬地域》

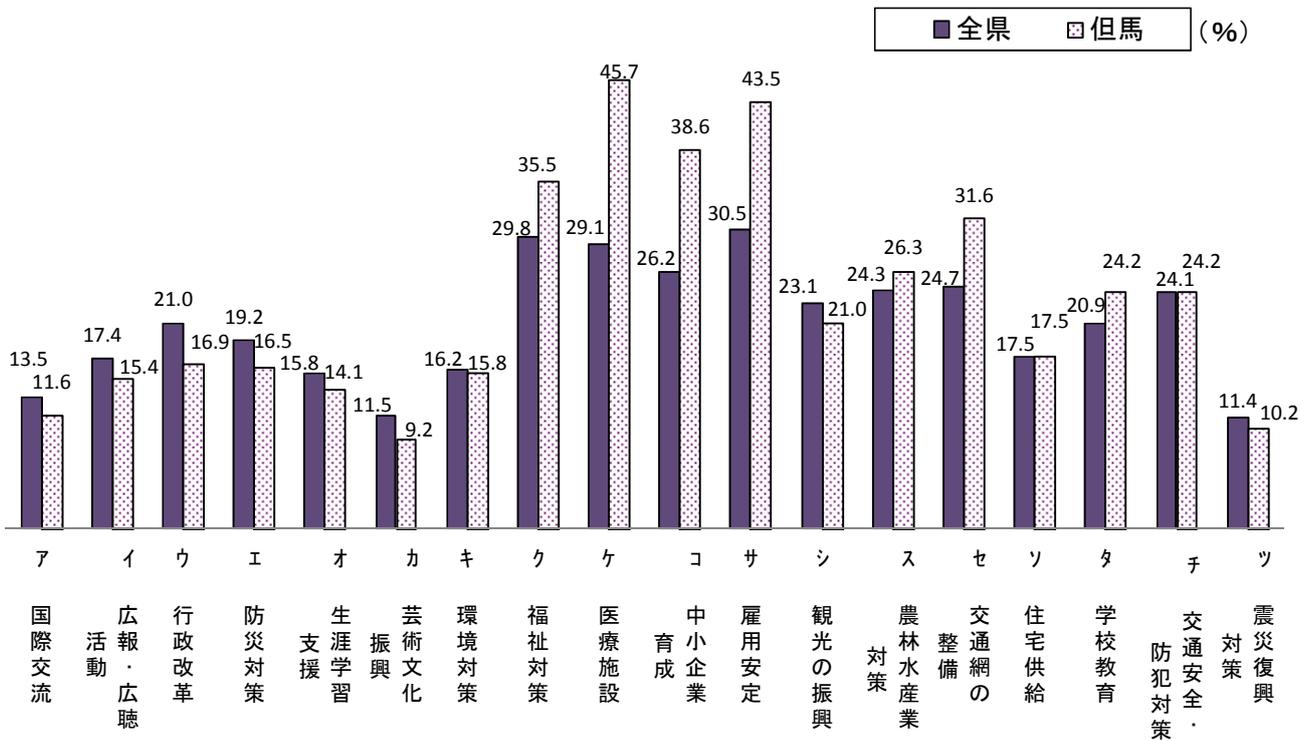
〔エ 防災対策の充実〕〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と但馬】



『努力が必要』【全県と但馬】



全県との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔防災対策の充実〕等で評価が高く、〔サ 雇用の安定と職業能力の開発〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
エ 防災対策の充実	9.6
シ 観光の振興	5.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.1
ア 国際的な交流や協力	2.9
オ 生涯学習活動への支援	1.9
カ 芸術文化の振興	0.9
キ 環境の保全と創造	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
タ 学校教育の充実	0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.4
チ 交通安全・防犯対策	-1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.9
ソ 良質な住宅の供給	-8.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-15.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	16.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	13.0
コ 県内中小企業の育成	12.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.7
タ 学校教育の充実	2.2
ス 農林水産業の活性化対策	2.0
チ 交通安全・防犯対策	0.1
ソ 良質な住宅の供給	0.0
キ 環境の保全と創造	-0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.7
ア 国際的な交流や協力	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
シ 観光の振興	-2.1
カ 芸術文化の振興	-2.3
エ 防災対策の充実	-2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

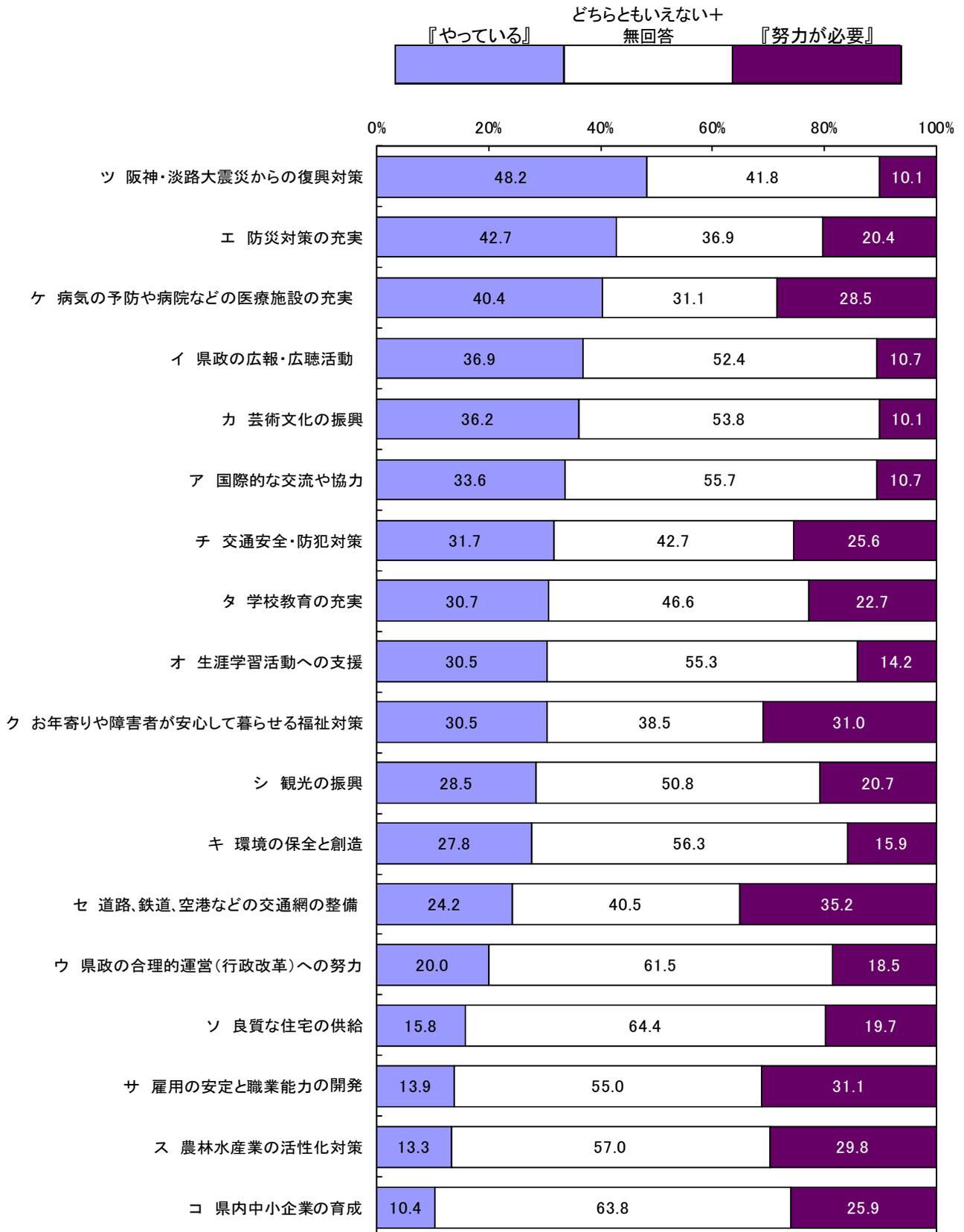
『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	11.8
タ 学校教育の充実	9.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	9.2
チ 交通安全・防犯対策	8.2
シ 観光の振興	7.2
カ 芸術文化の振興	7.0
キ 環境の保全と創造	6.7
オ 生涯学習活動への支援	5.0
ス 農林水産業の活性化対策	4.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.6
ア 国際的な交流や協力	2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

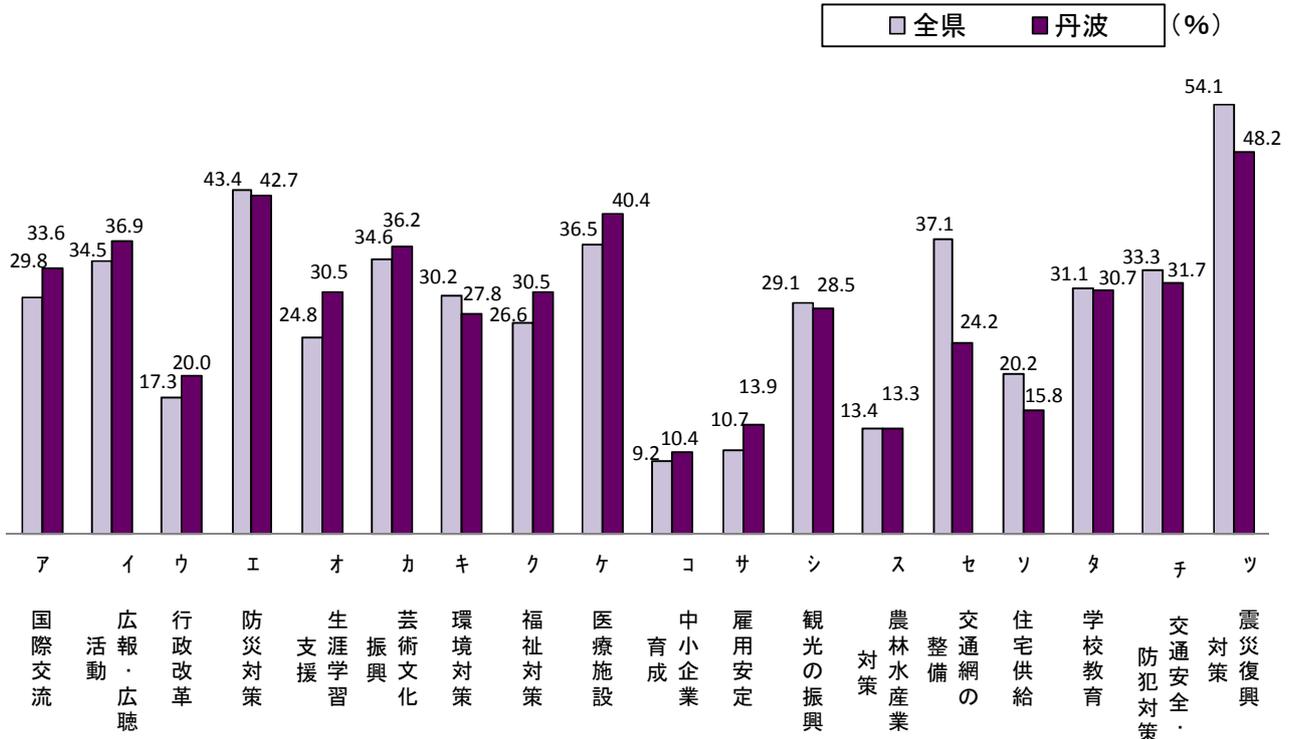
『努力が必要』	増減
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.3
チ 交通安全・防犯対策	2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.4
コ 県内中小企業の育成	2.4
タ 学校教育の充実	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.6
オ 生涯学習活動への支援	-1.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.8
ア 国際的な交流や協力	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.9
カ 芸術文化の振興	-3.2
キ 環境の保全と創造	-3.7
エ 防災対策の充実	-4.9
シ 観光の振興	-5.0
ソ 良質な住宅の供給	-6.6
ス 農林水産業の活性化対策	-7.8

《丹波地域》

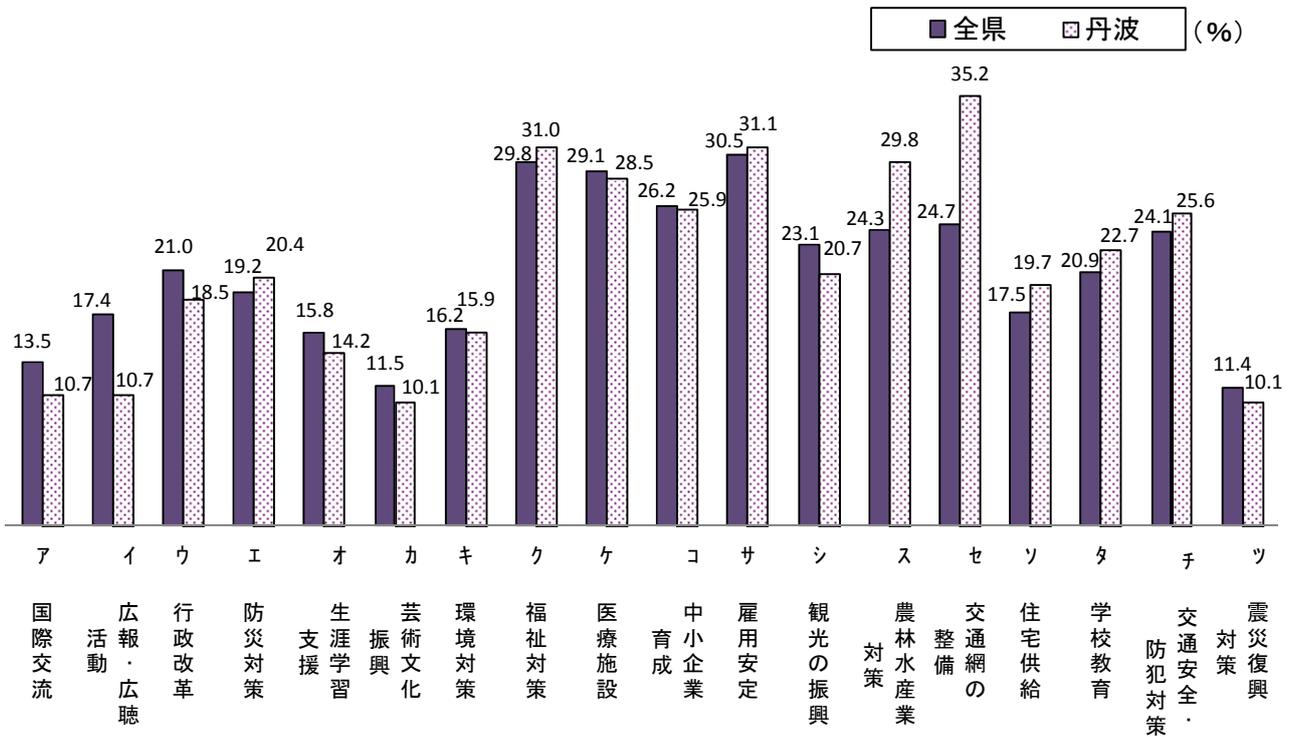
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕（エ 防災対策の充実）などで評価が高い。



『やっている』【全県と丹波】



『努力が必要』【全県と丹波】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕が最も評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	5.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.9
ア 国際的な交流や協力	3.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.4
カ 芸術文化の振興	1.6
コ 県内中小企業の育成	1.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.1
シ 観光の振興	-0.6
エ 防災対策の充実	-0.7
チ 交通安全・防犯対策	-1.6
タ 学校教育の充実	-1.7
キ 環境の保全と創造	-2.4
ソ 良質な住宅の供給	-4.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-12.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	10.5
ス 農林水産業の活性化対策	5.5
ソ 良質な住宅の供給	2.2
チ 交通安全・防犯対策	1.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.2
エ 防災対策の充実	1.2
タ 学校教育の充実	0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
コ 県内中小企業の育成	-0.3
キ 環境の保全と創造	-0.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
カ 芸術文化の振興	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.6
シ 観光の振興	-2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.5
ア 国際的な交流や協力	-2.8
イ 県政の広報・広聴活動	-6.7

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

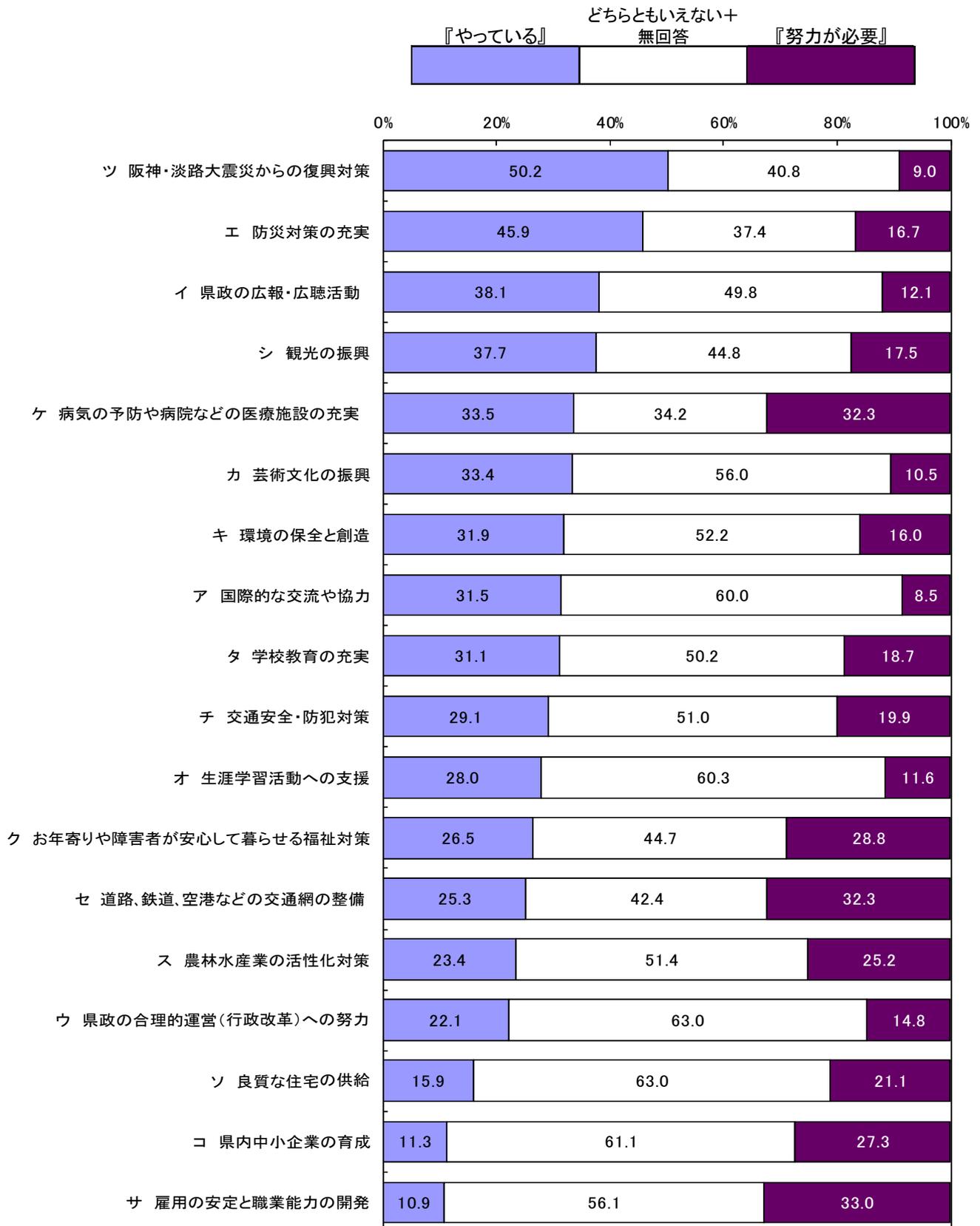
『やっている』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.9
タ 学校教育の充実	4.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.0
チ 交通安全・防犯対策	2.8
ソ 良質な住宅の供給	2.8
エ 防災対策の充実	2.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.9
オ 生涯学習活動への支援	0.9
キ 環境の保全と創造	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-1.2
コ 県内中小企業の育成	-2.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
シ 観光の振興	-4.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.2
ス 農林水産業の活性化対策	-6.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

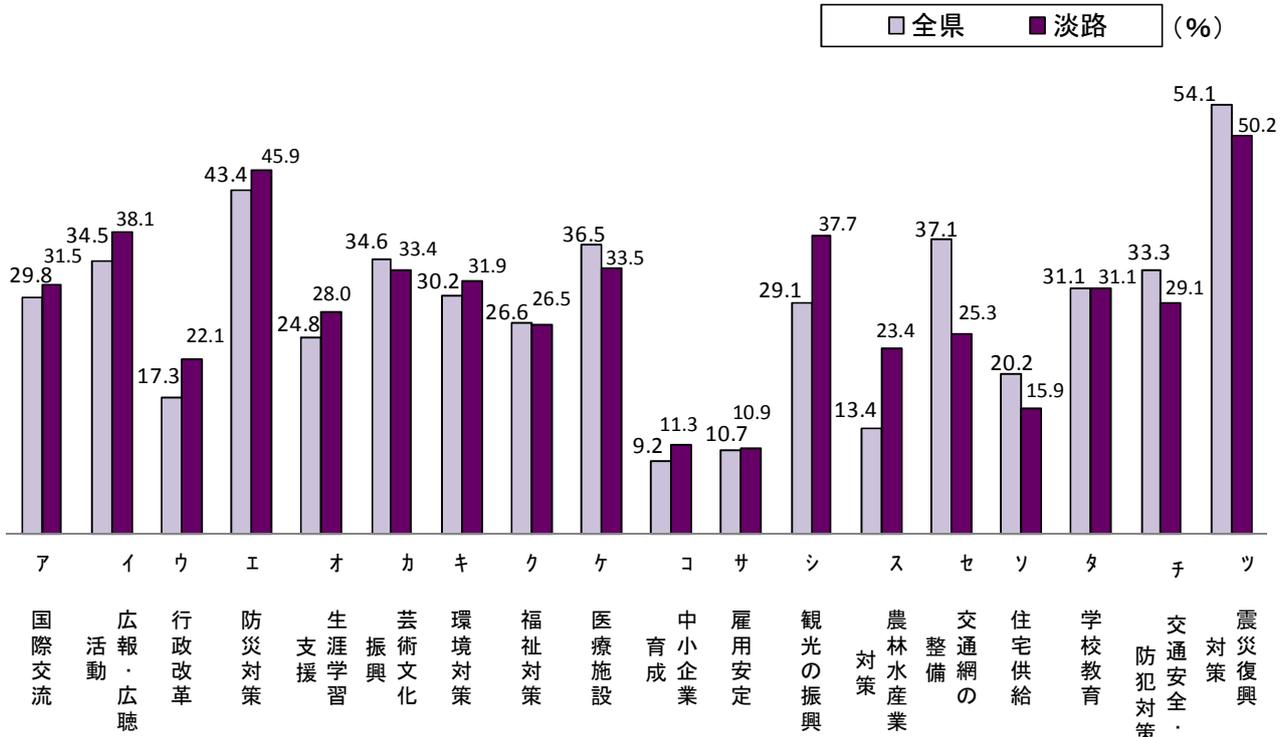
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	8.6
チ 交通安全・防犯対策	5.0
カ 芸術文化の振興	2.2
オ 生涯学習活動への支援	1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.1
ア 国際的な交流や協力	1.1
エ 防災対策の充実	0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.1
タ 学校教育の充実	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-1.7
キ 環境の保全と創造	-2.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-3.2
シ 観光の振興	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.8
コ 県内中小企業の育成	-7.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.1

《淡路地域》

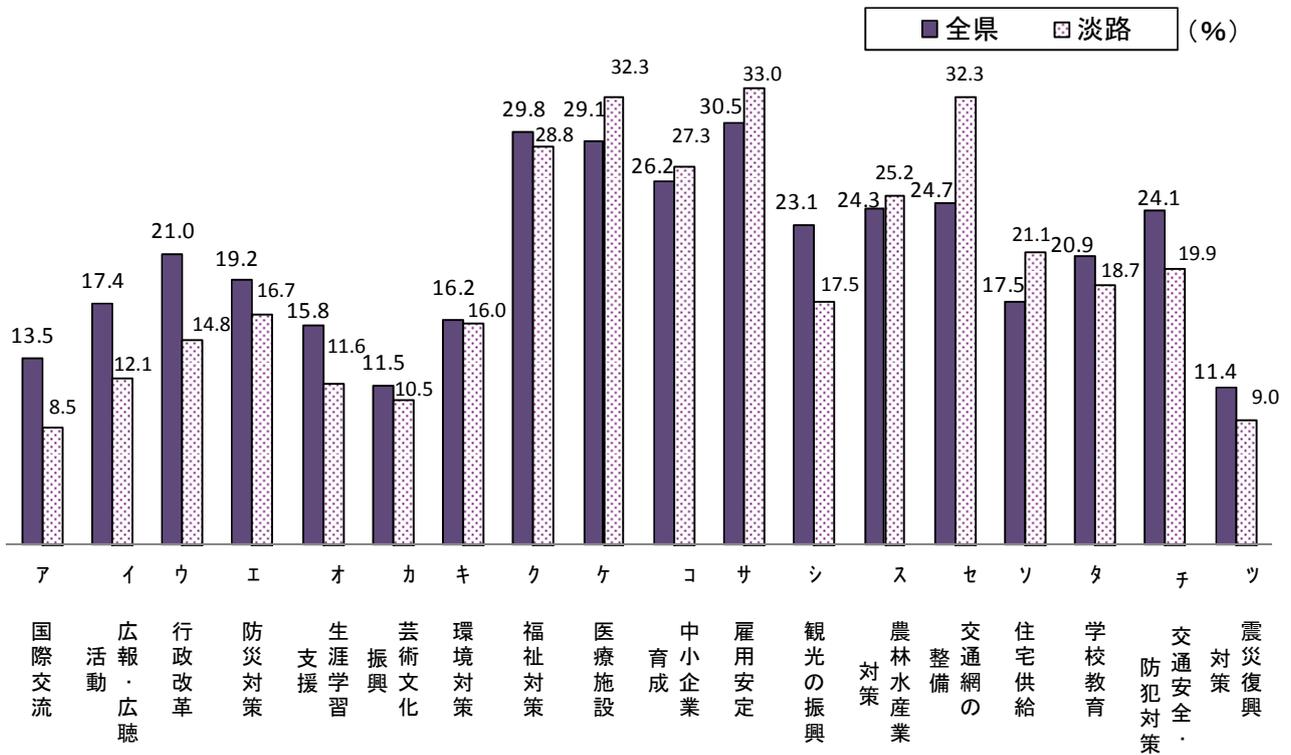
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と淡路】



『努力が必要』【全県と淡路】



全県との比較では〔ス 農林水産業の活性化対策〕が最も評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等で評価が高く、〔ソ 良質な住宅の供給〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	10.0
シ 観光の振興	8.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.6
オ 生涯学習活動への支援	3.2
エ 防災対策の充実	2.5
コ 県内中小企業の育成	2.1
キ 環境の保全と創造	1.7
ア 国際的な交流や協力	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
カ 芸術文化の振興	-1.2
タ 学校教育の充実	-1.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.9
チ 交通安全・防犯対策	-4.2
ソ 良質な住宅の供給	-4.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-11.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.6
ソ 良質な住宅の供給	3.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.5
コ 県内中小企業の育成	1.1
ス 農林水産業の活性化対策	0.9
キ 環境の保全と創造	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.0
カ 芸術文化の振興	-1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
エ 防災対策の充実	-2.5
タ 学校教育の充実	-3.3
オ 生涯学習活動への支援	-4.2
チ 交通安全・防犯対策	-4.2
ア 国際的な交流や協力	-5.0
イ 県政の広報・広聴活動	-5.3
シ 観光の振興	-5.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	11.7
キ 環境の保全と創造	11.3
タ 学校教育の充実	9.2
チ 交通安全・防犯対策	7.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.6
シ 観光の振興	5.0
カ 芸術文化の振興	4.8
ス 農林水産業の活性化対策	4.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.2
イ 県政の広報・広聴活動	2.9
ア 国際的な交流や協力	2.6
オ 生涯学習活動への支援	2.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.6
ソ 良質な住宅の供給	1.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.2
コ 県内中小企業の育成	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ソ 良質な住宅の供給	6.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.0
カ 芸術文化の振興	1.8
キ 環境の保全と創造	0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.1
コ 県内中小企業の育成	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.9
チ 交通安全・防犯対策	-2.0
ス 農林水産業の活性化対策	-3.0
エ 防災対策の充実	-3.1
オ 生涯学習活動への支援	-3.7
タ 学校教育の充実	-4.3
シ 観光の振興	-5.8

問 21 県民局・県民センターの認知度

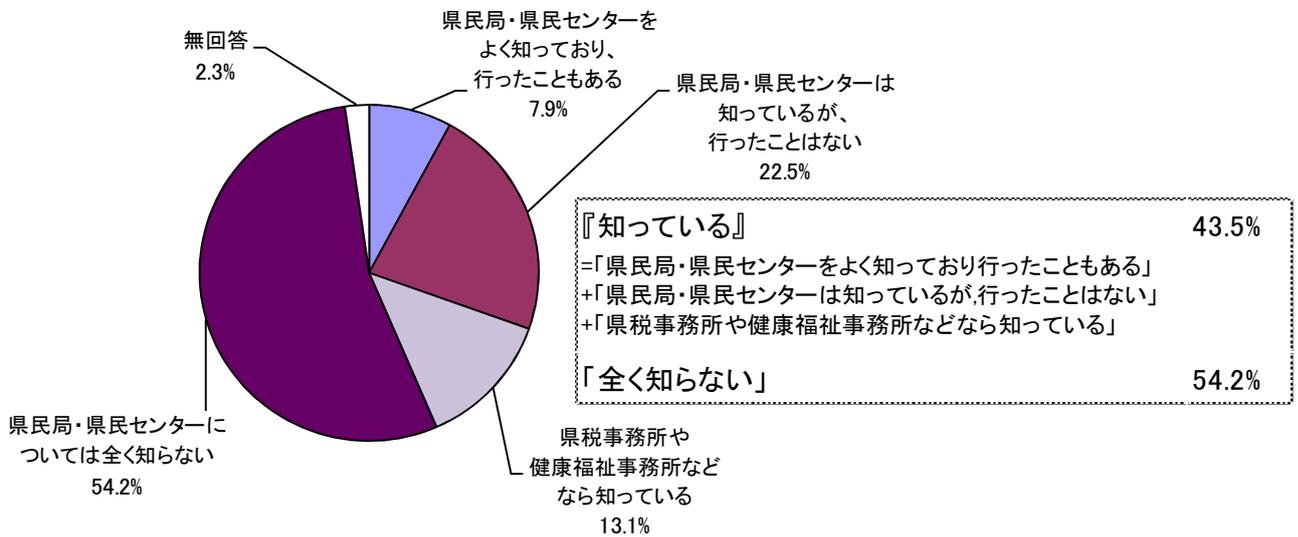
問 21

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

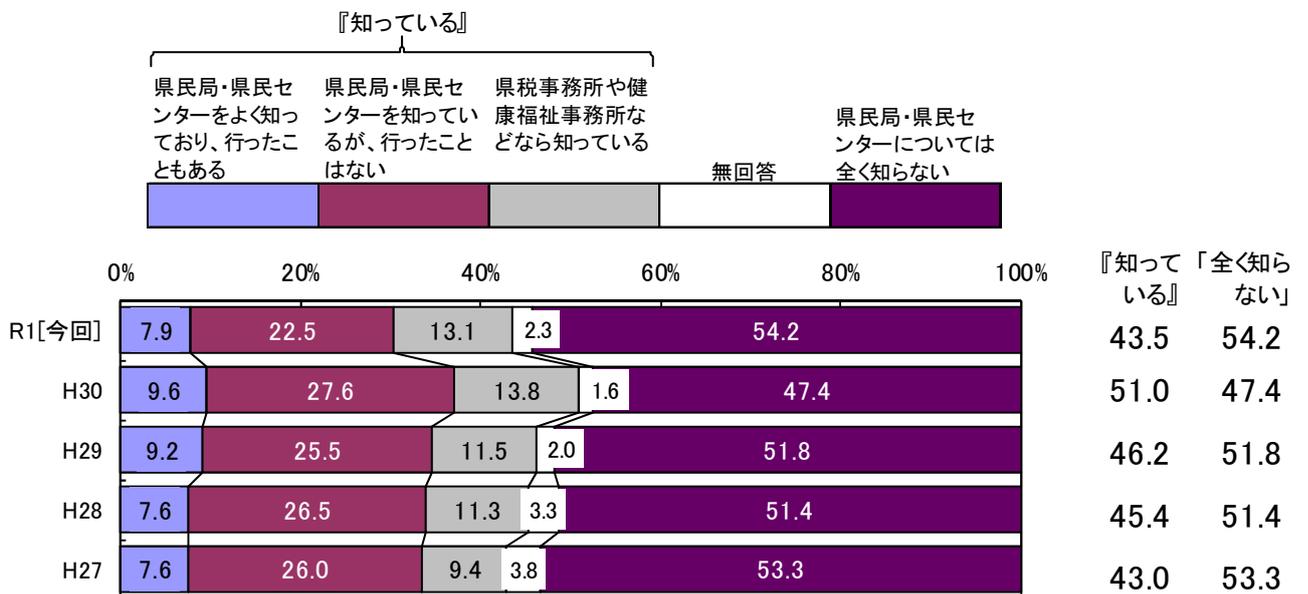
【全県】

「よく知っており、いったこともある」、「知っているが、行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』は43.5%となった。



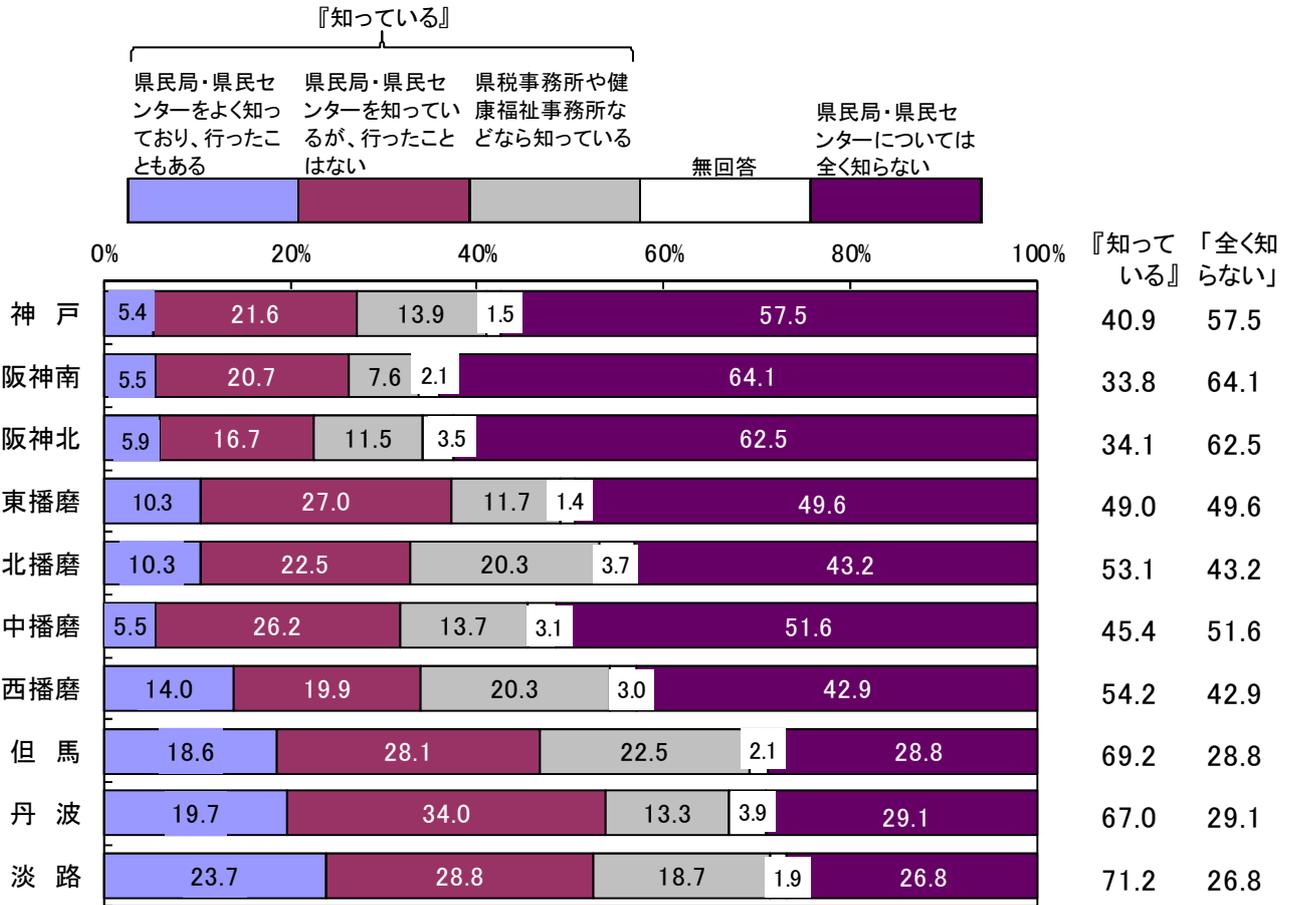
【経年比較】

『知っている』は、前年より7.5ポイント減少した。



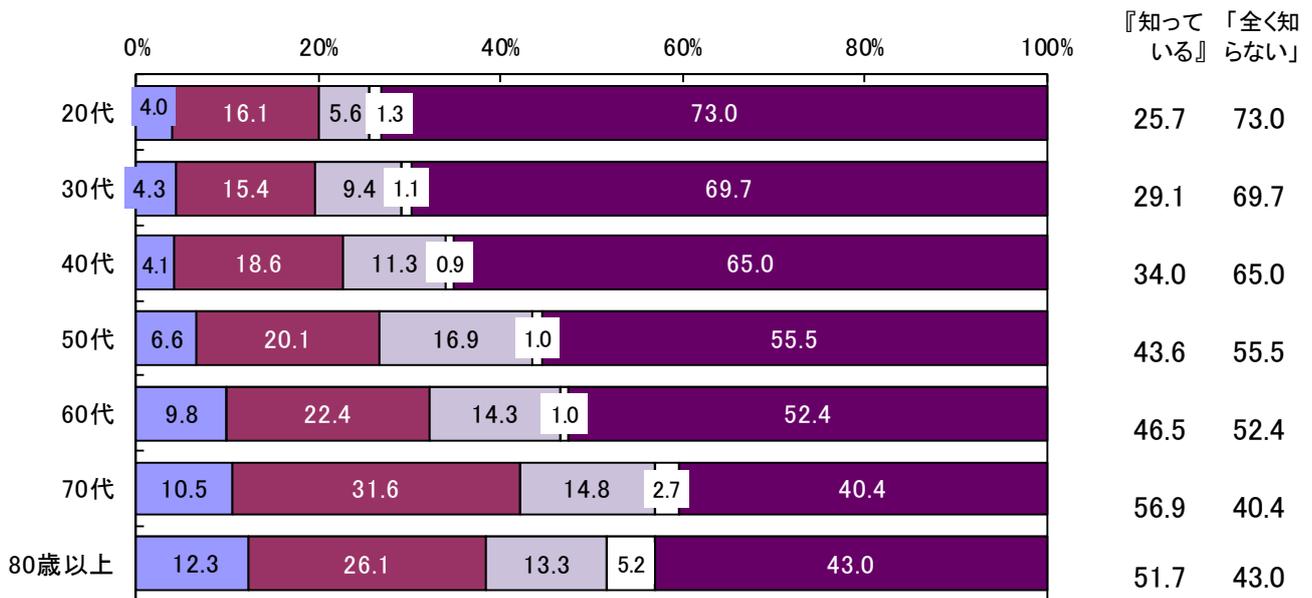
【地域別】

『知っている』は、淡路が最も高く、但馬、丹波(67.2%)が続いている。



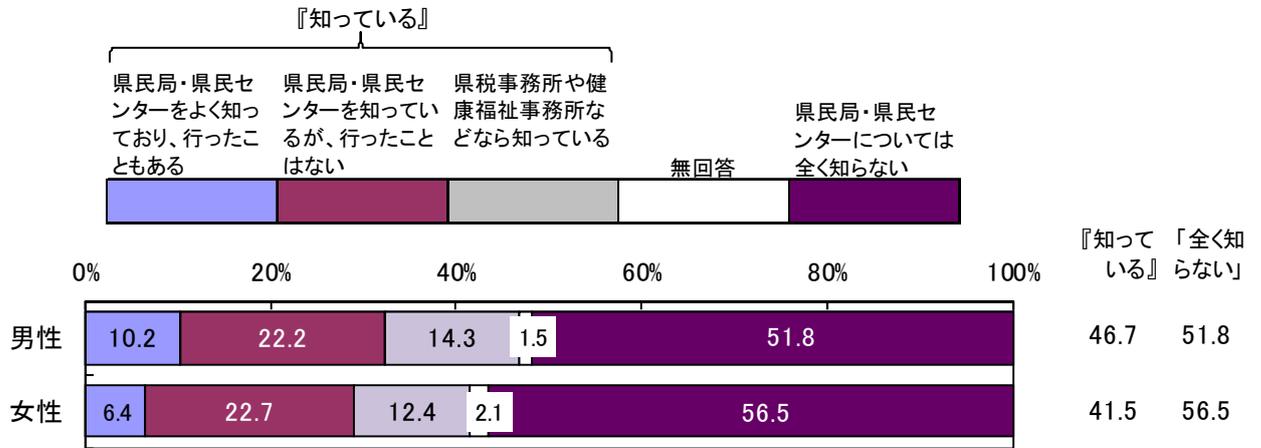
【年代別】

『知っている』は70代が最も高い。



【性別】

『知っている』は、男性の方が女性より5.2ポイント高い。



【性・年代別】

『知っている』は、男性は80歳以上が最も高く、女性は70代が最も高い。

